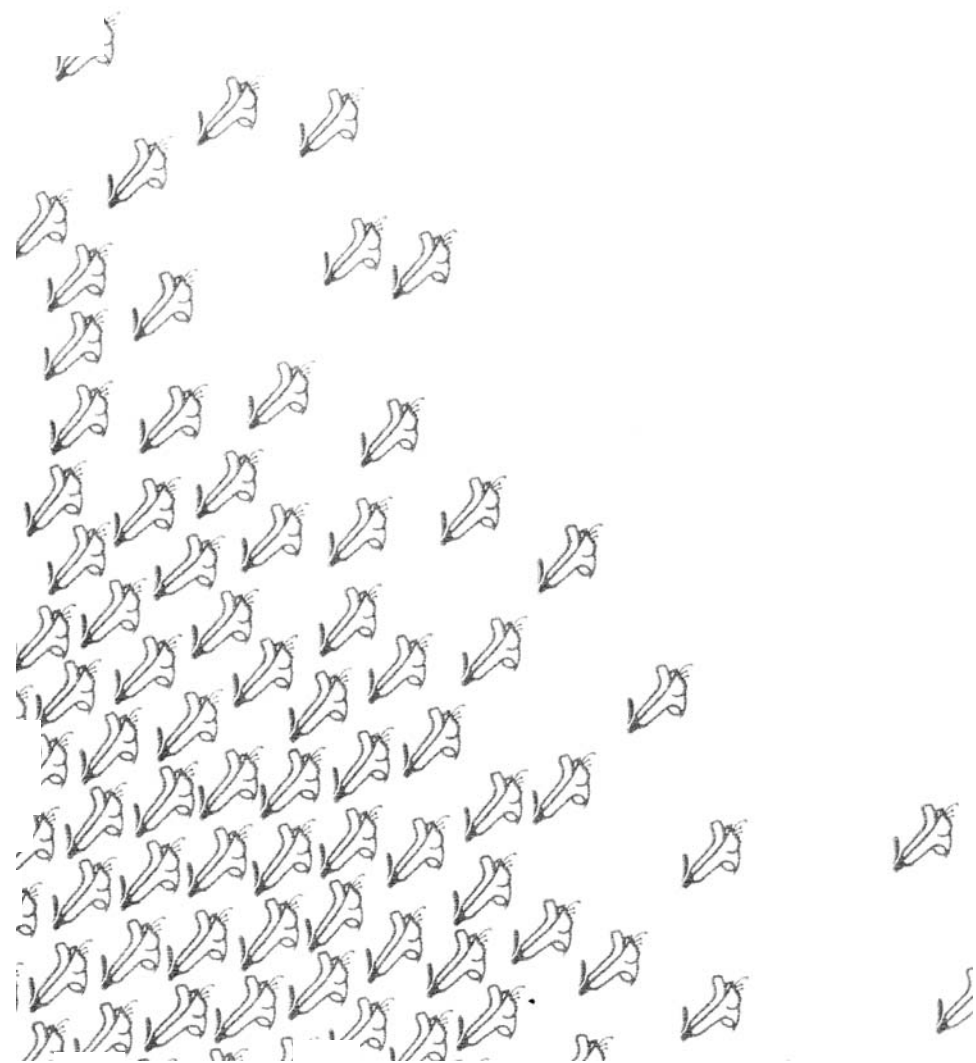


芦屋市
まち・人・くらし活性化推進アンケート

調査結果

平成16年9月



【まち・人・暮らし活性化推進アンケート報告書】

目次

調査の概要	1
1. 調査の目的	
2. 調査内容	
3. 調査方法	
4. 回収結果	
5. 分析の視点	
6. 報告書の見方	
調査結果	5
回答者の属性(問 1～6)	5
震災からの復興(問 7～11)	13
暮らし向き(問 12～15)	26
震災後の考えかたや行動の変化(問 16～21)	35
安全で安心なまちづくり(問 22～26)	63
○調査票	77
○回答用紙	84
○自由回答項目別集計	87

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、阪神・淡路大震災から10年を経過した本市のまちづくりや生活再建施策を中心とする諸事業を総括・検証し、また市民の暮らし、コミュニティ、まちとの関わりなど市民生活の現状を把握して今後の「まち・人・暮らし」の活性化をめざした復興総仕上げに活かすことを目的に行った。

2. 調査内容

回答者の属性 (フェイスシート)	問1性別	問4居住町
	問2年齢	問5居住期間
	問3家族構成	問6住宅形式
震災からの復興	問7震災時の住まいの被害	
	問8震災時の住まいの住宅形式	
	問9復興事業の周知	
	問10復興事業の評価	
	問11-(1)地域の住宅の新築・再建状況	問11-(4)くらしのマナー
	問11-(2)近所の商店街のにぎわい	問11-(5)コミュニティのつながり
	問11-(3)駅前商業地の活気	
くらし向き	問12くらしの変化	
	問13低下の要因	
	問14-(1)毎日のくらし	問14-(4)家庭生活
	問14-(2)自分の健康	問14-(5)所得・収入
	問14-(3)人間関係	問14-(6)将来のたくわえ
	問15仕事の有無	
震災後の考えかたや行動の変化	問16-(1)持家より借家	問16-(7)安全性志向
	問16-(2)公共住宅志向	問16-(8)耐久性志向
	問16-(3)資産性に疑問	問16-(9)近所づきあい重視
	問16-(4)戸建住宅志向	問16-(10)親子同居重視
	問16-(5)集合住宅志向	問16-(11)農山村居住志向
	問16-(6)高齢者等住宅への関心	
	問17人間関係の変化	
	問18地域活動への関わり方	
	問19行動の変化	
	問20-1まちづくりのテーマ	問20-2まちづくりの進め方
	問21-(1)地域イベント	問21-(4)青少年育成や子育て
	問21-(2)高齢者・障害者	問21-(5)環境保全活動
	問21-(3)地域防災活動	
安全で安心なまちづくり	問22不安なこと	
	問23災害時にできそうな事	
	問24地域での取り組み	
	問25防災施設の周知	
	問26求める施策	

3. 調査方法

調査地域：芦屋市内全域

調査対象：住民基本台帳および外国人登録原票に登載されている20歳以上の市民

抽出方法：無作為抽出法（コンピュータによる等間隔抽出）

標本数：2,005

配布・回収方法：郵送法

調査期間：平成16年7月12日（発送）～8月10日（回収締め切り）

（調査票発送の1週間後に催告はがきを送付）

4. 回収結果

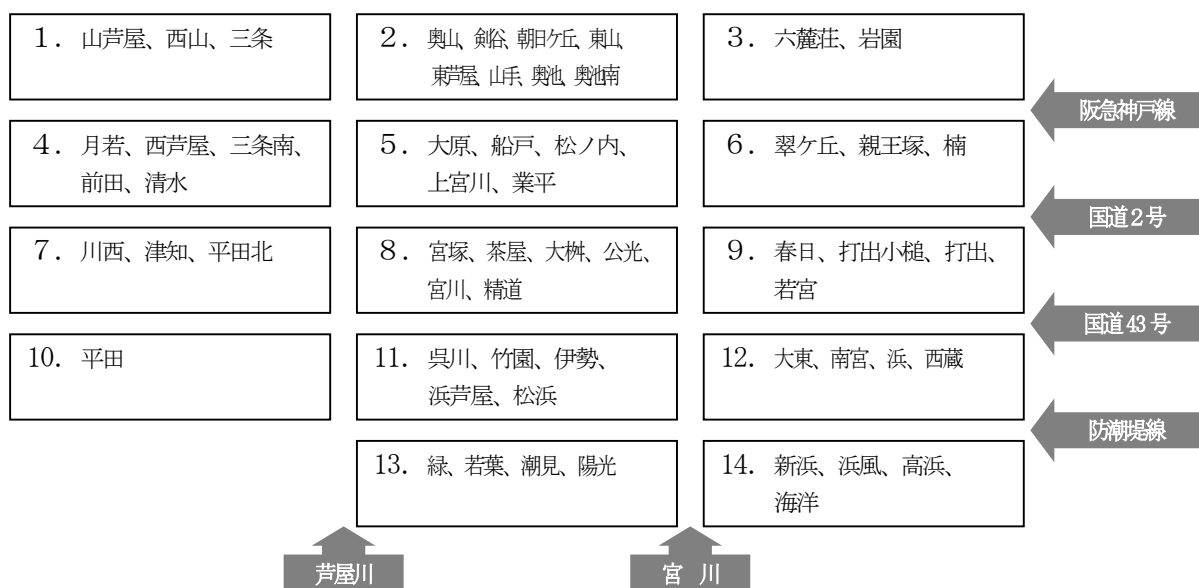
発送数：2,005（送達数：1,997）

有効回収数：1,081

回収率：54.1%（有効回収数／送達数）

5. 分析の視点

単純集計のほか、問1～問6の回答者の属性を中心に分析し、必要に応じて、他の質問とのクロス分析を行った。なお市内居住地については、市域を下記に示す14地区に分類した。



6. 報告書の見方

- (1) グラフ内の数字は特記のない限り、百分比(%)である。
- (2) 集計の百分比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、百分比の合計値が100にならないことがある。
- (3) 複数回答の設問の場合は、百分比の合計が100を超えることがある。
- (4) クロス集計結果などで基数が極端に小さい場合は、回答の傾向をみるにとどめている。
- (5) 選択肢の文言は、図表中では簡略化している場合がある。

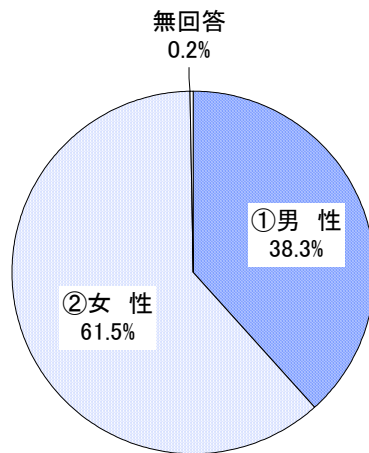
調查結果

回答者の属性

問1 あなたの性別は。

女性の回答者が61.5%で男性の38.3%を大幅に上回っている。

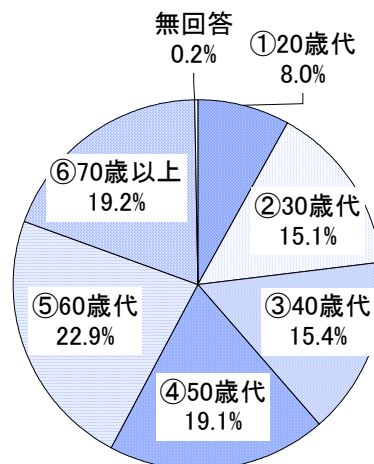
●性別



問2 あなたの年齢は。

60歳代の回答者が22.9%で最も多い。これに70歳以上(19.2%)、50歳代(19.1%)が続いている。

●年齢



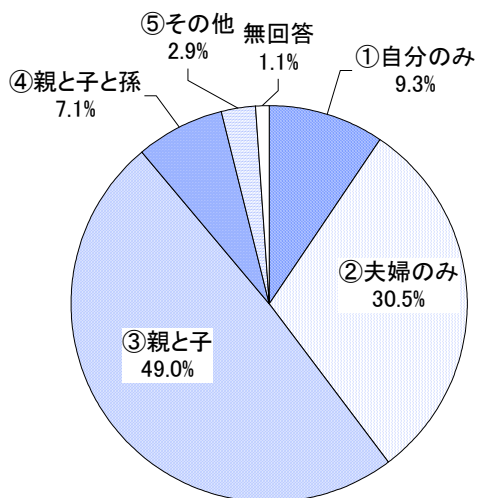
問3

あなたの家族構成は。

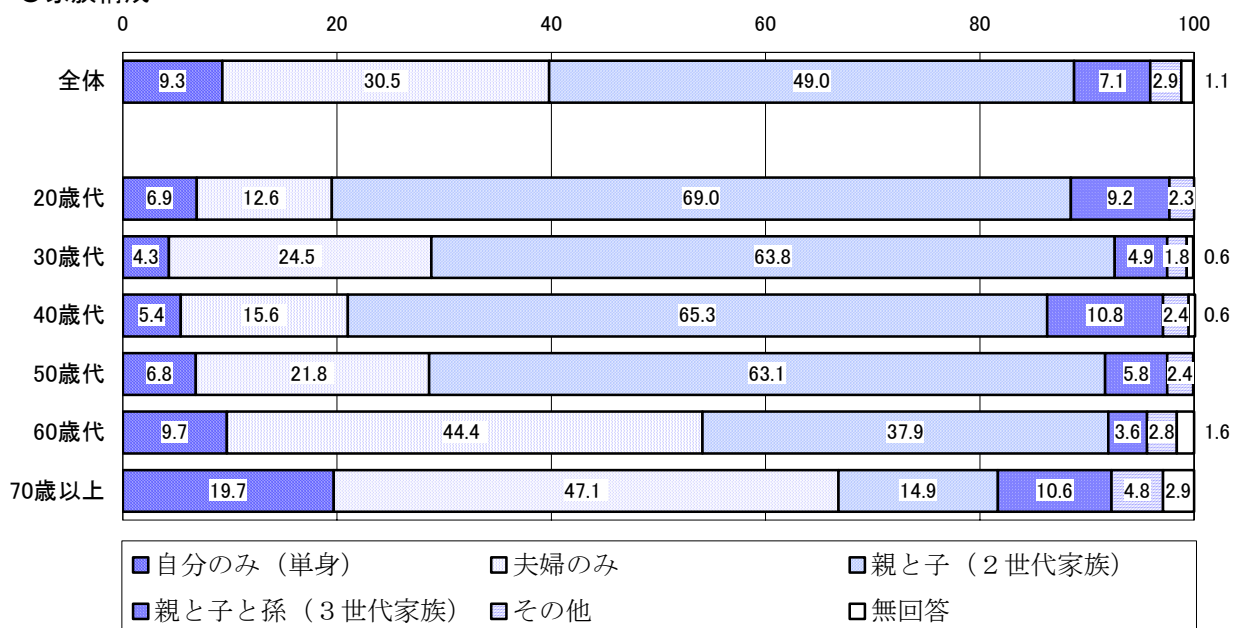
「③ 親と子（2世代家族）」が49.0%、これに「② 夫婦のみ」30.5%が続き、合計すると79.5%が核家族世帯である。

「② 夫婦のみ」の世帯は、70歳以上と60歳代が多い。また70歳以上では「① 自分のみ（単身）」が19.7%と多い。

●家族構成



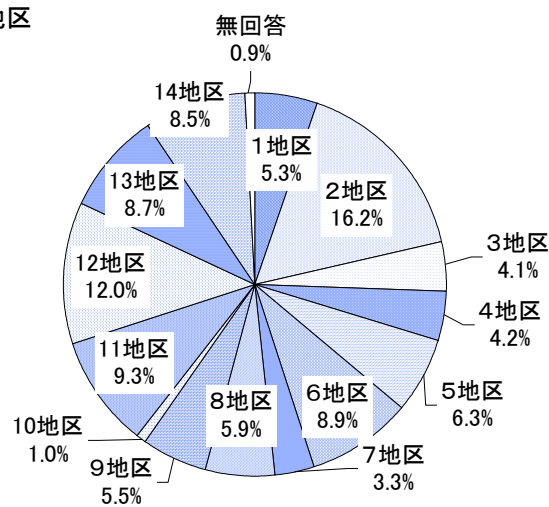
●家族構成



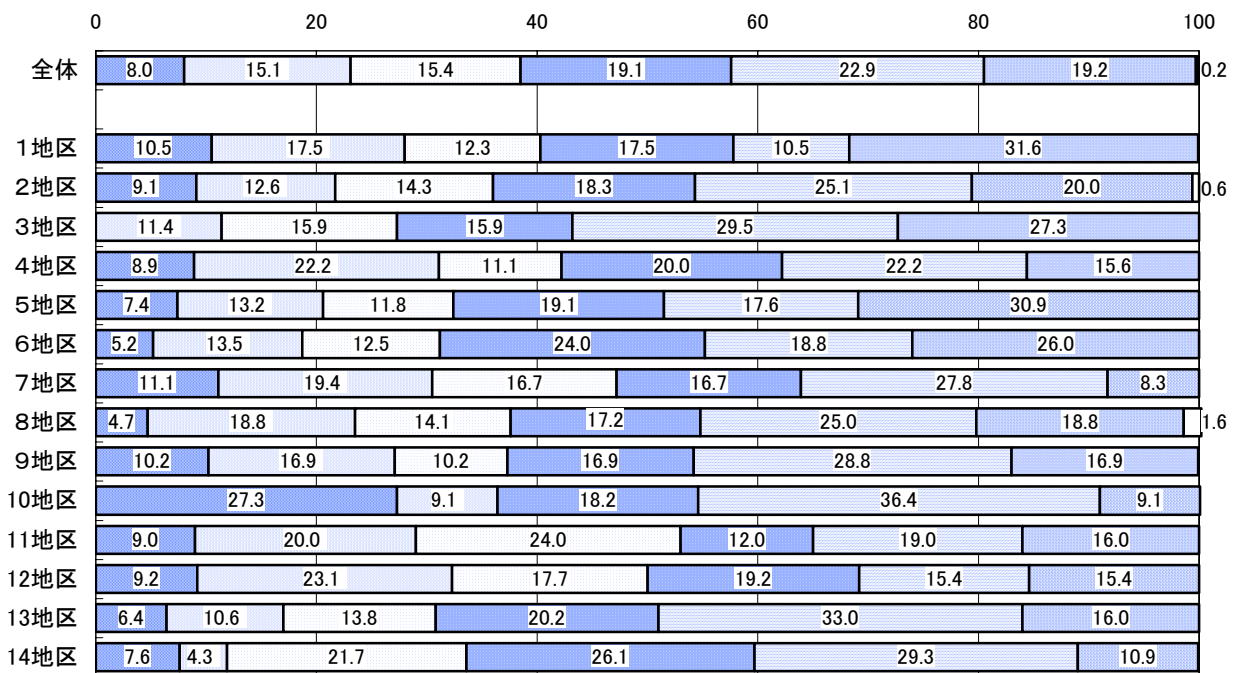
問 4 あなたのお住まいは。

居住地区ごとに年齢をみると、11地区と12地区では、40歳代までの合計が平均をかなり上回り、若い。逆に3地区では60歳代が7ポイント、70歳以上が8ポイント、それぞれ平均を上回り、高齢者が多い。また1地区と5地区では70歳代以上が、10地区と13地区では60歳代が多い。

●居住地区

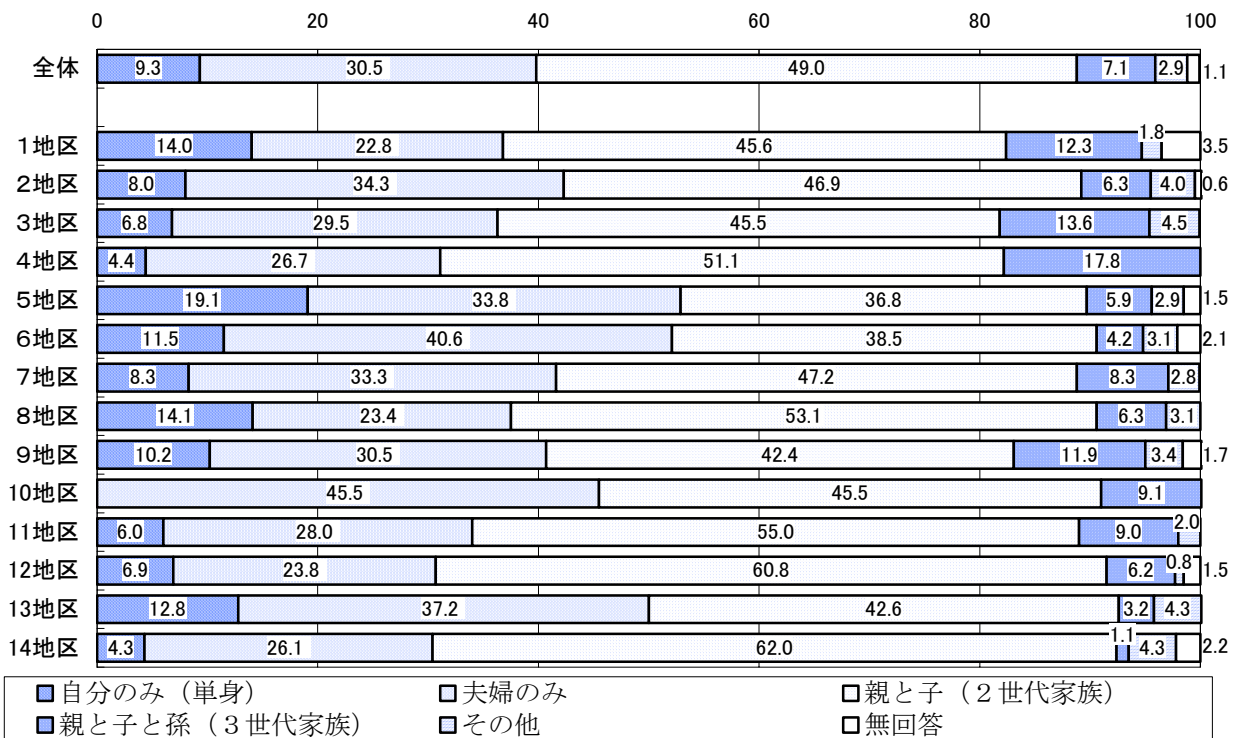


●居住地区別年齢構成



家族構成別では、5地区、8地区で単身者が多く、高齢層の多い地区と重なっている。一方、4地区、3地区では3世代家族が多い。

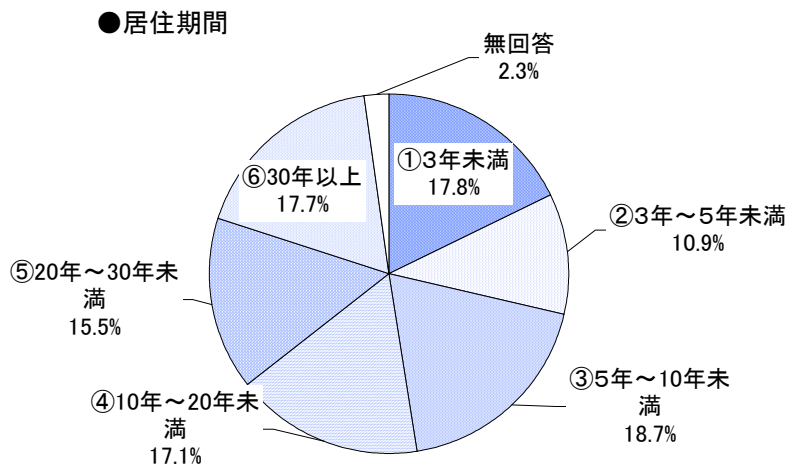
●居住地区別家族構成



問 5

あなたの現在お住まいの場所の居住年数は。

「③ 5年～10年未満」が18.7%と最も多い。これに「② 3年～5年未満」(10.9%)、「① 3年未満」(17.8%)を加えると47.4%で、半数弱の回答者が10年未満である。

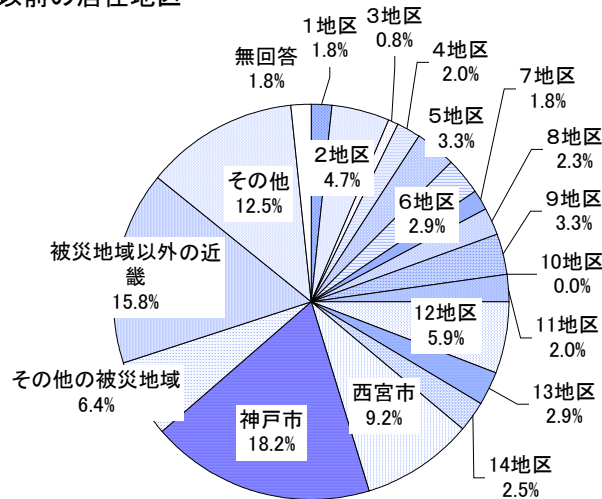


問 5-1

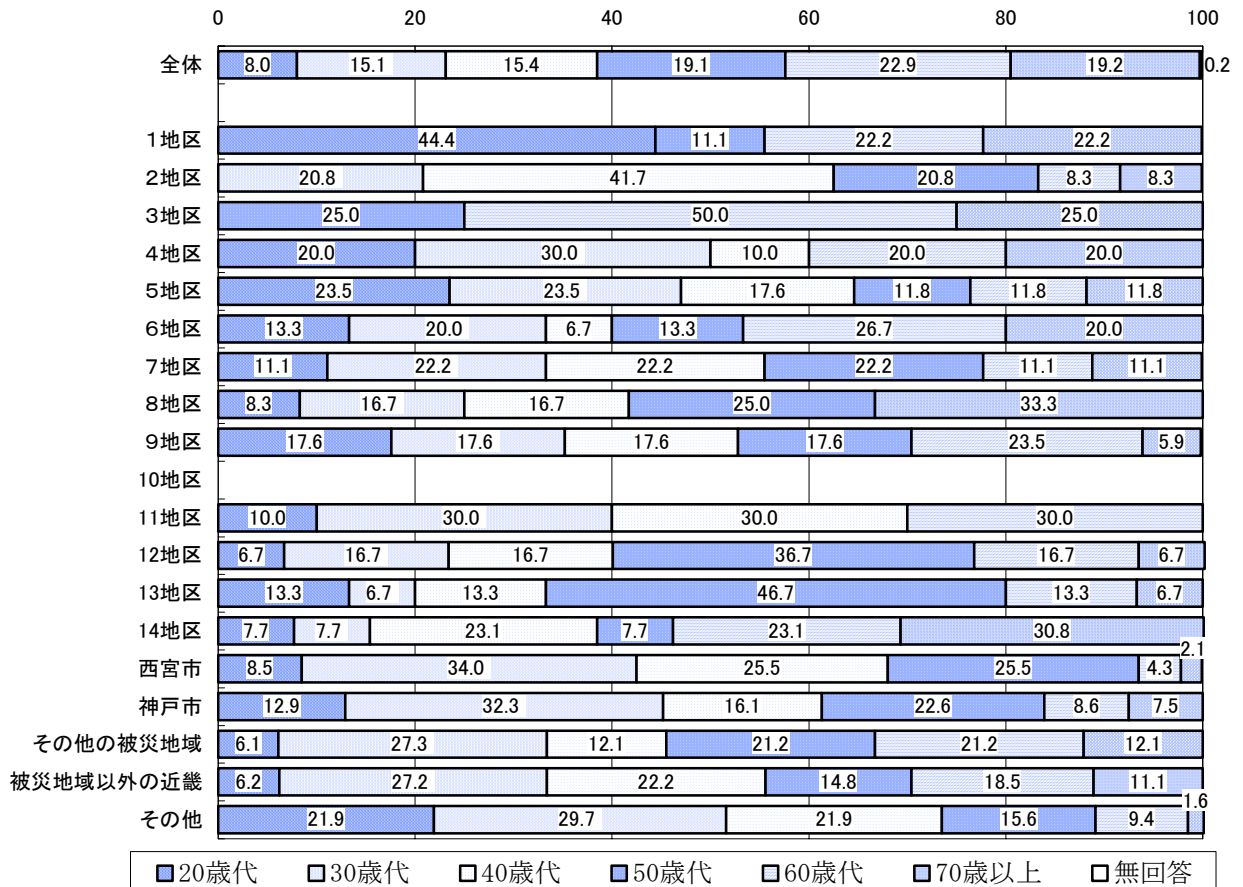
あなたの以前のお住まいは。

前問で、転居 10 年未満の回答者の前の住所は、神戸市が最も多く、18.2%である。次いで、被災地以外の近畿が 15.8%となっている。市内移動の合計は 36.2%である。

●以前の居住地区



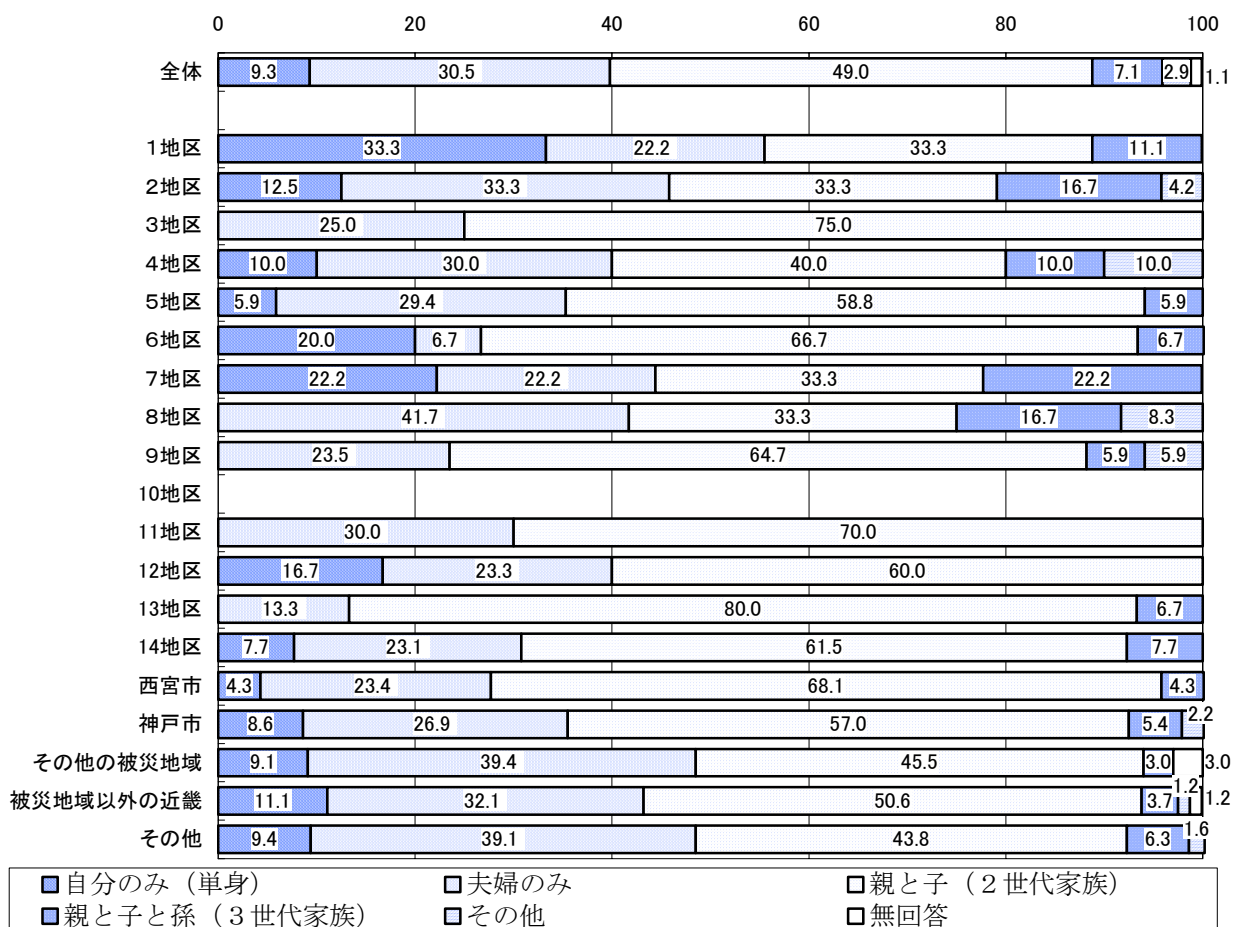
●以前の居住地区別年齢構成



市外からの転入者を中心に、年齢別でみると、以前の居住地が西宮市、神戸市、その他であった回答者は40歳代以下の層が多い。

家族構成別にみると、西宮市と神戸市からの転入者は2世代家族が多い。その他の被災地域とその他では、夫婦のみが多い。

●以前の居住地区別家族構成

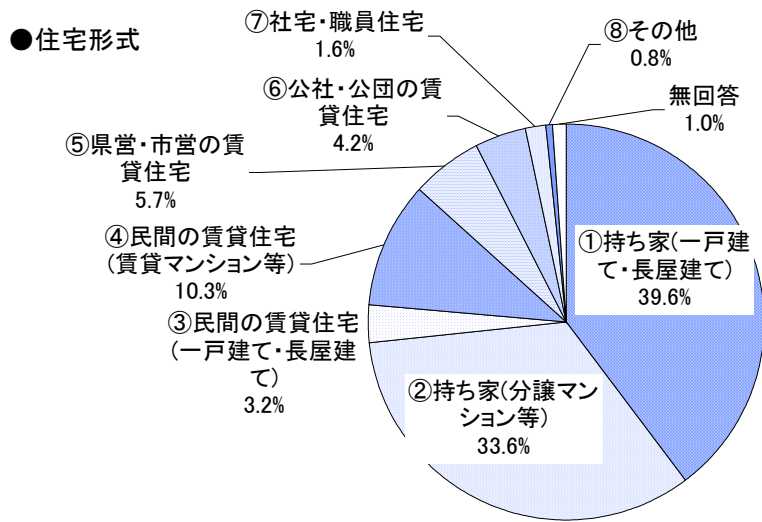


問 6

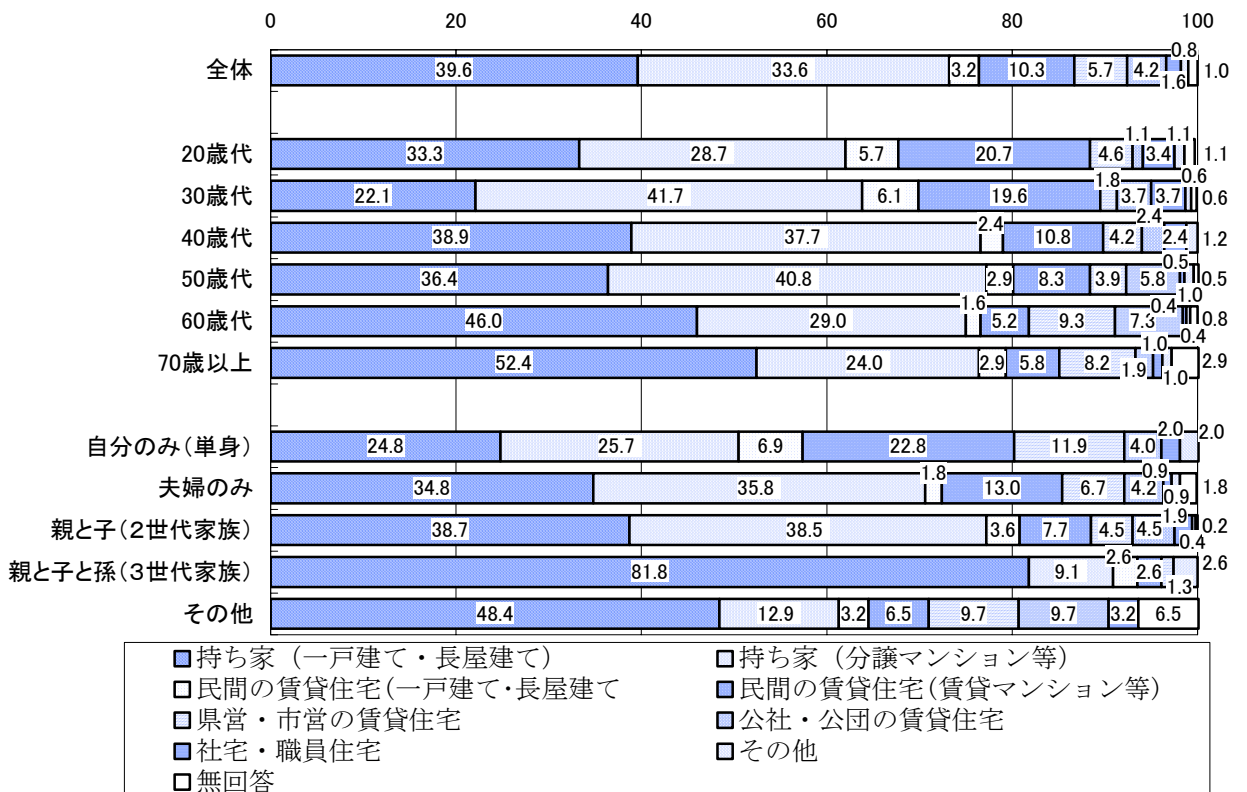
あなたが現在お住まいの住宅は。

「① 持ち家（一戸建て・長屋建て）」が 39.6%で最も多く、「② 持ち家（分譲マンション等）」が 33.6%でこれに次いでいる。

年齢と家族構成との関係を見ると、高齢層や3世代家族で、一戸建て・長屋建ての持ち家が多く、30歳代までの若年層や単身者において民間の賃貸住宅が多い。



●住宅形式



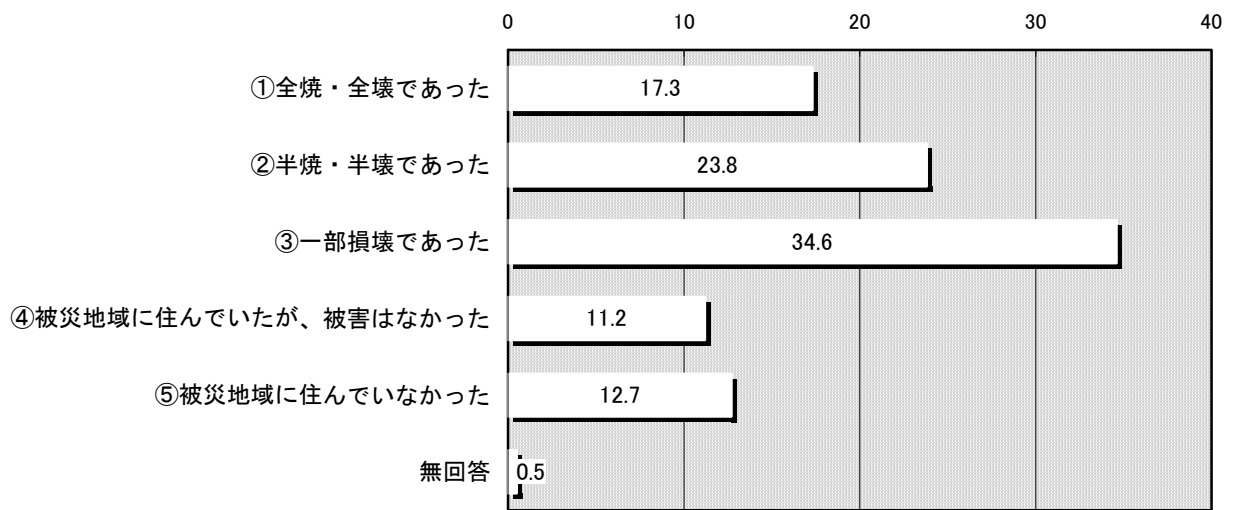
震災からの復興についてお尋ねします

問 7

阪神・淡路大震災（以下「震災」と呼びます）時のお住まいは被害を受けられましたか。1つ選んで番号をご記入ください。

「③ 一部損壊であった」が 34.6%、「② 半焼・半壊であった」が 23.8%で多く、また「① 全焼・全壊であった」も 17.3%を占める。この3つを合計すると 75.7%で回答者の4人に3人は何らかの被害を受けている。

●震災時の住まいの被害

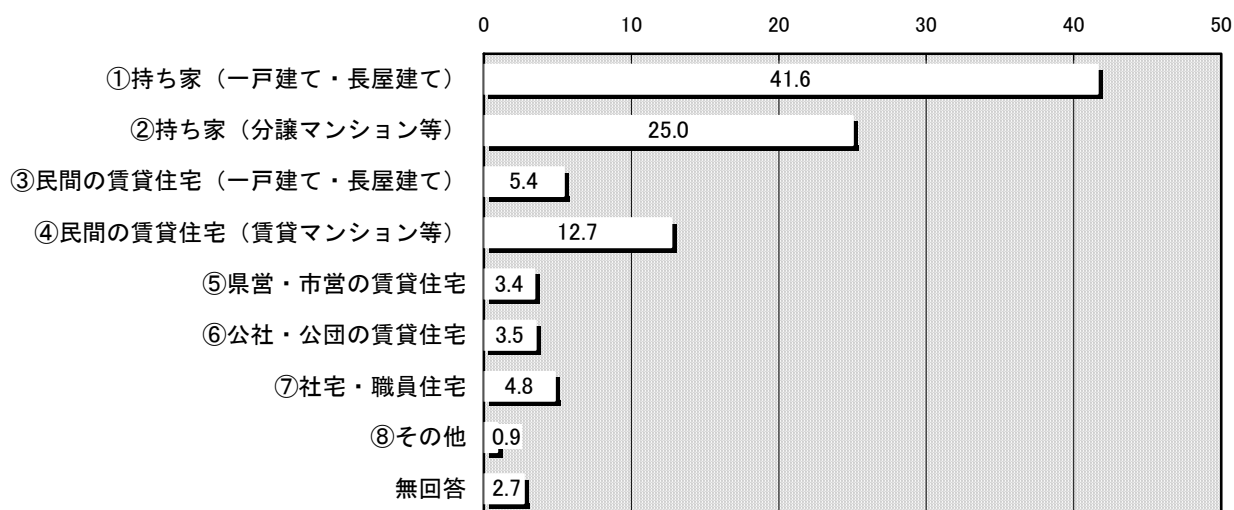


問 8

震災時の、お住まいの住宅形式についてお尋ねします。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

「① 持ち家（一戸建て・長屋建て）」が41.6%で最も多く、「② 持ち家（分譲マンション等）」が25.0%でこれに次いでいる。

●震災時の住まいの住宅形式



震災当時の住宅形式が、震災を経過して現在どのように変わってきたかを、戸建て持ち家とマンションなどの持ち家について次表に整理した。

これによると、震災当時の戸建て持ち家であった回答者のうち、全焼・全壊の被害を受け、現在も戸建て持ち家である者は、79.2%である。これは半焼・半壊の場合の89.3%や一部損壊の84.0%と比べると、戸建てへの建て替え率は比較的低い。しかし半焼・半壊などの場合は全面建て替えするとは限らないので、被害が激甚であったから非戸建てに建て替えた割合が高いということはない。

また、震災時にマンションなどの持ち家であった回答者のうち、全焼・全壊の被害を受け、現在も持ち家マンションである者の割合は70.6%である。

なお、被災地外からの転入者について、震災時に戸建て持ち家であったものが、転入した芦屋市においても持ち家である割合は22.2%と低く、最も多いのは民間賃貸マンションの38.9%である。また、同じく被災地外からの転入者で、震災時マンションなどの持ち家であったものが、芦屋市に転入後は、52.9%が持ち家マンション、次いで民間賃貸マンションの23.5%となっている。

●被害状況と住宅形式

(単位：%)

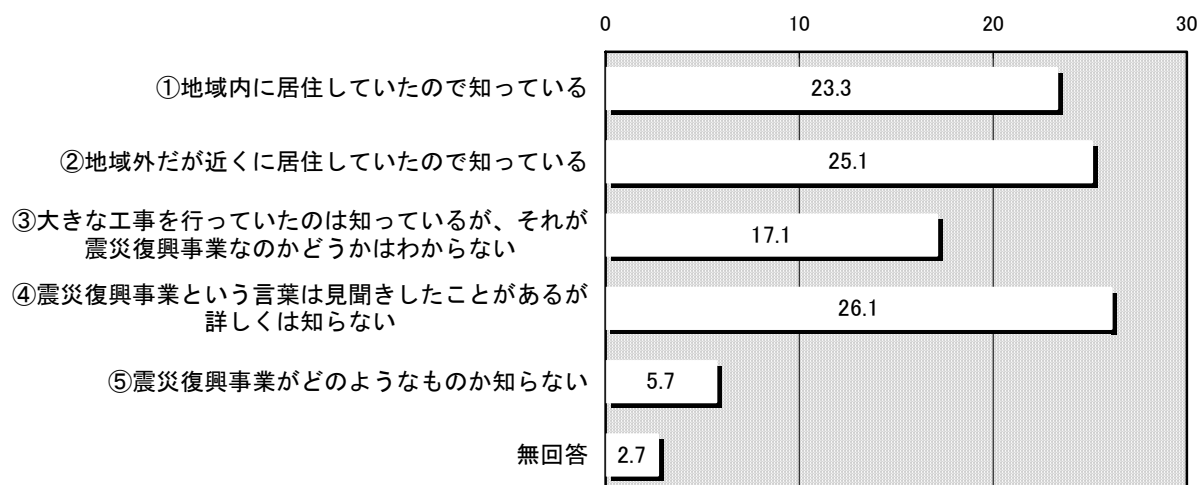
震災当時の住宅形式 [問8]	震災時の被害状況 [問7]	現在の住宅形式 [問6]			
		持ち家 (一戸建て・長屋 建て)	持ち家 (分譲マ ンション 等)	民間の賃 貸住宅 (賃貸マ ンション 等)	その他
戸建て持ち家	全焼・全壊	79.2	5.9	5.0	9.9
	半焼・半壊	89.3	5.0	1.7	4.1
	一部損壊	84.0	9.0	2.8	4.2
	被害なし	77.1	14.6	4.2	4.2
	被災地外	22.2	25.0	38.9	13.9
マンション等 持ち家	全焼・全壊	11.8	70.6	2.9	14.7
	半焼・半壊	4.5	86.4	3.0	6.1
	一部損壊	14.0	80.6	3.1	2.3
	被害なし	12.5	75.0	4.2	8.3
	被災地外	5.9	52.9	23.5	17.6

問 9

あなたは震災後に実施された土地区画整理事業（西部・中央地区など）や街路事業（山手幹線事業など）などの震災復興事業をどの程度ご存知ですか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

「④ 震災復興事業という言葉は見聞きしたことがあるが詳しくは知らない」が 26.1%、「② 地域外だが近くに居住していたので知っている」が 25.1%、「① 地域内に居住していたので知っている」23.3%の順であるが、大きな差はない。「③ 大きな工事を行っていたのは知っているが、それが震災復興事業なのかどうかはわからない」は 17.1%である。また、震災後、被災地以外から転居してきた人も相当数いるが、「⑤ 震災復興事業がどのようなものか知らない」という回答者は 5.7%で、少ない。

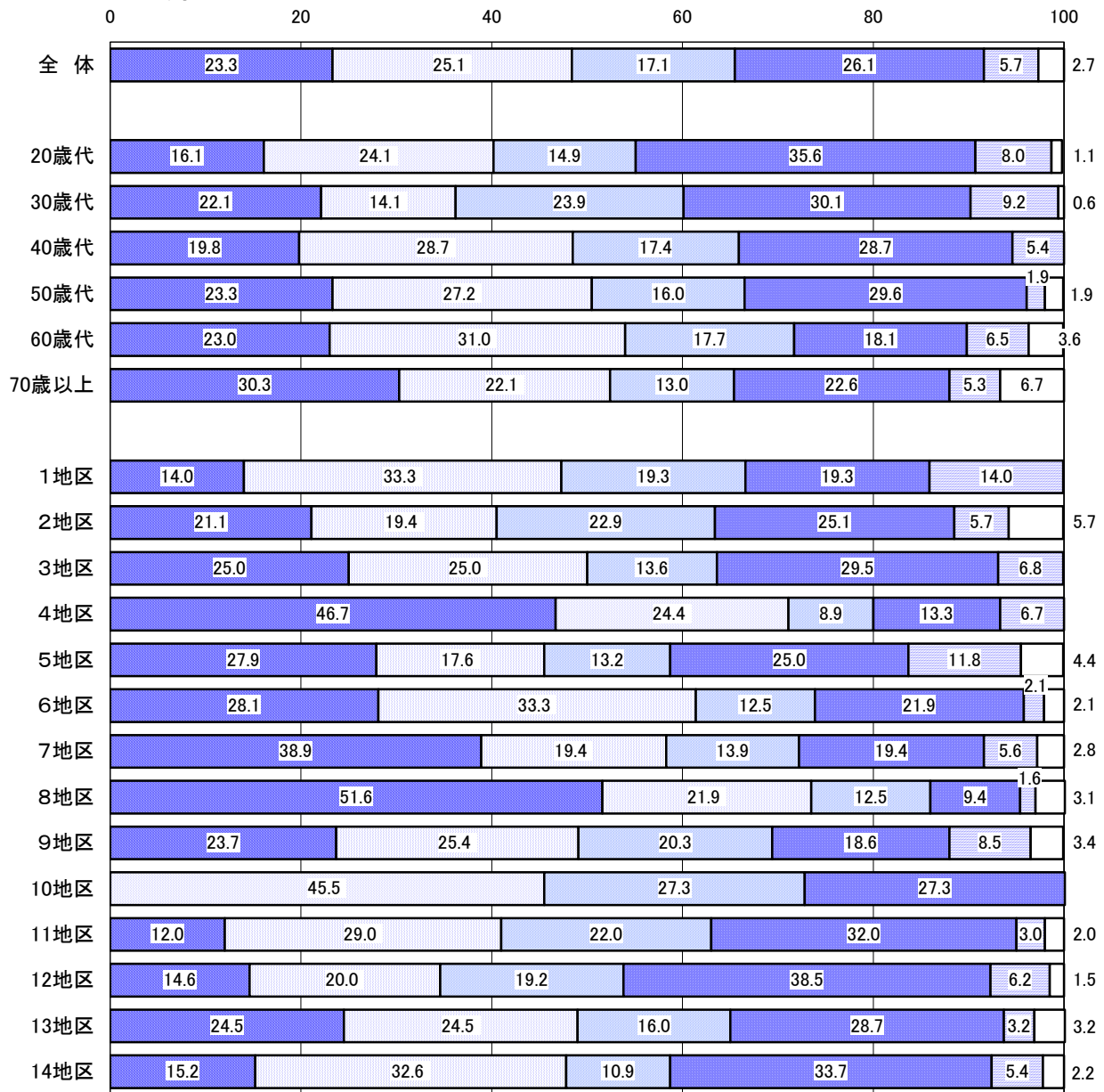
●復興事業の周知



年齢別にみると、20 歳代では「④ 震災復興事業という言葉は見聞きしたことがあるが詳しくは知らない」について平均を 10 ポイント上回るとともに「① 地域内に居住していたので知っている」について平均を 7 ポイント下回っており、周知度が低い。逆に 60 歳代と 70 歳代では④が低く、70 歳代では①が高く、全体的に高齢層では周知度が高くなっている。

居住地区別では、大規模な震災復興事業が実施された 8 地区、4 地区、7 地区で周知度が高い。

●復興事業の周知



- ①地域内に居住していたので知っている
- ②地域外だが近くに居住していたので知っている
- ③大きな工事を行っていたのは知っているが、それが震災復興事業なのかどうかはわからない
- ④震災復興事業という言葉は見聞きしたことがあるが詳しくは知らない
- ⑤震災復興事業がどのようなものか知らない
- 無回答

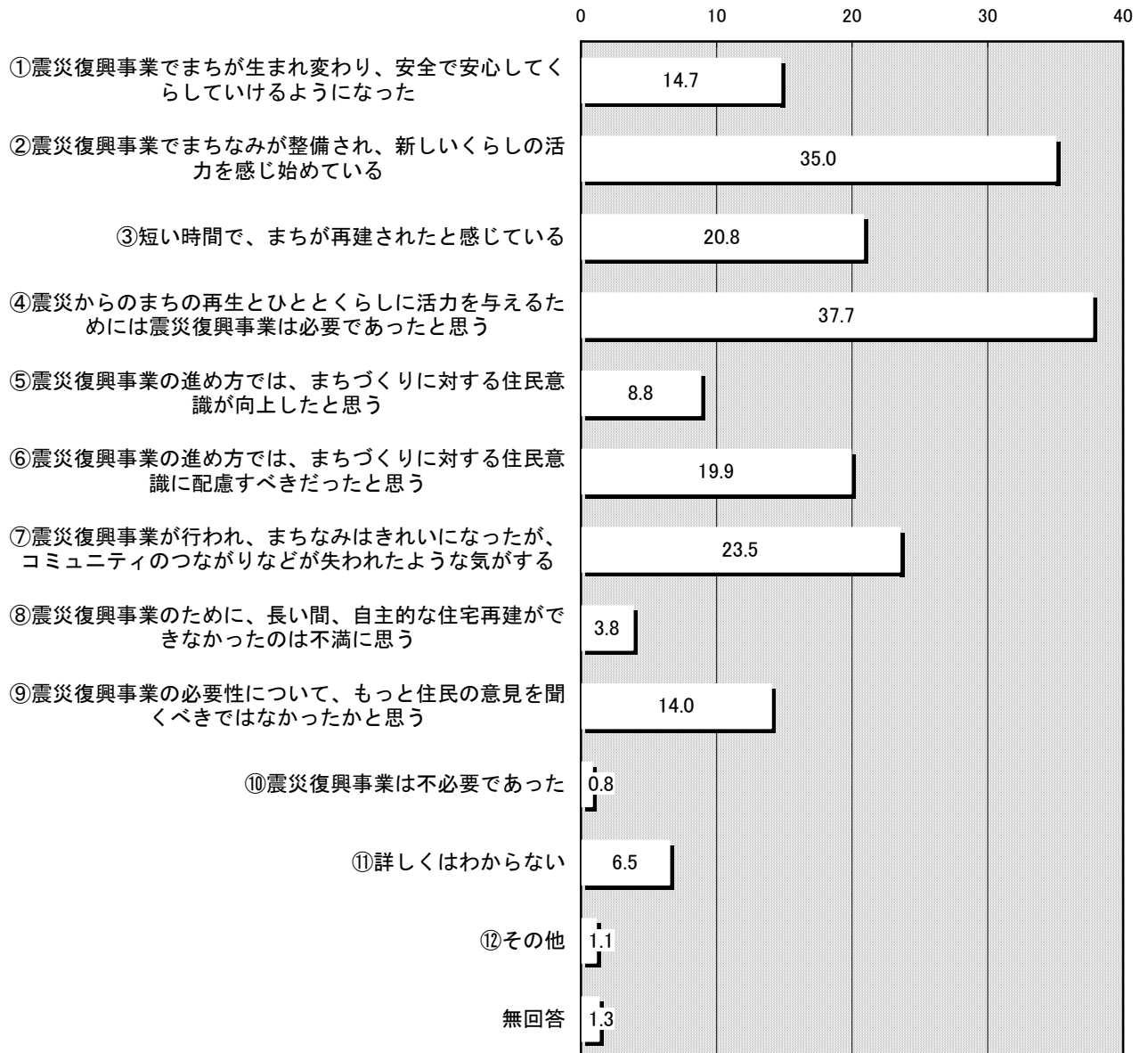
問 10

(問9で①か②を選ばれた方にお尋ねします)あてはまるものを2つまで選んで番号をご記入ください。

「④ 震災からのまちの再生とひととくらしに活力を与えるためには震災復興事業は必要であったと思う」が 37.7%、「② 震災復興事業でまちなみが整備され、新しいくらしの活力を感じ始めている」が 35.0%で、それぞれ第1位と第2位となり、肯定的な評価が上位を占めている。

ただ、「⑦ 震災復興事業が行われ、まちなみはきれいになったが、コミュニティのつながりなどが失われたような気がする」は 23.5%でこれに次ぐ第3位、また「⑥ 震災復興事業の進め方では、まちづくりに対する住民意識に配慮すべきだったと思う」は 19.9%で第5位となっており、非物理的な面での批判的意見も少なくない。

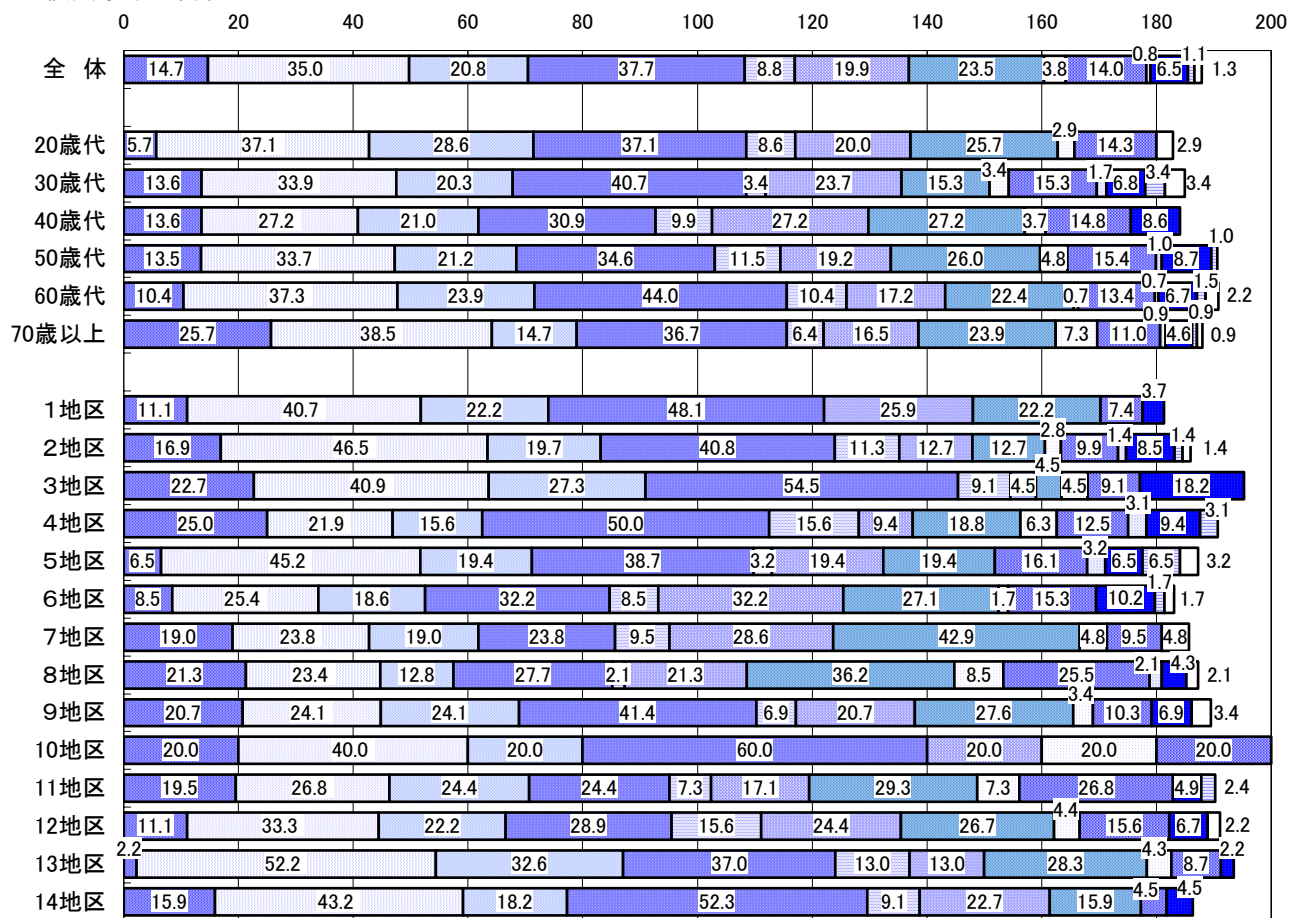
●復興事業の評価



年齢別では、60歳代で「④ 震災からのまちの再生とひとと暮らしに活力を与えるためには震災復興事業は必要であったと思う」について、平均を6ポイント上回っており、比較的评价が高い。

居住地区別では、3、4、10、14地区で④の割合が平均を上回っており、評価が高い。しかし「⑦ 震災復興事業が行われ、まちなみはきれいになったが、コミュニティのつながりなどが失われたような気がする」について、7地区では19ポイント、8地区では13ポイント平均を上回っており、コミュニティのつながりが失われたことに対する評価が厳しい。

●復興事業の評価



- ①震災復興事業でまちが生まれ変わり、安全で安心して暮らしていけるようになった
- ②震災復興事業でまちなみが整備され、新しい暮らしの活力を感じ始めている
- ③短い時間で、まちが再建されたと感じている
- ④震災からのまちの再生とひとと暮らしに活力を与えるためには震災復興事業は必要であったと思う
- ⑤震災復興事業の進め方では、まちづくりに対する住民意識が向上したと思う
- ⑥震災復興事業の進め方では、まちづくりに対する住民意識に配慮すべきだったと思う
- ⑦震災復興事業が行われ、まちなみはきれいになったが、コミュニティのつながりなどが失われたような気がする
- ⑧震災復興事業のために、長い間、自主的な住宅再建ができなかったのは不満に思う
- ⑨震災復興事業の必要性について、もっと住民の意見を聞くべきではなかったかと思う
- ⑩震災復興事業は不必要であった
- ⑪詳しくはわからない
- ⑫その他
- 無回答

問 11

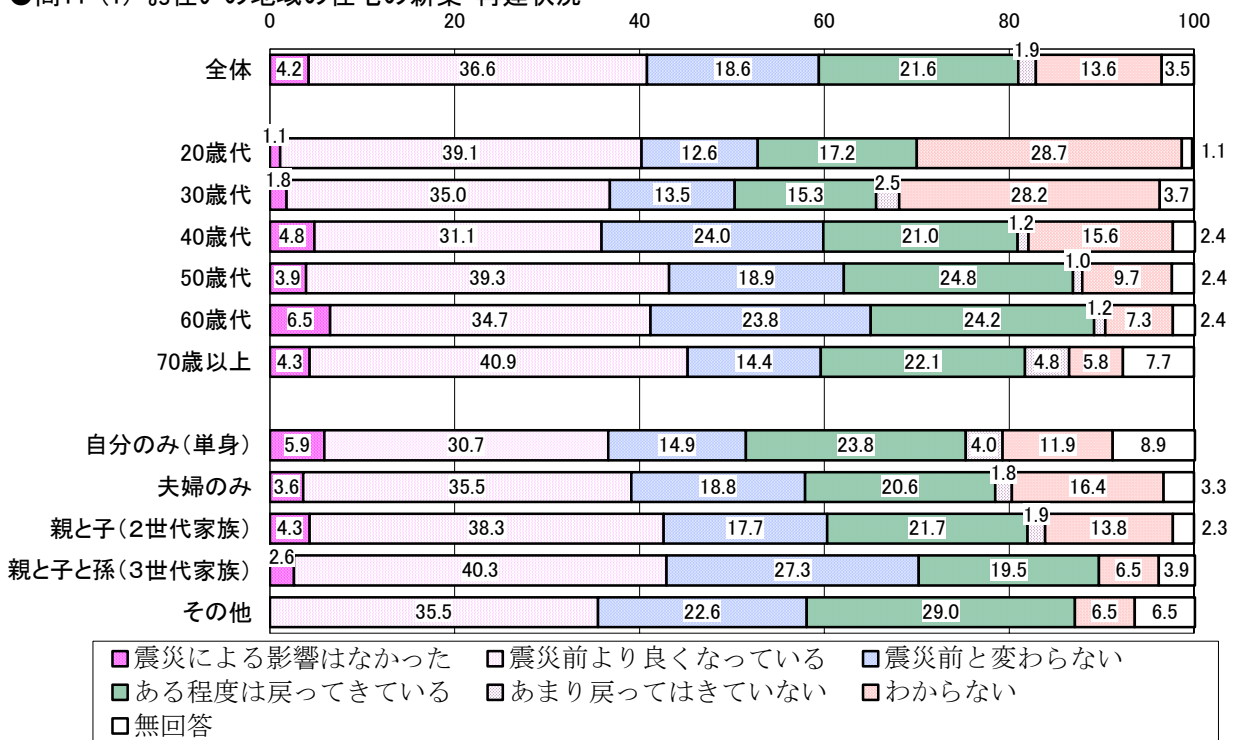
震災からの復興状況について、あなたの周囲の様子を見てどのよう
に感じておられますか。次の(1)～(5)までのそれぞれについて、あ
なたのお考えに近いものを、①～⑥から1つ選んで番号をご記入く
ださい。

「(1) お住まいの地域の住宅の新築・再建状況」については、「震災前より良くなってい
る」が36.6%で最も多く、これに「ある程度は戻ってきている」21.6%が次いでいる。

年齢別では、70歳代以上で「震災前より良くなっている」がやや高い。

20歳代、30歳代では「わからない」の割合が平均を約15ポイント上回っている。

●問11-(1) お住まいの地域の住宅の新築・再建状況



「(2) 近所の商店街のにぎわい」については、「わからない」(24.1%)を除くと、「あまり戻ってはきていない」とする回答者が23.6%と最も多い。「震災前より良くなっている」は7.4%にすぎず、住宅の新築・再建では36.6%であったのと対照的である。

「(3) 駅前商業地の活気」については、「震災前と変わらない」が27.5%で最も多いが、「ある程度は戻ってきている」(19.5%)が第2位、「震災前より良くなっている」が(15.0%)が第3位となっており(「わからない」を除く)、前問(2)の「近所の商店街のにぎわい」に比べると、活気が戻ってきているという意見が多い。

年齢別では、70歳代以上で「震災前より良くなっている」が高い。

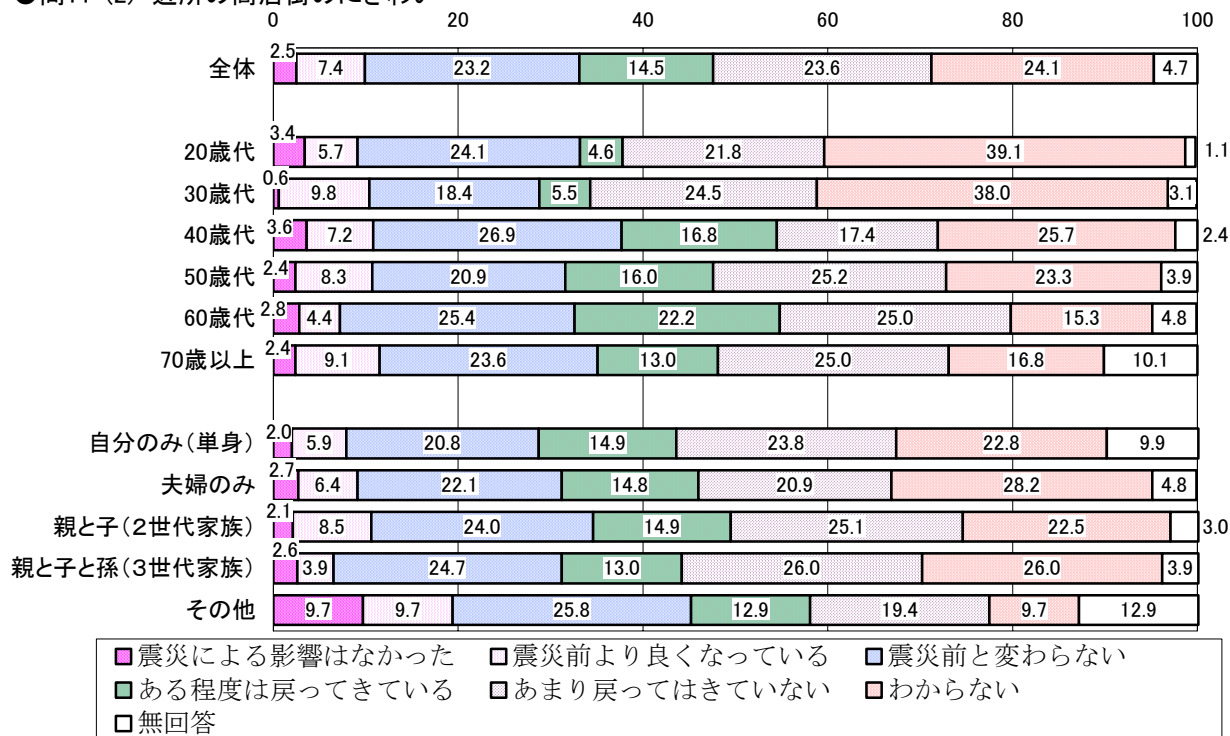
「(4) 違法駐車やゴミの出し方等のくらしのマナー」については、「震災前と変わらない」が37.0%と最も多い。また「震災前より良くなっている」は15.5%で、「わからない」を除くと第2位であるが、「あまり戻ってはきていない」も11.5%で第3位となっている。

年齢別では、60歳代と70歳代以上で「震災前より良くなっている」が高いが、70歳代以上では「あまり戻ってはきていない」もやや高い。家族構成別では、単身者において「震災前より良くなっている」が高い。

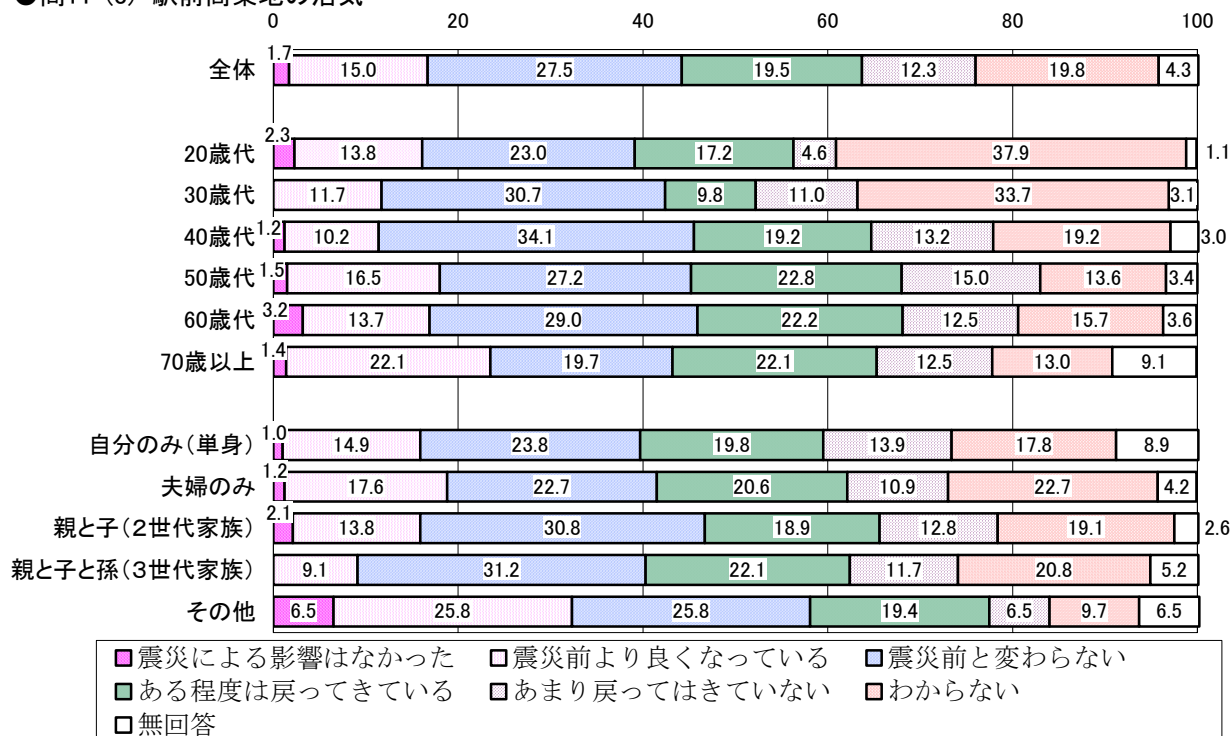
「(5) コミュニティのつながり」については、「わからない」が34.6%で最も多く、これに「震災前と変わらない」が29.9%で続く。「震災前より良くなっている」は10.9%、「あまり戻ってはきていない」9.5%で同程度である。

年齢別では、20歳代と70歳代以上で、ともに「震災前より良くなっている」が14.9%でやや高くなっている。家族構成別では、3世代家族で「震災前より良くなっている」が高い。

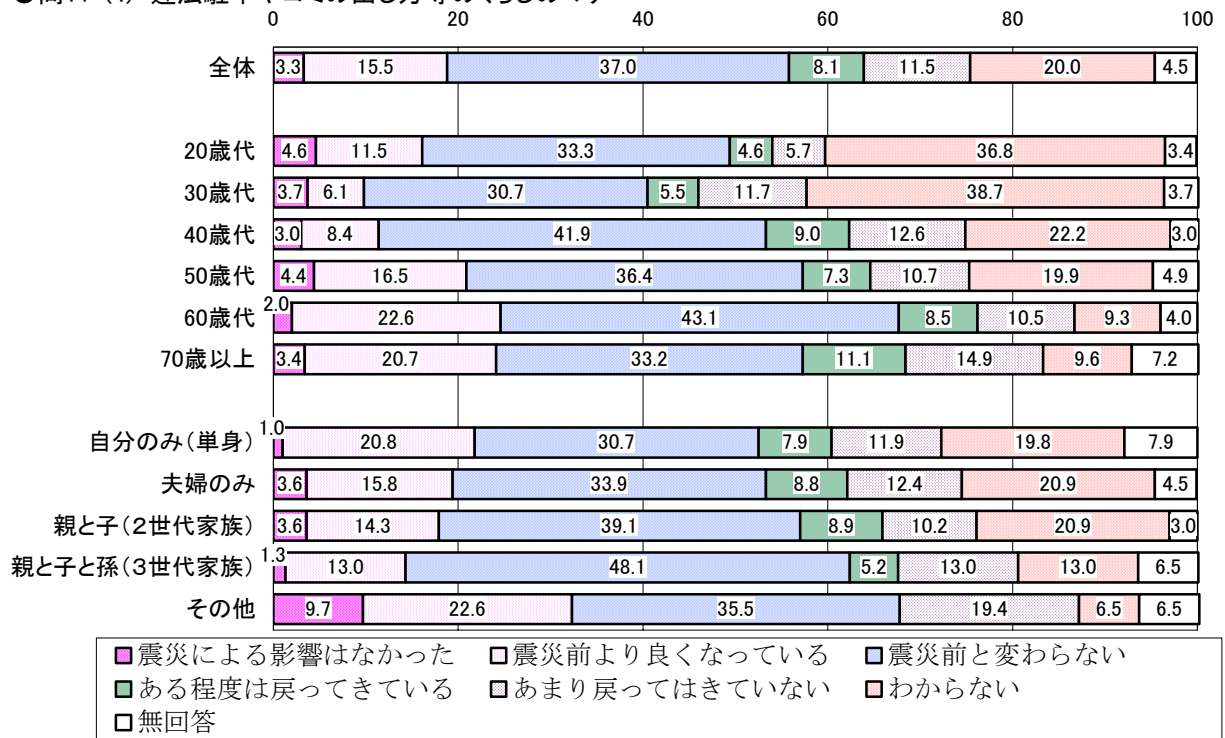
●問11-(2) 近所の商店街のにぎわい



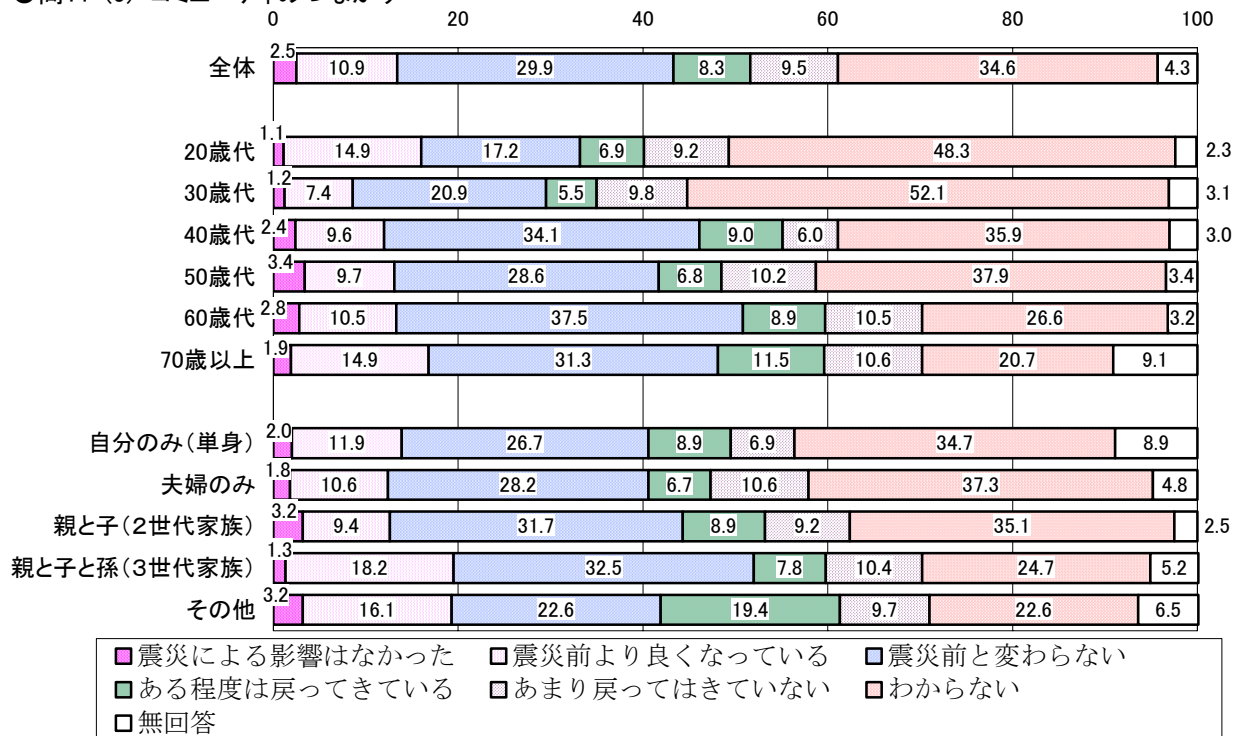
●問11-(3) 駅前商業地の活気



●問11-(4) 違法駐車やゴミの出し方等のくらしのマナー



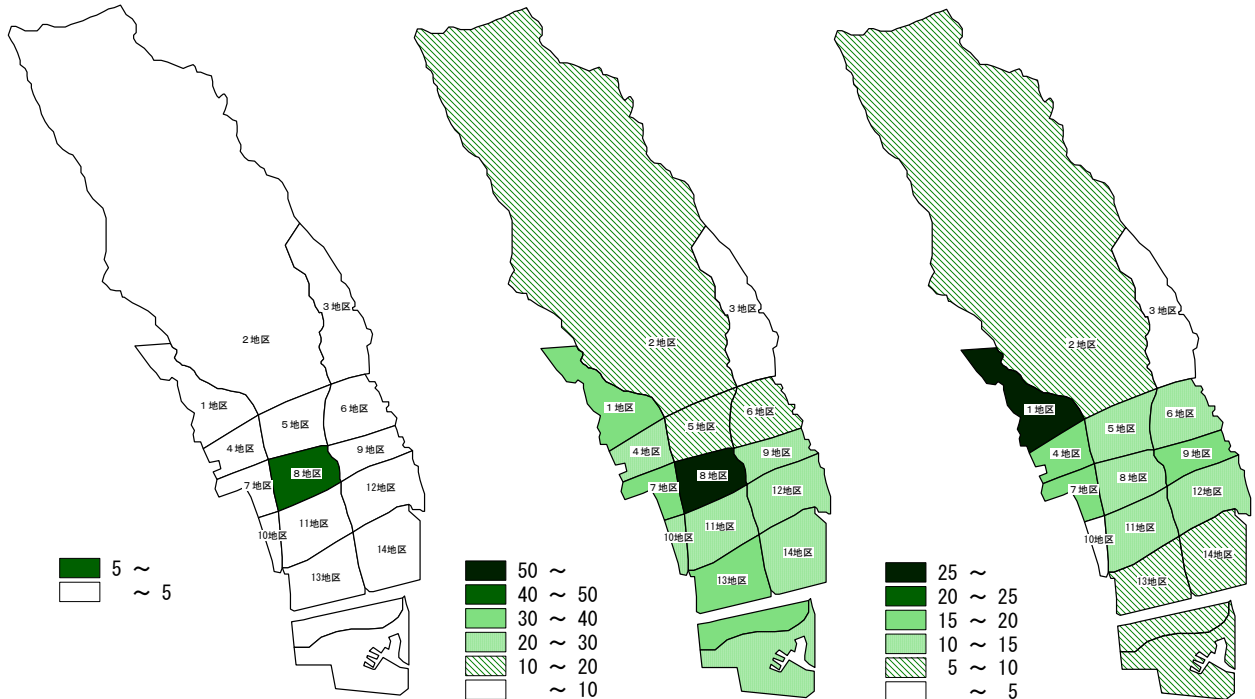
●問11-(5) コミュニティのつながり



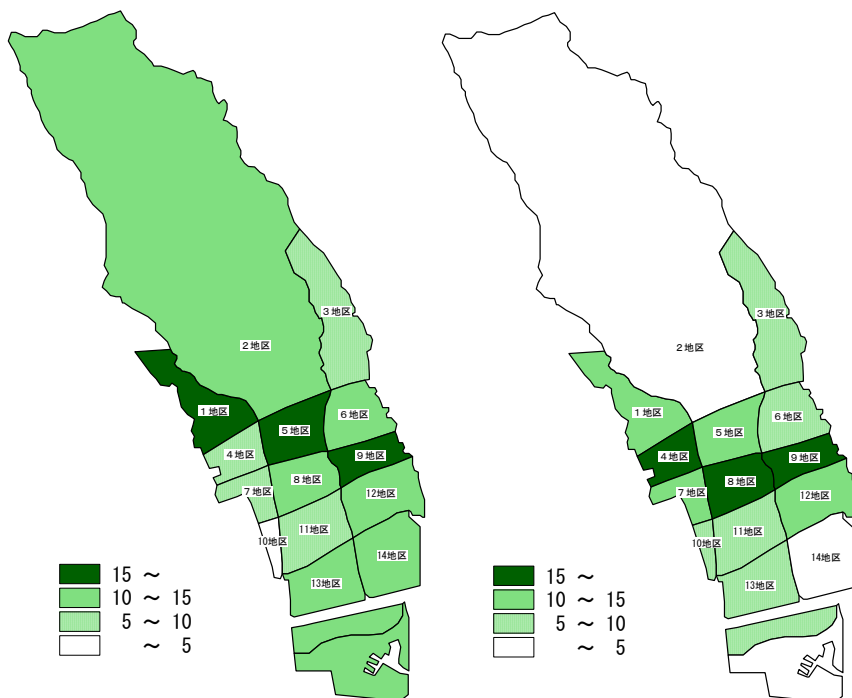
地区別にみると、(2)近所の商店街のにぎわいでは、三八通り商店街・本通商店街などがあ
る8地区で「あまり戻ってはいない」の割合が高い。また(3)駅前商業地の活気では、山手サ
ンモールなど阪急芦屋川駅周辺の商業地がある1地区で評価が低い。(5)コミュニティのつな
がりでは、8地区、4地区、9地区で「あまり戻ってはいない」とする割合が15%を超えて
いる。

●問 11-(1)～(5)「あまり戻ってはいない」の割合

(1) 地域の住宅の新築・再建状況 (2) 近所の商店街のにぎわい (3) 駅前商業地の活気



(4) くらしのマナー (5) コミュニティのつながり

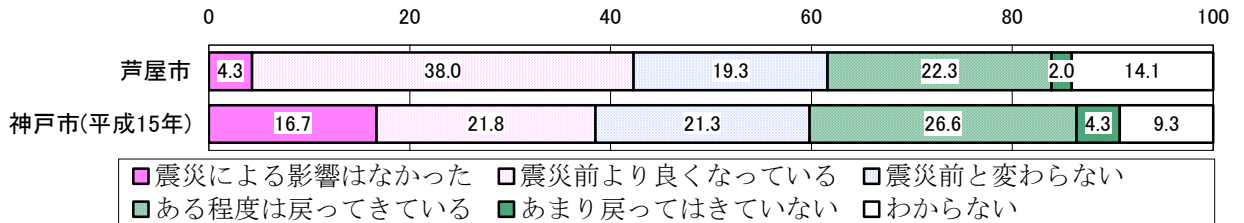


【類似調査との比較】

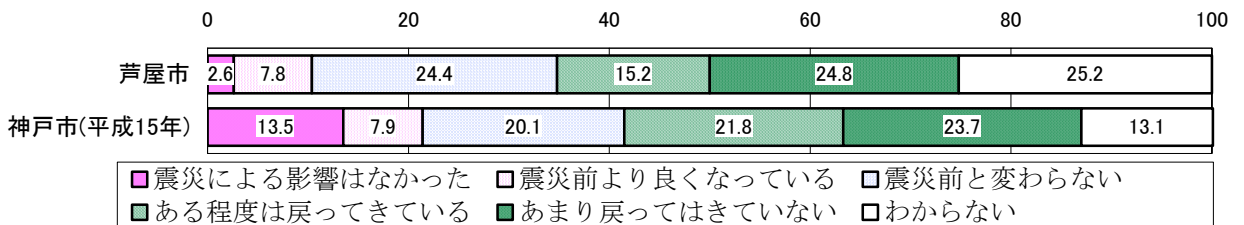
(1)～(4)について、平成15年に実施された神戸市の類似調査と比較した。

これによると、地域の住宅の再建状況や駅前商店街の活気、およびくらしのマナーなどの回復状況は、芦屋市のほうが高くなっている。

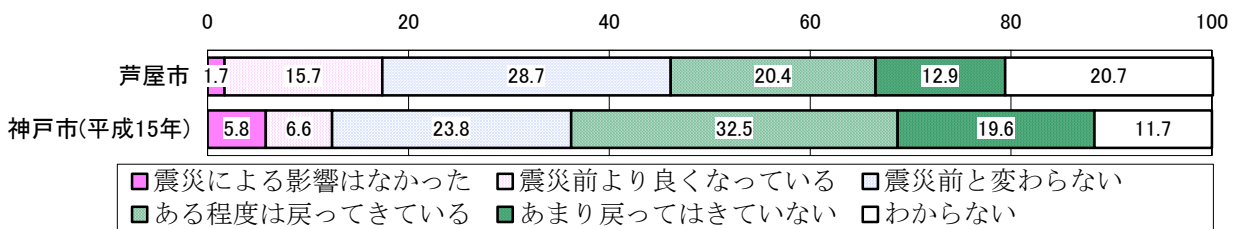
●問11-(1)お住まいの地域の住宅の再建状況



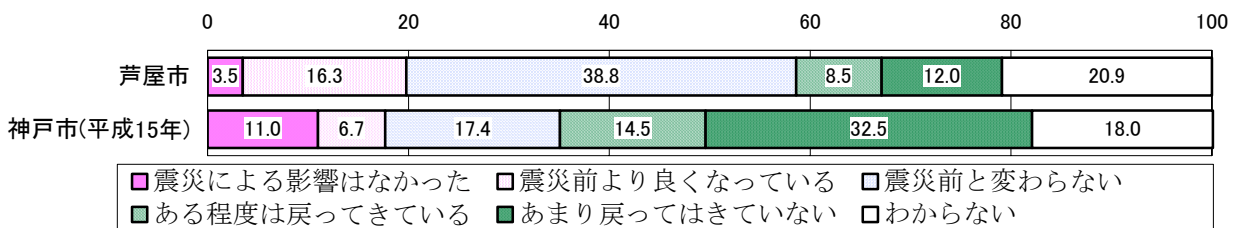
●問11-(2)近所の商店街のにぎわい



●問11-(3)駅前商業地の活気



●問11-(4)違法駐車やゴミの出し方等のくらしのマナー



*神戸市調査と比較するため、芦屋市の調査結果は無回答を除いて再計算を行った。

*神戸市調査の第3選択肢は「震災前の状態に戻っている」

*神戸市調査の設問文で、芦屋市調査と異なるものは、下の通り。

- (2) 近所の商店街や市場のにぎわい
- (3) 都心部の繁華街や商店街の活気
- (4) 違法駐車やゴミなどのマナー

あなたの暮らし向きについてお尋ねします

問 12

あなたの世帯の暮らし向きは、10年(震災)前と比べていかがでしょうか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

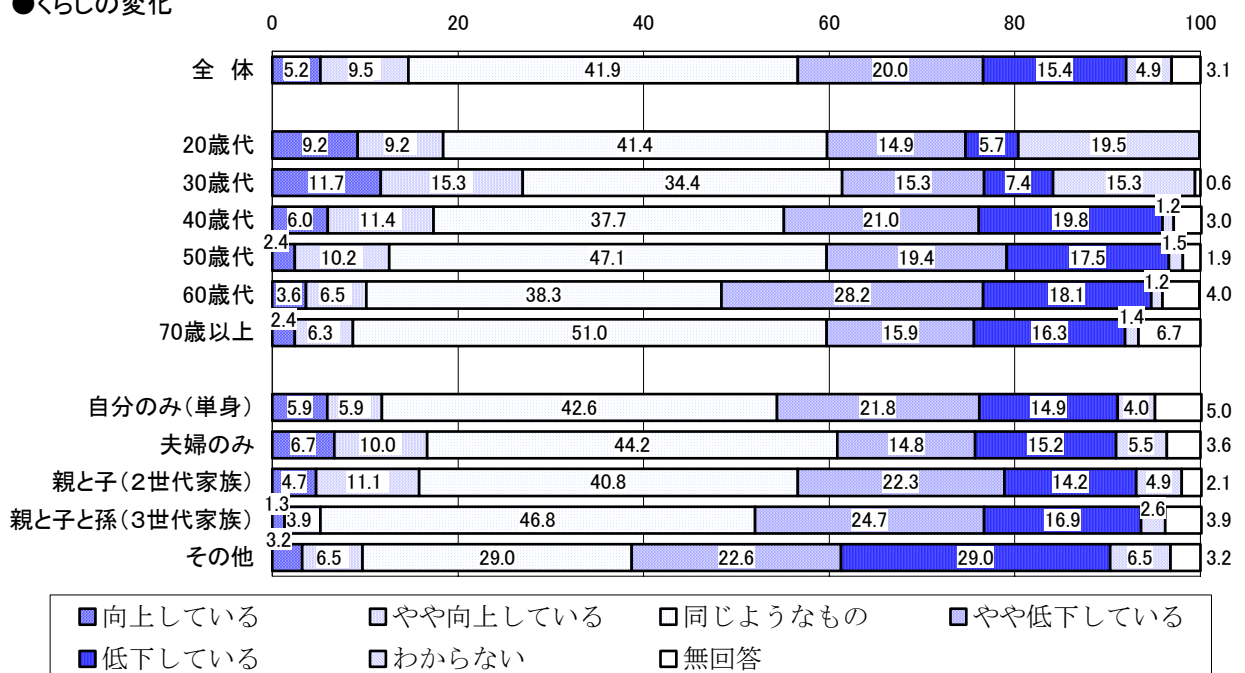
10年(震災)前との暮らし向きの比較では、「③ 同じようなもの」とする回答者が最も多く、41.9%を占める。これに「④ やや低下している」の20.0%、「⑤ 低下している」の15.4%が続き、全体的には低下傾向を示している。

●暮らしの変化



年齢別にみると、「④ やや低下している」は60歳代で平均を8ポイント上回っている。「⑤ 低下している」については40歳代~60歳代でやや高く、中高年層で暮らし向きの低下傾向が強い。

●暮らしの変化



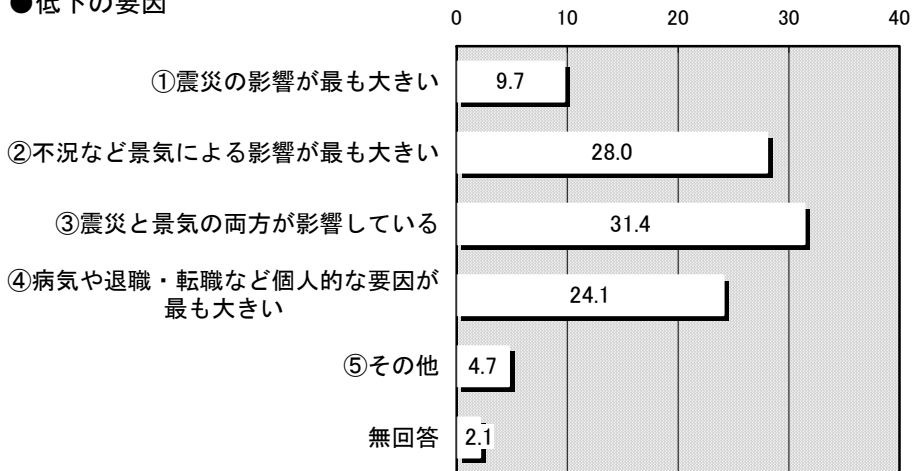
問 13

(問 12 で④か⑤を選ばれた方にお尋ねします) あなたの世帯のくらし向きが 10 年 (震災) 前と比べて低下している主な要因はどのようなことでしょうか。あてはまるものを 1 つ選んで番号をご記入ください。

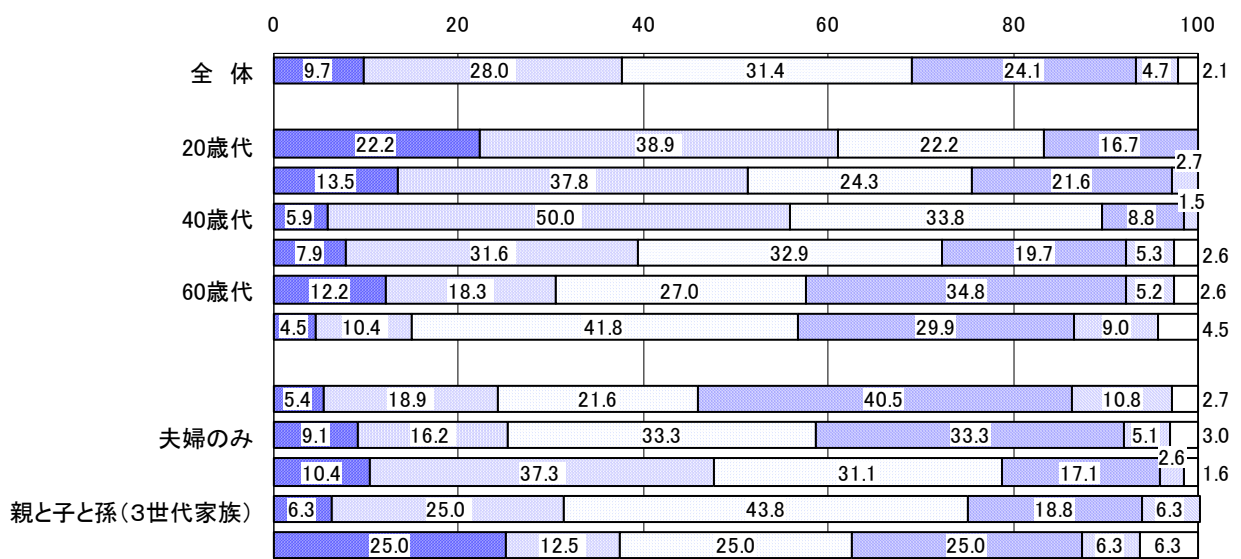
前問で「④ やや低下している」または「⑤ 低下している」とした回答者にその原因を尋ねると、「③ 震災と景気の両方が影響している」とする回答者が 31.4%で最も多く、第 2 位は「② 不況など景気による影響が最も大きい」(28.0%)、第 3 位は「④ 病気や退職・転職など個人的な要因が最も大きい」(24.1%) である。「① 震災の影響が最も大きい」と震災が単独でくらし向きを圧迫しているとする回答者は 9.7%で、比較的少ない。

年齢別には、70 歳以上の層で「③ 震災と景気の両方が影響している」の割合が高く、40 歳代で「② 不況など景気による影響が最も大きい」が高い。60 歳代では「④ 病気や退職・転職など個人的な要因が最も大きい」ほか、20 歳代で「① 震災の影響が最も大きい」が 22.2%と平均を 13 ポイントも上回っている。

●低下の要因



●低下の要因



■ 震災の影響が最も大きい
 □ 震災と景気の両方が影響している
 □ その他
 □ 不況など景気による影響が最も大きい
 ■ 病気や退職・転職など個人的な要因が最も大きい
 □ 無回答

問 14

あなたは、現在、次のことにどの程度満足されていますか。次の(1)～(6)のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

「(1) 毎日のくらし」に関しては、「やや満足している」が35.2%で最も多く、「満足している」(21.7%)がこれに次ぐ。この両者を合計した、何らかの満足度を示している回答者は56.9%である。

「(2) 自分の健康については、「やや満足している」が30.9%で首位であるが、第2位は「やや不満である」で21.1%である。

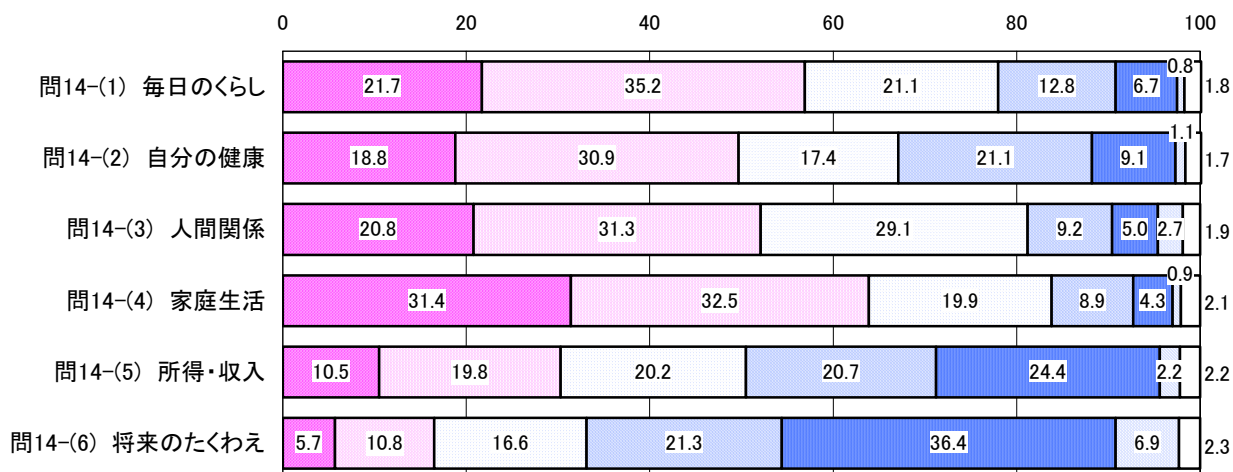
「(3) 人間関係では、「やや満足している」が31.3%で最も多い。これに「どちらでもない」の29.1%が次ぐ。

「(4) 家庭生活」に対しては「やや満足している」が32.5%、「満足している」が31.4%で、63.9%が何らかの満足感を示している。

「(5) 所得・収入」については、24.4%の回答者が「不満である」、また20.7%の回答者が「やや不満である」としており、この両者を合計すると45.1%が不満感を示している。

「(6) 将来のたくわえに関しては「不満である」が36.4%で、(1)～(6)の設問のうちでも高い。また「やや不満である」も21.3%と第2位で、この両者を合計すると、57.7%の回答者が不満感を示している。

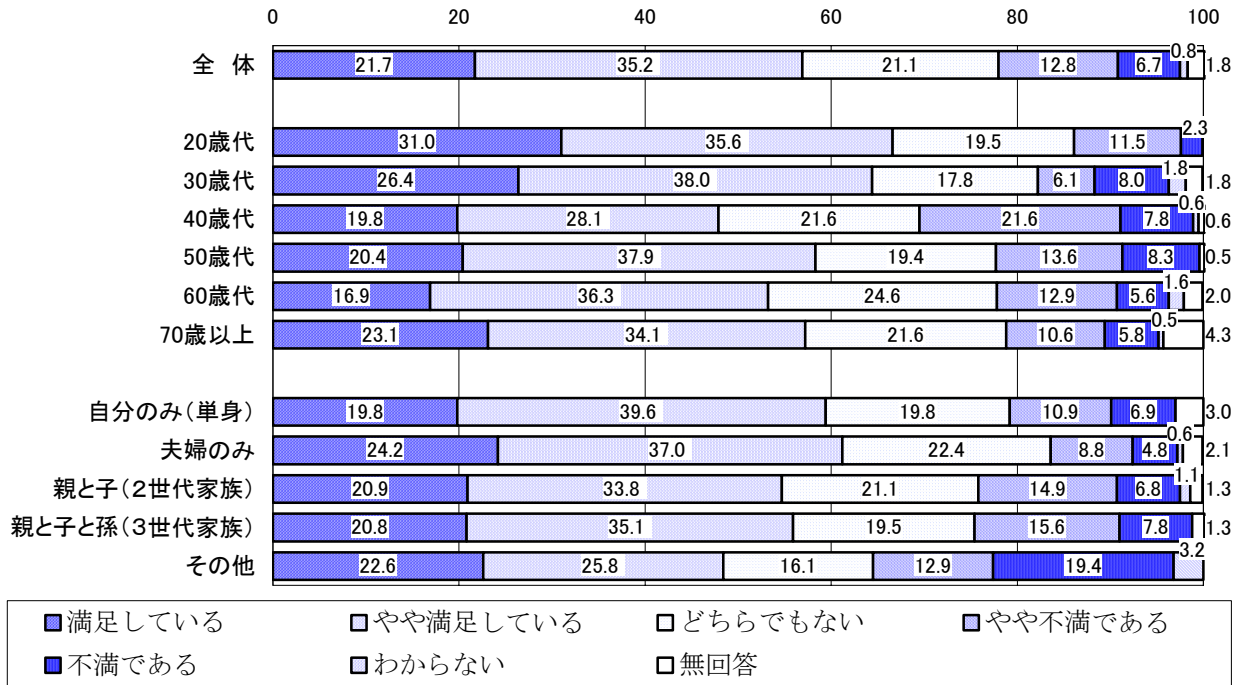
●問14-(1)～(6)生活する上での満足度



満足している
 やや満足している
 どちらでもない
 やや不満である
 不満である
 わからない
 無回答

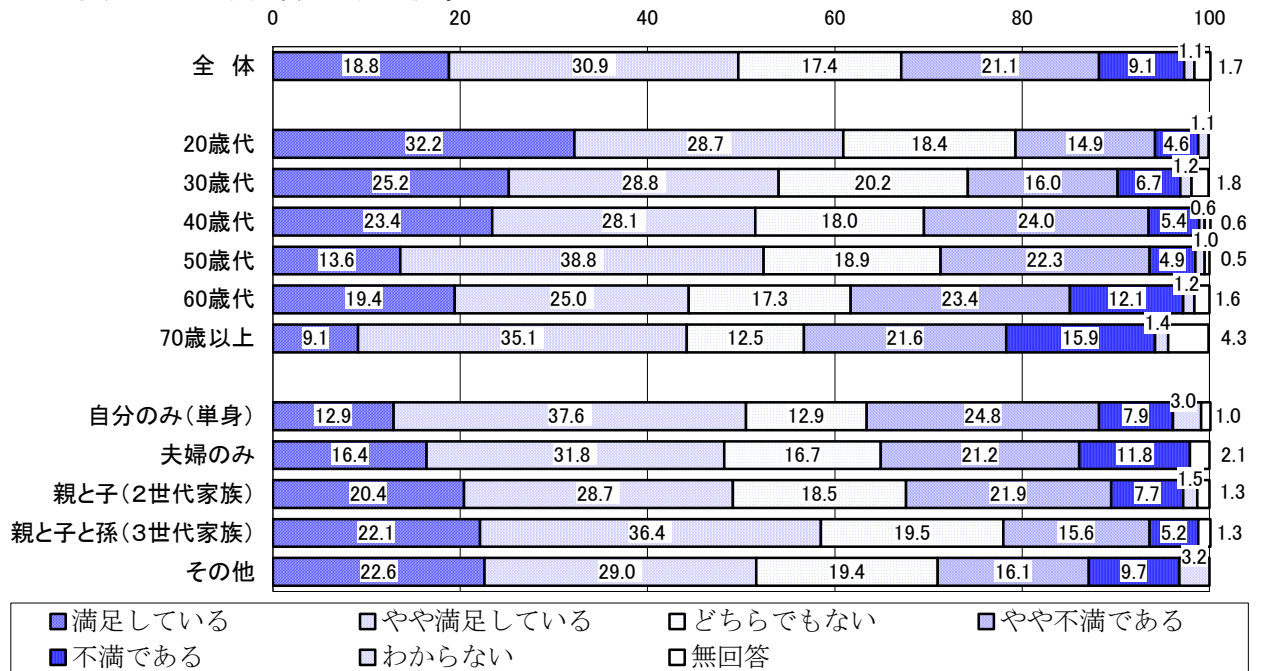
「(1)毎日のくらし」では、40歳代で「やや不満である」が高く、20歳代と30歳代で「満足している」が高い。

●生活する上での満足度／毎日のくらし



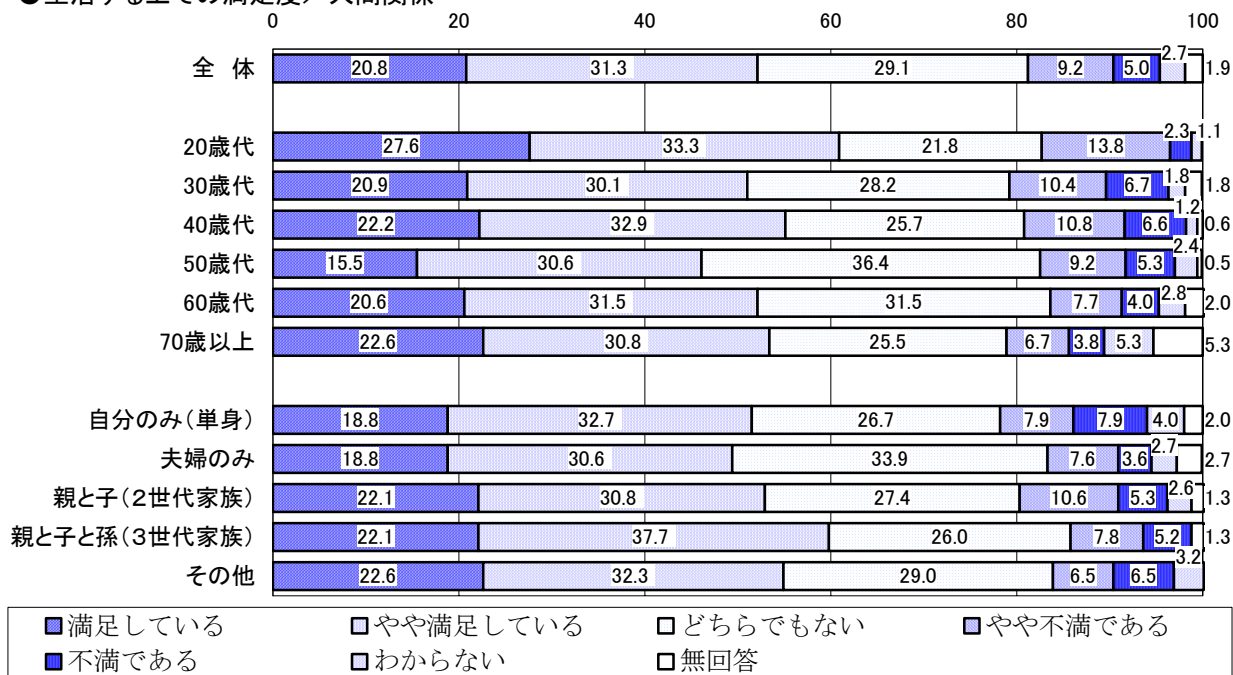
「(2)自分の健康」では、60歳代と70歳以上で「不満である」が高くなっている。

●生活する上での満足度／自分の健康



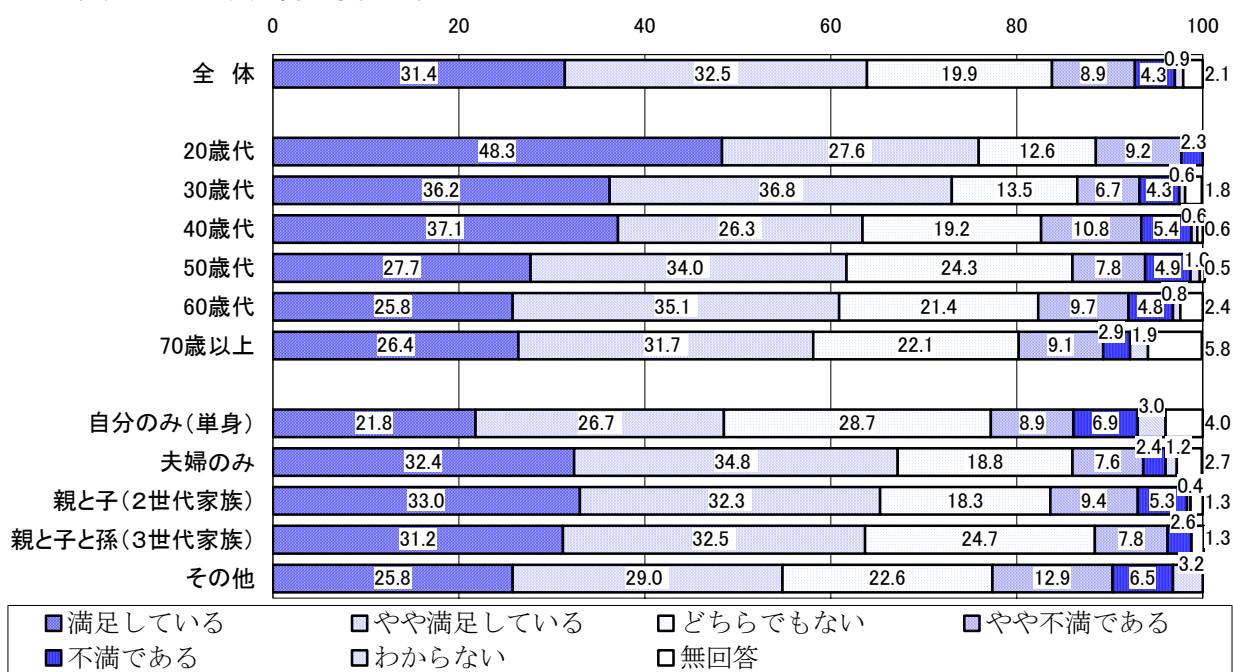
「(3)人間関係」では、20歳代で「満足している」が高いものの、「やや不満である」についても比較的高くなっている。家族構成別には単身者において「不満である」がやや高い。

●生活する上での満足度／人間関係



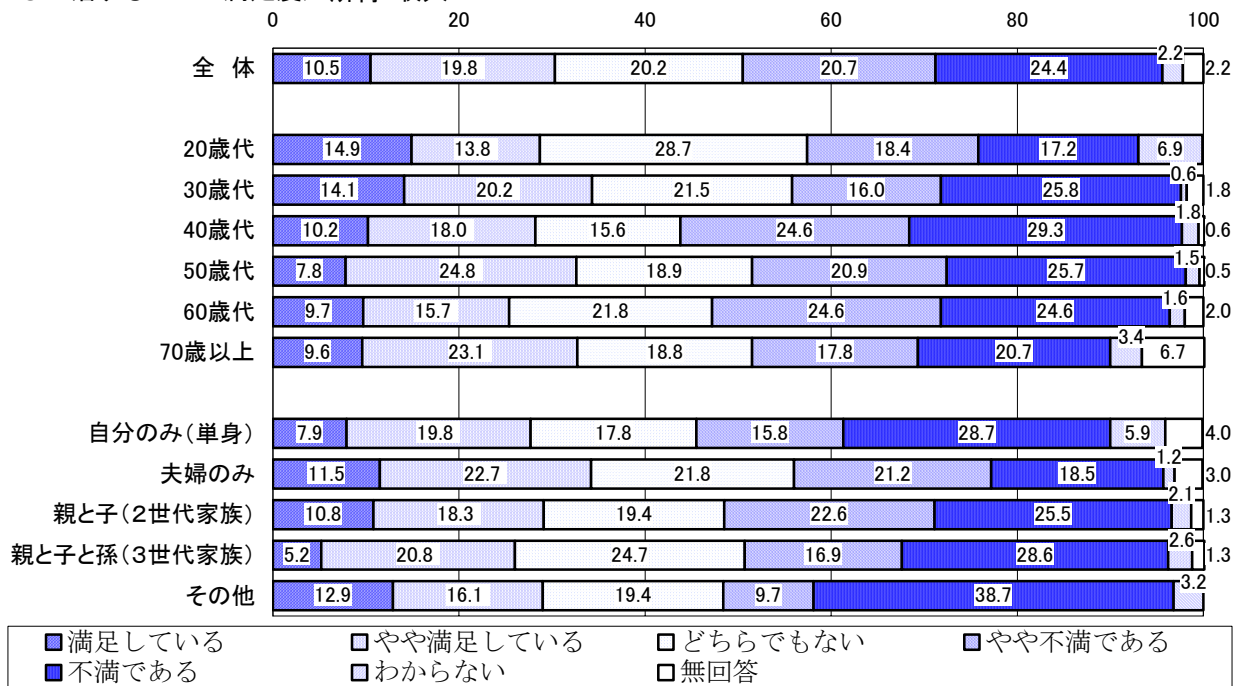
「(4)家庭生活」では、20歳代から40歳代で「満足している」とする割合が高い。家族構成別では、単身者において「満足している」が低い。

●生活する上での満足度／家庭生活



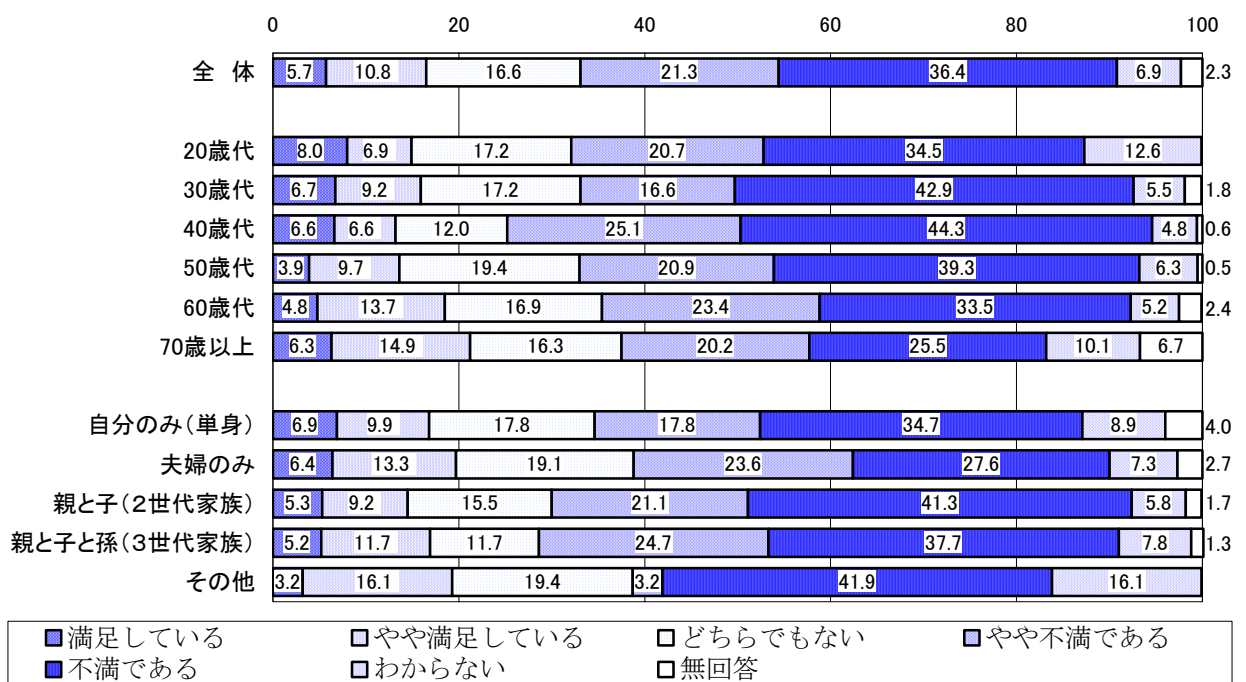
「(5)所得・収入」については、40歳代で「不満である」が高い。

●生活する上での満足度／所得・収入



「(6)将来のたくわえ」では、40歳代で「不満である」、「やや不満である」が高い。家族構成別では、2世代家族において「不満である」が高い。

●生活する上での満足度／将来のたくわえ

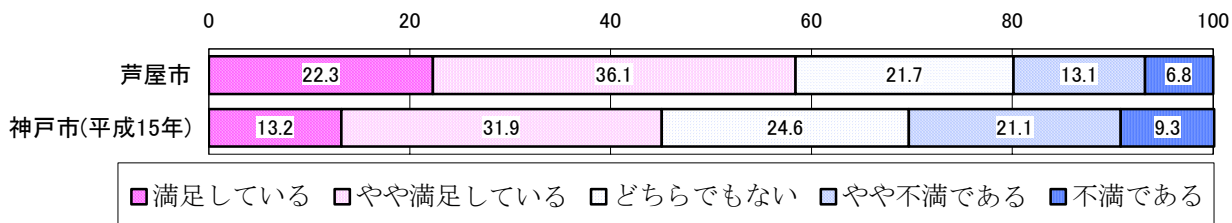


【類似調査との比較】

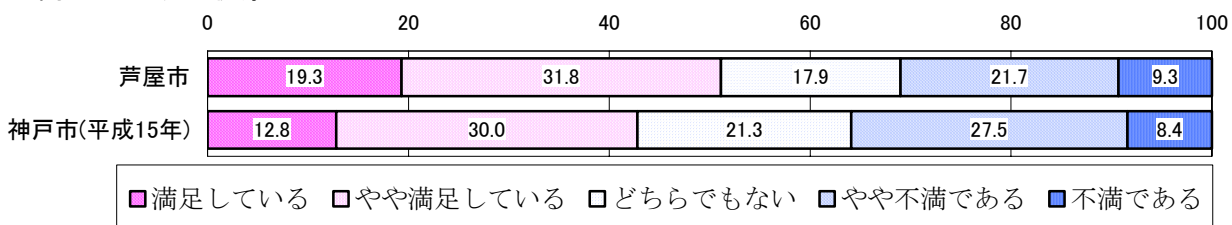
(1)～(4)について、平成15年に実施された神戸市の類似調査と比較した。

これによると芦屋市調査では、毎日のくらし、自分の健康、人間関係、家族生活の4つのすべての項目において「満足している」割合が、神戸市調査を上回っている。

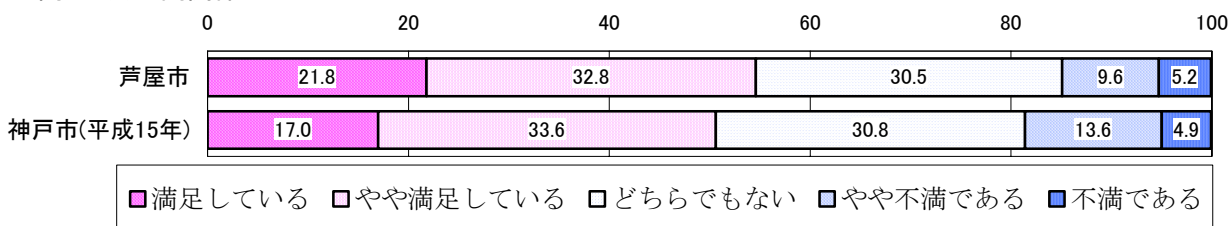
●問14-(1)毎日のくらし



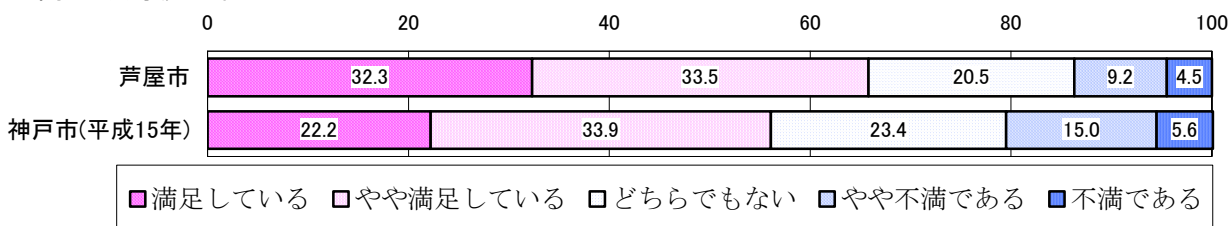
●問14-(2)自分の健康



●問14-(3)人間関係



●問14-(4)家庭生活



*神戸市調査と比較するため、芦屋市の調査結果は「わからない」と無回答を除いて再計算を行った。
*神戸市調査の設問文で、芦屋市調査と異なるものは、下の通り。

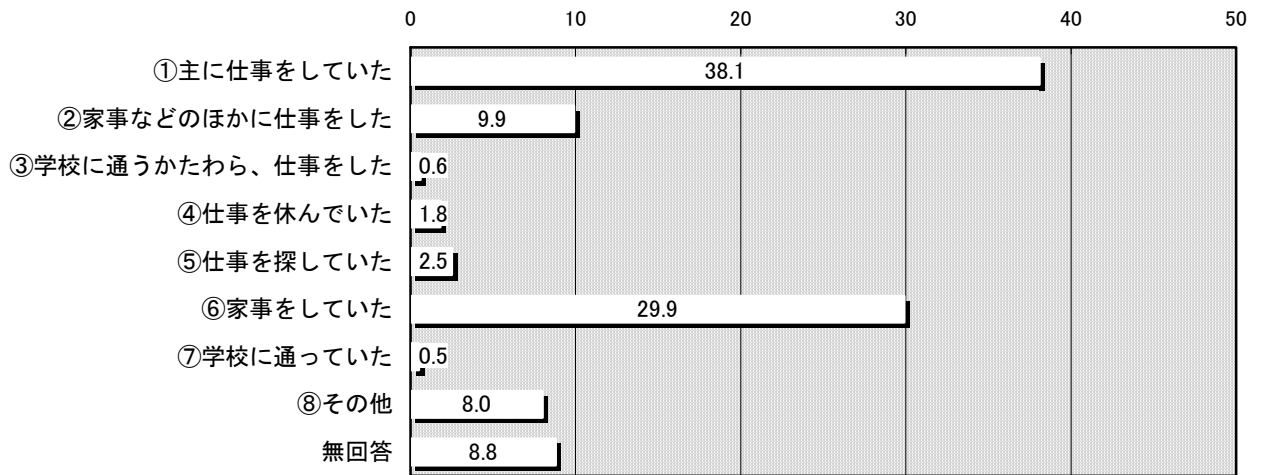
- (3)現在の人間関係
- (4)ご自分の家庭生活

問 15

あなたは、この1週間の間に、収入を得るために1時間以上の仕事（店の手伝いや内職・パート・アルバイトも含みます）をされましたか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

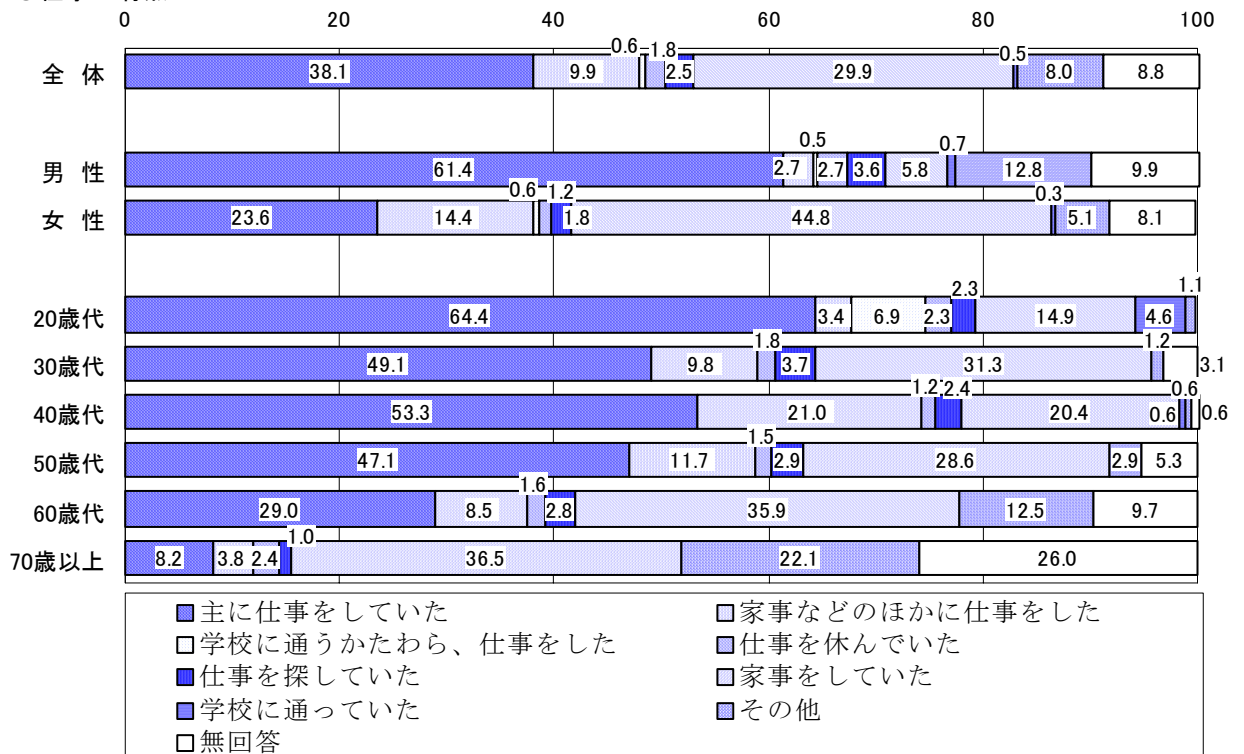
「① 主に仕事をしてきた」は 38.1%、次いで「⑥ 家事をしていた」が 29.9%である。
「⑤ 仕事を探していた」とする回答者は 2.5%である。

●仕事の有無



「⑤ 仕事を探していた」回答者を年齢別にみると、30歳代が 3.7%で最も高くなっている。

●仕事の有無

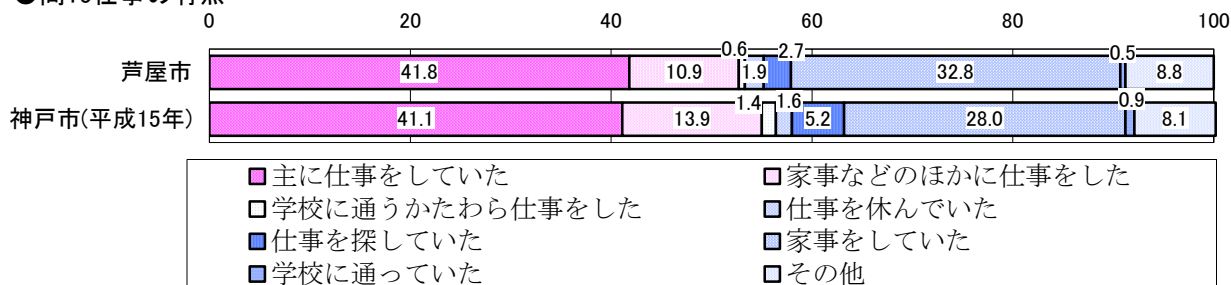


【類似調査との比較】

(1)～(4)について、平成15年に実施された神戸市の類似調査と比較した。

これによると「仕事を探していた」については、芦屋市調査は2.7%で、神戸市調査の5.2%よりも低くなっている。

●問15仕事の有無



*神戸市調査と比較するため、芦屋市の調査結果は無回答を除いた数値にしてある。

震災後の考え方や行動の変化についてお尋ねします

問 16

震災という出来事があってから、あなたの住宅に対しての考え方に変化がありましたか。次の(1)～(11)のそれぞれについて、あなたのお考えに近いものを①～④から1つ選んで番号をご記入ください。

「(1) 持家より借家が良いと思うようになった」に対して「はい」とした回答者は17.2%である。

年齢別では60歳代で「はい」が高く、家族構成別では単身者において「はい」が高い。

「(2) 市営や県営等の公営住宅に住みたいと思うようになった」について「はい」とした回答者は14.2%である。

(1)と同様に、60歳代と単身者において「はい」が高い。

「(3) 住宅や土地の資産性に疑問を持つようになった」に対しては39.7%の回答者が「はい」と答えている。

年齢別では40歳代で「はい」が高く、60歳代と50歳代においてもやや高い。

「(4) 戸建住宅が良いと思うようになった」については、25.7%の回答者が「はい」としている。

年齢別では20歳代で「はい」が高く、家族構成別では3世代家族において「はい」が高い。

「(5) 集合住宅が良いと思うようになった」に対しては、14.9%が「はい」としており、戸建住宅志向(25.7%)に比べると低い。

年齢別では60歳代と70歳以上で「はい」が高く、家族構成別では夫婦のみにおいて「はい」が高い。

「(6) 高齢者等の利用に配慮した住宅・設備への関心が強くなった」については、65.9%の回答者が「はい」としており、高い。

年齢別では60歳代と50歳代で「はい」が高く、家族構成別では3世代家族と単身者において「はい」が高い。

「(7) 住宅や住環境の安全性について注意するようになった」については、83.5%が「はい」としており、高い。

「(8) 多少高くとも耐震性の高い住宅に住みたくなった」に対しては、70.3%の回答者が

「はい」としている。

年齢別では20歳代で「はい」が平均を14ポイントも上回っている。家族構成別では2世代家族において「はい」が高い。

「(9) 近所づきあいが大切だと思うようになった」については、59.3%の回答者が「はい」と答えている。

年齢別では60歳代で「はい」がやや高くなっている。家族構成別では3世代家族において「はい」が高い。

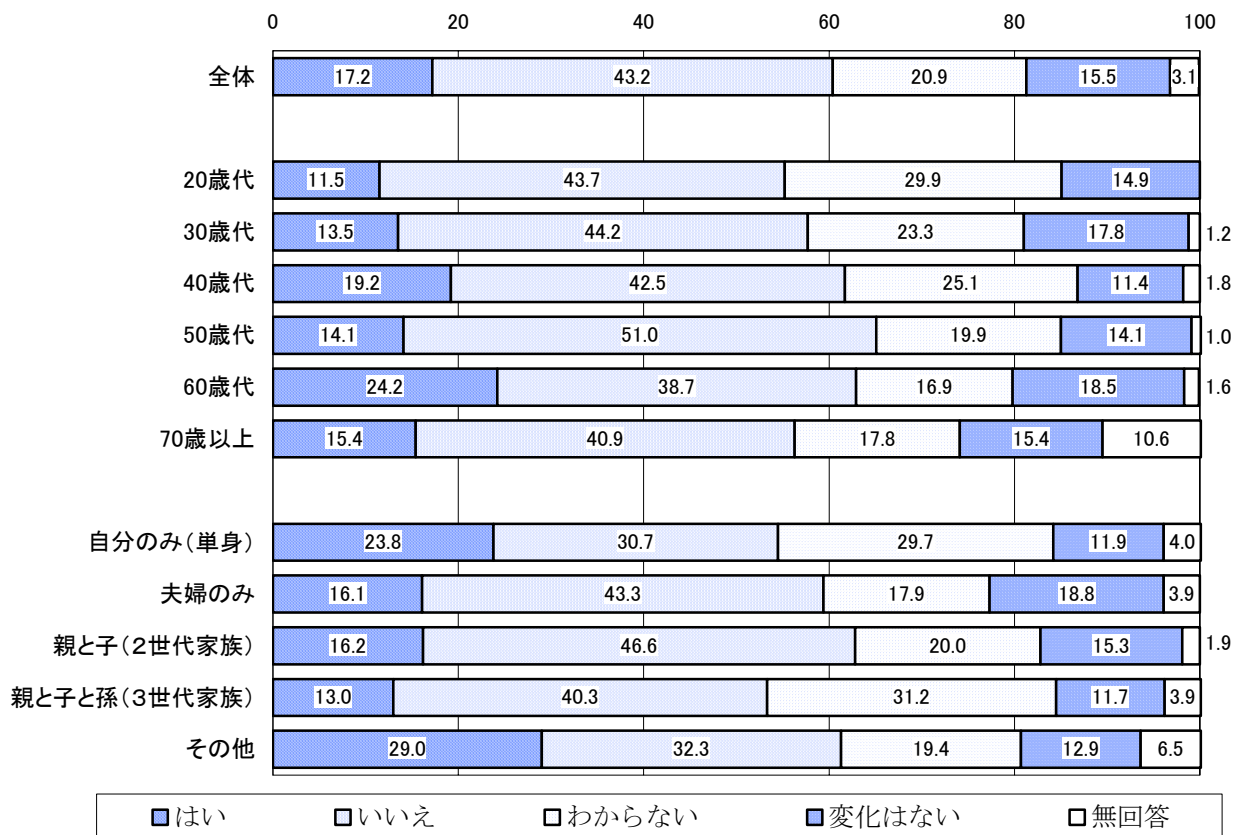
「(10) 親と子は身近に住むのが良いと思うようになった」については、51.7%の回答者が「はい」としている。

年齢別では20歳代と70歳代以上で「はい」が高く、家族構成別では3世代家族において「はい」が平均を18ポイントも上回っている。

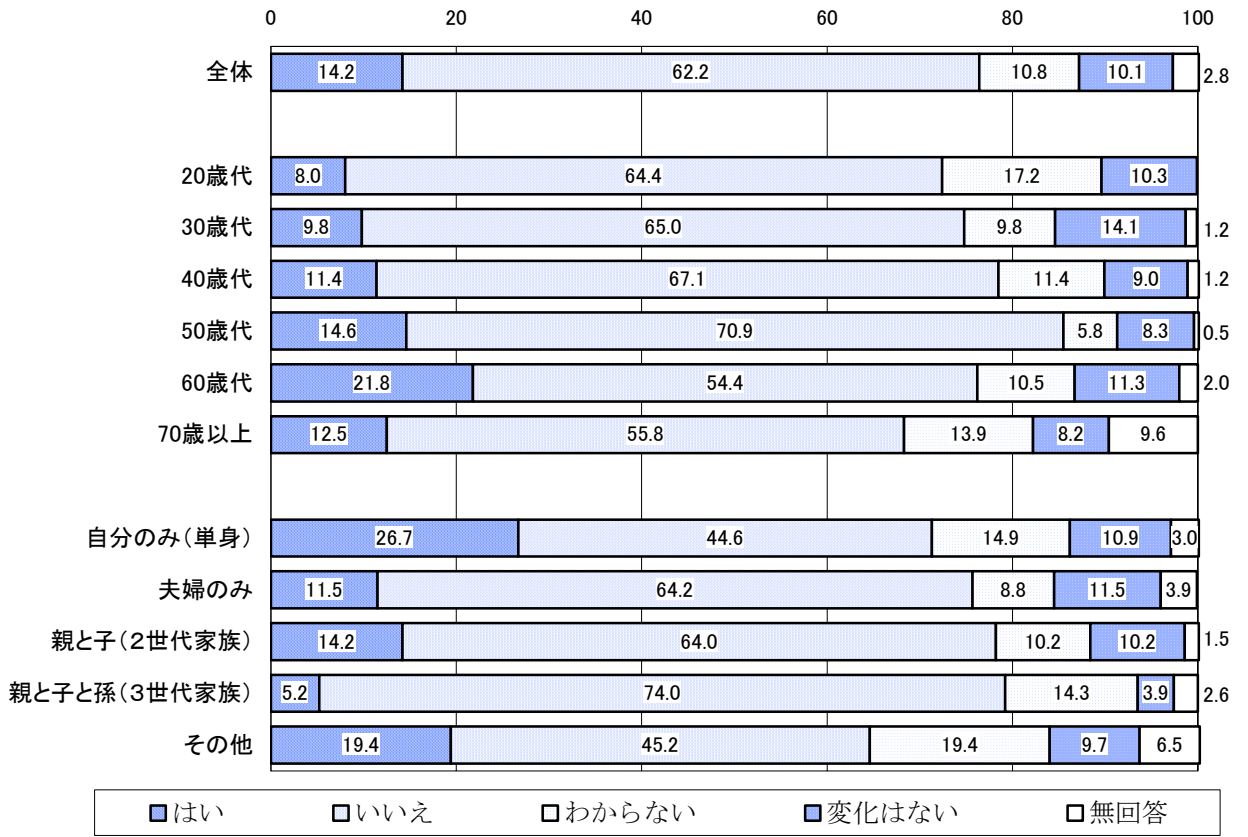
「(11) 都市に住むより、自然が豊かな農山村地域で生活したくなった」については、16.3%の回答者が「はい」としている。

年齢別では40歳代で「はい」が高く、家族構成別では3世代家族において「はい」が高い。

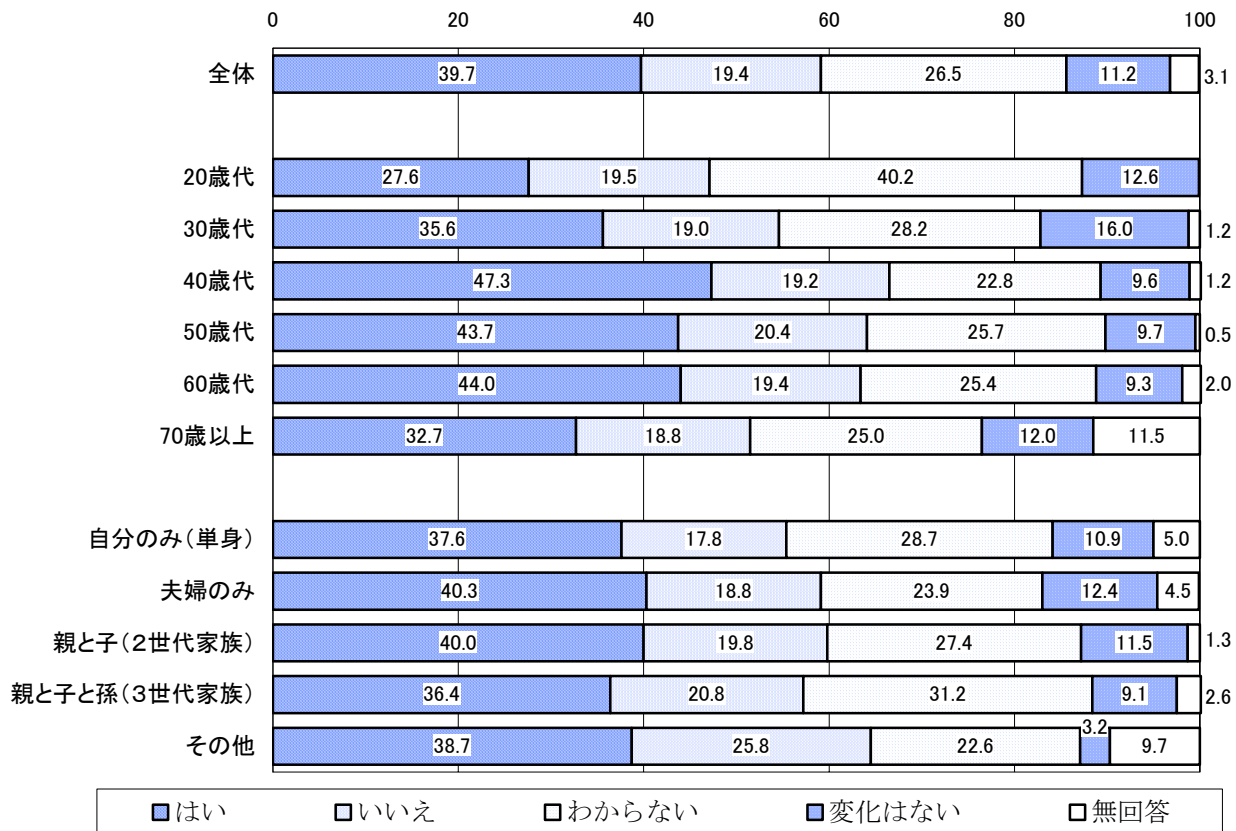
●問16-(1) 持家より借家が良いと思うようになった



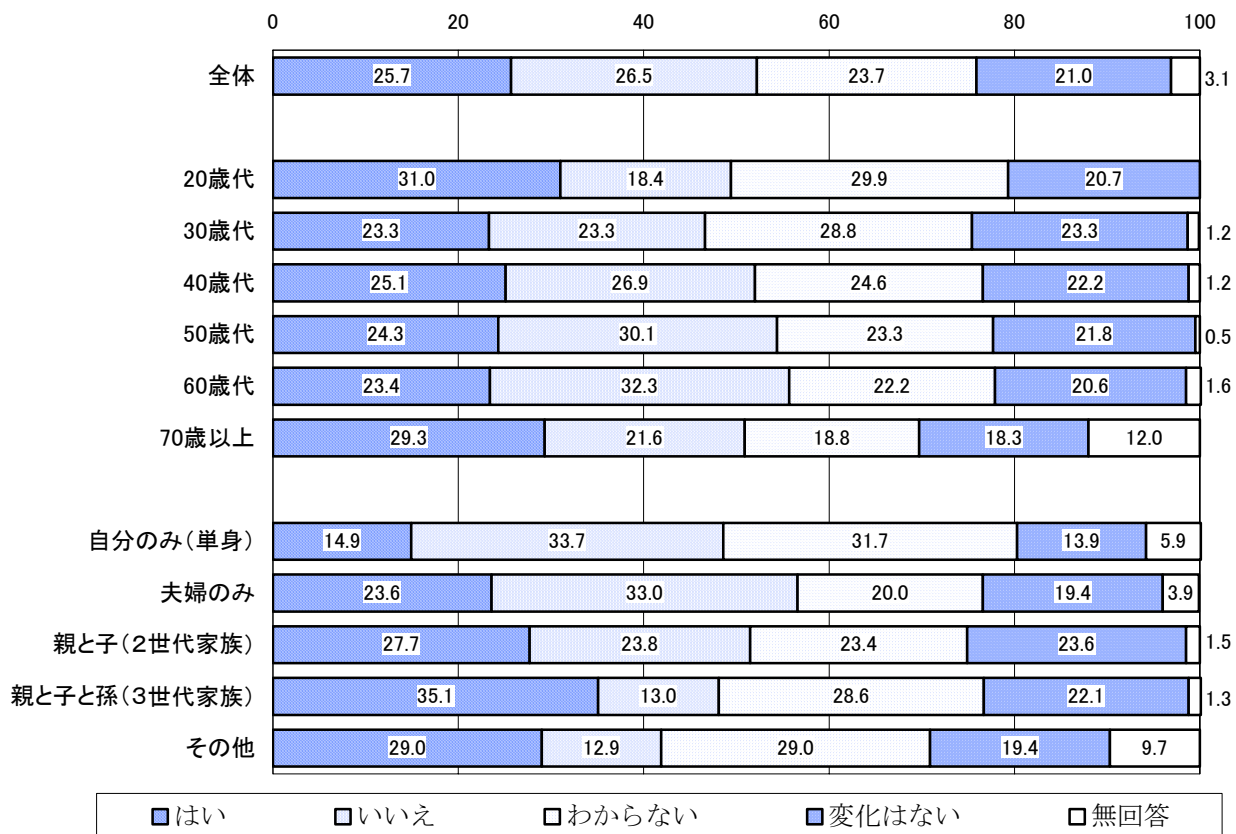
●問16-(2) 市営や県営等の公営住宅に住みたいと思うようになった



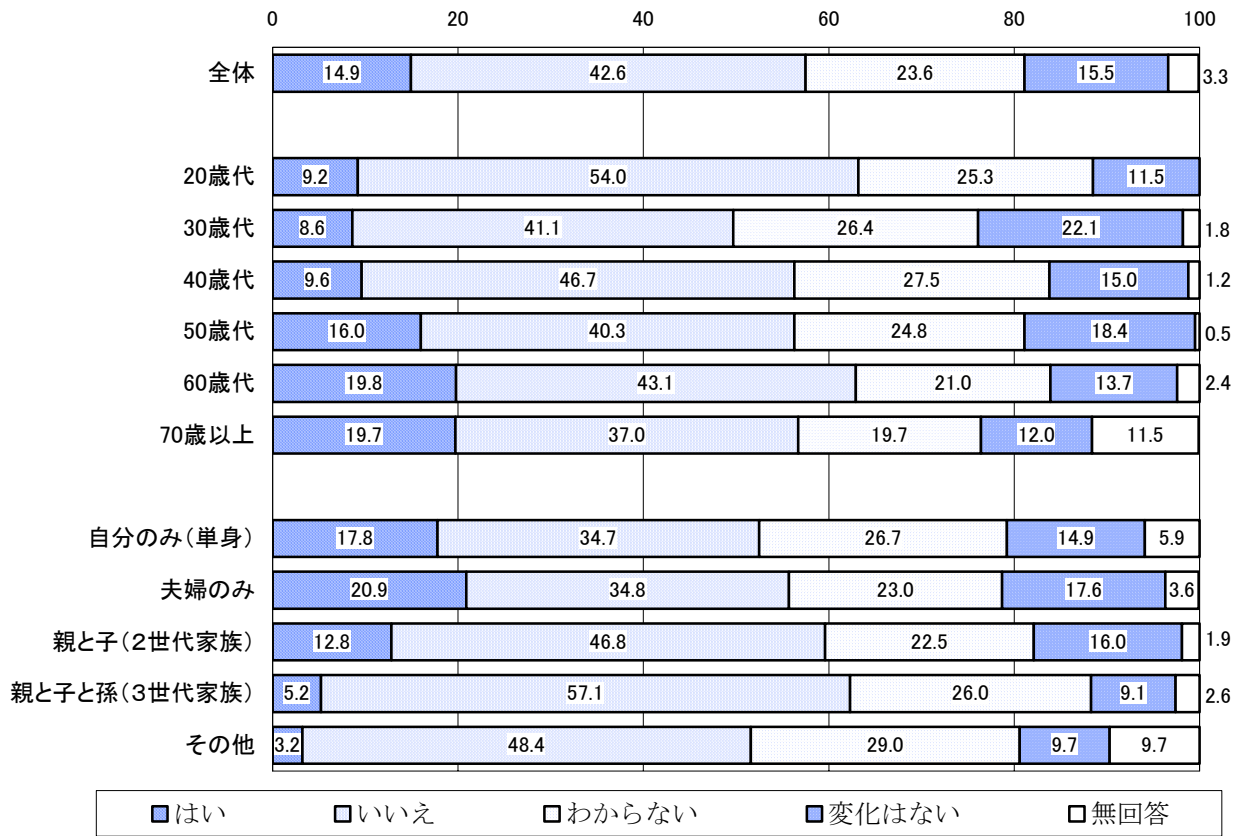
●問16-(3) 住宅や土地の資産性に疑問を持つようになった



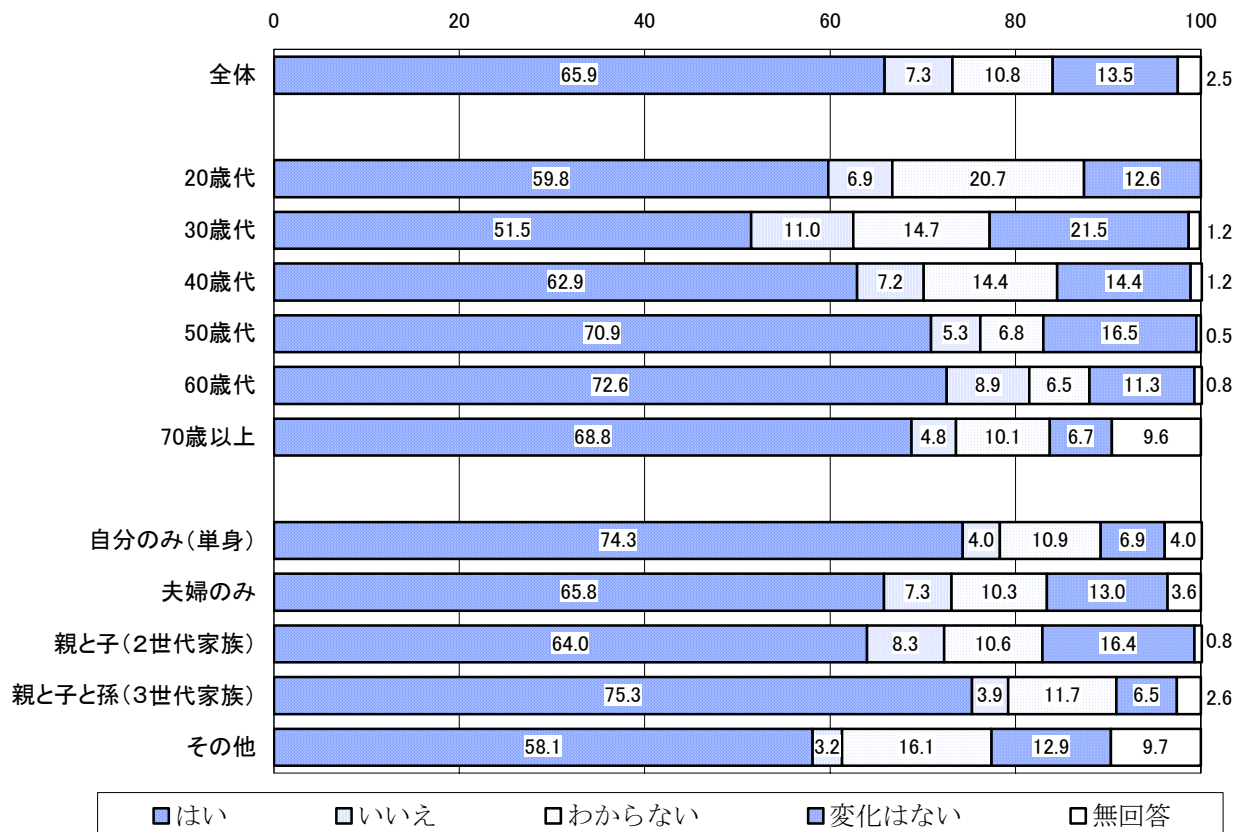
●問16-(4) 戸建住宅が良いと思うようになった



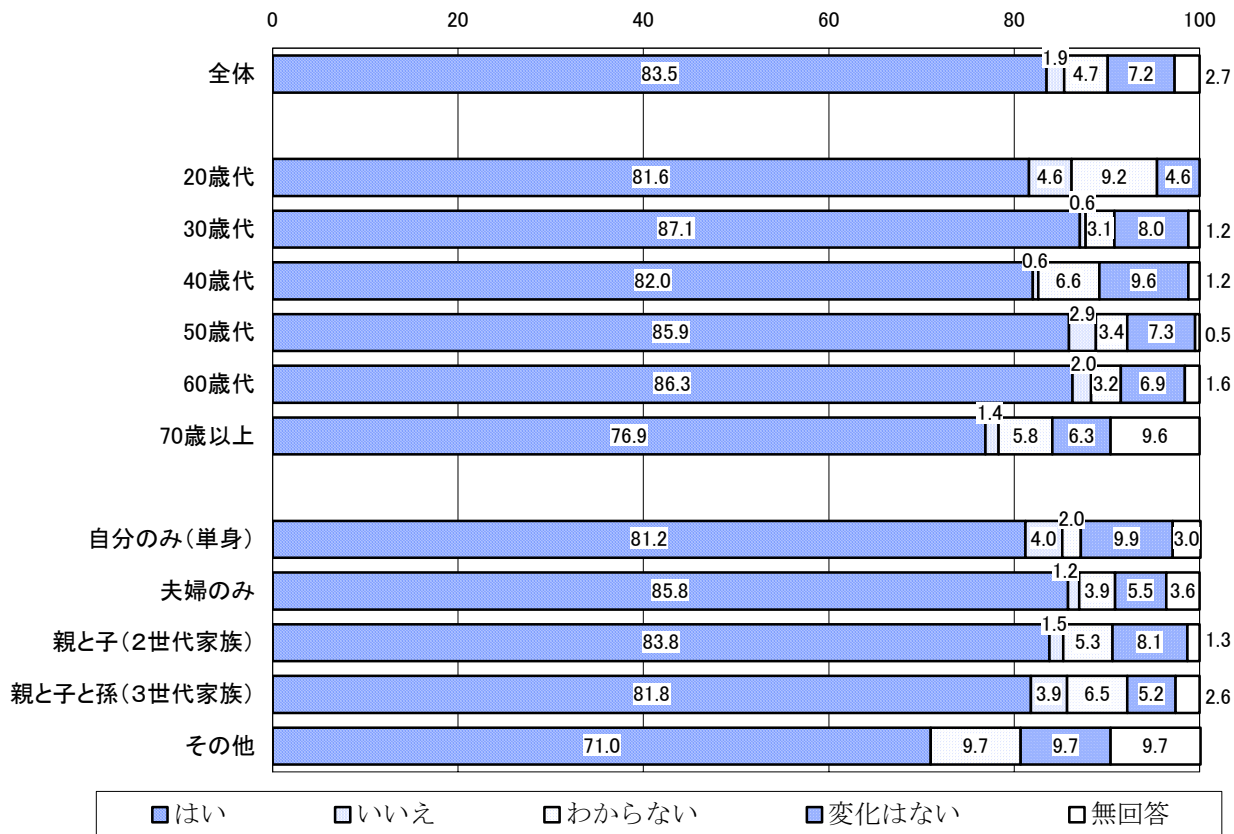
●問16-(5) 集合住宅が良いと思うようになった



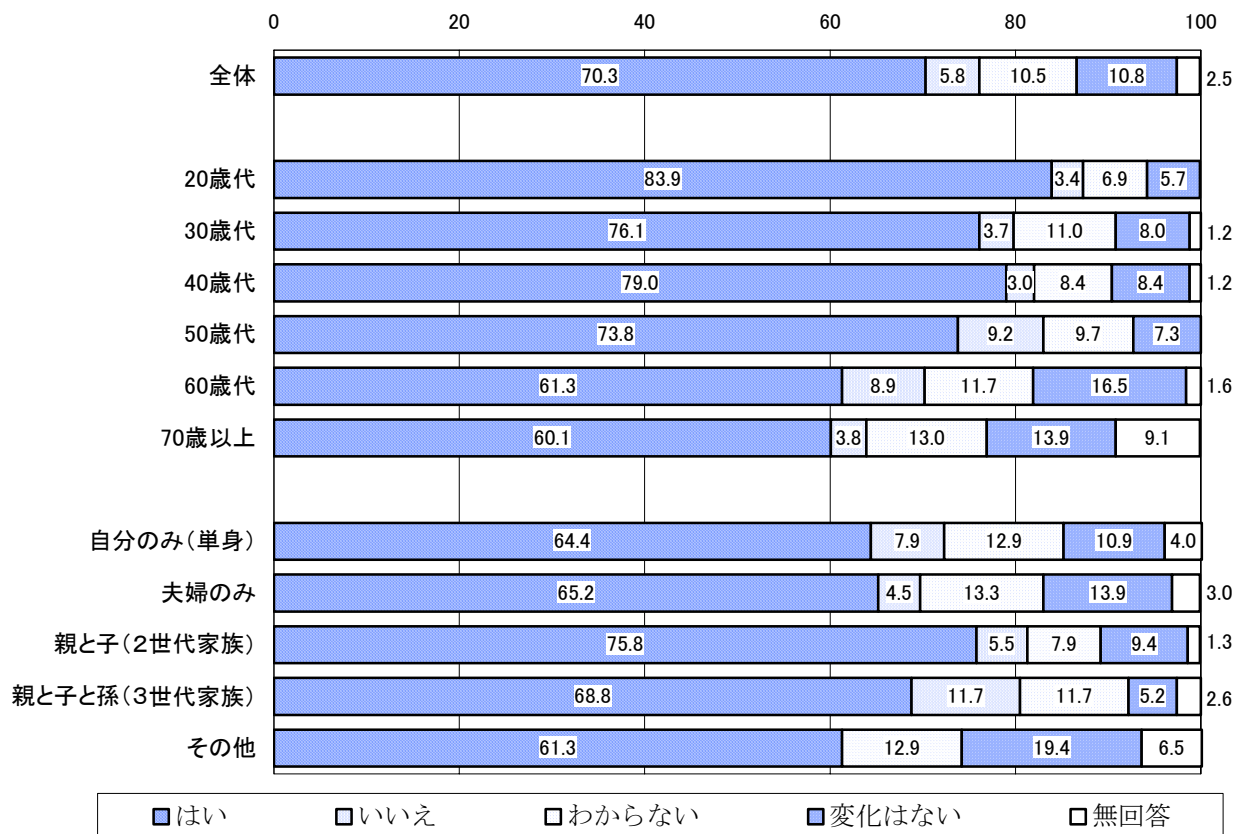
●問16-(6) 高齢者等の利用に配慮した住宅・設備への関心が強くなった



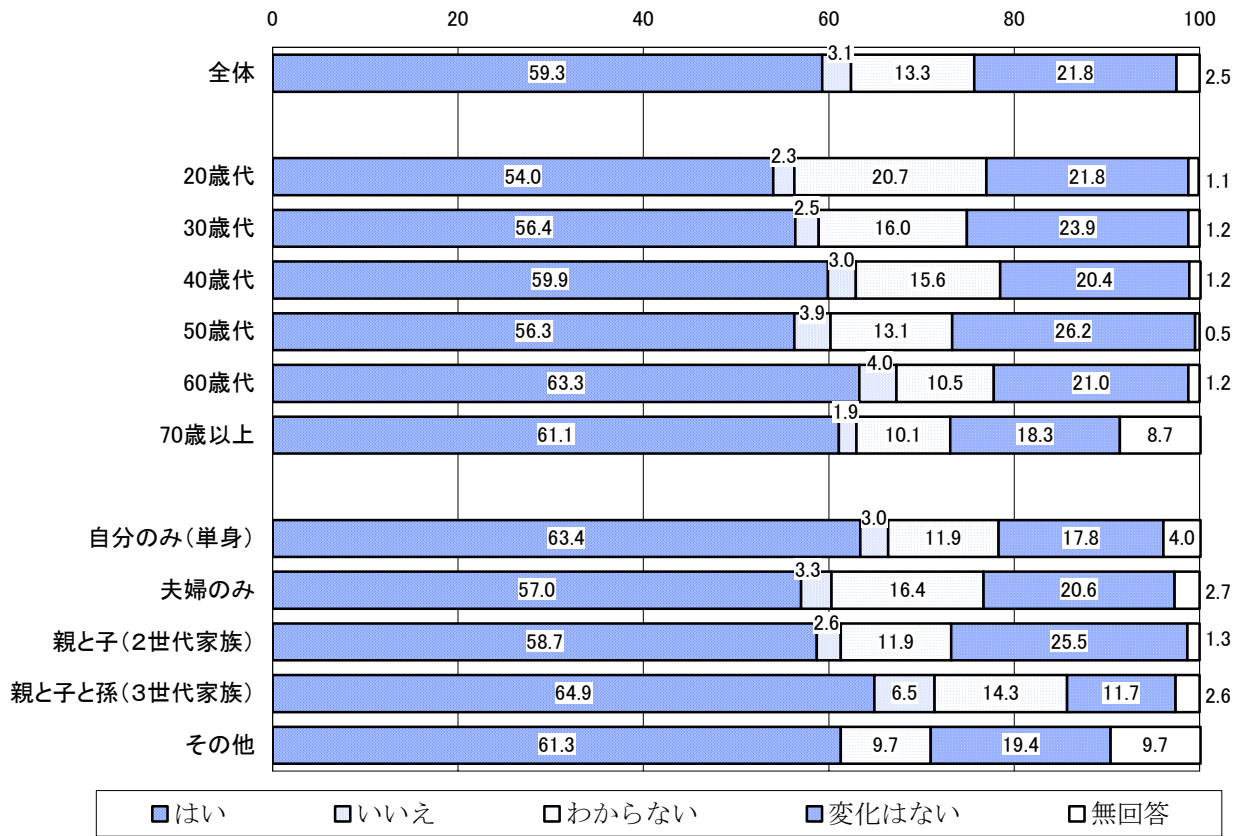
●問16-(7) 住宅や住環境の安全性について注意するようになった



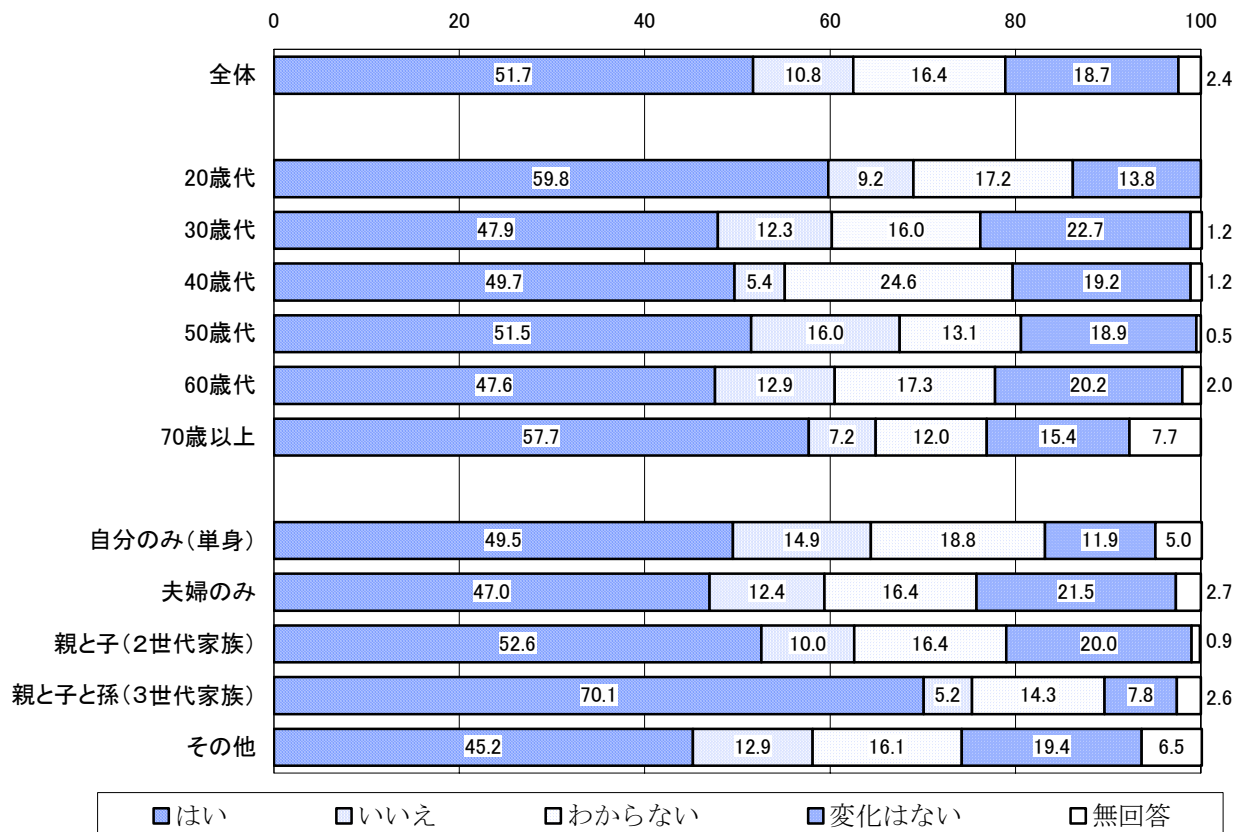
●問16-(8) 多少高くとも耐震性の高い住宅に住みたくなった



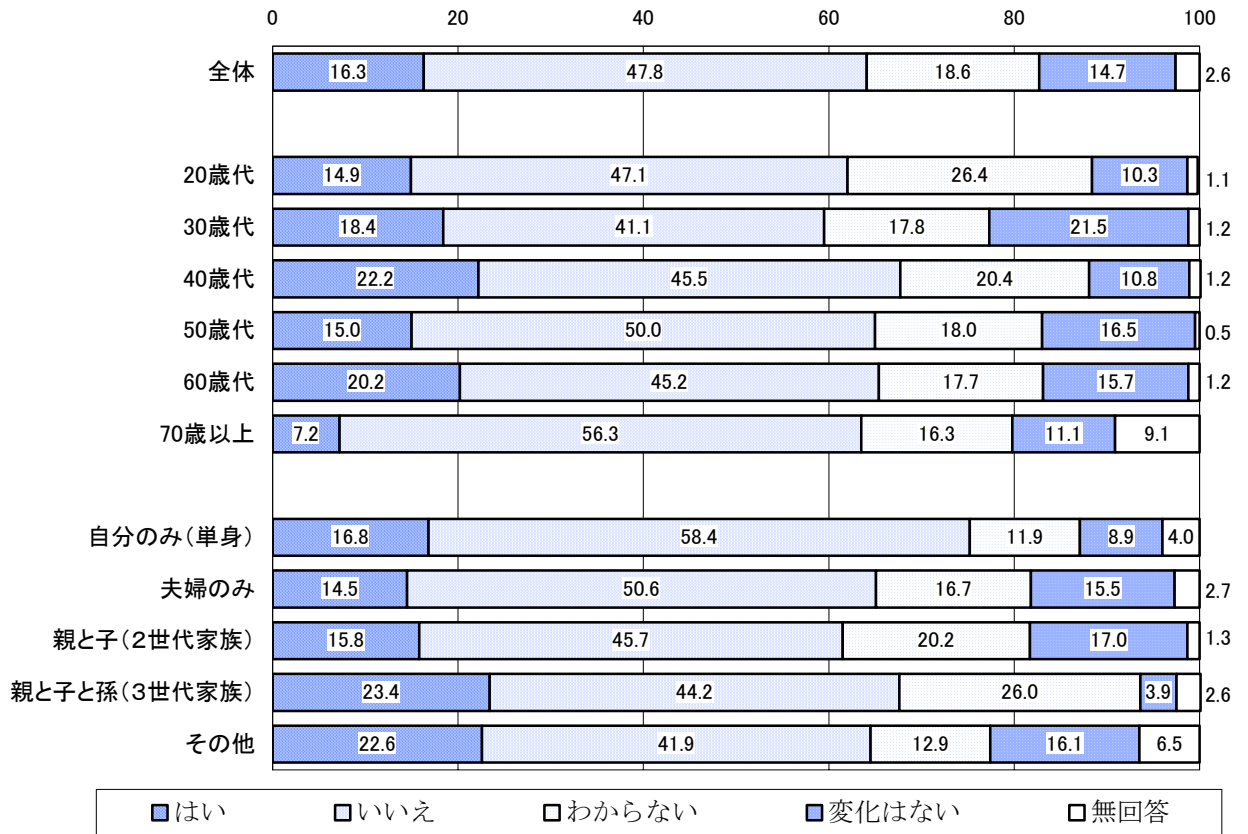
●問16-(9) 近所づきあいが大切だと思うようになった



●問16-(10) 親と子は身近に住むのが良いと思うようになった



●問16-(11) 都市に住むより、自然が豊かな農山村地域で生活したくなった



(1)～(11)について、「はい」と回答した割合を、現在の住宅形式ごとにみた。

「(1) 持家より借家が良いと思うようになった」については、公社・公団、県営・市営の賃貸住宅で、半数弱にのぼっている。民間の賃貸住宅入居の回答者についても、一戸建て・長屋建てでは34.3%、賃貸マンションでは30.6%と高い。

「(2) 市営や県営等の公営住宅に住みたいと思うようになった」については、県営・市営の賃貸住宅入居者で58.1%とたいへん高い。

「(3) 住宅や土地の資産性に疑問を持つようになった」については、(1)(2)のような顕著な差はないものの、分譲マンションなどの持ち家で高い。

「(4) 戸建住宅が良いと思うようになった」については、戸建て等の持ち家で高い。

「(5) 集合住宅が良いと思うようになった」については、県営・市営の賃貸住宅が高く、分譲マンションなどの持ち家がこれに次いでいる。

「(6) 高齢者等の利用に配慮した住宅・設備への関心が強くなった」については、県営・市営の賃貸住宅入居の回答者が高い。

「(7) 住宅や住環境の安全性について注意するようになった」については、顕著な差はないが分譲マンションの持ち家が比較的高い。

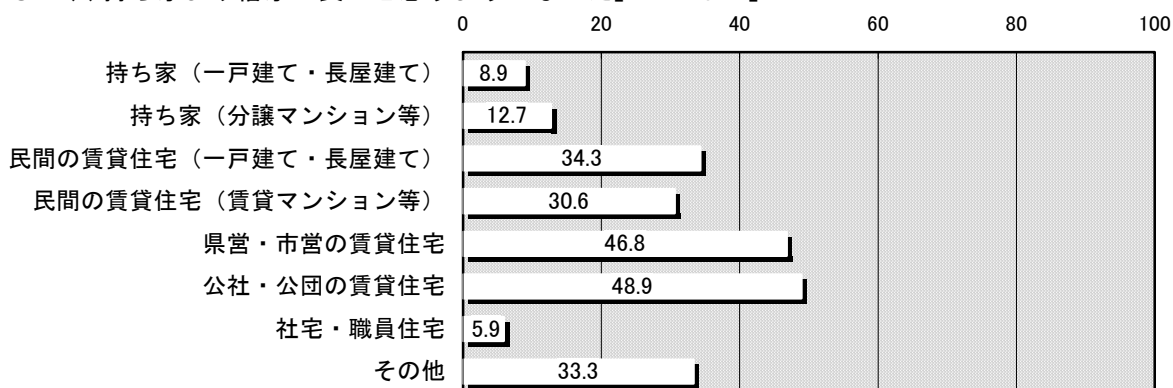
「(8) 多少高くとも耐震性の高い住宅に住みたくなった」については、社宅・職員住宅入居者で高い。

「(9) 近所づきあいが大切だと思うようになった」については、一戸建て・長屋建ての民間賃貸住宅入居者で高い。

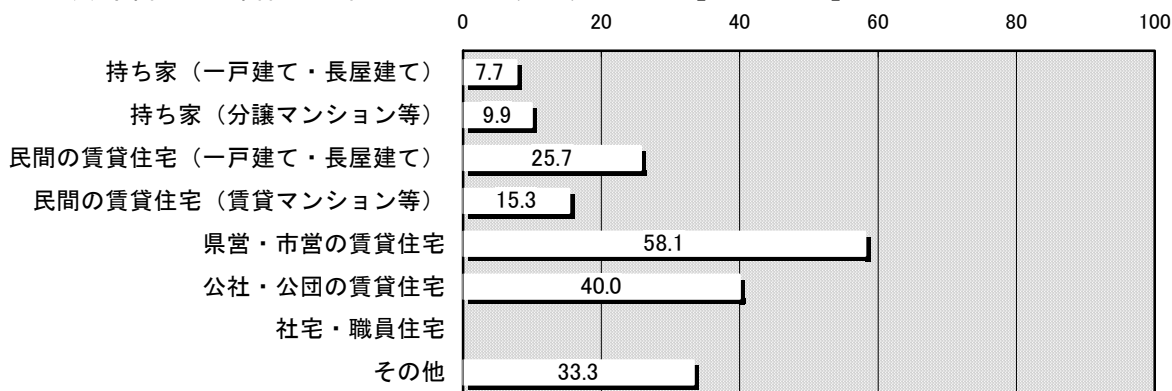
「(10) 親と子は身近に住むのが良いと思うようになった」については、社宅・職員住宅入居者と一戸建て・長屋建ての民間賃貸住宅入居者で低くなっている。

「(11) 都市に住むより、自然が豊かな農山村地域で生活したくなった」については、県営・市営の賃貸住宅で高くなっている。

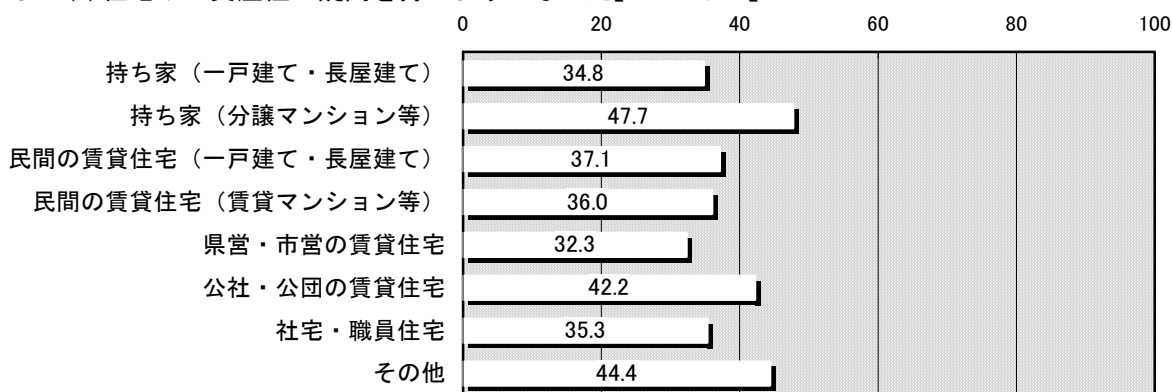
● 「(1) 持家より借家が良いと思うようになった」に「はい」



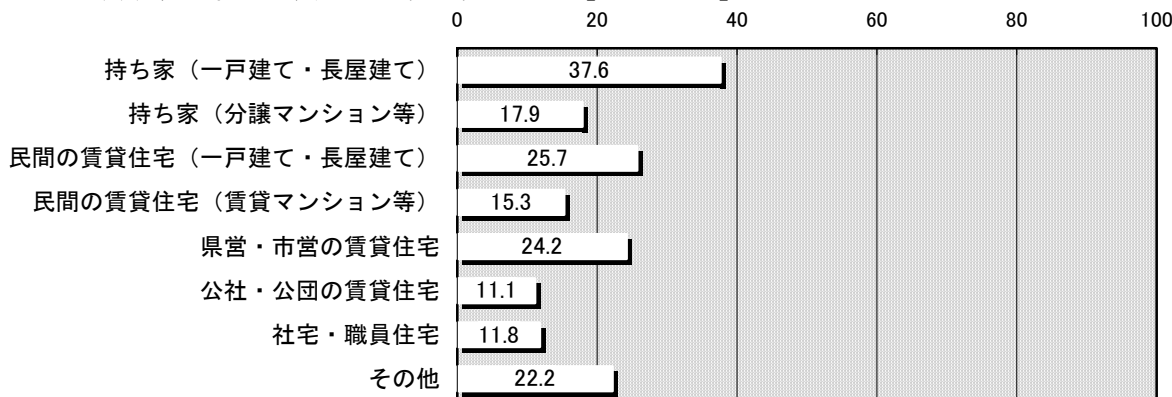
● 「(2)市営や…公営住宅に住みたいと思うようになった」に「はい」



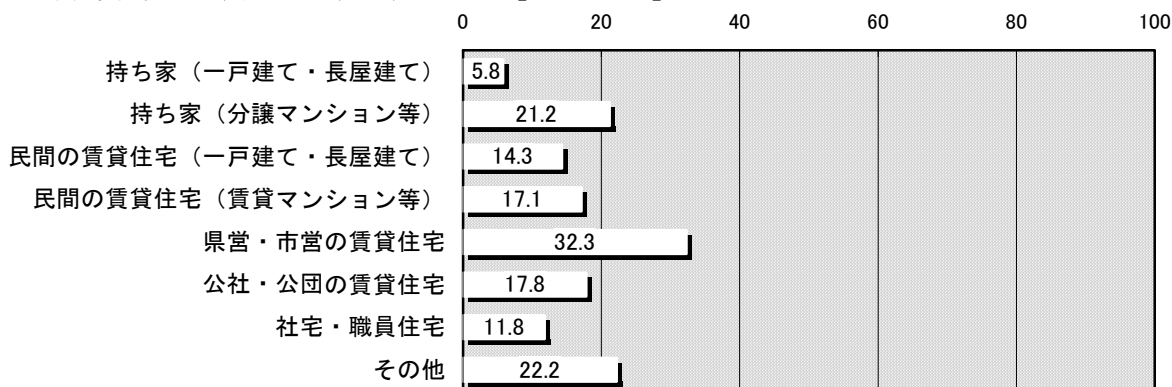
● 「(3)住宅や…資産性に疑問を持つようになった」に「はい」



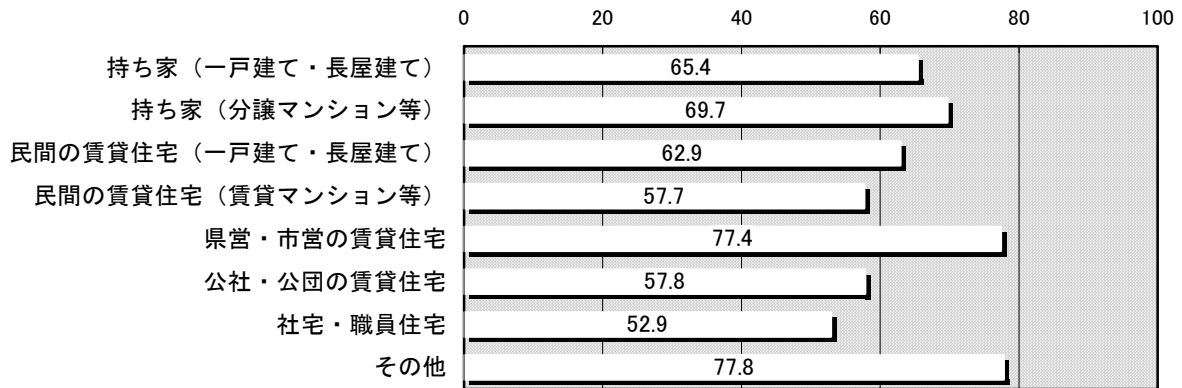
● 「(4)戸建て住宅が良いと思うようになった」に「はい」



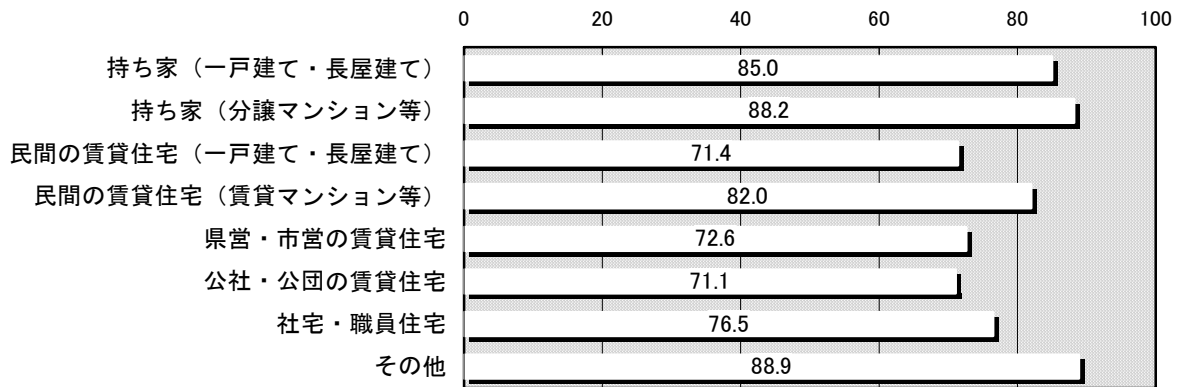
● 「(5)集合住宅が良いと思うようになった」に「はい」



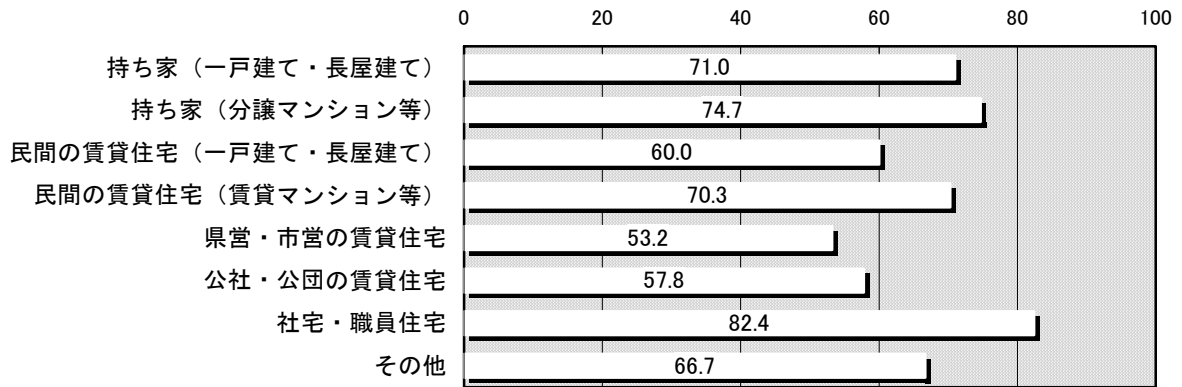
● 「(6) 高齢者…住宅・設備への関心が強くなった」に「はい」



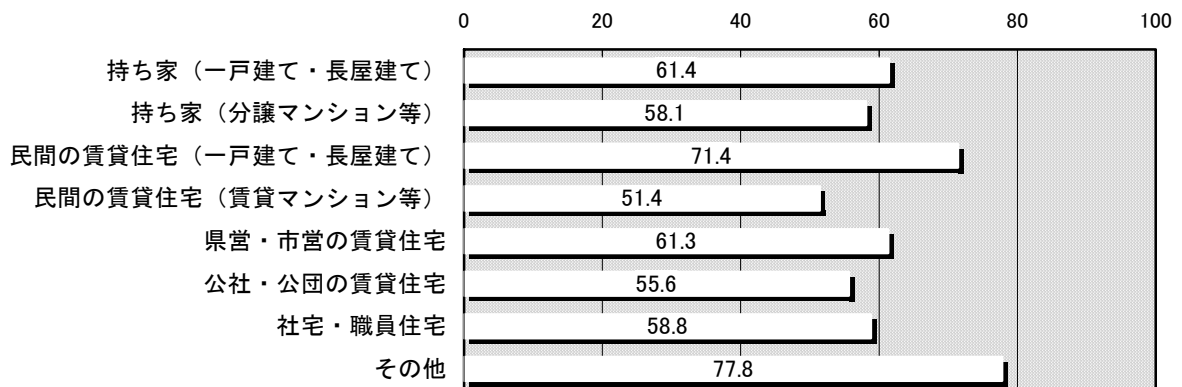
● 「(7) 住宅や…安全性に注意するようになった」に「はい」



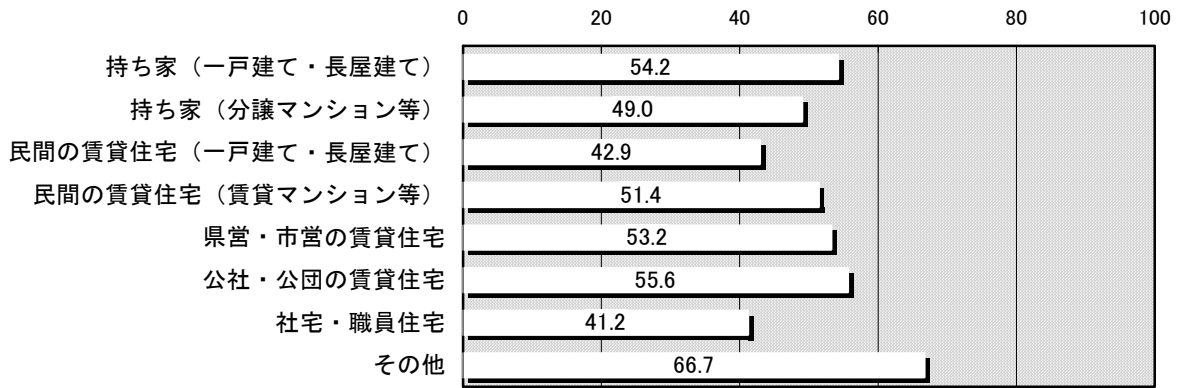
● 「(8) …高くとも耐震性の高い住宅に住みたくなった」に「はい」



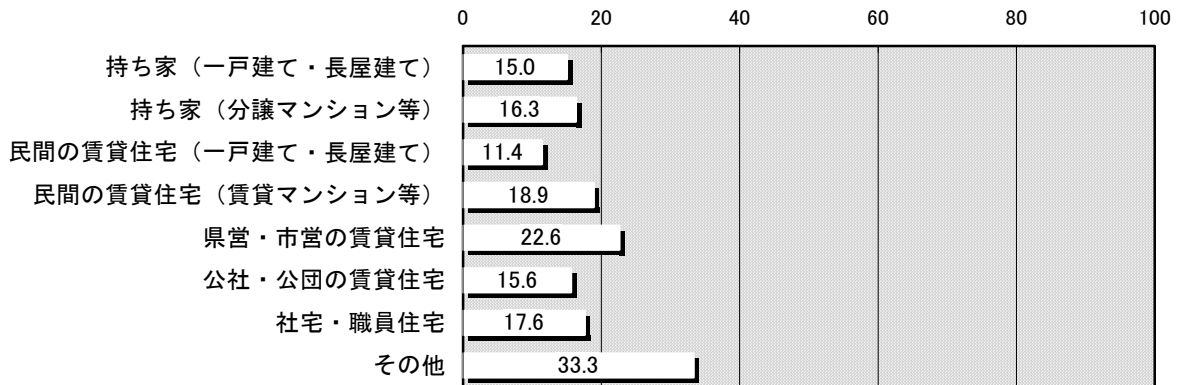
● 「(9) 近所づきあいが大切だと思うようになった」に「はい」



● 「(10) 親と子は身近に住むのが良いと思うようになった」に「はい」



● 「(11) …自然が豊かな農山村地域で生活したくなった」に「はい」



【類似調査との比較】

平成 15 年に実施された神戸市の類似調査と「はい」の割合を比較した。
 芦屋市調査と神戸市調査とで 5 ポイント以上の差があるのは、次の項目である。

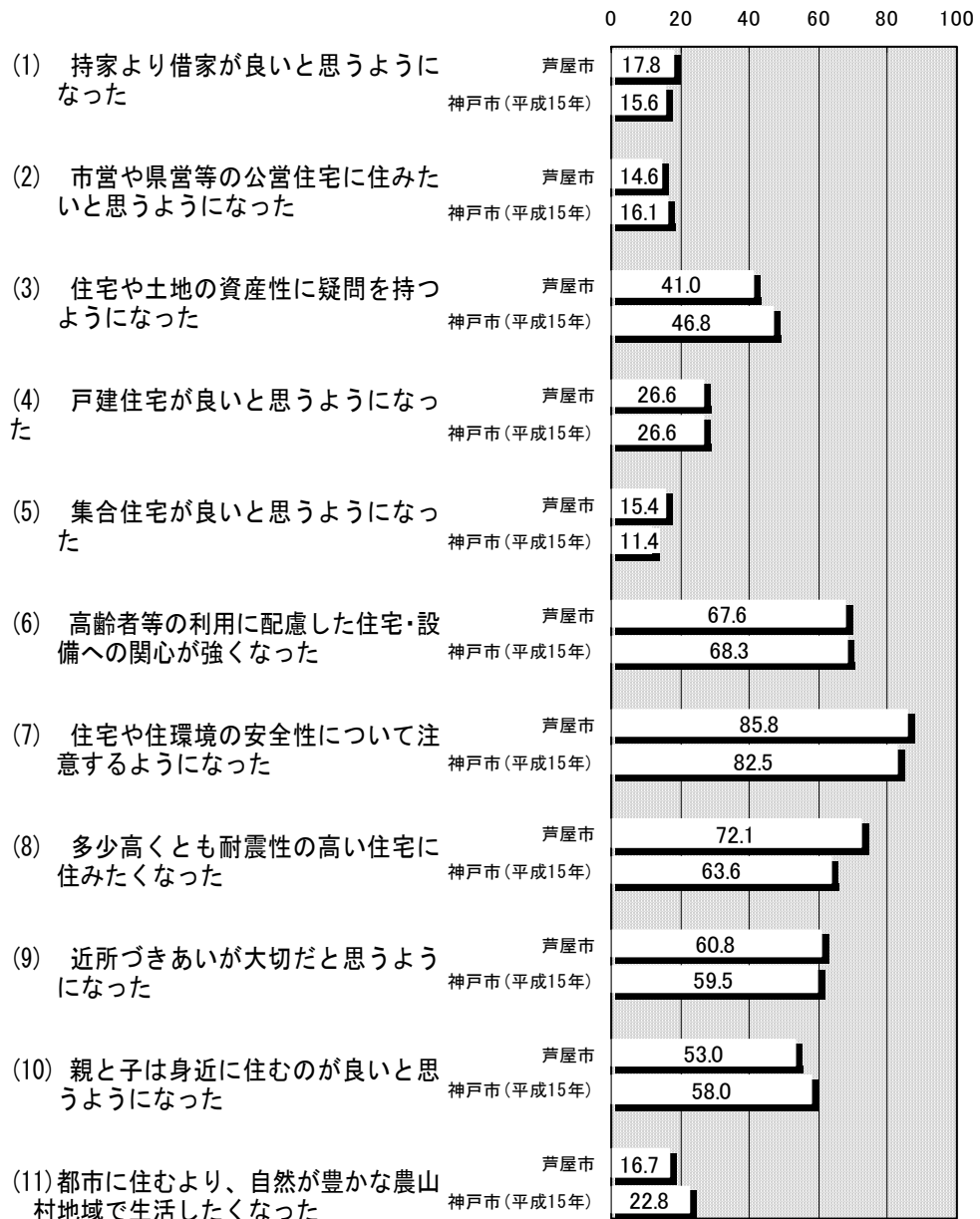
[芦屋市調査が 5 ポイント以上高いもの]

- (8) 多少高くとも耐震性の高い住宅に住みたくなった

[神戸市調査が 5 ポイント以上高いもの]

- (3) 住宅や土地の資産性に疑問を持つようになった
- (10) 親と子は身近に住むのが良いと思うようになった
- (11) 都市に住むより、自然が豊かな農山村地域で生活したくなった

●問16(1)～(11)に「はい」



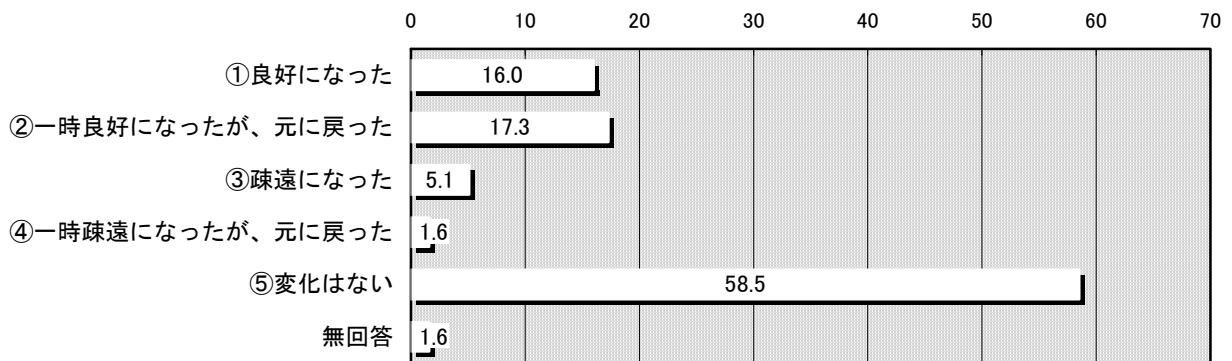
* 神戸市調査と比較するため、芦屋市の調査結果は無回答を除いて再計算を行った。

問 17

震災という出来事があったから、あなたの友人や近隣の方々との関係に変化はありましたか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

「⑤ 変化はない」が 58.5%で最も多く、「② 一時良好になったが、元に戻った」(17.3%)、「① 良好になった」(16.0%) がこれに次ぐ。

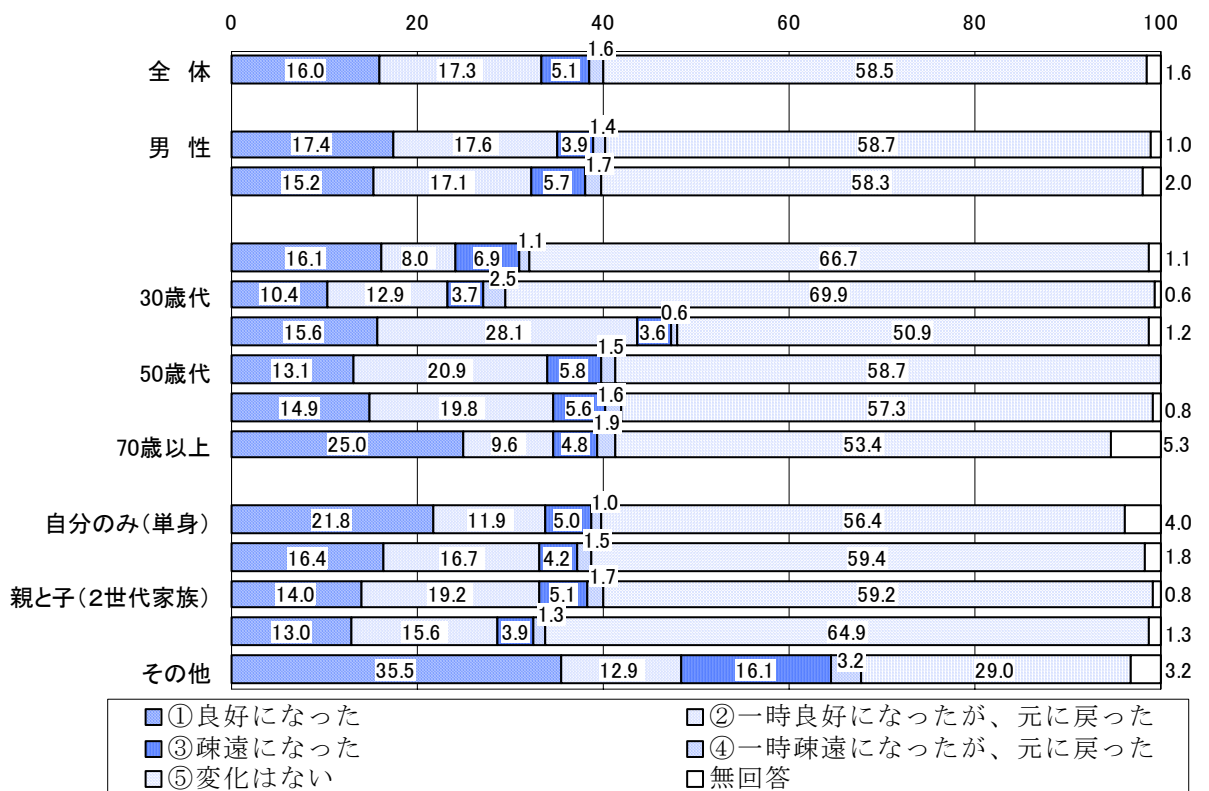
●人間関係の変化



年齢別にみると、70歳以上で「①良好になった」が 25.0%で高い。また 40歳代では「②一時良好になったが、元に戻った」が高く、平均を 11ポイント上回っている。

家族構成別では、単身者において「①良好になった」が高い。

●人間関係の変化

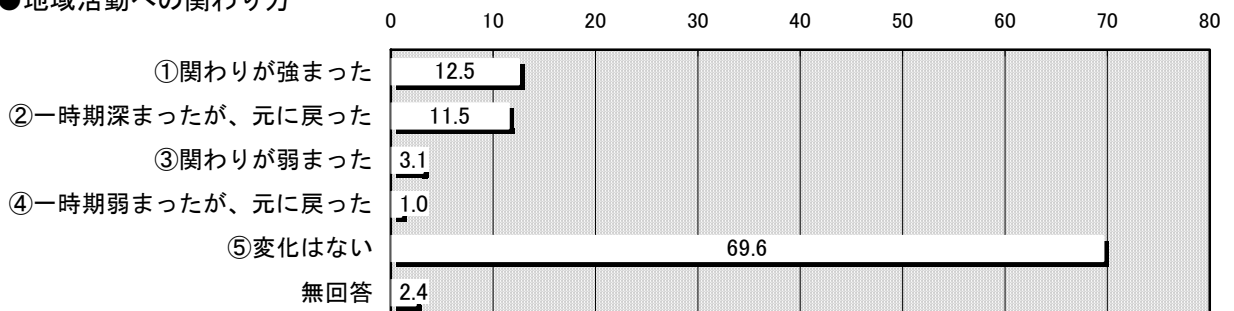


問 18

震災という出来事があったから、あなたの地域活動（自治会・コミスク・文化・スポーツ活動や、まちづくり、ボランティア活動等）への関わり方に変化はありましたか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

「⑤ 変化はない」が69.6%で最も多い。これに「① 関わりが強まった」(12.5%)、「② 一時期深まったが、元に戻った」(11.5%)が次いでいる。

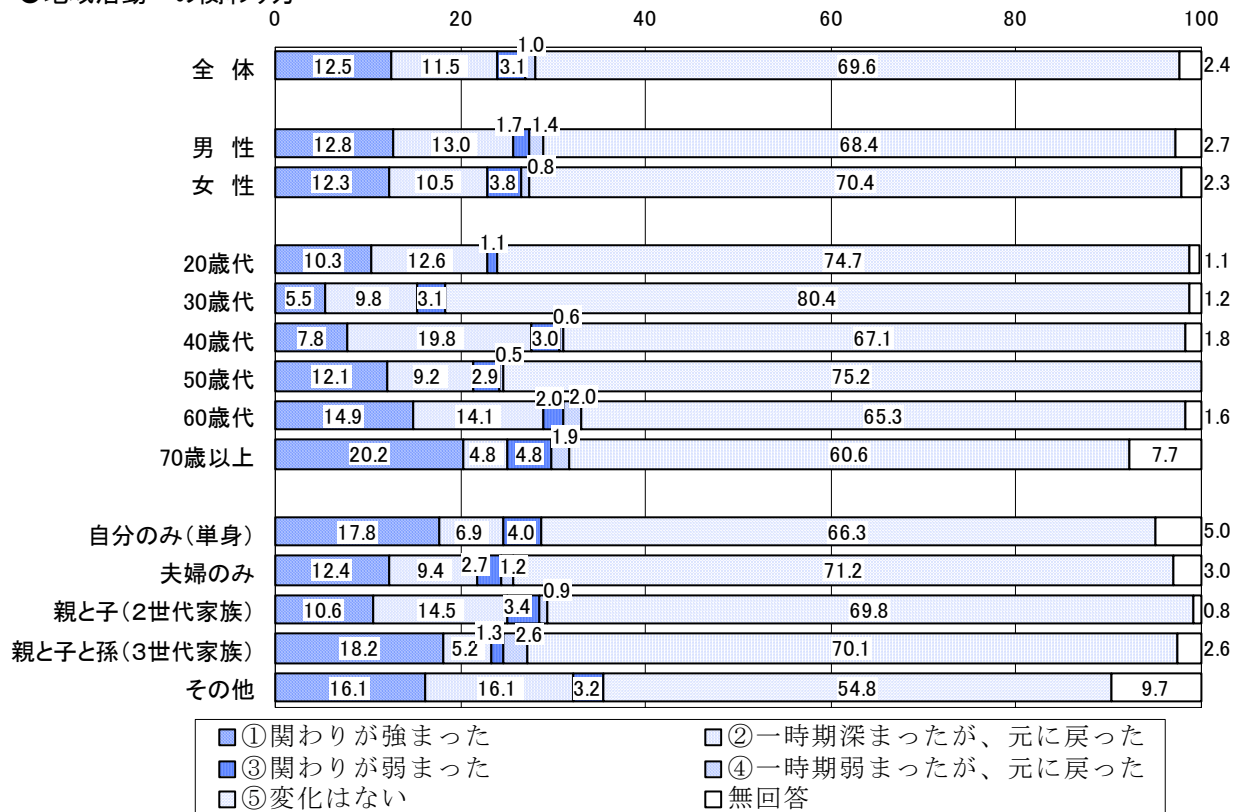
●地域活動への関わり方



年齢別には「① 関わりが強まった」について、年齢が上がるほどに高くなる傾向にあり、70歳以上では20.2%となっている。また問17と同様、40歳代では「② 一時期深まったが、元に戻った」が高くなっている。

家族構成別でみると、3世代家族と単身者において「① 関わりが強まった」が高い。

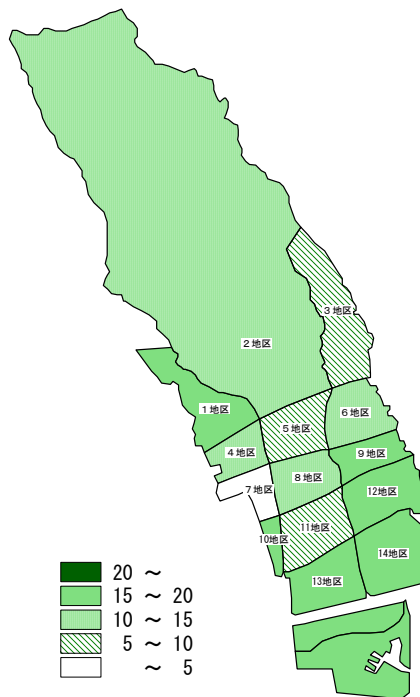
●地域活動への関わり方



居住地区別に、「① 関わりが強まった」とする割合をみると、13地区（19.1%）、10地区（18.2%）、9地区（16.9%）などで高くなっている。

●問 18 地域活動への関わり方

①関わりが強まった

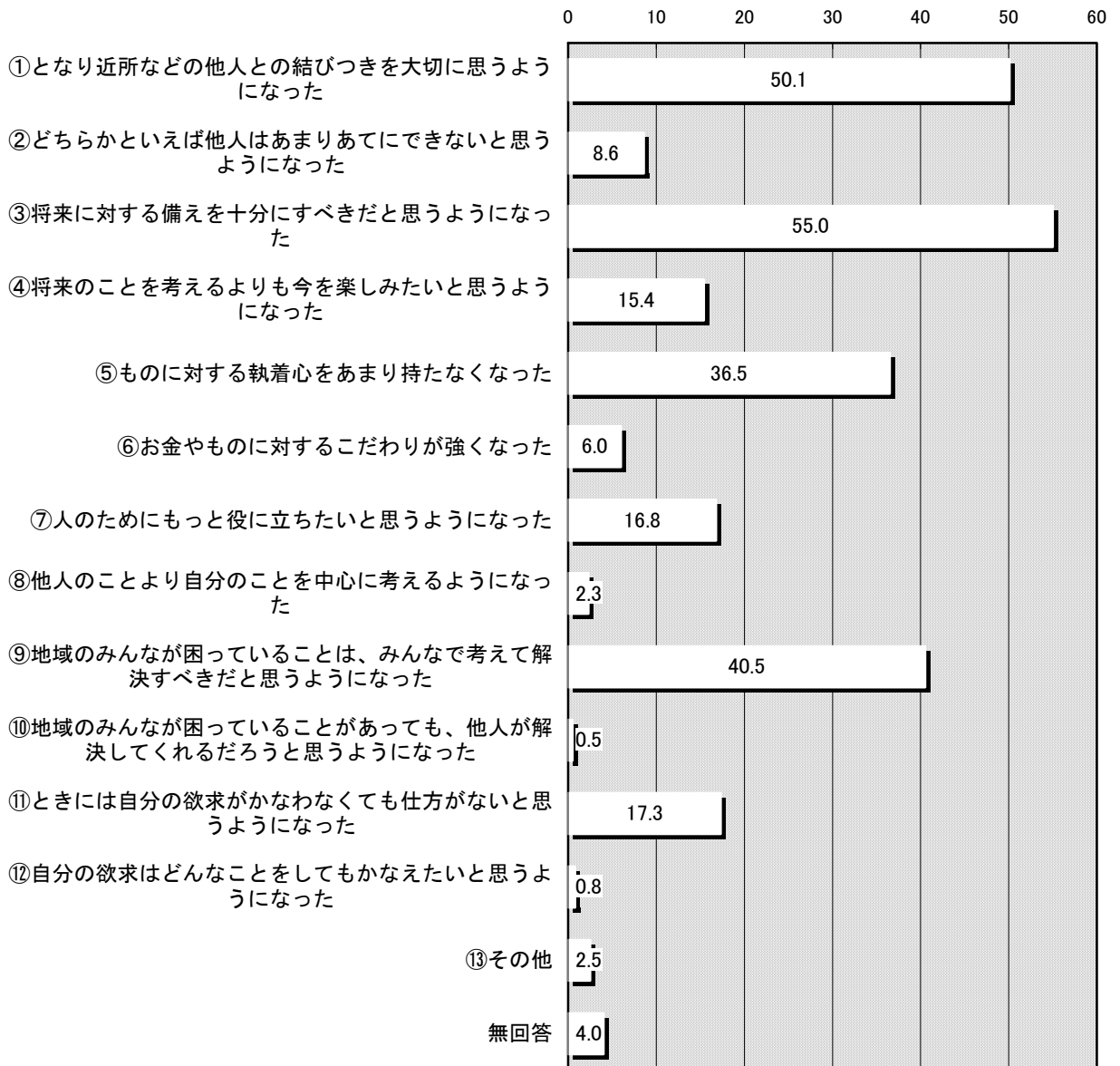


問 19

震災という出来事があってから、あなたの考え方や日頃の行動の中で変わったことはありますか。あてはまるものを3つまで選んで番号をご記入ください。

「③ 将来に対する備えを十分にすべきだと思うようになった」(55.0%)と「① となり近所などの他人との結びつきを大切に思うようになった」(50.1%)が過半数に達している。これに「⑨ 地域みんなが困っていることは、みんなで考えて解決すべきだと思うようになった」(40.5%)、「⑤ ものに対する執着心をあまり持たなくなった」(36.5%)が続く。

●行動の変化

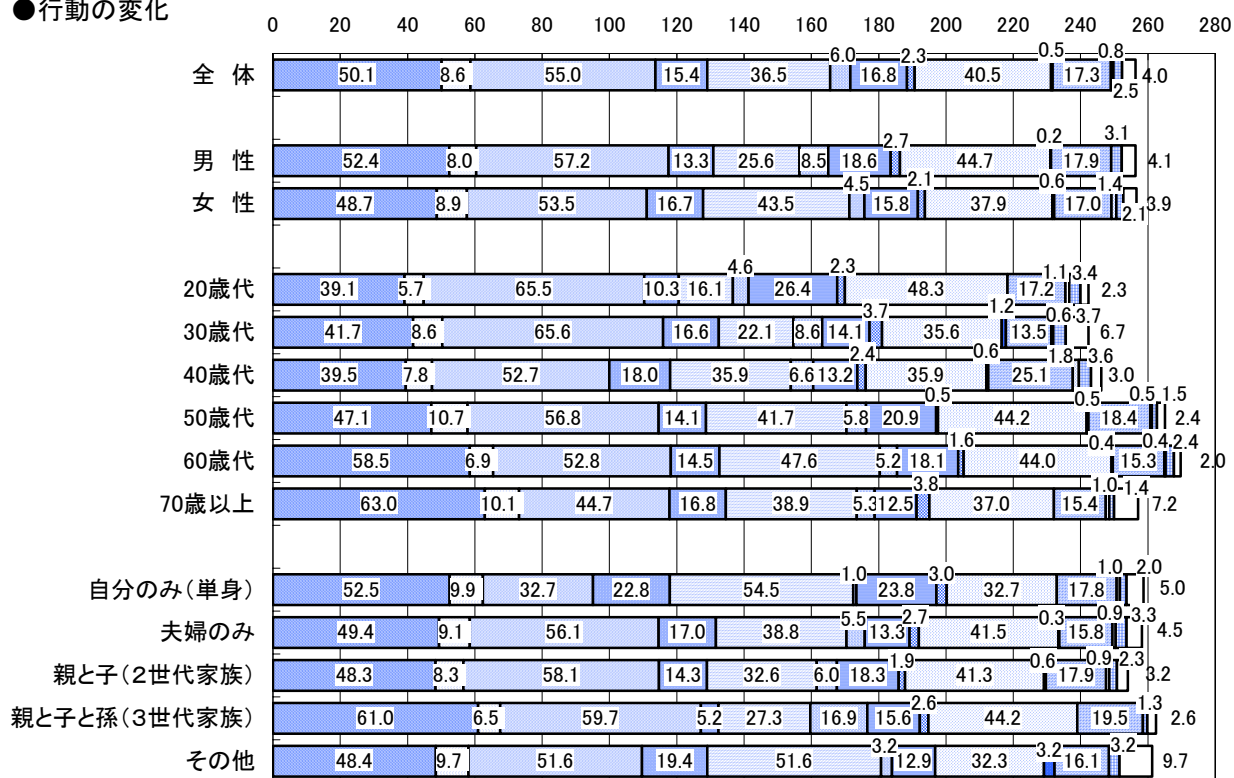


性別でみると、男性では「⑨ 地域のみんが困っていることは、みんなで考えて解決すべきだと思うようになった」と考える割合がやや高い。女性では、「⑤ ものに対する執着心をあまり持たなくなった」とする回答者が平均を7ポイント上回っている。

年齢別では、「③ 将来に対する備えを十分にすべきだと思うようになった」とするのが、20歳代と30歳代の若い回答者で高くなっている。また20歳代では「⑨ 地域のみんが困っていることは、みんなで考えて解決すべきだと思うようになった」も高い。一方、「① となり近所などの他人との結びつきを大切に思うようになった」については、60歳代と70歳以上で平均を8～13ポイント上回っている。「⑤ ものに対する執着心をあまり持たなくなった」については、50歳代と60歳代が高い。

家族構成別では、3世代家族において「① となり近所などの他人との結びつきを大切に思うようになった」「③ 将来に対する備えを十分にすべきだと思うようになった」が高い。また単身者では「⑤ ものに対する執着心をあまり持たなくなった」が高い。

●行動の変化



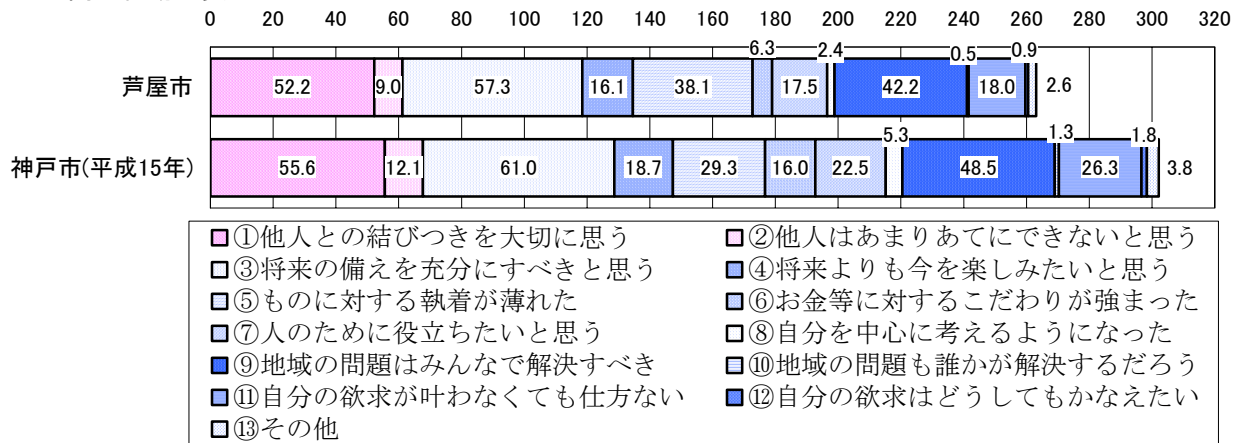
- ①となり近所などの他人との結びつきを大切に思うようになった
- ②どちらかといえば他人はあまりあてにできないと思うようになった
- ③将来に対する備えを十分にすべきだと思うようになった
- ④将来のことを考えるよりも今を楽しみたいと思うようになった
- ⑤ものに対する執着心をあまり持たなくなった
- ⑥お金やものに対するこだわりが強くなった
- ⑦人のためにもっと役に立ちたいと思うようになった
- ⑧他人のことより自分のことを中心に考えるようになった
- ⑨地域のみんが困っていることは、みんなで考えて解決すべきだと思うようになった
- ⑩地域のみんが困っていることがあっても、他人が解決してくれるだろうと思うようになった
- ⑪ときには自分の欲求がかなわなくても仕方がないと思うようになった
- ⑫自分の欲求はどんなことをしてもかなえたいと思うようになった
- ⑬その他
- 無回答

【類似調査との比較】

平成 15 年に実施された神戸市の類似調査と比較した。

神戸市調査では「すべて選択」に対し、芦屋市調査の選択数が「3つまで」と限定されているにもかかわらず、芦屋市調査では「⑤ ものに対する執着心をあまり持たなくなった」が神戸市調査よりも 9 ポイント高くなっている。

●問19行動の変化



*神戸市調査と比較するため、芦屋市の調査結果は無回答を除いて再計算を行った。

*芦屋市調査は「3つまで」選択、神戸市調査は「すべて」選択

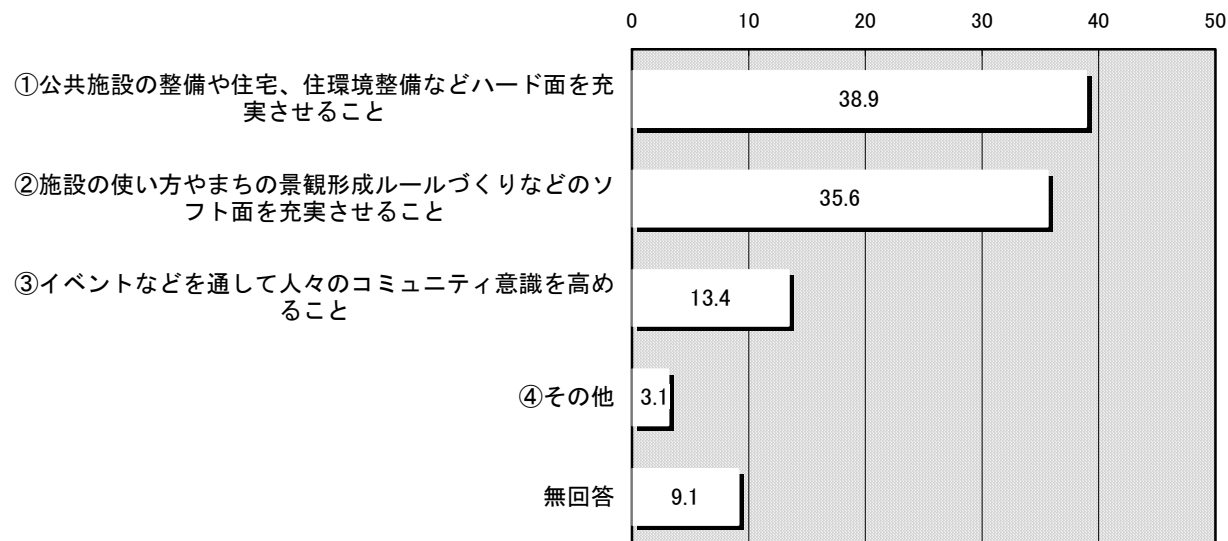
問 20

震災という出来事があったから、地域の住民のみなさんが主体となったまちづくりがおこなわれていますが、これからのまちづくりの【テーマ】と【進め方】について、あなたはどのようにお考えですか。それぞれの項目について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号をご記入ください。

問 20-1 【まちづくりのテーマ】

「① 公共施設の整備や住宅、住環境整備などハード面を充実させること」が38.9%、「② 施設の使い方やまちの景観形成ルールづくりなどのソフト面を充実させること」が35.6%で施設整備とまちづくりのルールづくりとがほぼ同じ程度に重要と考えられている。

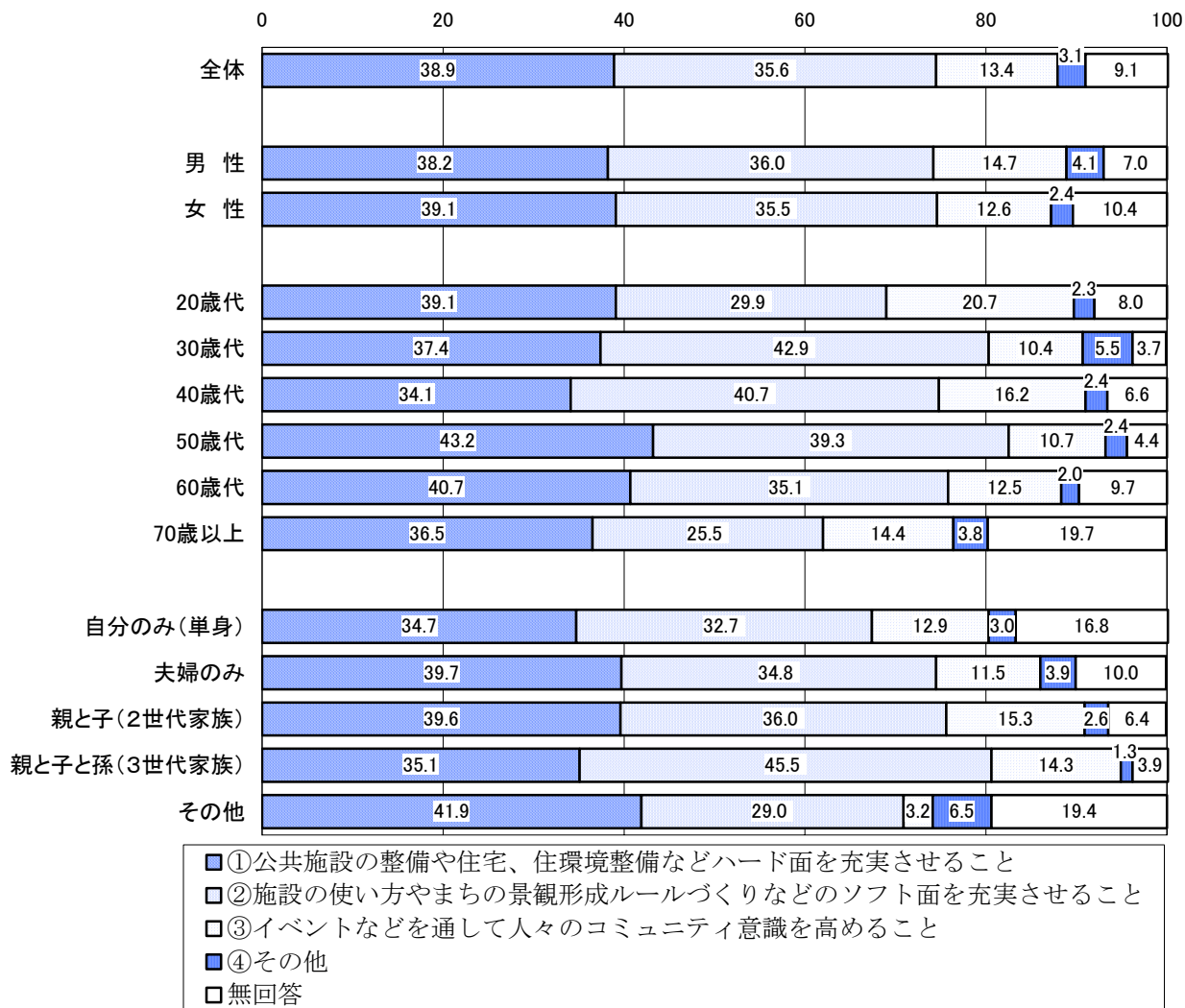
●まちづくりのテーマ



年齢別では、30歳代と40歳代においてソフト面への支持が高く、50歳代においてハード面への支持がやや高い。また20歳代では「③イベントなどを通して人々のコミュニティ意識を高めること」への支持が高い。

家族構成別では、3世代家族においてソフト面への支持が高い。

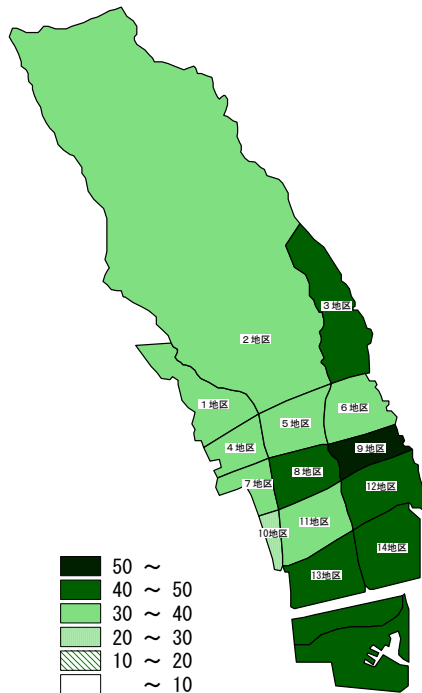
●まちづくりのテーマ



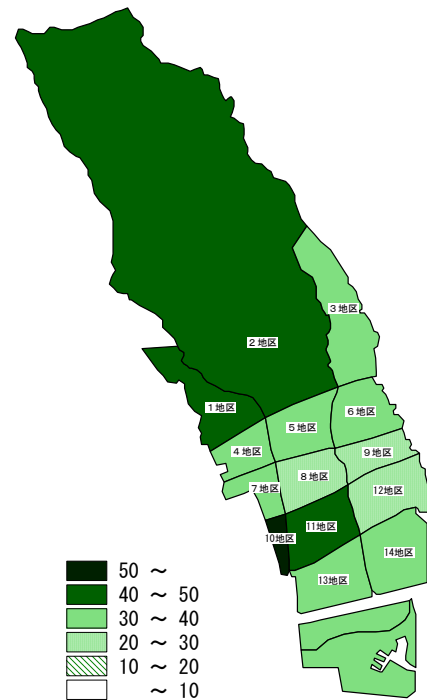
居住地区別にみると、「① 公共施設の整備や住宅、住環境整備などハード面を充実させること」については、9地区で50.8%と過半数にのぼるほか、8地区で45.3%と高くなっている。「② 施設の使い方やまちの景観形成ルールづくりなどのソフト面を充実させること」については、10地区の54.5%や1地区の45.6%が高い。

●問 20【まちづくりのテーマ】

①ハード面を充実



②ソフト面を充実

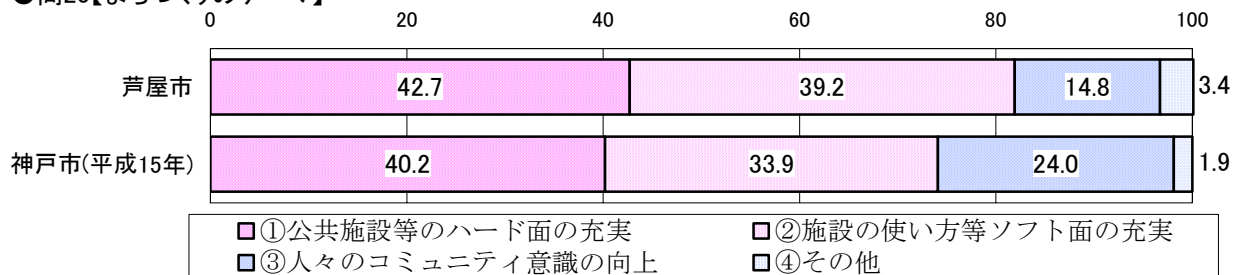


【類似調査との比較】

平成 15 年に実施された神戸市の類似調査と比較した。

芦屋市調査では、神戸市調査に比べ、「② 施設の使い方やまちの景観形成ルールづくりなどのソフト面を充実させること」が 5 ポイント高くなっている。

●問20【まちづくりのテーマ】

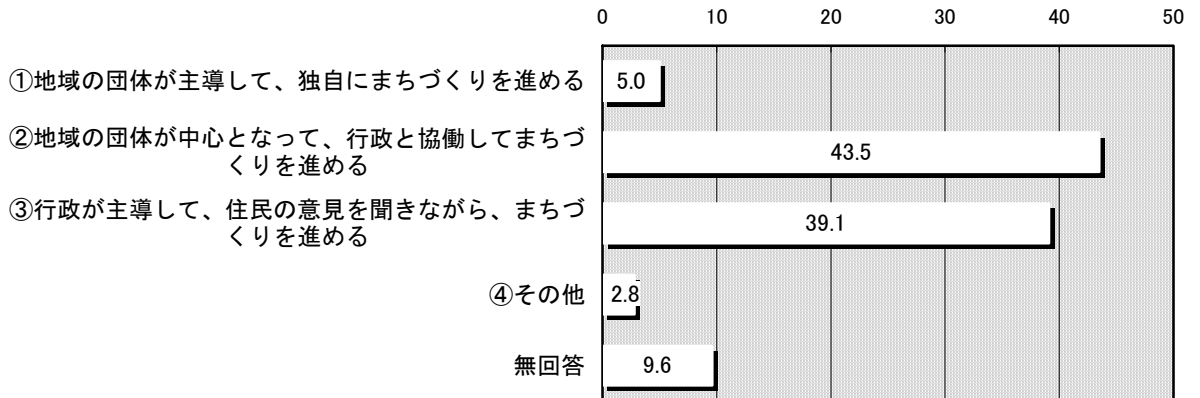


* 神戸市調査と比較するため、芦屋市の調査結果は無回答を除いて再計算を行った。

問 20-2【まちづくりの進め方】

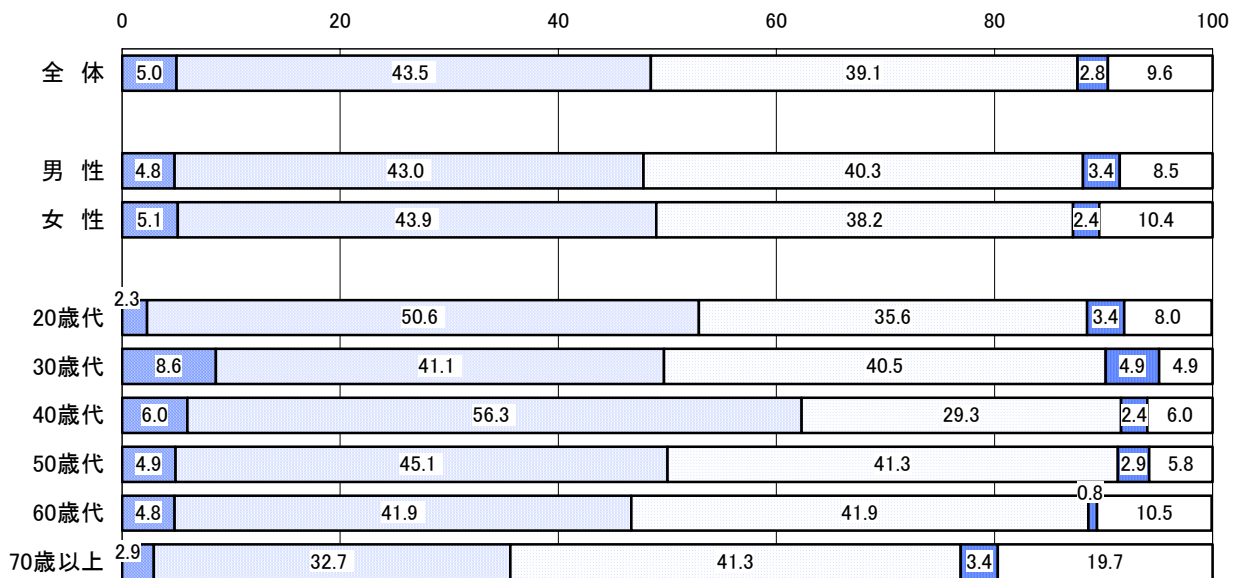
まちづくりの進め方については、「② 地域の団体が中心となって、行政と協働してまちづくりを進める」が43.5%で最も多く、これに「③ 行政が主導して、住民の意見を聞きながら、まちづくりを進める」(39.1%)が続く。「① 地域の団体が主導して、独自にまちづくりを進める」は5.0%で、少ない。

●まちづくりの進め方



年齢別では、「② 地域の団体が中心となって、行政と協働してまちづくりを進める」に対しては、40歳代が56.3%と支持が高く、これに20歳代の50.6%が次いでいる。

●まちづくりの進め方

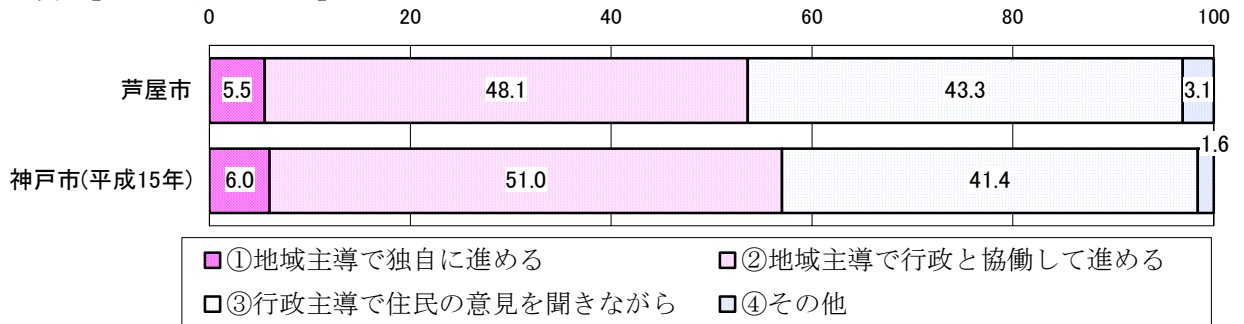


- ①地域の団体が主導して、独自にまちづくりを進める
- ②地域の団体が中心となって、行政と協働してまちづくりを進める
- ③行政が主導して、住民の意見を聞きながら、まちづくりを進める
- ④その他
- 無回答

【類似調査との比較】

平成 15 年に実施された神戸市の類似調査と比較したが、両市の間には顕著な差はない。

●問20【まちづくりの進め方】



* 神戸市調査と比較するため、芦屋市の調査結果は無回答を除いて再計算を行った。

問 21

あなたは、お住まいの地域における次の活動について、どの程度参加していますか。また、いつ頃から大切だとお考えでしたか。次の(1)～(5)それぞれの【参加状況】と【活動の意義】について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号をご記入ください。

【地域活動への参加状況】

「(1) まつり、スポーツなど地域での交流を促進するイベント」については、「積極的に参加している」が15.1%で、(1)～(5)の5種類の地域活動中最も高い。しかし「参加する気がないので参加していない」という積極的な不参加も最も高い。

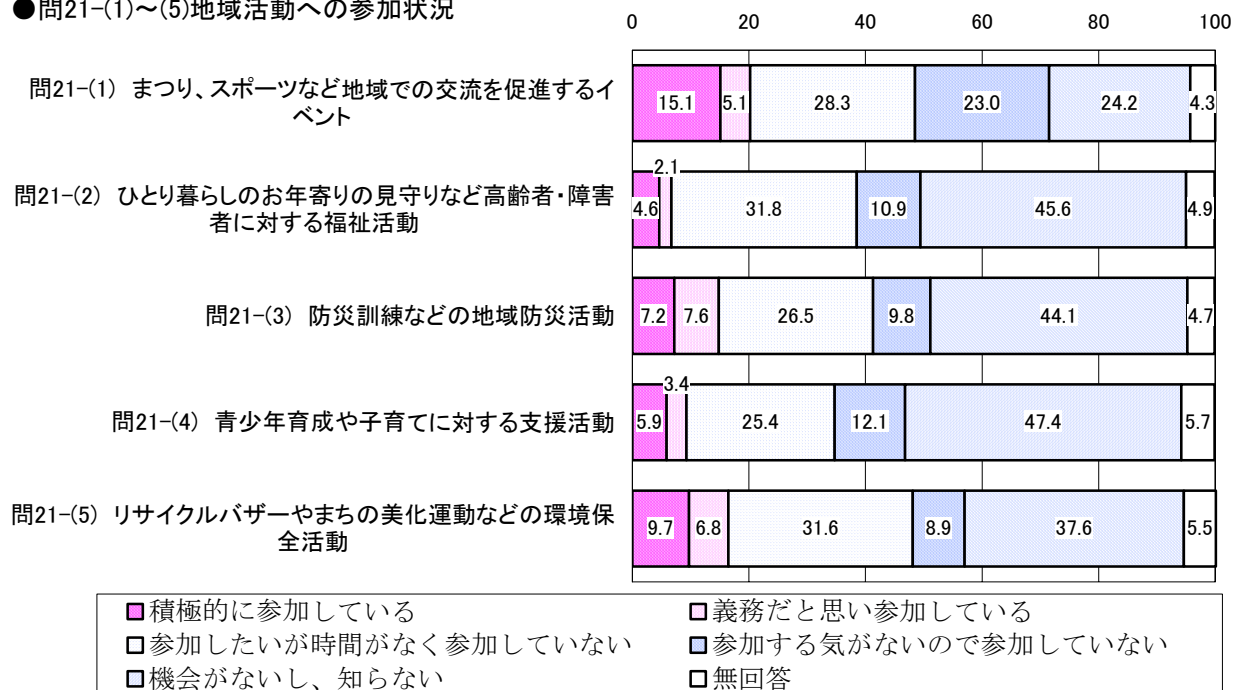
「(2) ひとり暮らしのお年寄りの見守りなど高齢者・障害者に対する福祉活動」については「機会がないし、知らない」が45.6%と半数近くを占める。「積極的に参加している」も4.6%で、5種類中最も低い。

「(3) 防災訓練などの地域防災活動」では、「義務だと思い参加している」割合が7.6%で比較的高い。

「(4) 青少年育成や子育てに対する支援活動」では、「機会がないし、知らない」が47.4%で5種類中最も高く、「積極的に参加している」割合が5.9%と低い。

「(5) リサイクルバザーやまちの美化運動などの環境保全活動」は、「積極的に参加している」が(1)のイベントに次いで高い。

●問21-(1)～(5)地域活動への参加状況



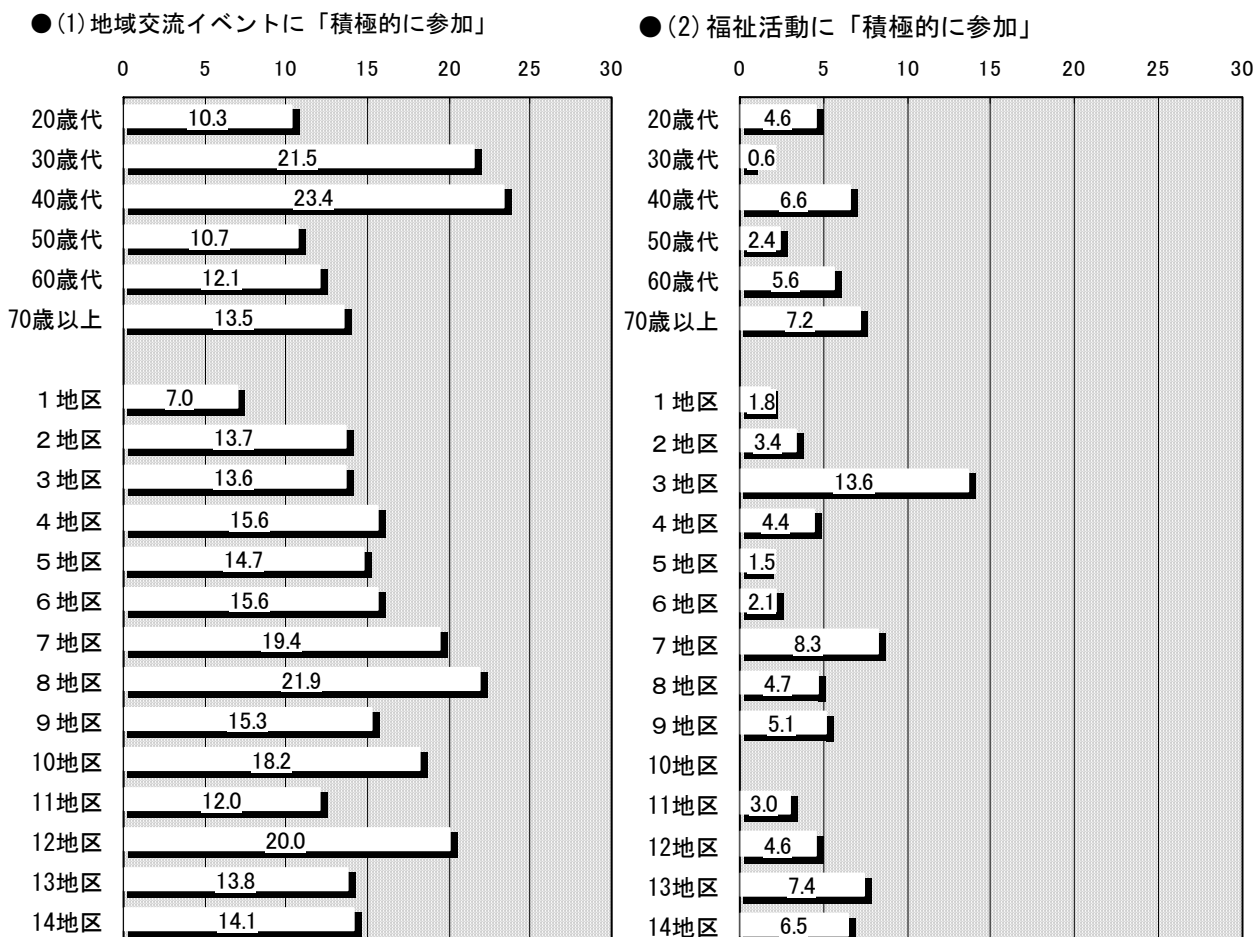
「(1) まつり、スポーツなど地域での交流を促進するイベント」について、年齢別にみると、40歳代と30歳代で「積極的に参加」が高い。居住地区別には、8地区、次いで12地区で高い。

「(2) ひとり暮らしのお年寄りの見守りなど高齢者・障害者に対する福祉活動」については、70歳以上の高齢層で「積極的に参加」がやや高く、30歳代において低い。居住地区別には、3地区が13.6%と高い。

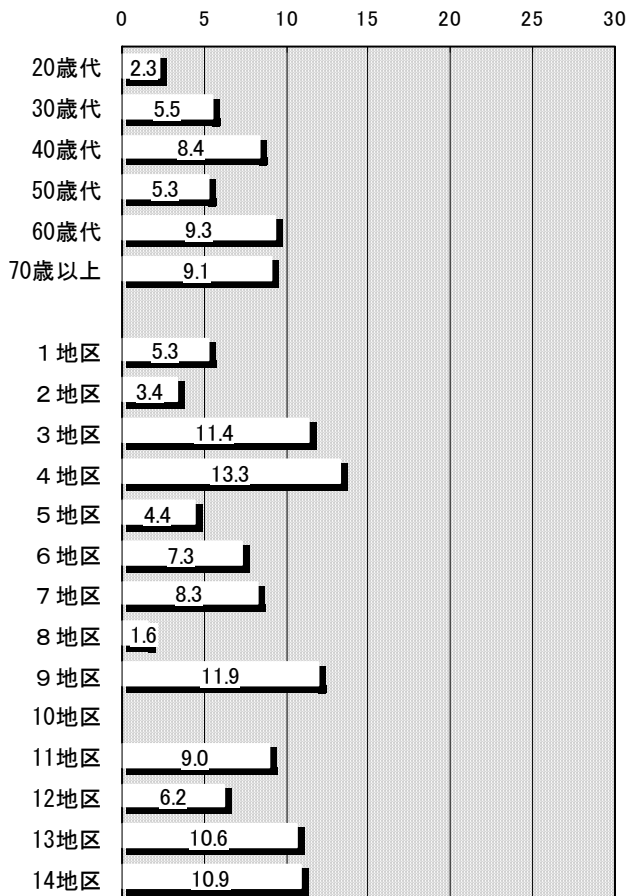
「(3) 防災訓練などの地域防災活動」については、60歳代と70歳以上で「積極的に参加」がやや高く、20歳代においてやや低い。

「(4) 青少年育成や子育てに対する支援活動」については、その親にあたる40歳代と30歳代で「積極的に参加」が高い。居住地区別には3地区が最も高くなっている。

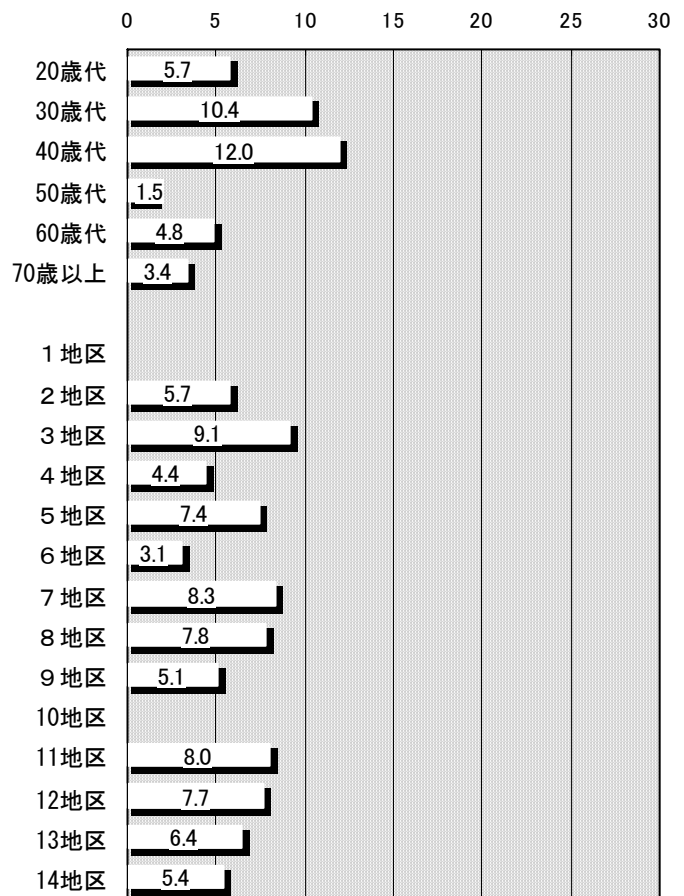
「(5) リサイクルバザーやまちの美化運動などの環境保全活動」については、60歳代と70歳以上で「積極的に参加」が高い。居住地区別には、10地区で27.3%とたいへん高く、4地区の15.6%がこれに次いでいる。



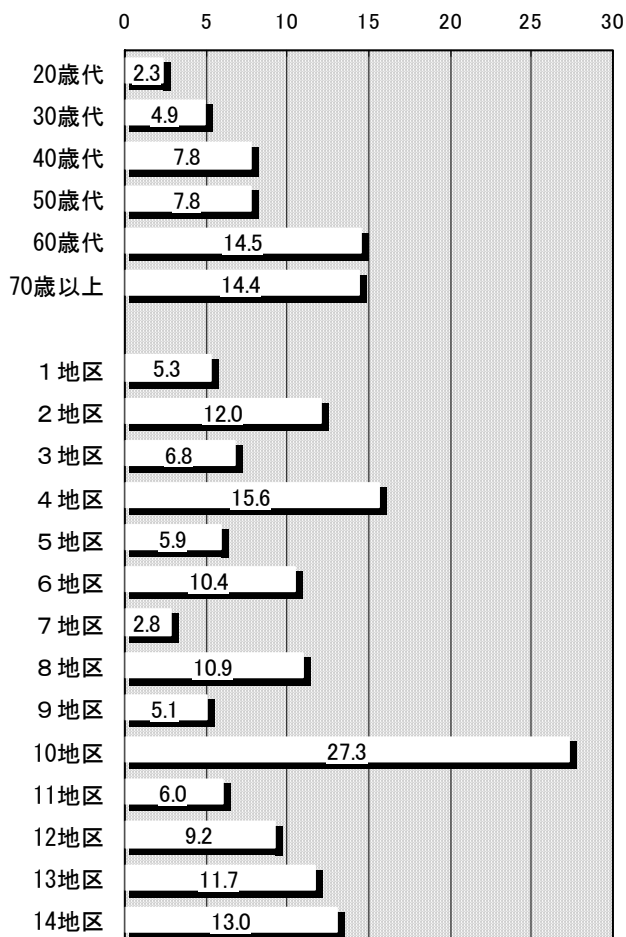
●(3) 地域防災活動に「積極的に参加」



●(4) 青少年育成などに「積極的に参加」



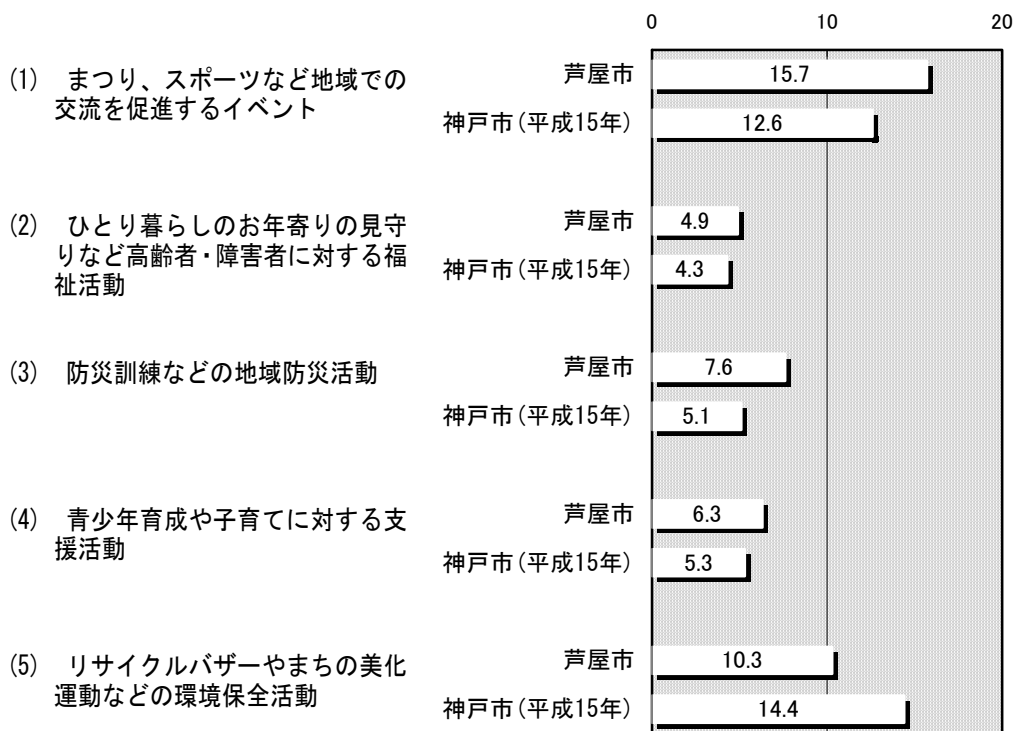
●(5) 環境保全活動に「積極的に参加」



【類似調査との比較】

平成15年に実施された神戸市の類似調査と「積極的に参加している」の割合を比較した。これによると、「(1) まつり、スポーツなど地域での交流を促進するイベント」では芦屋市調査のほうがやや高く、「(5) リサイクルバザーやまちの美化運動などの環境保全活動」では神戸市調査のほうがやや高い。

●問21(1)～(5)「積極的に参加」



*神戸市調査と比較するため、芦屋市の調査結果は無回答を除いて再計算を行った。

【地域活動の意義】

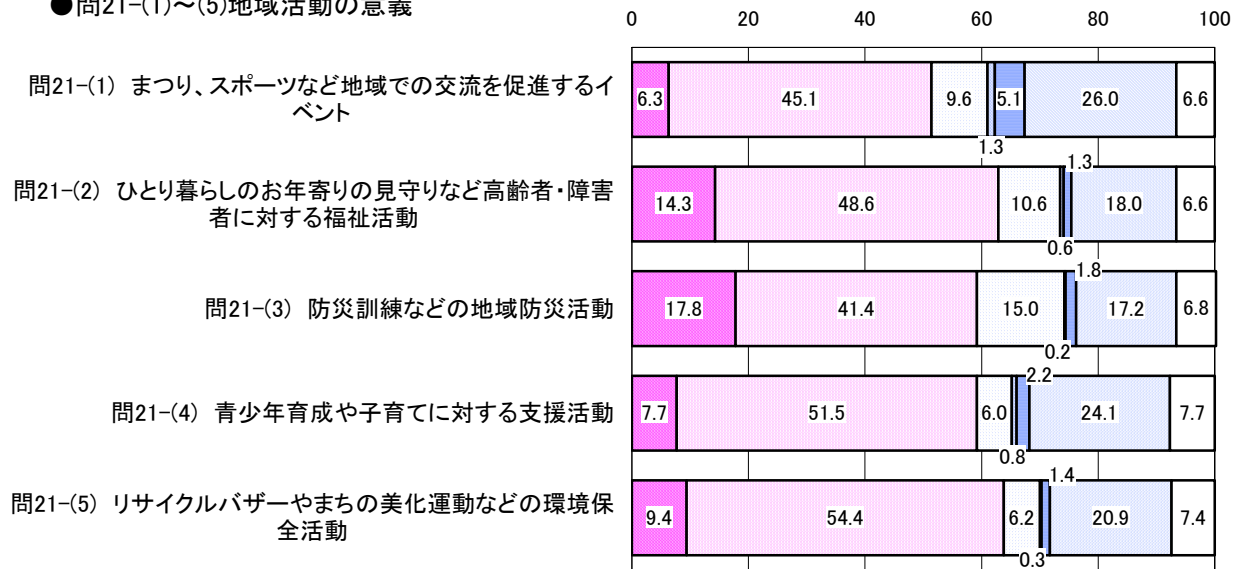
「(1) まつり、スポーツなど地域での交流を促進するイベント」については、「わからない」とする回答者が26.0%が多い。

「(2) ひとり暮らしのお年寄りの見守りなど高齢者・障害者に対する福祉活動」については、「…震災を契機により大切だと思うようになった」(14.3%)と「…震災を契機に大切だと思うようになった」(10.6%)が比較的高い。

「(3) 防災訓練などの地域防災活動」については、「…震災を契機により大切だと思うようになった」が17.8%、「…震災を契機に大切だと思うようになった」が15.0%で、両項目とも支持の割合が5種類中最も高い。

「(4) 青少年育成や子育てに対する支援活動」と「(5) リサイクルバザーやまちの美化運動などの環境保全活動」については「震災以前から大切だと思っており、今も大切だと思う」に対する支持が半数を超えている。

●問21-(1)~(5)地域活動の意義



- 震災以前から大切だと思っており、震災を契機により大切だと思うようになった
- 震災以前から大切だと思っており、今も大切だと思う
- 震災以前は大切だと思っていたが、震災を契機に大切だと思うようになった
- 震災以前は大切だと思っていたが、今は大切だとは思わない
- 震災以前も今も、大切だと思わない
- わからない
- 無回答

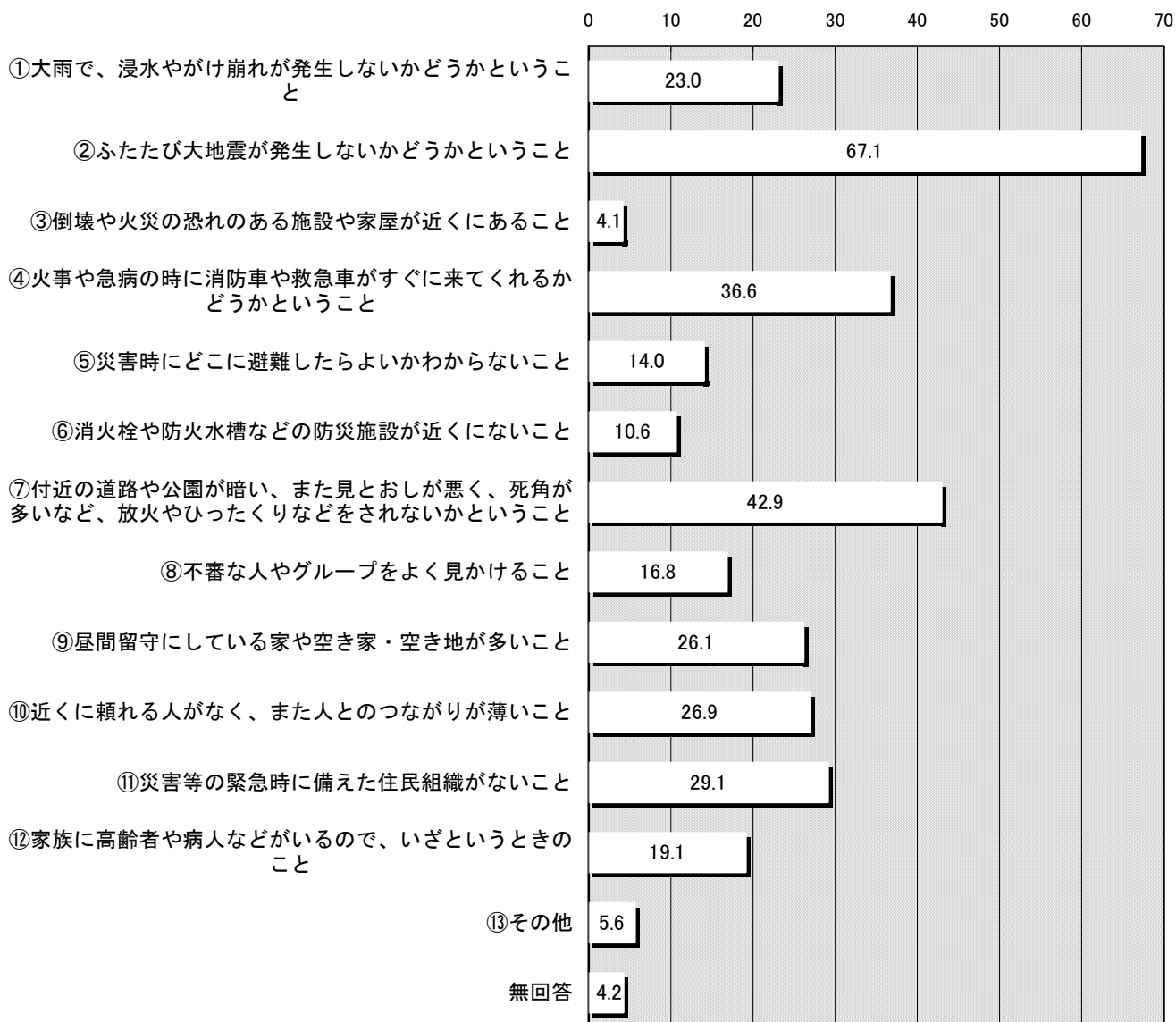
安全で安心なまちづくりについてお尋ねします

問 22

現在お住まいの地域において、あなたは、防災・防犯面で不安に感じておられることがありますか。あてはまるものを5つまで選んで番号をご記入ください。

「② ふたたび大地震が発生しないかどうかということ」が67.1%と最も高く、約3人に2人の回答者が、大地震の再発を懸念している。第2位は「⑦ 付近の道路や公園が暗い、また見とおしが悪く、死角が多いなど、放火やひったくりなどをされないかということ」(42.9%)という治安の問題があげられ、第3位には「④ 火事や急病の時に消防車や救急車がすぐに来てくれるかどうかということ」(36.6%)という救急・消防体制に対する不安があげられている。

●不安なこと



「② ふたたび大地震が発生しないかどうかということ」については、年齢別では20歳代で78.2%と高い。居住地区別では、13地区、6地区、10地区、7地区などで高い。

「⑦ 付近の道路や公園が暗い、また見とおしが悪く、死角が多いなど、放火やひったくりなどをされないかということ」については、年齢別で20歳代と30歳代、居住地区別では1地区、3地区などで高くなっている。

「④ 火事や急病の時に消防車や救急車がすぐに来ってくれるかどうかということ」については、60歳代と70歳以上の高齢層で高く、居住地区では5地区、6地区、11地区で高くなっている。

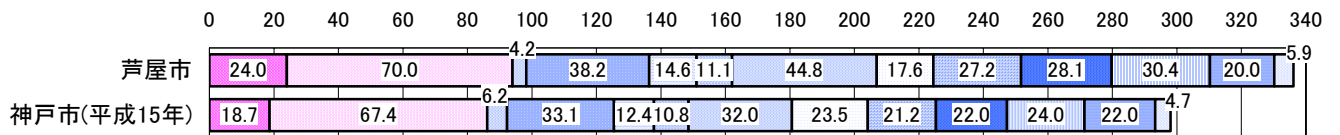
平均で第4位の「⑩ 災害等の緊急時に備えた住民組織がないこと」については、年齢別で60歳代と50歳代で高く、居住地区では3地区、9地区、8地区、14地区などで高い。

【類似調査との比較】

平成15年に実施された神戸市の類似調査と比較した。

神戸市調査では「すべて選択」に対し、芦屋市調査の選択数が「5つまで」と限定されているにもかかわらず、芦屋市調査では「⑦ 付近の道路や公園が暗い、また見とおしが悪く、死角が多いなど、放火やひったくりなどをされないかということ」や「⑩ 近くに頼れる人がなく、また人とのつながりが薄いこと」、「⑩ 災害等の緊急時に備えた住民組織がないこと」については、神戸市調査よりも6～13ポイント高くなっている。

●問22不安なこと

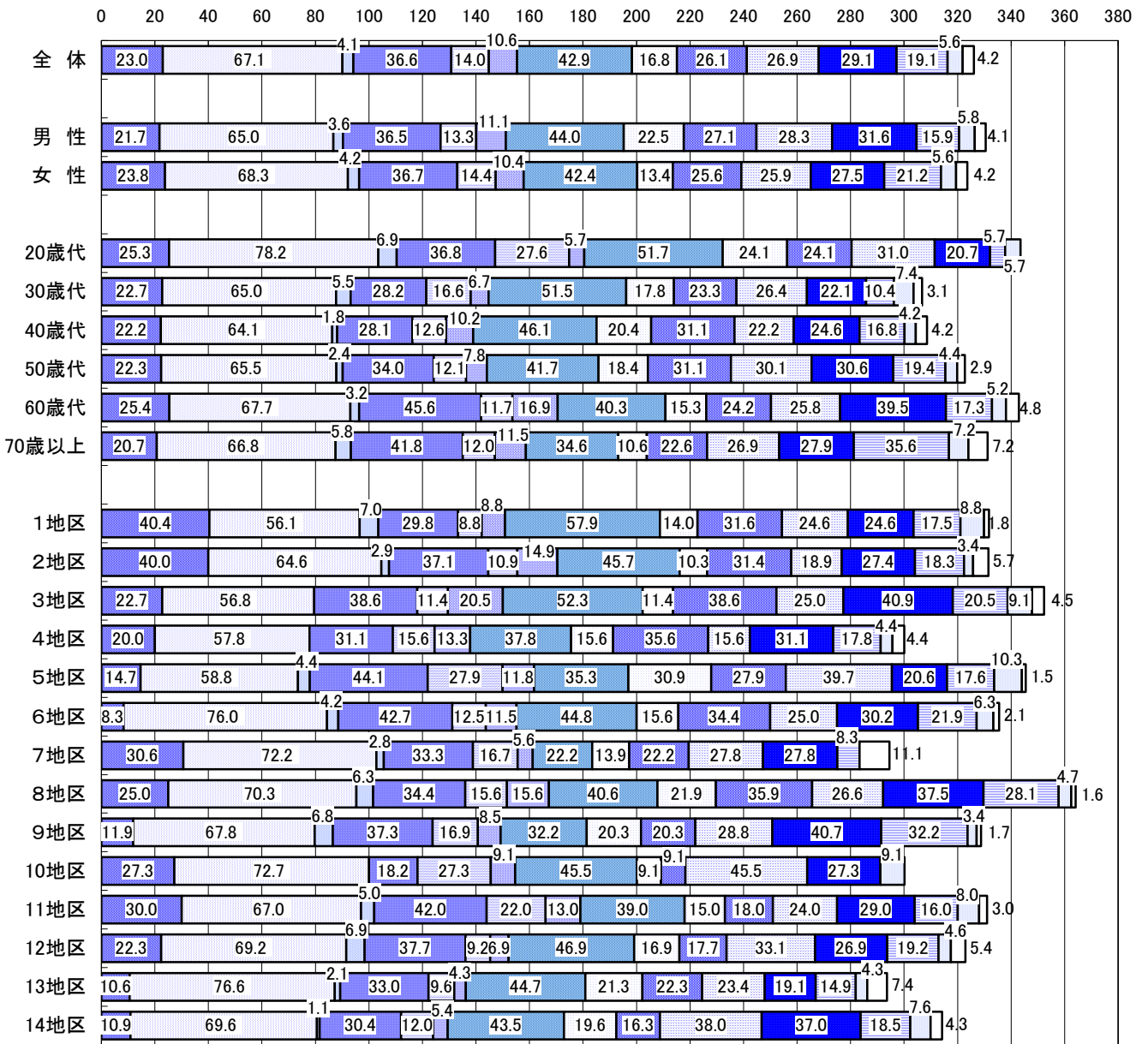


- ①大雨で、浸水やがけ崩れが発生しないかどうかということ
- ②ふたたび大地震が発生しないかどうかということ
- ③倒壊や火災の恐れのある施設や家屋が近くにあること
- ④火事や急病の時に消防車や救急車がすぐに来ってくれるかどうかということ
- ⑤災害時にどこに避難したらよいかわからないこと
- ⑥消火栓や防火水槽などの防災施設が近くにないこと
- ⑦付近の道路や公園が暗い、また見とおしが悪く、死角が多いなど、放火やひったくりなどされないかということ
- ⑧不審な人やグループをよく見かけること
- ⑨昼間留守にしている家や空き家・空き地が多いこと
- ⑩近くに頼れる人がなく、また人とのつながりが薄いこと
- ⑪災害等の緊急時に備えた住民組織がないこと
- ⑫家族に高齢者や病人などがいるので、いざというときのこと
- ⑬その他

* 芦屋市の調査結果は無回答を、また神戸市の調査結果からは「特に不安なことはない」を除いて再計算を行った。

* 芦屋市調査は「5つまで」選択、神戸市調査は「すべて」選択

●不安なこと



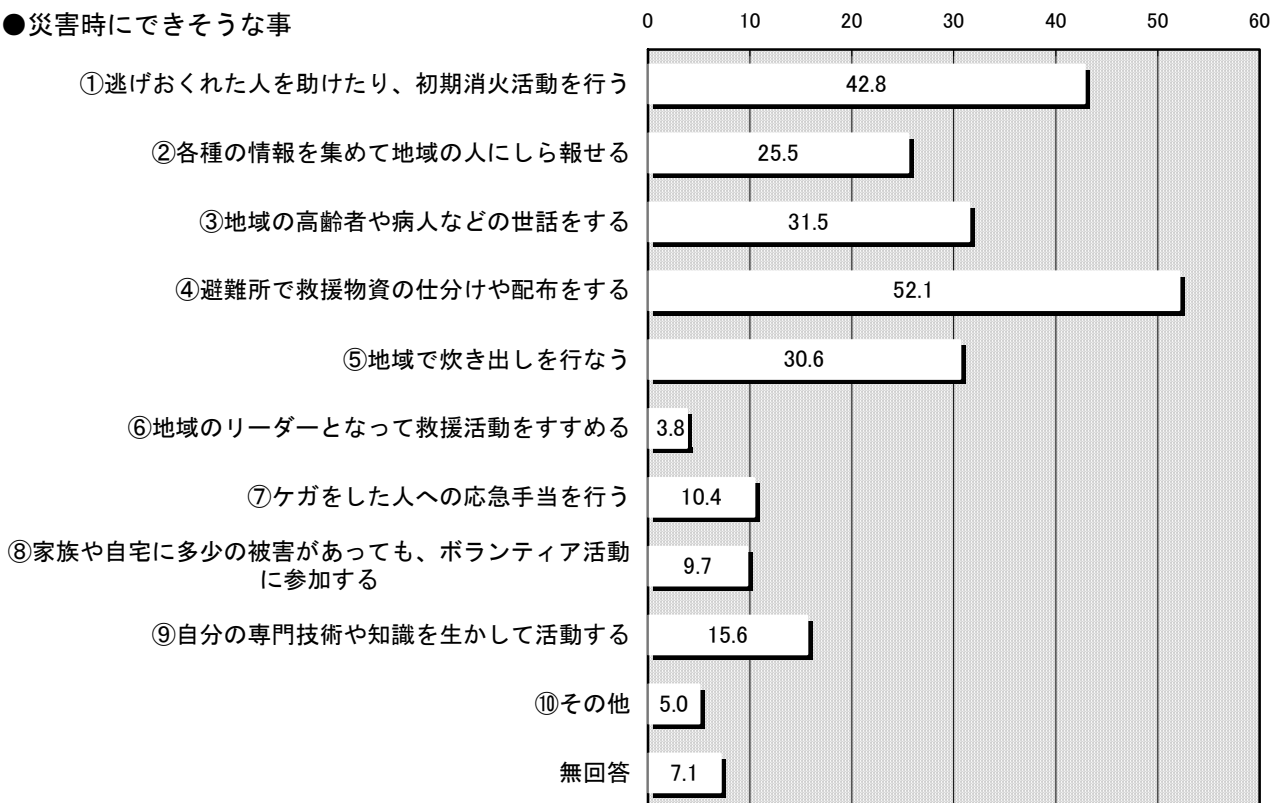
- ①大雨で、浸水やがけ崩れが発生しないかどうかということ
- ②ふたたび大地震が発生しないかどうかということ
- ③倒壊や火災の恐れのある施設や家屋が近くにあること
- ④火事や急病の時に消防車や救急車がすぐに来られるかどうかということ
- ⑤災害時にどこに避難したらよいかわからないこと
- ⑥消火栓や防火水槽などの防災施設が近くにないこと
- ⑦付近の道路や公園が暗い、また見とおしが悪く、死角が多いなど、放火やひったくりなどされないかどうかということ
- ⑧不審な人やグループをよく見かけること
- ⑨昼間留守にしている家や空き家・空き地が多いこと
- ⑩近くに頼れる人がなく、また人とのつながりが薄いこと
- ⑪災害等の緊急時に備えた住民組織がないこと
- ⑫家族に高齢者や病人などがいるので、いざというときのこと
- ⑬その他
- 無回答

問 23

あなたは、今後、大災害が起こり、お住まいの地域で大きな被害があった場合に、どのようなことができそうだとお考えですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号をご記入ください。

第1位は「④ 避難所で救援物資の仕分けや配布をする」が52.1%と過半数で、これに、「① 逃げおくれた人を助けたり、初期消火活動を行う」(42.8%)、「③ 地域の高齢者や病人などの世話をする」(31.5%)、「⑤ 地域で炊き出しを行なう」(30.6%)が続く。

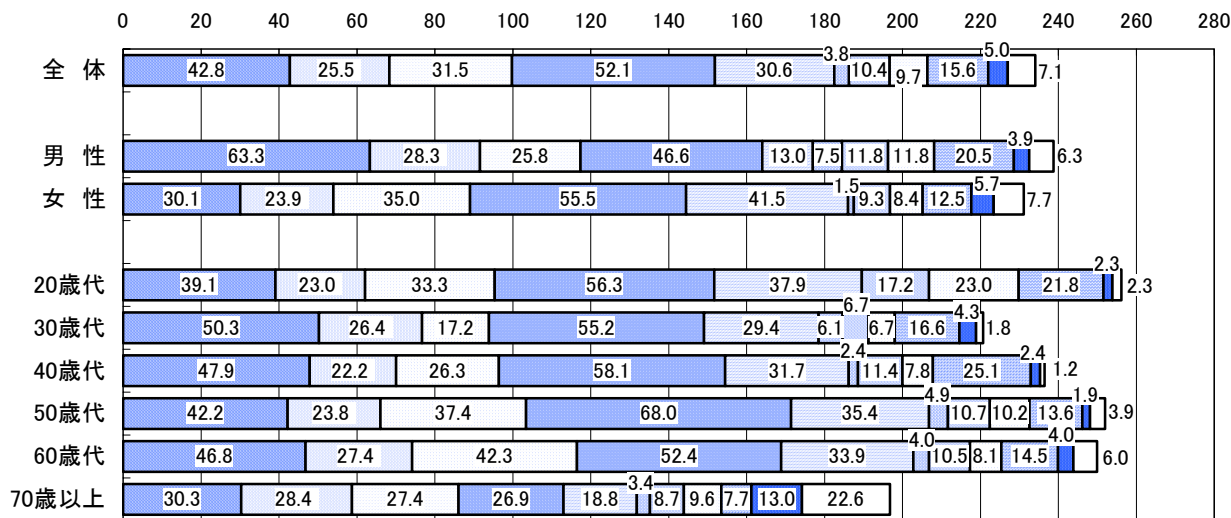
●災害時にできそうな事



性別で見ると、男性では「① 逃げおくれた人を助けたり、初期消火活動を行う」が高い。女性では「⑤ 地域で炊き出しを行う」が高い。

年齢別で見ると、20歳代、40歳代で「⑨ 自分の専門知識を生かして活動する」が高い。

●災害時にできそうな事



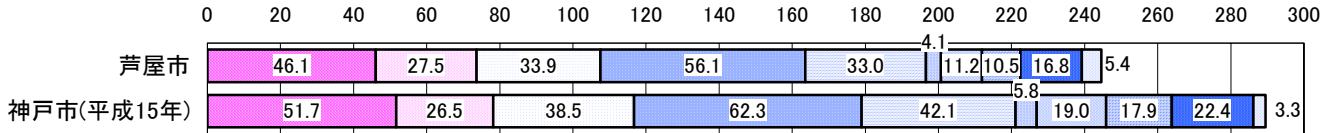
- ①逃げおくれた人を助けたり、初期消火活動を行う
- ②各種の情報を集めて地域の人に報せる
- ③地域の高齢者や病人などの世話をする
- ④避難所で救援物資の仕分けや配布をする
- ⑤地域で炊き出しを行なう
- ⑥地域のリーダーとなって救援活動をすすめる
- ⑦ケガをした人への応急手当を行う
- ⑧家族や自宅に多少の被害があっても、ボランティア活動に参加する
- ⑨自分の専門技術や知識を生かして活動する
- ⑩その他
- 無回答

【類似調査との比較】

平成 15 年に実施された神戸市の類似調査と比較した。

神戸市調査では「すべて選択」に対し、芦屋市調査の選択数が「3つまで」と限定されているにもかかわらず、芦屋市調査では「②各種の情報を集めて地域の人に報せる」については、神戸市調査よりも高くなっている。

●問23災害時にできそうなこと



- ①逃げおくれた人を助けたり、初期消火活動を行う
- ②各種の情報を集めて地域の人に報せる
- ③地域の高齢者や病人などの世話をする
- ④避難所で救援物資の仕分けや配布をする
- ⑤地域で炊き出しを行なう
- ⑥地域のリーダーとなって救援活動をすすめる
- ⑦ケガをした人への応急手当を行う
- ⑧家族や自宅に多少の被害があっても、ボランティア活動に参加する
- ⑨自分の専門技術や知識を生かして活動する
- ⑩その他

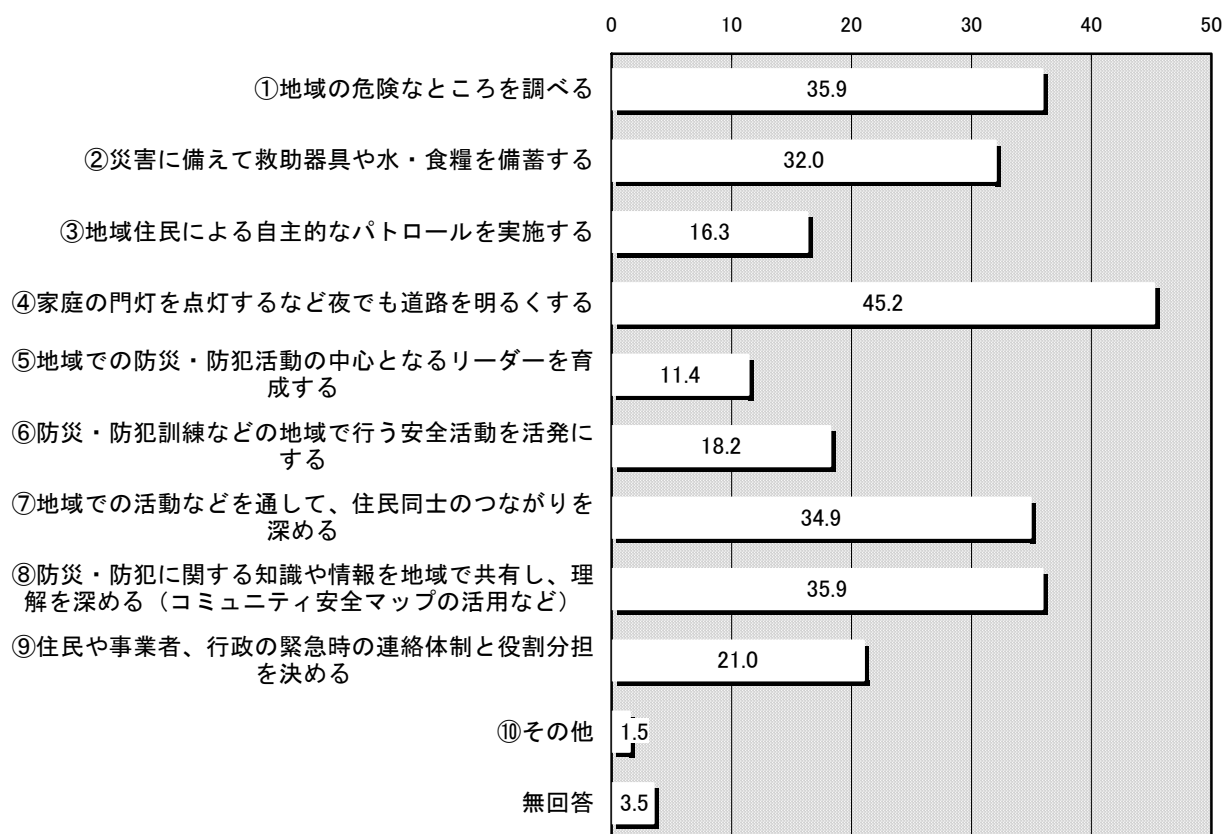
* 芦屋市の調査結果は無回答を、また神戸市の調査結果からは「できそうなことはない」を、除いて再計算を行った。
 * 芦屋市調査は「3つまで」選択、神戸市調査は「すべて」選択

問 24

あなたは、すべての人が安心してくらするために、お住まいの地域で今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号をご記入ください。

「④ 家庭の門灯を点灯するなど夜でも道路を明るくする」(45.2%) が最も多く、これに「① 地域の危険なところを調べる」(35.9%)、「⑧ 防災・防犯に関する知識や情報を地域で共有し、理解を深める(コミュニティ安全マップの活用など)」(35.9%)、「⑦ 地域での活動などを通して、住民同士のつながりを深める」(34.9%)、「② 災害に備えて救助器具や水・食糧を備蓄する」(32.0%) などが続く。

●地域での取り組み



「④ 家庭の門灯を点灯するなど夜でも道路を明るくする」について、50%を超えている居住地区は8地区、4地区、6地区、11地区である。

「① 地域の危険なところを調べる」については、7地区、1地区、2地区、11地区が40%を超えている。

「⑧ 防災・防犯に関する知識や情報を地域で共有し、理解を深める」については5地区が47.1%で最も高い。これに1地区と4地区が次いでいる。

「⑦ 地域での活動などを通して、住民同士のつながりを深める」では、10地区と1地区、

および9地区が40%を超えている。

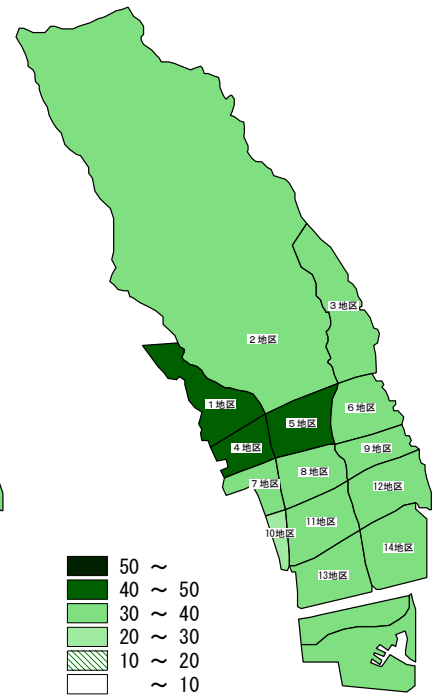
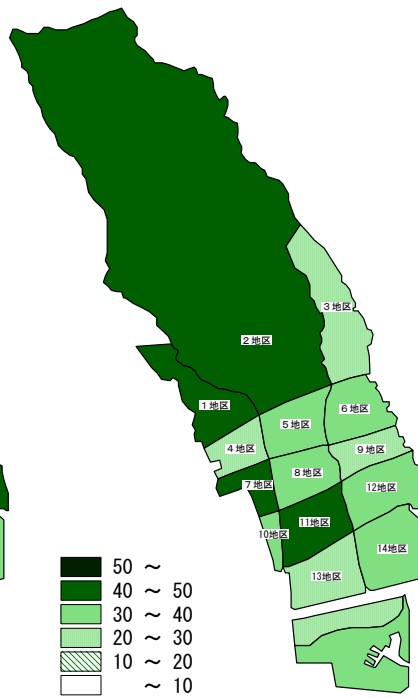
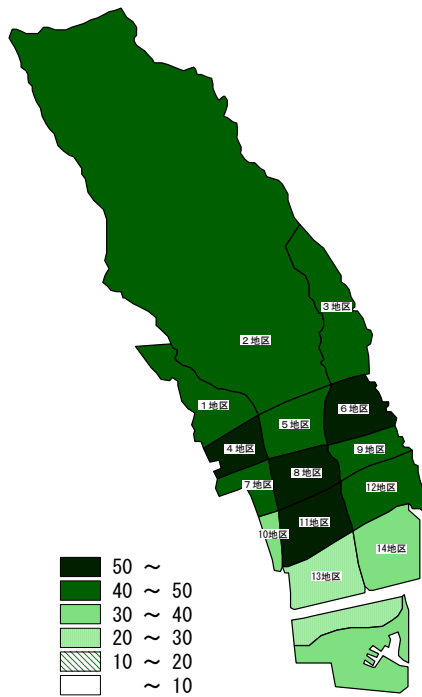
「② 災害に備えて救助器具や水・食糧を備蓄する」については10地区が平均を14ポイント上回っている。

●問24 地域での取り組み

④ 家庭の門灯を点灯するなど夜でも道路を明るくする

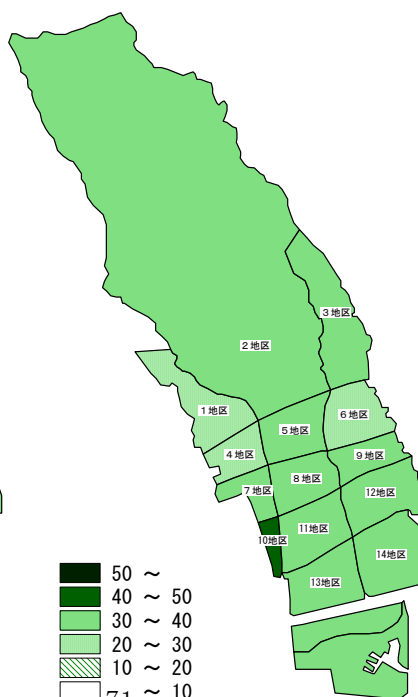
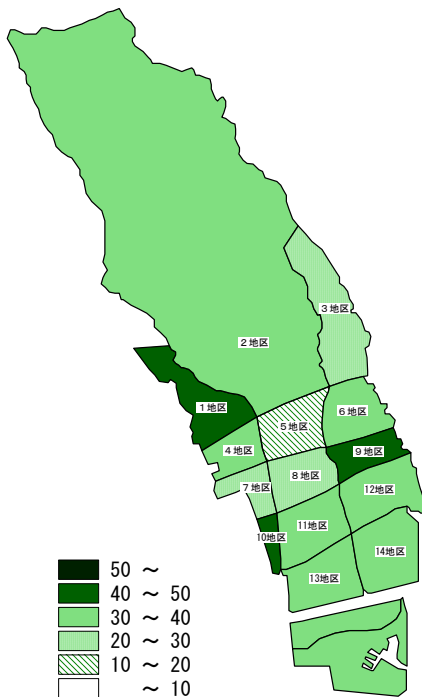
① 地域の危険なところを調べる

⑧ 防災・防犯に関する知識や情報を地域で共有し、理解を深める



⑦ 地域での活動などを通して、住民同士のつながりを深める

② 災害に備えて救助器具や水・食糧を備蓄する

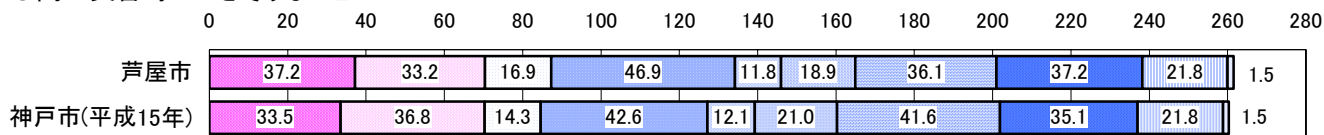


【類似調査との比較】

平成 15 年に実施された神戸市の類似調査と比較した。

芦屋市調査では「④家庭の門灯を点灯するなど夜でも道路を明るくする」がやや高く、また神戸市調査では「⑦地域での活動などを通して、住民同士のつながりを深める」が高くなっている。

●問23災害時にできそうなこと



- ①地域の危険なところを調べる
- ②災害に備えて救助器具や水・食糧を備蓄する
- ③地域住民による自主的なパトロールを実施する
- ④家庭の門灯を点灯するなど夜でも道路を明るくする
- ⑤地域での防災・防犯活動の中心となるリーダーを育成する
- ⑥防災・防犯訓練などの地域で行う安全活動を活発にする
- ⑦地域での活動などを通して、住民同士のつながりを深める
- ⑧防災・防犯に関する知識や情報を地域で共有し、理解を深める(コミュニティ安全マップの活用など)
- ⑨住民や事業者、行政の緊急時の連絡体制と役割分担を決める
- ⑩その他

* 芦屋市の調査結果は無回答を、また神戸市の調査結果からは「わからない」を除いて再計算を行った。

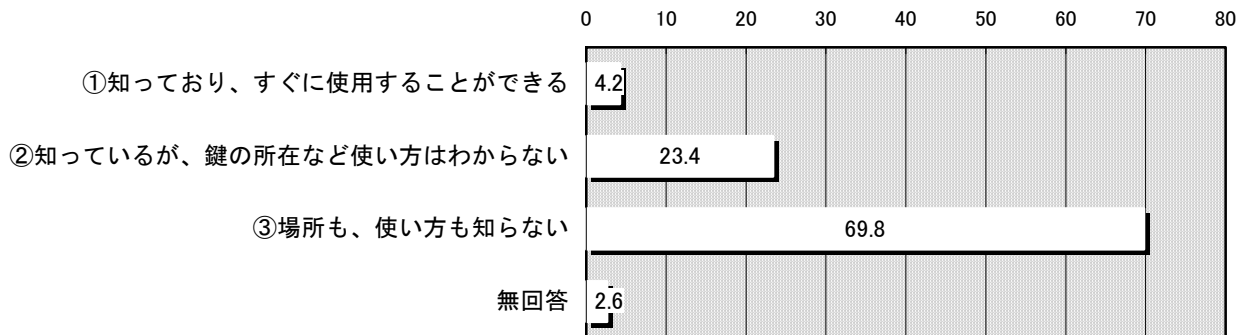
* 芦屋市調査、神戸市調査ともに「3つまで」選択

問 25

あなたは、お住まいの地域の防災倉庫や貯水槽（飲料水）などが、どのような場所に設置されているかご存知ですか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

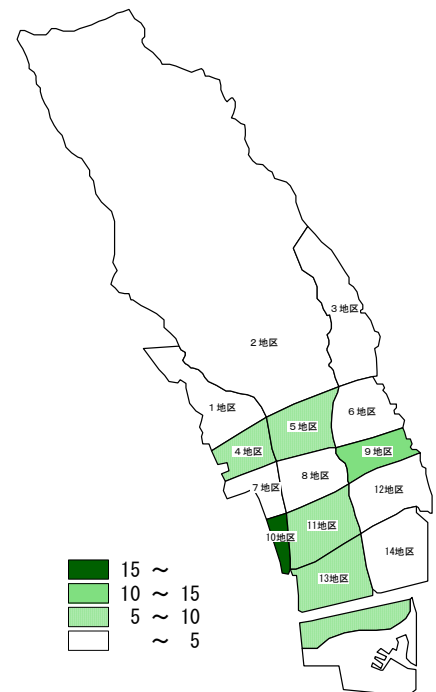
防災倉庫など地域防災施設について、69.8%の回答者が「③ 場所も、使い方も知らない」としており、周知度が低い。また「② 知っているが、鍵の所在など使い方はわからない」とする回答者が23.4%であり、ほとんどの人が知らないか、または知っているても使用方法がわからない。

●防災施設の周知



「① 知っており、すぐに使用することができる」とする割合を居住地区別にみると、10 地区で最も高く 18.2%である。これに9地区の 10.2%が続く。逆に低い地区は7地区、14 地区、3地区、12地区などである。

①知っており、すぐに使用することができる

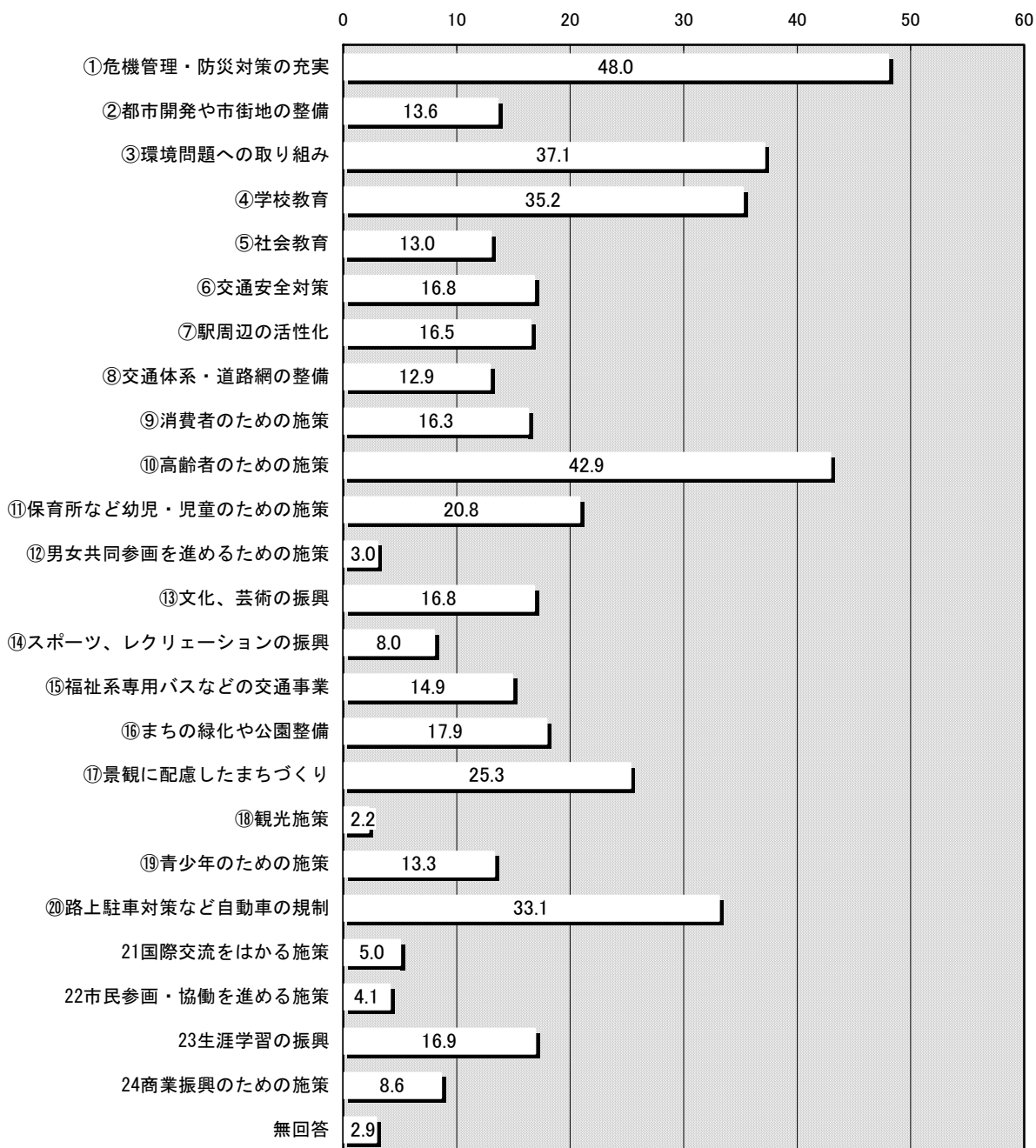


問 26

それでは最後に、あなたが芦屋市に対して今後特に力を入れて取り組んで欲しいと思われる施策はどのようなことですか。あなたのお考えに近いものを5つまで選んで番号をご記入ください。

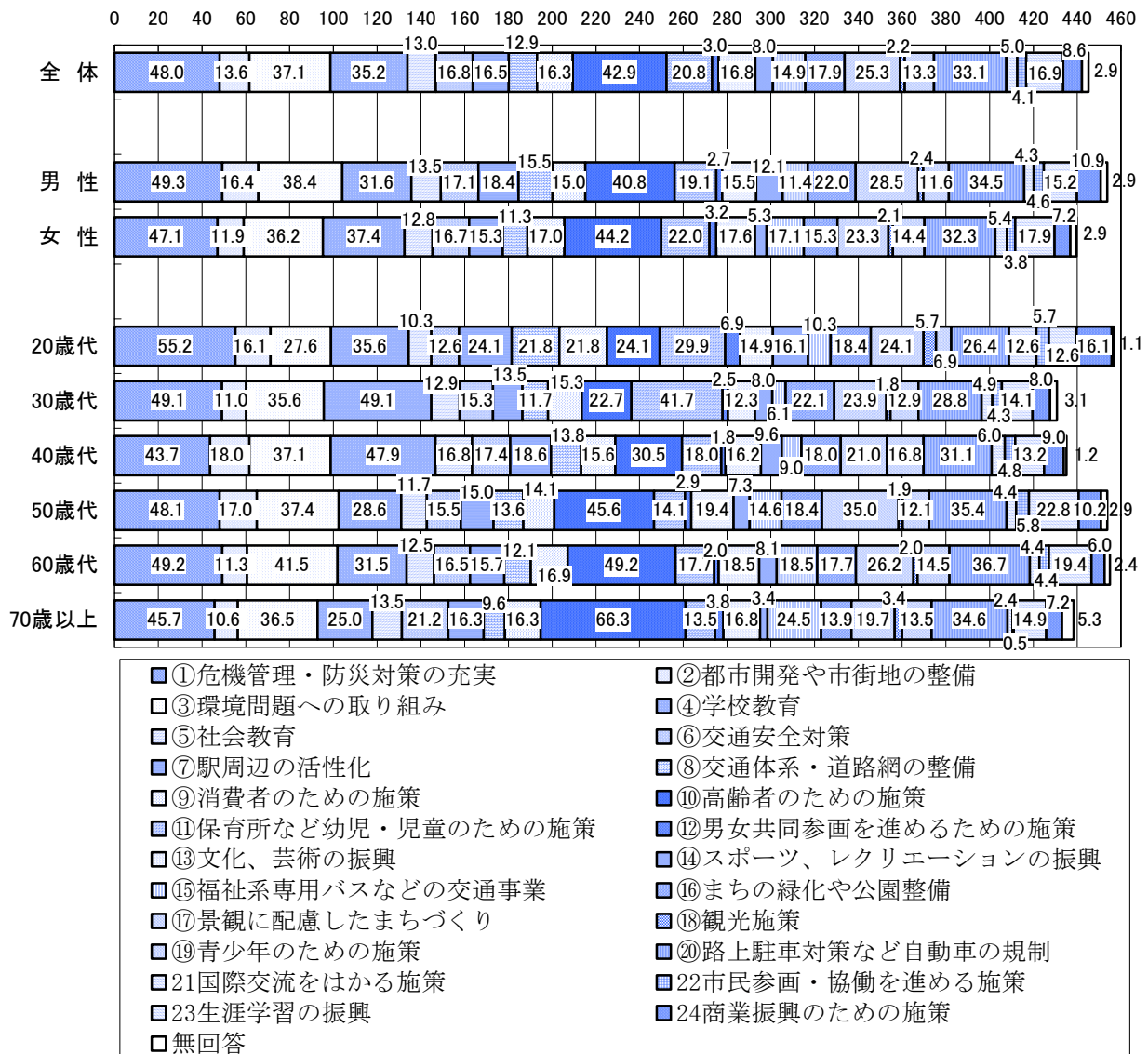
「① 危機管理・防災対策の充実」が48.0%で最も多く、第2位「⑩ 高齢者のための施策」(42.9%)、第3位「③ 環境問題への取り組み」(37.1%)、第4位「④ 学校教育」(35.2%)、第5位「⑳ 路上駐車対策など自動車の規制」(33.1%)と続く。

●求める施策



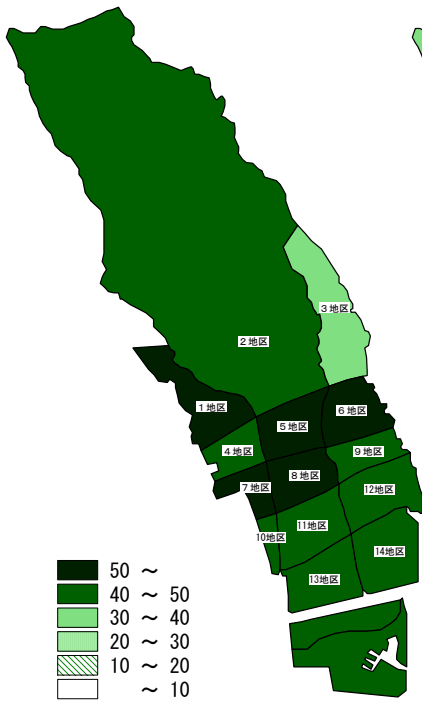
年齢別にみると、平均で第1位の「① 危機管理・防災対策の充実」については、20歳代で高い。第2位「⑩ 高齢者のための施策」については70歳以上と60歳代で高く、また第4位の「④ 学校教育」に対しては30歳代と40歳代で高いなど、ライフステージに即した意見となっている。第3位「③ 環境問題への取り組み」については、60歳代でやや高い。

●求める施策

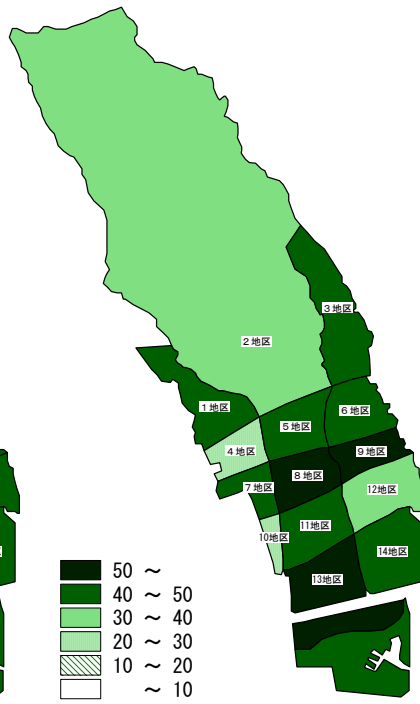


居住地区別にみると、「⑩ 高齢者のための施策」に対しては9地区、13地区、8地区で高く、いずれも50%を超えている。「③ 環境問題への取り組み」については、2地区、10地区、12地区、11地区で高い。「④ 学校教育」については、3地区と12地区で高い。

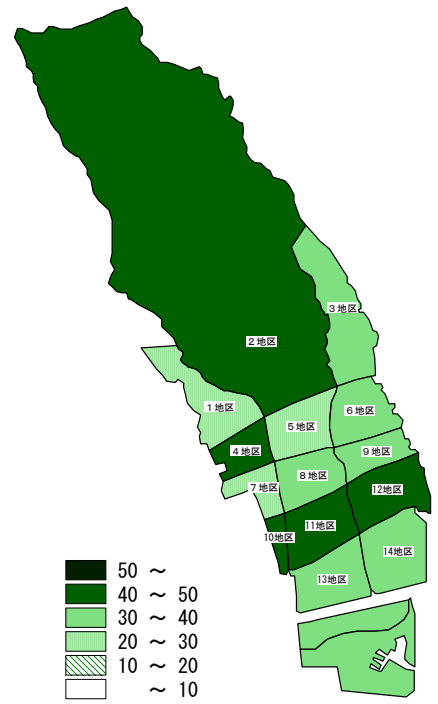
①危機管理・防災対策の充実



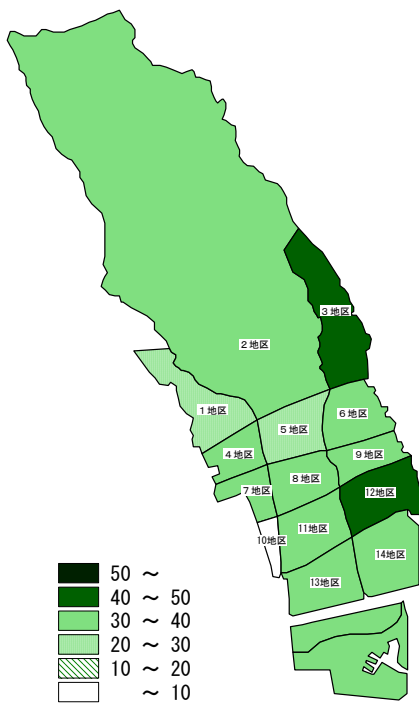
⑩高齢者のための施策



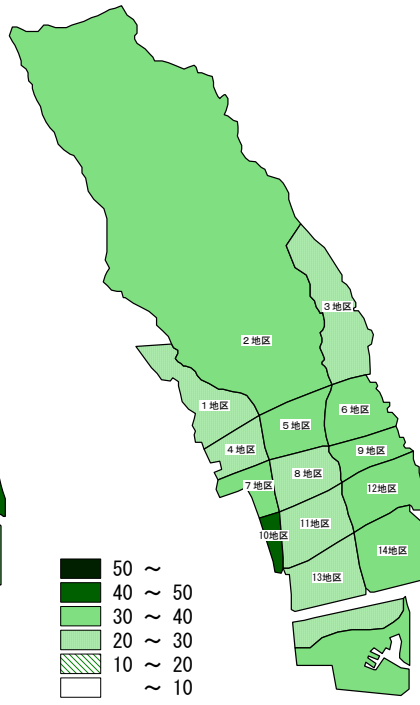
③環境問題への取り組み



④学校教育



⑳路上駐車対策など自動車の規制



○ まち・人・暮らし活性化推進アンケート

調査票・回答用紙

まち・人・暮らし活性化推進アンケート

質問用紙

震災後の芦屋のまちが安心してくらすことができる、人の活力にあふれたまちとして発展し続けるために、市民の皆さんのご意見をお聞かせください。
震災後に芦屋に引っ越してこられた市民の皆さんも、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

あなたご自身のことについてお尋ねします

問1 あなたの性別をお尋ねします。1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 男性
- ② 女性

問2 あなたの年齢をお尋ねします。1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 20歳代
- ② 30歳代
- ③ 40歳代
- ④ 50歳代
- ⑤ 60歳代
- ⑥ 70歳以上

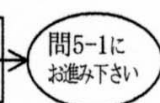
問3 あなたの家族構成をお尋ねします。1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 自分のみ（単身）
- ② 夫婦のみ
- ③ 親と子（2世代家族）
- ④ 親と子と孫（3世代家族）
- ⑤ その他（具体的にご記入ください）

問4 現在、お住まいの町名をご記入ください。

問5 現在お住まいの場所に引き続き何年ぐらい住んでおられますか。1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 3年未満
- ② 3年～5年未満
- ③ 5年～10年未満
- ④ 10年～20年未満
- ⑤ 20年～30年未満
- ⑥ 30年以上



問5-1（問5で①～③をご記入いただいた方にお尋ねします）

市内で移動された方は以前にお住まいの市内の町名をご記入ください。市外から転入してこられた方は、以前の市町村名をご記入ください。

問6 あなたが現在お住まいの住宅についてお尋ねします。1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 持ち家（一戸建て・長屋建て）
- ② 持ち家（分譲マンション等）
- ③ 民間の賃貸住宅（一戸建て・長屋建て）
- ④ 民間の賃貸住宅（賃貸マンション等）
- ⑤ 県営・市営の賃貸住宅
- ⑥ 公社・公団の賃貸住宅
- ⑦ 社宅・職員住宅
- ⑧ その他（具体的にご記入ください）

震災からの復興についてお尋ねします

問7 阪神・淡路大震災（以下「震災」と呼びます）時のお住まいは被害を受けられましたか。1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 全焼・全壊であった
- ② 半焼・半壊であった
- ③ 一部損壊であった
- ④ 被災地域*に住んでいたが、被害はなかった
- ⑤ 被災地域*に住んでいなかった

*被災地域・災害救助法が適用された10市10町
芦屋市・尼崎市・西宮市・神戸市・伊丹市・宝塚市・川西市・明石市・三木市・洲本市・津名町・淡路町・北淡町・一宮町・五色町・東浦町・緑町・西淡町・三原町・南淡町

お願い：回答は、別紙の回答用紙にご記入ください

*******回答は、別紙の回答用紙にご記入ください*******

問8 震災時の、お住まいの住宅形式についてお尋ねします。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 持ち家（一戸建て・長屋建て）
- ② 持ち家（分譲マンション等）
- ③ 民間の賃貸住宅（一戸建て・長屋建て）
- ④ 民間の賃貸住宅（賃貸マンション等）
- ⑤ 県営・市営の賃貸住宅
- ⑥ 公社・公団の賃貸住宅
- ⑦ 社宅・職員住宅
- ⑧ その他（具体的にご記入ください）

問9 あなたは震災後に実施された土地区画整理事業（西部・中央地区など）や街路事業（山手幹線事業など）などの震災復興事業をどの程度ご存知ですか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 地域内に居住していたので知っている
- ② 地域外だが近くに居住していたので知っている
- ③ 大きな工事を行っていたのは知っているが、それが震災復興事業なのかどうかはわからない
- ④ 震災復興事業という言葉は見聞きしたことがあるが詳しくは知らない
- ⑤ 震災復興事業がどのようなものか知らない

問10（問9で①か②を選ばれた方にお尋ねします）あてはまるものを2つまで選んで番号をご記入ください。

- ① 震災復興事業でまちが生まれ変わり、安全で安心してくらしが出来るようになった
- ② 震災復興事業でまちなみが整備され、新しいくらしの活力を感じ始めている
- ③ 短い時間で、まちが再建されたと感じている
- ④ 震災からのまちの再生とひとくらしに活力を与えるためには震災復興事業は必要であったと思う
- ⑤ 震災復興事業の進め方では、まちづくりに対する住民意識が向上したと思う
- ⑥ 震災復興事業の進め方では、まちづくりに対する住民意識に配慮すべきだったと思う
- ⑦ 震災復興事業が行われ、まちなみはきれいになったが、コミュニティのつながりなどが失われたような気がする
- ⑧ 震災復興事業のために、長い間、自主的な住宅再建ができなかったのは不満に思う
- ⑨ 震災復興事業の必要性について、もっと住

民の意見を聞くべきではなかったかと思う

- ⑩ 震災復興事業は不必要であった
- ⑪ 詳しくはわからない
- ⑫ その他（具体的にご記入ください）

問11 震災からの復興状況について、あなたの周囲の様子を見てどのように感じておられますか。次の(1)～(5)までのそれぞれについて、あなたのお考えに近いものを、①～⑥から1つ選んで番号をご記入ください。

	震災による影響はなかった	震災前より良くなっている	震災前と変わらない	ある程度は戻ってきている	あまり戻ってはきていない	わからない
問11-(1) お住まいの地域の住宅の新築・再建状況	①	②	③	④	⑤	⑥
問11-(2) 近所の商店街のにぎわい	①	②	③	④	⑤	⑥
問11-(3) 駅前商業地の活気	①	②	③	④	⑤	⑥
問11-(4) 違法駐車やゴミの出し方等のくらしのマナー	①	②	③	④	⑤	⑥
問11-(5) コミュニティのつながり	①	②	③	④	⑤	⑥

あなたのくらし向きについてお尋ねします

問12 あなたの世帯のくらし向きは、10年（震災）前と比べていかがでしょうか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 向上している-----
 - ② やや向上している-----
 - ③ 同じようなもの-----
 - ④ やや低下している-----
 - ⑤ 低下している-----
 - ⑥ わからない-----
- 問14にお進み下さい
- 問13にお進み下さい
- 問14にお進み下さい

問13（問12で④か⑤を選ばれた方にお尋ねします）あなたの世帯のくらし向きが10年（震災）前と比べて低下している主な要因はどのようなことでしょうか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

*******回答は、別紙の回答用紙にご記入ください*******

- ① 震災の影響が最も大きい
- ② 不況など景気による影響が最も大きい
- ③ 震災と景気の両方が影響している
- ④ 病気や退職・転職など個人的な要因が最も大きい
- ⑤ その他（具体的にご記入ください）



問14 あなたは、現在、次のことにどの程度満足されていますか。次の(1)～(6)のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

	満足している	やや満足している	どちらでもない	やや不満である	不満である	わからない
問14-(1) 毎日のくらし	①	②	③	④	⑤	⑥
問14-(2) 自分の健康	①	②	③	④	⑤	⑥
問14-(3) 人間関係	①	②	③	④	⑤	⑥
問14-(4) 家庭生活	①	②	③	④	⑤	⑥
問14-(5) 所得・収入	①	②	③	④	⑤	⑥
問14-(6) 将来のたくわえ	①	②	③	④	⑤	⑥

問15 あなたは、この1週間の間に、収入を得るために1時間以上の仕事（店の手伝いや内職・パート・アルバイトも含みます）をされましたか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 主に仕事をしていた
- ② 家事などのほかに仕事をした
- ③ 学校（予備校・専門学校などを含みます）に通うかたわら、仕事をした
- ④ 仕事を休んでいた
- ⑤
- ⑥ 家事をしていた
- ⑦ 学校（予備校・専門学校などを含みます）に通っていた
- ⑧ その他（具体的な内容をご記入ください）

震災後の考え方や行動の変化についてお尋ねします

問16 震災という出来事があってから、あなたの住宅に対する考え方に変化がありましたか。次の(1)～(11)のそれぞれについて、あなたのお考えに近いものを①～④から1つ選んで番号をご記入ください。

	はい	いいえ	わからない	変化はない
問16-(1) 持家より借家が良いと思うようになった	①	②	③	④
問16-(2) 市営や県営等の公営住宅に住みたいと思うようになった	①	②	③	④
問16-(3) 住宅や土地の資産性に疑問を持つようになった	①	②	③	④
問16-(4) 戸建住宅が良いと思うようになった	①	②	③	④
問16-(5) 集合住宅が良いと思うようになった	①	②	③	④
問16-(6) 高齢者等の利用に配慮した住宅・設備への関心が強くなった	①	②	③	④
問16-(7) 住宅や住環境の安全性について注意するようになった	①	②	③	④
問16-(8) 多少高くとも耐震性の高い住宅に住みたくなった	①	②	③	④
問16-(9) 近所づきあいが大切だと思うようになった	①	②	③	④
問16-(10) 親と子は身近に住むのが良いと思うようになった	①	②	③	④
問16-(11) 都市に住むより、自然が豊かな農山村地域で生活したくなった	①	②	③	④

*******回答は、別紙の回答用紙にご記入ください*******

問17 震災という出来事があってから、あなたの友人や近隣の方々との関係に変化はありましたか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 良好になった
- ② 一時良好になったが、元に戻った
- ③ 疎遠になった
- ④ 一時疎遠になったが、元に戻った
- ⑤ 変化はない

問18 震災という出来事があってから、あなたの地域活動（自治会・コムスク・文化・スポーツ活動や、まちづくり、ボランティア活動等）への関わり方に変化はありましたか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 関わりが強まった
- ② 一時期深まったが、元に戻った
- ③ 関わりが弱まった
- ④ 一時期弱まったが、元に戻った
- ⑤ 変化はない



問19 震災という出来事があってから、あなたの考え方や日頃の行動の中で変わったことはありますか。あてはまるものを3つまで選んで番号をご記入ください。

- ① となり近所などの他人との結びつきを大切に思うようになった
- ② どちらかといえば他人はあまりあてにできないと思うようになった
- ③ 将来に対する備えを十分にすべきだと思うようになった
- ④ 将来のことを考えるよりも今を楽しみたいと思うようになった
- ⑤ ものに対する執着心をあまり持たなくなった
- ⑥ お金やものに対するこだわりが強くなった
- ⑦ 人のためにもっと役に立ちたいと思うようになった

になった

- ⑧ 他人のことより自分のことを中心に考えるようになった
- ⑨ 地域のみんが困っていることは、みんな考えて解決すべきだと思うようになった
- ⑩ 地域のみんが困っていることがあっても、他人が解決してくれるだろうと思うようになった
- ⑪ ときには自分の欲求がかなわなくても仕方がないと思うようになった
- ⑫ 自分の欲求はどんなことをしてもかなえないと思うようになった
- ⑬ その他（具体的な内容をご記入ください）

問20 震災という出来事があってから、地域の住民のみなさんが主体となったまちづくりがおこなわれていますが、これからのまちづくりの【テーマ】と【進め方】について、あなたはどのようにお考えですか。それぞれの項目について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号をご記入ください。

問20-1【まちづくりのテーマ】

- ① 公共施設の整備や住宅、住環境整備などハード面を充実させること
- ② 施設の使い方やまちの景観形成ルールづくりなどのソフト面を充実させること
- ③ イベントなどを通して人々のコミュニティ意識を高めること
- ④ その他（具体的な内容をご記入ください）

問20-2【まちづくりの進め方】

- ① 地域の団体が主導して、独自にまちづくりを進める
- ② 地域の団体が中心となって、行政と協働してまちづくりを進める
- ③ 行政が主導して、住民の意見を聞きながら、まちづくりを進める
- ④ その他（具体的な内容をご記入ください）

*****回答は、別紙の回答用紙にご記入ください*****

問21 あなたは、お住まいの地域における次の活動について、どの程度参加していますか。また、いつ頃から大切だとお考えでしたか。次の(1)～(5)それぞれの【参加状況】と【活動の意義】について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号をご記入ください。

	参加状況					活動の意義							
	積極的に参加している	義務だと思いい参加している	参加したいが時間がなく参加していない	参加する気がないので参加していない	機会がないし、知らない	震災以前から大切だと思っており、震災を契機により大切だと思つようになった	震災以前から大切だと思っており、今も大切だと思つ	震災以前は大切だと思つていなかったが、今は大切だと思つていない	震災以前は大切だと思つていなかったが、震災を契機に大切だと思つようになった	震災以前は大切だと思つていなかったが、今は大切だと思つていない	震災以前は大切だと思つていなかったが、今は大切だと思つていない	震災以前も今も、大切だと思わない	わからない
問21-(1) まつり、スポーツなど地域での交流を促進するイベント	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥		
問21-(2) ひとり暮らしのお年寄りの見守りなど高齢者・障害者に対する福祉活動	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥		
問21-(3) 防災訓練などの地域防災活動	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥		
問21-(4) 青少年育成や子育てに対する支援活動	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥		
問21-(5) リサイクルバザーやまちの美化運動などの環境保全活動	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥		

安全で安心なまちづくりについてお尋ねします

問22 現在お住まいの地域において、あなたは、防災・防犯面で不安に感じておられることがありますか。あてはまるものを5つまで選んで番号をご記入ください。

- ① 大雨で、浸水やがけ崩れが発生しないかどうかということ
- ② ふたたび大地震が発生しないかどうかということ
- ③ 倒壊や火災の恐れのある施設や家屋が近くにあること
- ④ 火事や急病の時に消防車や救急車がすぐに来てくれるかどうかということ
- ⑤ 災害時にどこに避難したらよいかわからないこと
- ⑥ 消火栓や防火水槽などの防災施設が近くにないこと
- ⑦ 付近の道路や公園が暗い、また見とおしが悪く、死角が多いなど、放火やひったくりなどをされないかということ
- ⑧ 不審な人やグループをよく見かけること
- ⑨ 屋間留守にしている家や空き家・空き地が多いこと
- ⑩ 近くに頼れる人がなく、また人とのつながりが薄いこと
- ⑪ 災害等の緊急時に備えた住民組織がないこと
- ⑫ 家族に高齢者や病人などがいるので、いざという
- ⑬ ときのこと

⑬ その他（具体的な内容をご記入ください）

問23 あなたは、今後、大災害が起り、お住まいの地域で大きな被害があった場合に、どのようなことができそうだとお考えですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号をご記入ください。

- ① 逃げおくれた人を助けたり、初期消火活動を行う
- ② 各種の情報を集めて地域の人に報せる
- ③ 地域の高齢者や病人などの世話を^{しよ}する
- ④ 避難所で救援物資の仕分けや配布をする
- ⑤ 地域で炊き出しを行なう
- ⑥ 地域のリーダーとなって救援活動をすすめる
- ⑦ ケガをした人への応急手当を行う
- ⑧ 家族や自宅に多少の被害があっても、ボランティア活動に参加する
- ⑨ 自分の専門技術や知識を生かして活動する
- ⑩ その他（具体的な内容をご記入ください）

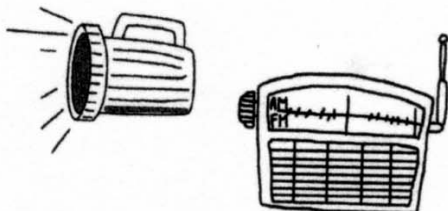
*******回答は、別紙の回答用紙にご記入ください*******

問24 あなたは、すべての人が安心してくらするために、お住まいの地域で今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号をご記入ください。

- ① 地域の危険なところを調べる
- ② 災害に備えて救助器具や水・食糧を備蓄する
- ③ 地域住民による自主的なパトロールを実施する
- ④ 家庭の門灯を点灯するなど夜でも道路を明るくする
- ⑤ 地域での防災・防犯活動の中心となるリーダーを育成する
- ⑥ 防災・防犯訓練などの地域で行う安全活動を活発にする
- ⑦ 地域での活動などを通して、住民同士のつながりを深める
- ⑧ 防災・防犯に関する知識や情報を地域で共有し、理解を深める（コミュニティ安全マップの活用など）
- ⑨ 住民や事業者、行政の緊急時の連絡体制と役割分担を決める
- ⑩ その他（具体的な内容をご記入ください）

お考えに近いものを5つまで選んで番号をご記入ください。

- ① 危機管理・防災対策の充実
- ② 都市開発や市街地の整備
- ③ 環境問題への取り組み
- ④ 学校教育
- ⑤ 社会教育
- ⑥ 交通安全対策
- ⑦ 駅周辺の活性化
- ⑧ 交通体系・道路網の整備
- ⑨ 消費者のための施策
- ⑩ 高齢者のための施策
- ⑪ 保育所など幼児・児童のための施策
- ⑫ 男女共同参画を進めるための施策
- ⑬ 文化、芸術の振興
- ⑭ スポーツ、レクリエーションの振興
- ⑮ 福祉系専用バスなどの交通事業
- ⑯ まちの緑化や公園整備
- ⑰ 景観に配慮したまちづくり
- ⑱ 観光施策
- ⑲ 青少年のための施策
- ⑳ 路上駐車対策など自動車の規制
- ㉑ 国際交流をはかる施策
- ㉒ 市民参画・協働を進める施策
- ㉓ 生涯学習の振興
- ㉔ 商業振興のための施策



問25 あなたは、お住まいの地域の防災倉庫や貯水槽（飲料水）などが、どのような場所に設置されているかご存知ですか。あてはまるものを1つ選んで番号をご記入ください。

- ① 知っており、すぐに使用することができる
- ② 知っているが、鍵の所在など使い方はわからない
- ③ 場所も、使い方も知らない

問26 それでは最後に、あなたが芦屋市に対して今後特に力を入れて取り組んで欲しいと思われる施策はどのようなことですか。あなたの

**まち・人・暮らし活性化
推進アンケート**

回答用紙

お答えは、この用紙に
ご記入ください。

あなたご自身のことについてお尋ねします

問 1 (性別) 問 2 (年齢)

問 3 (家族構成)

問 4 (居住町)

問 5 (居住期間)

①～③の方の
問 5-1 (以前の居住地)

問 6 (住宅形式)

あなたの暮らし向きについてお尋ねします

問 12 (くらしの変化)

問 13 (低下の要因)

問 14-(1) (毎日のくらし)

問 14-(2) (自分の健康)

問 14-(3) (人間関係)

問 14-(4) (家庭生活)

問 14-(5) (所得・収入)

問 14-(6) (将来のたくわえ)

問 15 (仕事の有無)

震災からの復興についてお尋ねします

問 7 (震災時の住まいの被害)

問 8 (震災時の住まいの住宅形式)

問 9 (復興事業の周知)

①～②の方の
問 10 (復興事業の評価)

問 11-(1) (地域の住宅の新築・再建状況)

問 11-(2) (近所の商店街のにぎわい)

問 11-(3) (駅前商業地の活気)

問 11-(4) (くらしのマナー)

問 11-(5) (コミュニティのつながり)

震災後の考えかたや行動の変化についてお尋ねします

問 16-(1) (持家より借家)

問 16-(2) (公共住宅志向)

問 16-(3) (資産性に疑問)

問 16-(4) (戸建住宅志向)

問 16-(5) (集合住宅志向)

問 16-(6) (高齢者等住宅への関心)

問 16-(7) (安全性志向)

問 16-(8) (耐久性志向)

問 16-(9) (近所づきあい重視)

問 16-(10) (親子同居重視)

問 16-(11) (農山村居住志向)

問 17 (人間関係の変化)

問 18 (地域活動への関わりかた)

問 19 (行動の変化)

3つまで

問 20-1 (まちづくりのテーマ)

問 20-2 (まちづくりの進め方)

「その他」の方は具体的に記入

問 21-(1) (地域イベント)

問 21-(2) (高齢者・障害者)

問 21-(3) (地域防災活動)

参加状況 活動の意義

問 21-(4) (青少年育成や子育て)

問 21-(5) (環境保全活動)

参加状況 活動の意義

安全で安心なまちづくりについてお尋ねします

問 22 (不安なこと)

5つまで

「その他」の方は具体的に記入

問 23 (災害時にできそうな事)

3つまで

「その他」の方は具体的に記入

問 24 (地域での取り組み)

3つまで

「その他」の方は具体的に記入

問 25 (防災施設の周知)

5つまで

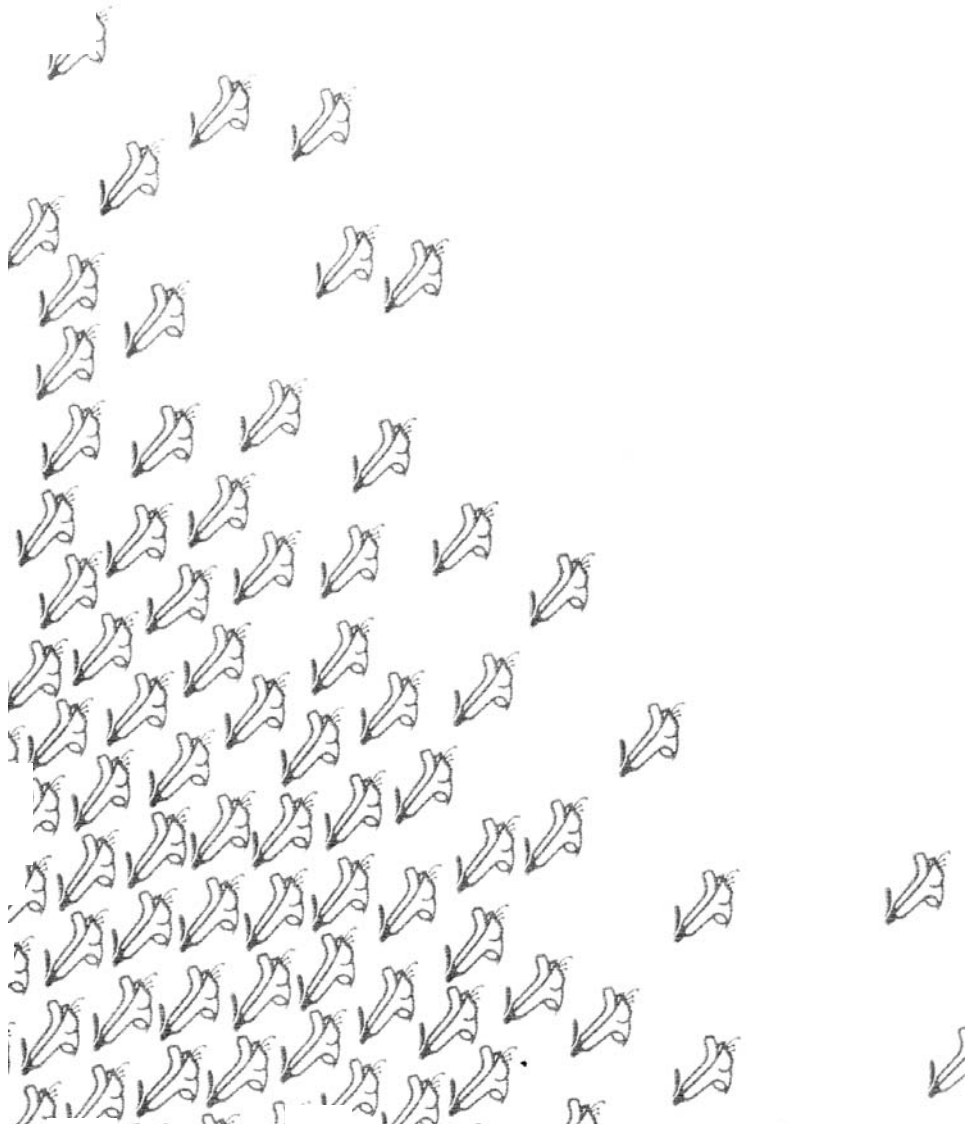
問 26 (求める施策)

◆今後のまちのあり方や、暮らしに関する事など、何でも結構ですのでご意見をお寄せください

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
 この回答用紙を返信用封筒に入れ、7月26日(月)までにポストに投函してください。
 (切手は不要です)

芦屋市
まち・人・暮らし活性化推進アンケート

自由回答



平成16年9月

まち・人・暮らし活性化推進アンケート 自由回答集計		
回答総数		442
震災復興計画の該当項目	①防災体制の拡充	63
	②市街地の復興	33
	③住宅の復興	15
	④道路の復興	51
	⑤公園・緑地の復興	27
	⑥コミュニティの活発化	37
	⑦自立・循環型環境の創出	39
	⑧健康づくりの推進	7
	⑨社会福祉の充実	43
	⑩市民文化の復興	19
	⑪生涯学習の充実	9
	⑫学校教育の充実	14
	⑬商業の復興	20
追加項目	⑭行政改革	37
	⑮市民参画	6
	⑯非該当	22

まち・ひと・くらし活性化推進アンケート

◆今後のまちのあり方や、くらしに関する事など、何でも結構ですのでご意見をお寄せください

NO	性	年齢	自由回答
9	女	70歳以	重複、無駄の無いまち・暮らしづくりであってほしい。
11	女	30歳代	防犯における警察との連携をしっかりとお願いしたい。せめて犯罪、被害後のフォロー及び周辺住民への警告で再犯防止に努めて欲しい。パトロールの強化をお願いしたい。また、子どもの連れ去り事件が多発しているので、登下校時には大人が散歩や庭掃除を多くするようにして目を光らせるように努めたい。
20	女	40歳代	市の職員が過剰です。人員削減し、その税金を問26の求める施策に充当すべきです。
22	男	40歳代	ゴミの収集日が週2日に減ったことで逆に環境衛生に問題がある。(夏場は特に！)
24	女	60歳代	西浜公園に睡蓮やはすが植えられてトンボが飛んでいるのを見ていると本当に良い風景だと思っておりましたが、震災後、水がにごって本当に汚いです。何か策をこうじてください。また、老人の楽しみを作ることも大切ですが、将来を担って立つ子ども達に対する設備や考え方が芦屋市は本当にお粗末だとつくづく感じております。小さな市で独特の動きがいくらでもできるはずですよ(お金をかけるだけではない)。子ども達のためにいろいろ考えて下さい。教育委員会等は若い人を起用して活力のあるものにして下さい。
25	女	60歳代	ごみ収集の件ですが、“その他ゴミ”が月に2回ありますがあまり出されていない。1回にしてその分、生ゴミを1回増やして欲しい。
28	男	70歳以	現在の生活維持で生活できれば良いと思います。
30	男	50歳代	公共事業は品管過剰。工建業者が喜ぶだけ。
39	女	60歳代	市街地の整備の具体的な例で道路の整備になるのですが、犬のフンが相変わらず多いのには驚きです。健康のため、朝・夕と人の散歩が増えていますのにこれだけ道路がフンで汚れてはうんざりです。犬を飼っている家庭から一律行政が何らかの形でお金を取ってもらいたいです。
44	女	50歳代	大震災以後、不審者が大変増えました。特に山行きの方々に不審な行動の見られる方が多いです。現に泥棒の被害が多くなりました。①警察の方も〇町で被害があった位は教えて欲しいものです。②それと、歩道を走り抜ける自転車に足をひかれたり、カバンを引っ掛けられそうになったりして、大変危険な状態です。いつからあのすごいスピードの自転車が歩道OKになったのでしょうか。車と違ってナンバーも覚えられません。
45	女	50歳代	以前から住んでいた者への配慮が足りない。特にマンション開発には注意して欲しい。
48	女	50歳代	芦屋市は阪神間でも特に高齢化が進んでいると聞いています。福祉施設やデイサービスカーをよく見かけますが、そういった施設の充実はもちろん必要ですが、大多数の健康で元気な中高年者が楽しめる施設や催しをもっと充実させて欲しいと思います。たとえば時タルナホールでやっているようですが、関西在住の著名人による講演会とか淀鋼の迎賓館を借りて、クラシックのミニコンサートなどはどうでしょうか。それと役所が関係する施設や催しにいきいき〇×〇×とかふれあい〇×〇×といった名前をつける傾向がありますがやめてほしい。背中がゾワッとします。
50	女	20歳代	震災後、打出駅南(R43以南)はマンション建設などで活気が出てきたように思う。しかし、其れに伴い、駅周辺での無断駐輪が目につく。南に住んでいる人達が電車利用のために駅まで乗ってきた自転車だと思う。休日など商店街の商店前に平然と自転車が置いてある。数台でなく何十台も。駅北側の舗道上にも放置している。景観が損なわれているように感じる。放置する人のモラルの問題であると同時に、駐輪スペースが少ない(遠い)からだと思う。この件に関して考えていただきたい。
53	男	30歳代	市民の立場に立った施策を希望します。
56	女	60歳代	芦屋市立美術博物館の閉館は絶対にあってはならない。もしこのようなことが実施されるならば、経済・財政的メリットより何倍もの損失を将来にわたりもたらす。文化・芸術に理解・関心のある人材による再検討を求めます。
57	女	70歳以	地震後、古い家が壊れきれいな町になりました。住んでいる人が変わり少し淋しい気がします。

59	男	60 歳代	・芦屋市職員及び芦屋市議の定数削減。 ・海浜地区開発にかかる費用の削減。 ・市民参加形式(ボランティア)などによる市道・芦屋川・公園などの清掃。 ・主婦参加の子育て SOS 電話係や、生活知恵袋(60 歳以上の方参加)などで市の費用負担を少なくする。 ・マナーの良い芦屋市民としての誇りが持てる行政指導を望みます。
60	女	40 歳代	芦屋の山側の地区(阪急より北)に公的施設が少ない。新しい海側地区にかけるウエイトが大きいように感じますが(整備・開発等)。
63	女	30 歳代	財政難かもしれませんが、子ども 3 人いると医療費 etc 出費が大変です。もっと福祉面で充実して欲しい。
66	男	60 歳代	安全で美しい街にして欲しい。
67	男	60 歳代	J R 芦屋駅前周辺の不法駐車を厳しく取り締まるべきである。円滑な車の流れを非常に阻害している。
71	男	60 歳代	中央部分から北は坂が多くキツイので、公共の小型バス等をもっと安くこまめに動かす事を考えてもらいたい。バスの運行が片より、高い(市営でない為か?)。老人の足となる方法を考えてもらいたい。財政難はわかるが…。
76	男	70 歳以	◎芦屋市総合公園駐車場で身障者から一般料金で駐車料金を取るようになった(7 月までは無料だった)のは、市が赤字財政だとしてもどうかと思う。 ◎市総合公園は、夕方になると大きい犬を連れた人がいつも 30 人ほど集まり、放し飼いにしている。広い公園は犬のための運動場ですか?
77	女	40 歳代	芦屋市はとても住みやすい環境の良い街ですが、赤字財政だと聞いて心配しています。もう少し市民と密着したコミュニケーションをとりながら知恵を絞っていただきたいと思います。
78	女	70 歳以	震災時にあまり被害にあわなかったからかもしれませんが、住んでいる地域ではたいした変化もなく過ぎております。でも芦屋は変化してきているようですね。J R 駅前等もう少し活気が出るような工夫があっても良いのではと思います。満足な回答をすることができずごめんなさい。
83	男	30 歳代	公共交通機関、特にバス(ほぼ阪急バスに限定される)について、以下問題を感じます。 ・絶対的本数の少なさ。 ・最終が早すぎる。これでは結果としてマイカー・タクシーに頼る事となる。経済的また高齢者にも不便。
84	男	30 歳代	震災後 10 年が経とうとしています。建物等ハード面での復興は目に見えて進んでいるように感じられます。しかしソフト面はどうでしょうか。今回の行政改革実施計画を見てみますと、震災以前からの行政側の散財のツケも震災の影響だとみなしているものが多いのではないのでしょうか。山手線しかり総合運動公園しかり。そして文化・芸術・教育面でその後始末をしているような気がしてなりません。切り捨ててはいけないものを見極めた行政を切に望みます。
86	女	60 歳代	日本の社会では真の改革は難しい。リーダーにいい人を求めたり、みな仲良しグループを好むし、提案しても上に行かず握りつぶしたり、告発と悪口の区別がつかない。本気で改革をし支出の見直しをしたら増税は必要ない。公共施設や市役所が超立派な必要は無いとか、文句の多いおしゃべり好きのダメな男性より優秀でなくともまじめな女性の方が効率的な部署もある。小さな事では床に小さなクリップが一つ落ちていたらもうクリップは買ってもらえないとか、会議の資料でもウラ紙(ウラの白い紙)を使うとか。今あるロッカーを半分に減らすとか。民間でやっている事でも役所ではできていない例は山ほどある。クリップ 1 個、紙 1 枚を節約する事を命令すべきだ。
89	女	70 歳以	町の緑化に向けて植樹してくださる事を嬉しく存じておりますが、植えた後の管理もお願いしたく存じます。管理のできない所は植樹されない方が良いと存じます。次々枯れていく木を見るのは辛いものです。
90	男	50 歳代	住民の意思の尊重(重要な施策決定には必ず住民が直接に参加できるよう配慮)が大事。北村市長の手法は最悪であり、芦屋市の生活の質を低下させた。その愚を繰り返してはならない。
91	男	30 歳代	芦屋市は全国の中でも一番住みやすく、景観に配慮した素敵な街だと思っています。私は南芦屋浜に住んでおりますが、特にこの街は私の終のすみかだと思ようになりました(まだ 33 歳ですが)。この先どんな素晴らしい街になっていくのか、毎日ワクワクしながら生活しています。ぜひとも緑豊かなきれいな街作りをこれからも進めていってください。

100	男	30歳代	街灯が少ないため、夜道危険が多い。対人及び特にJR南口付近の信号のない交差点など、タクシーや乗用車のスピードは目にあまる！いつひかれてもおかしくないと思います。街灯か信号を考えていただきたいです。
101	女	70歳以	○岩ヶ平バス停より岩園トンネルに至る歩道が、夜間薄暗いので足許が不安です。 ○私共夫婦は高齢の為いつも何かとお世話になりましてありがたく感謝しております。今後ともよろしく願います。
104	女	40歳代	西宮から芦屋市に入ったとたんに道路が暗くなる。特に歩行者道路は暗くてこわい。子どもの通学路なのに路駐したり、スピードを出したりする車がいる。歩道に車を止めたり、横断歩道をふさいだりしている。小さな子どもやお年寄りむけの公園はあるが、ちょっと大きい子ども達が思いっきりボールを蹴ったり投げたりできる場所がない。結局、健全に遊べなくて非行に走ったりするのではないだろうか？これからの日本や年寄りを支える中・高生の心の育成にももう少し目を向けてみると、犯罪が減るのではないのでしょうか？
105	女	20歳代	・芦屋市には立派な美術館などがあるのに、広報活動がなく、市税の無駄になっている。 ・芦屋浜の辺りは緑化が進んでいるが、雑草が育ち死角ができています。せつかくの広場なのに、不審者が隠れていても気付けないので近寄れない。広場利用者が雑草を1本ずつでも抜くようにすれば、すぐに美しくなると思う。そのためには市役所の人が行動で示し声かけをするなど、アイデアはいくらでもあるのでは…。
112	不	不明	市民全員が調和のある幸せ(健康である事)な生活ができるように、(特定の人のいじめ・村八分的)すみずみまであたたかい目を持って(知る事が大切)行政の上にごそ新しい芦屋の町が誕生する事を願っています。
113	男	60歳代	今までは不必要なものに市民税をかけすぎてはいなかったでしょうか。何が必要かをよく考え必要なもの(子どもの教育・福祉など)に税金を使って欲しいと思います。
115	女	60歳代	☆さくら参道は美しい並木道ですが、夜は少し不安に感じます。もう少し照明の工夫をお願いいたします。 ☆幼児の雨の日の遊び場所がありません。公園はあちらこちらにあります(神戸市にあるような)1つの部屋の中に楽しめる遊具など置いて親子で一時を過ごせるような空間を早急をお願いいたします。図書館もよく利用していますが、ここだけでは飽きてしまいます。長期休暇で孫達が帰省するたびに痛感しています。
116	女	60歳代	震災以後マンションが多くなってきたので、避難場所を増やすなど対策を考えていただきたい。
121	女	40歳代	(地域活動について)コミスク活動が盛んであるといわれる芦屋だが、実のところは同じ人が(成年の人)長く続けているので存続しているクラブも多く、活発に活動されているとばかりいえない状況である。また、利害関係や利潤を追求していないコミスク活動にも、自分勝手なクラブのやり方で和を乱すクラブも現れ、小学校の施設の利用をめぐるトラブルも起きた。この一連の出来事の対応を見て感じたことは、市の教育委員会は弱腰で、真のポリシーがないということだった。地域社会の横のつながりを作っていこうという姿勢は、市がリードしているのではなく良識ある市民の地道な活動によってのみ、なんとか維持されているのである。真のリーダーシップを発揮して市民を引っ張っていってもらうには、今のようなものの考え方・やり方ではまことに心もとない。
122	男	70歳以	美術館等の企画があまり楽しくない。芦屋市展等の入選作は一般の人が見ても楽しくない。もう少し一般市民が親しめる普遍的企画がほしい。
124	女	60歳代	生ゴミ収集が週2回になったのが不満。市民の意見も聞かず、なんで～。
126	男	30歳代	芦屋に住み始めて2年近くになりましたが、夫婦2人とも日中は仕事をしており、子どももいないため地域とのつながりは全くありません。土日出勤も多く自治会にも参加していないため、地域のイベント、生活の情報などほとんど入ってきません。広報誌に目は通していますが…。
129	男	70歳以	芦屋の街の品格というか、素晴らしい伝統的な良さを凡ての点で残したい。それには街並みや景観はもとより、街のたたずまい、店員のサービス、応対、言葉使い、大人の行動や交通マナーなど、風格のある街、誇らしい街の姿を持ち続けるよう、行政も住民も努めるようにしたい。

131	男	60 歳代	私が今後最も力を入れて取り組んで欲しい施策は治安・防犯施策の充実です。安全で住みよい街づくりが目標ですが、強盗や引ったくり等の凶悪犯罪が身近なところで多発しているのが現状で、非常な不安と不満を感じています。しかし、最後の第26 の設問の中に、(しかも 24 も案があるのに)こうした防犯の案がなかったのは意外でした。市と市民との間に問題意識のギャップを感じて残念に思います。「天災対策」ということで大規模な建設工事をするよりも「人災対策」に注力すべきです。防犯組織は防災組織にもなります。市民活動を積極的に支援する行政・自治(警察)の姿勢が必要です。「緑と花のある、安全で住みよい街、芦屋」という原点でいつも考えて行きたいと思います。
132	女	60 歳代	震災の時には主人と息子とで 13 人の人を瓦礫の中から出しました。地域の人は何をしていいのかわからず、うろろうしていました。協力ができたらもっと効率よく人を助ける事ができたと思う。ちなみに〔建築関係〕です。
141	女	70 歳以	どこよりも環境がよく、緑も花もたくさんあり住みやすいこの街が大好きです。
143	女	30 歳代	子どもの事になりますが、特に大阪市や神戸市に比べて芦屋市は子どもは育てにくいところだと思います。今現在、子育て中ですが、いろんな面で不満に思っています。世の中全体もそうですが、お年寄りの方も大事ですが、これから世の中を背負っていく子ども達の事を大切にしなければ、少子化はなくならないと思います。矛盾だらけです。保育所も 1 年待ちだし、働く事が条件でも実際はどうでしょうか。安心して働く事ができないのが現状ではないでしょうか。本音と建前だけのものはもうイヤです。
145	女	20 歳代	家の前が呉川公園なんですけど、会社帰りに通るとすごく暗くてこわいです。もっと街灯をつけてほしいです。そんな所がけっこう芦屋にはあると思います。あと、図書館から北へ行く道で(きれいな道)いつも両サイドに木が茂っていて、車で通るたびその木があたって傷がつくのもっと短く切ってください。暮らしやすい芦屋の街になるよう私も頑張りたいのでよろしくお願いします！！
146	女	30 歳代	小さい子どもがいつも行ける、行く児童館がない。週 1 回とかではなく…。神戸市は充実しています。
150	女	60 歳代	J R 芦屋駅前のバス停北側の柵は非常に美観を損なう。
152	女	60 歳代	財政を建てなおし活力のある、そして弱者へもやさしい愛情あふれる町でありたい。美しい町でありたい。にこにこ笑顔を浮かべた人々の住む町でありたい。みんなが周囲に気を配り助けてほしい人がいればそっと風のようにやさしく手を貸してあげたい。世界中で一番素晴らしい、自慢の町でありたい！！
153	女	40 歳代	余計な公共事業を進めるよりも赤字をうめることを考えてほしい。市内でも地域間でのつながりがあまり感じられない。特に陽光町などの新しい埋立地の方は全く市内という感じがしない。また、市芦高校の廃校後の有効活用や、公立高校の選抜方法など、市の考え方が今ひとつ伝わってこない。県の教育委員会の言いなりではなく、もっと市民の声をしっかりとくんでほしい。不登校が増える原因・対処法ももっと積極的に考えてほしい。
154	女	50 歳代	春日町は西宮市弓場町と隣接しています。鳴尾・御影線の両サイドの道路(歩行者用)のことですが、春日町に入ると途端にアスファルトの凸凹が多く、雨が降ると水溜りがたくさんでき、非常に歩きにくいです。早々にでこぼこのないようにしていただきたいと思います。芦屋は文化都市なのに市全体をもっともっと景観良くきれいにしていきたい！と思います。が…個人ではできません。
155	女	30 歳代	仕事で夜遅く帰宅するが、道が暗すぎる。(阪神芦屋～打出にかけて)痴漢にあった。43 号線を越えた南側はどこもかしこも暗い。
157	男	60 歳代	交通モラルの乱れがひどすぎる。ミニバイクの信号無視(芦屋市内のタクシーも赤信号で一旦停止はするが、そのまま行ってしまふのを何度も見たことがある)。歩道上を走るミニバイク。警察はそれを無視している。注意さえしない。
158	女	20 歳代	“隠居の街”でなく現役世代が住む、活力ある街になればと思います。新婚世帯への優遇、市民税の軽減等は検討できないでしょうか？
159	男	60 歳代	近くにスーパーがあったのですが、なくなったので買い物に少し不便です。他は別ありません。

160	男	70歳以	○図書館など生涯学習の振興に重点を。○JR駅前の放置自転車の撤去。○街路灯の増設(現在は各家庭の門灯で代用されていますが、震災前より公益灯が減少したと思います)。
161	女	20歳代	芦屋市はとても住み良い町だと思いますが、商業をしているところの閉店が目立ちます。店じまいの場所を通るととても寂しい気持ちになります。道路工事は中途半端な感じがします。山幹が通るのはいつになることやら…。
166	女	60歳代	◎三条町の山の方の住民ですが、落ち葉だけを家の庭で燃やすと、最近引っ越してこられた隣のマンションの方が、すぐに市にTELしたり我が家に直接怒りに来られます。ほんとに害になるほどのことはないのにだめなのではないでしょうか。◎表札をローマ字にしたり、マンションで番号だけで名前を出されない家が多くて困ります。表札を義務づけたらどうでしょうか。
168	女	60歳代	○共同墓地をぜひ作っていただきたい。個人が作っているとお墓だらけになってしまう。生きている人が大切に死んだ人が土地を多く利用するのは反対!!納骨をしてくださる墓参りは何かポールでもあり、そこで拜めば良いと思う。○普通のマンションばかりを作るのではなく、老人や障害者が住みやすい、手すりのついた、車椅子の通る廊下や入り口のある、集合住宅も作っていただきたい。
169	女	50歳代	JR芦屋駅前辺りの路上駐車があまりにも多すぎる。警察の人が見回っているが、あまり効果はないように思います。派出所があるのにどうして。もっと重視して見回してほしいと思います。
170	女	60歳代	1.インターネットができるようにしてほしい。(光ファイバー)公団住宅に。2.治安悪化の懸念。
172	女	30歳代	ご近所の犬の鳴き声がうるさくて困ります。しつけができない人が犬を飼うのは良くないと思います。犬もかわいそうです。しつけをするように指導してほしいです。
175	男	20歳代	将来を見据えた街づくりを期待します。50年後、私達の子どもや孫が幸せに暮らせるようにしっかりと踏み台を作ることが大切だと思います。
177	男	60歳代	一口で言えば日本人の社会的規範の低下は実に情けない状況です。道徳教育の復活、教育刑的思想から応報刑的思想への転換などやむを得ず実施して頂く必要を強く感じます。特に芦屋市民は「自分さえ良ければよい…」と考えている人が多いのではないのでしょうか。不法駐車はその最たるものではないのでしょうか。もっとも危険なのは阪急芦屋川駅周辺の心なき人々の不法駐車による車の列です。行政での解決を切望いたします。
178	男	70歳以	震災後は芦屋市民の「心」が荒廃してきたように見える。特に目立つのはJR芦屋駅前のバス停でのベンチの掛け方。立っている人が多いのにベンチに横座りしたり、間隔をおいて座っている人が多く、注意すると食ってかかる無頼の人間が増えた(必ずしも若い学生だけでなく、年輩者・中年者にも多い)。市内は坂道が多いが歩道の坂道を自転車のスピードを上げて音もなく降りてくる人が多い。このままでは歩行者に後ろからぶつかる大事故が発生しそうである。車道では弱者の自転車が今や歩道の強者となって我が物顔に行動している。警察の厳重な指導取り締まりを望む。更に歩道を自動二輪走行。(時には郵便局の集配車がやっている。)禁止に厳重申し入れされたし。
179	女	30歳代	夜、街灯が少ないため私自身が怖いほどなのでメインの道以外に灯りを増やしてほしい。ソーラーパワーのがあれば経済的だと思う。
181	男	70歳以	東サブセンターの自動販売機の前で、若者など暴走族が集団で集まり深夜まで酒・ビールを飲食して、騒ぐなどして大声を出し単車で騒音を出す。車はエンジンをかけて排ガス・騒音・周辺を走り回るなどして住民は大変困っている。その都度警察に連絡するがなかなか対応してくれない。この解決策はないのか。
182	女	30歳代	松浜町に住んでいますが、夜帰りが遅くなると帰り道が怖い。もう少し明るくならないかと思う。
186	男	70歳以	防犯灯を設置してほしいです。社会福祉協議会、目標掲げているが有言不実行のことが多いです。訪問TEL、一人暮らしの為に年金確保。民生委員なまけもの。何もせん。

188	女	50 歳代	まず市長さんが代わられてから、急に目に見えて市民サービス等が良くなったと実感しています。今一番気になっていることは自転車のマナーの悪さ。暴走のために車と接触し、事故にいたらないまでも恐ろしいことが花みずき通りで起きています。自転車に乗られる人が歩道を突っ走らないよう、一時停止をして様子を見ないといけない何か工夫がほしいと思います。
190	女	50 歳代	震災時は西宮市に住んでおり、その後神戸に転居、4年前に芦屋に転入したので地震前後の変化がわからない。以前よりうつ病でやる気が起きない。
194	女	50 歳代	芦屋の行政は震災というより不況の影響をより強く受けているように感じる。また、財政難ということだが、使い道の優先順位が市民に寄り添っていないように感じる。高齢者福祉のみならず、障害者福祉も充実させてほしい。
198	男	50 歳代	今、不景気で退職金等、民間はとでも少なくなっています。役所の職員は残業もないし倒産の心配もありません。役所の職員・市会議員等の給料・退職金を下げてほしいです。税金の無駄遣いです。それと浜風大橋の電球が一つおきについています。橋を渡って歩道を歩いていると本当に暗いです。これから痴漢など変質者が出るかもしれません。電気代を節約するくらいでしたら市役所の職員の給料を少なくしてください(給料は民間よりたくさん支払っていると思います)。
199	女	60 歳代	土地区画整理事業の中央地区。・三八通りは車の停車も困難、本通りは広すぎ商業活動の邪魔をしている。・公園一旧ダイエー南にあり、すぐ近くに大きな公園。この結果だけを見ると行政のやり方に疑問を感じる。
202	女	60 歳代	クーラー水が流れてくる。お花の水やりの水とか雨色々。お隣同士の仲が気まづくなる。住宅を建てる時の参考にしてください。いつも皆さんでお話にでる苦情です。
203	男	60 歳代	いつまでも震災を引きずらないで芦屋の未来に光の当たる観点に重点を移すべき。住みやすい環境のために若い人が積極的に住みたい町にすること。そのため教育(小・中・高・大学)にもっと力を入れ、芦屋の学校は優秀人材(新しい人材を支える能力とノウハウを体得させる)を育てると言われる町にしてほしい。「老人の町化」は寂しい。
204	男	50 歳代	コミスクって何ですか?市外から転居してきた者にとっては(マンションで子どももない)よく内容がわかりませんし、参加方法やどこのコミスクになるのかも?
206	女	60 歳代	芦屋の象徴は芦屋川であり、芦屋の情緒は緑の多いゆったりとした環境です。落ち着きと閑静なたたずまいを後世に残すことこそ、芦屋市・芦屋住民の義務であります。今日芦屋の山手において、どんどんと住宅の開発が行われていますが、芦屋の環境にそぐわない建物は厳しく制限すべきです。市の財政改善のために無先見な市政は禍根を残すのみです。芦屋の環境を守るために毅然たる態度を示すことが望まれます。
207	女	60 歳代	騒音をまき散らして走る暴走族まがいのバイクや自動車をもっと取り締まってほしい。特に深夜。
209	女	50 歳代	私も運転をしますが、JR芦屋駅辺りの路上駐車の高さにはモラルの無さを感じ、何か取り締まりを強化すべきだと思います。また、町中でも暗がりが多く、子ども達が夜、集まっていたりして、もっと街灯を増やすべきだと思います。ゴミの収集方法が変わり、間違いが多いのか残されているゴミが道にあたりと、まちにきれいさが少ないように思います。夜中の車のスピードが速かったり等々、まずは人間の社会生活への教育が必要に思われます。自転車の乗り方、また、バイク等の一方通行逆走等も目にあまるものがあり、不満です。
210	男	50 歳代	留守宅などへの空き巣などのドロボーが多い。取り締まりや警察のパトロール強化をお願いしたい。
214	女	60 歳代	当地に引っ越してきたとき、とてもきれいな町だなあとうれしく思いました。緑化・美化に力を入れておられるのだと。しかし山手側(JRより北)は道路が狭く、災害の時は動きが取れないのではないかと心配します。私の住んでいる公園では自治会はあってないようなものです。特定の宗教団体の人々が役員をしていて、そのことで新しい人達が参加しない面があり、私も何もしていません。年齢的な面もあるのかもしれませんが…。美術・博物館はぜひとも残してほしいです。文化都市として。図書館もいろいろ本があるといいですが。

217	女	30歳代	“環境の良い美しいまち”という芦屋市のイメージが損なうことなく、向上されるようお願いいたします。また、そのようなまちに住んでいるということが、安らぎになるような市であってほしいです。
219	女	60歳代	子どもの教育に重点を置き、道徳をしっかり教えてほしい。
221	女	30歳代	ゆとり教育を見直して学校教育を他県におとらないように取り組んでほしい。JR芦屋駅より南側、歩行者が危険なので歩道がほしい。JR芦屋南口の国道2号線より南のバスディヤスペースR周辺は、路駐の車がとて多く、いつか大事故が起こりそうでこわい。バスも通りにくそうだ。何とかして！！
223	男	30歳代	市の方向性がわからない。今後どうやって再建するのですか？高級住宅地？世帯数を増やす？人口を増やす？商業を活発に？私は夫婦と子ども3人ですが、保育料の値上げ、学童の有料化等、子どもを育てるのに苦しい状況が増えすぎです。老人の高所得者だけの町にするつもりですか？小さい子どもの人口をもっと増やさないと町は減びます。小さいときに過ごした町は多くの方が戻ってきます。もっと子どもを増やす投資をしてはどうですか？建物や都市開発はいりません。人がいなくなれば全て無駄です。市民を大切にしてください。ヨロシク。
226	女	50歳代	青少年の施策(全駅前青少年のたむろ、ゴミのポイ捨て)。
227	男	60歳代	芦屋をもっと住みやすくし、税金ももっとも安くして、地価を下げるべきだと思う(行政の地価)。不満がいっぱいある。
229	男	70歳以	高齢者のための割引バス利用の施策があっても、停留所が近所にないため利用不可能。
230	男	50歳代	・道路整備一車の通行に狭いところが多い。・市公報誌の配布。
234	女	50歳代	芦屋に住んで22年ですが、思いついたことを書かせていただきます。・住んでいる近くのテニスコート3ヶ所が、すべてマンションになり、震災後の芦屋を知っている人と震災前の良かった芦屋を知っている人とがいる。(戸建もマンションになっているところが多い)・JR芦屋の南側が整っていないと思います。芦屋川でのバーベキューをする人がたくさんいるが、ゴミや臭いなどマナーは守られているのでしょうか。・日本のどの都市にもない、小さな大都市芦屋らしさを守っていかなければいけないと思います。それには行政の力は大きいと思います。
236	女	60歳代	駅周辺の自転車置き場の拡充。JRのところなどよく「満車」の看板が出ている。
242	女	50歳代	・芦屋市と西宮市の境界になる堀切川についてですが、西宮市側は整備されているのに芦屋側は通行もできず、一部隣接する住民が私有地同然に使用しているところもあり、平等に整備してほしい。震災の時、路上駐車でいっぱいになり、行き止まり道路のため逃げ道が確保できなかった。・高齢者の多い市営住宅ですが、訪ねてくる人は皆路上駐車で、市営住宅のまわりの道路は全部駐車となっており、ゆっくり来訪できない現状は少し寂しいのではないのでしょうか。
243	女	40歳代	このアンケート結果をぜひ、行政に活かしていただけることを期待して協力させていただきました。
245	女	30歳代	芦屋の町にも空き店舗等、たくさんありますね。個人事業家や会社(小さな会社)を芦屋に呼ぶ。飲食店や雑貨屋等、商売をしたい人に集まってもらって軌道にのるまで優遇措置をとって定着してもらおう。会社(本社)、工場等を誘致する。大阪・神戸にも近いので便利だと思うのですが。所得の低い者なりに納税に協力したいと思うので、そんな税を作る。
249	女	40歳代	芦屋市に転居して4年目になります。今後、住宅を買うなどして当地に住み続けようと思うためには以下の条件が必要と思っています。①安心して住める町であること。・老後の生活が快適であること(施設・ケアサービスが充実していること)。・環境が良好であること。・安全であること(防犯・防災施策が充分にとられていること)。②活気のある町であること。・老若男女が集まれること(“成熟”した文化を発信すること、教育施設・サービスの充実で子どものいる家庭が住みやすいこと→“若さ”)。
250	女	50歳代	高齢者の人がいつでもすぐに利用できる施設を充実してほしいと思います(順番待ちとかではなく、安心して利用できるように)。

252	女	20 歳代	私は3歳と5ヶ月になる子どもの母親ですが、芦屋市には子どもを遊ばせる施設が少ないと思います。他の市の方々とお話ししても、幼児・児童のための施設がないことを実感します。公園だけでなく、自由に利用できる児童館や子ども達が安心して遊ぶことのできる場を増やしてほしいです。また、そのような場で他のお母さん達との交流も深まっていくと思います。子どもが増えることに対する対策(幼稚園・保育所の入所など)も考えてほしいです。
256	女	70 歳以	私は70歳以上の年寄りです。毎日が退屈です。各地域に集合所がありますが、もっと気楽に利用できるようなシステムにしてほしい。例えば一人で編み物したり、家に一人していると(滅入って)くるのです。他人の話を聞きながら何かをしていると、1日が楽しく過ごせるのではないかと考えています。
258	男	60 歳代	現在交流のある世界各都市との交流を広げて、一般市民が積極的に参加できる環境づくり。
259	男	50 歳代	・地域には高齢者が多く、一人暮らしまたは高齢者夫婦のみ等10年後には様変わりするような予感がします。・市職員・市会議員も人数が多すぎると思います。・市の財政が一番の問題点だと思いますがお金だけにかかわらず、本当に市民の意見をとりいれるような仕組みづくりを期待しています。
260	女	50 歳代	・JR芦屋駅前の自転車放置、いろいろ手を尽くされているでしょうがなかなかサッパリしません。今一度考えてください。・カラオケの前、道路上に自転車をよくとめています。歩きにくいし、お年寄り・子どもにも危ないので禁止にはできないですか?・道路を私物化一駐禁、椅子など出して歩道が歩きにくい。・震災後、郵便ポストにHなハガキくらいのチラシがよくはいつている。これもどうにかならぬですか。・花見の頃、芦屋川でのバーベキューは桜の木にもよくない。他の人に迷惑一禁止にはならないですか。
261	女	70 歳以	自然に恵まれた芦屋の町ですが、震災以来新しい家やマンションが建ち、市外から多くの住人が来られ、町は活気が生まれましたが交わりが少なく、地域の人達との交渉があまりありません。老人・子どもにとって安全な町にするためにも地域の方達との交わりが大切だと思いますし、災害の時も助け合えるのではないかと思います。
268	女	40 歳代	3年前に芦屋に居を移して感じることは近隣の人との交流が少ないこと。地域住民が高齢化していることが原因の一つだといえるだろう。マンション(震災後の)の多い地域は別として、従来からの住宅街は思った以上に高齢化が進んでいる。災害時、不安がある。
269	男	40 歳代	①芦屋川の景観をしっかり維持してもらいたい。②バス経路をもっと充実させる。③JR芦屋駅北側の不法駐車(短時間)でも取り締まる。(特に三井住友キャッシュサービス前の信号ある横断歩道に平気で駐車し、バスなどの運行を妨げ、さらに反対車線も通行不能にしている様子が目に付きます。)
270	女	50 歳代	ある程度の広さの土地が、どんどんマンション化されています。マンションが建てられると周辺住民に対するさまざまな影響が起きています。土地所有者の権利もわかりますが、ずっと住んでいる周辺の住民の権利もなんとか守っていただきたいと思ひます。法律だけでなく、住民を守るためにも芦屋市独自の条例があるのではないのでしょうか?景観・住環境を守るためにもぜひ行政の力を出してほしいものです。我が家も裏にマンションができ、本当に住環境が変化してとても住みにくくなりました。今は芦屋市から出たいと真剣に思ひます。
272	女	50 歳代	高齢者に対するケア事業を充実させてください。無駄な公共施設に過大投資をするのではなく、弱い立場の住民にきめこまやかな対策を考えていただければと切に願ひます。
274	女	20 歳代	山手幹線開通により、まちに悪い変化が出そうで不安である。環境(自然・緑における)や人の変化。一方通行道路を今でも逆走する車、バイクがあるのにそれがもっと増え、子どもの安全も犯されそう。せめて標識を増やすなどの対策をしてほしい。
275	女	50 歳代	ゴミの収集日等があまりにも複雑でわかりにくい。以前の方がわかりやすかった。
280	女	20 歳代	地域活性化、駅周辺を活性化させる事で、他の市の方の観光施策につながると思ひます。頑張ってください。期待しています。
281	女	70 歳以	高齢者のための福祉をもっと考えて教室を開いてほしい。例えば体操・習字・画・他いろいろの教室のある所、時間教えてほしい。

286	女	60歳代	交通の便利さなどや風光明媚な街であること、大変気に入っている。最近の若い人や学生の命に対する軽視を見直す教育を重点にし、絶対にこの街から凶悪な犯罪が出ないようにしてほしいと思う。高齢者にやさしい街、子どもを安心して外で遊ばせる街にしてほしいと思う。
291	男	30歳代	市はもうすぐ赤字になるのだから、芦屋の公務員さんには「タイムカードを押せば給料がもらえる」のではなく、「市の収入から人件費以外の支出を差し引いた残金を職員でわけたものが給料である」という、一般の企業・商店では「常識」である社会の仕組みについて知ってほしいと思う。ご存じでしたか？この事実を。
297	女	30歳代	今度アンケートに協力させていただきましたが、アンケートの内容が「震災前と比べて」という質問が多く、10年前にはまだこちらで生活していなかった者にとって、とても答えにくいものでした。「震災前と比べて」というアンケートなら、昔から生活されている方を対象にした方が、きちんとした意見がわかったのではないかと思います…。
300	女	70歳以	震災の区画事業で作った公園を、いつまでも美しく良い環境で維持していくために、行政はもっと力を入れてほしい。そうすれば住民もこれに協力する気持ち生まれる。具体的には植栽の防虫薬散布や剪定に来てください。清水公園内にある噴水を7月～8月の間もう1時間延ばして、噴水を出るようにしてほしい(今は4時になると止まるので)。
301	男	60歳代	市長提唱の庭園都市宣言を、具体的に市民の協力を得て取り組み、成果を出してほしい。
302	女	70歳以	1. もうマンションはいらない。 2. ごく近くに小さくてもいい公園がほしい。 3. 西山町は道が狭い。特に東西の道。 90歳高齢一人暮らし、震災後当地に来たので、アンケートの答えに該当するものがないのですみません。
303	女	70歳以	財政難の中で、このアンケート結果がどれだけ生かされるか、健全財政の建て直しが急務と考え、官民共同で解決を求めることが大切と考える。芦屋市の特色を残すよう、願っている。
306	男	40歳代	以前より街の緑が少なくなったような気がします。桜がもっと大きかったのでは？
307	女	60歳代	駅前駐輪対策、バス便増便と夜便の増便、歩道を走る自転車のマナー向上、特に速度規制。
308	女	50歳代	結婚のため芦屋に来て26年、まったく近隣の方々との関わりがないと痛感しています。子どもが幼稚園・小学校の頃はそちらの関係で横のつながりはありましたが、子どもが成人した今、まったく関わりがありません。田舎であれば26年も地域にいれば、親戚同様の付き合いがあります。これが都会で生活することの現状でしょうか。将来田舎へ帰って生活したいという気持ちがますます強くなってきました。
310	女	20歳代	この町に住み3年になりますが、この町の方々は“自分さえよければ”という人が他の町より多いと思います。ゴミの出し方、ペットのフンの後始末、路上駐車等、顕著にあらわれているような気がします。もっとマナー向上も市の方で進めていただきたいです。
311	女	30歳代	財政難を少しでも助けるために市民のボランティアの活躍の場を多く作ること。何か役に立ちたいと感じている市民も多いことと思います。
312	女	30歳代	この10年で芦屋はとても変わったと思う。まず、マンションがとても増えたように感じる。人が増えて(一部に集中ではあるけど)活気があるが、人とのつながりが弱い気がします。
313	女	60歳代	転入して6ヶ月です。住まいに慣れる、環境に慣れる、それに精一杯で外のことを考えるゆとりがありません。以前住んでいた所は、神戸市西区で震災の影響は当座だけでした。

14	女	30 歳代	以前の住居地区と比べ、公園や空き地、街路樹の整備(草などが伸び放題)で遅れていると感じる。毎日の犬の散歩で気になっているところも、何度か市役所に電話をしたが、「こちらの計画もありますので」と取り合ってくれなかった。ところが岩園町では、去年伸び放題で見通しの悪い状況で、近所の有力者と思われるお年寄りが少年グループに襲われた途端、翌日には草が刈られていた。一住民の声では動いてくれないと強く感じる。また空き地や公園の有効利用(ドックラン希望)もできていない。子どものための公園で犬は禁止の場所は多くあるのに、公共で犬に優しいスペースが一つもない。これでは共存しにくい。人間のダメージに対する動きや改善点はあっても、動物には全くない。不満である。この声も届くべき所に届くのか不安である。たびたび訪れる市役所でも対応がすこぶる悪い。他都市と比べてもかなり対応が悪い。
316	女	30 歳代	・宮川の交番にいつも警官が不在。防犯上、常勤してほしい。 ・財政不足と言うことでゴミ収集が縮小され、時代の流れ(環境への配慮)に逆行していると思う。 ・図書館、特に分室の利用時間があまりにも少なすぎる。 ・芦屋浜の開発は無駄。 ・不景気のため、高速道路利用が減り、その分、震災前より 43 号線や 2 号線の車が増えた。歩行者が横断する際、信号機があまりにも車優先で信号待ちが長すぎる。殆どが芦屋を素通りするだけの車なのに、住民が不便になるのはおかしいと思う。通行税を検討しても良いのではないか。 ・震災後、違法駐車・駐輪の取り締まりが減り、迷惑駐車・駐輪が増えた。財政難なら、なおさら取り締まり強化し、罰金を徴収すべきだと思う。
319	女	20 歳代	直接震災にあったのではないので、ほとんど他人事のように聞いていました。しかし、芦屋に移り住んでから、当時の状況などを話で聞いてみて、防災に対する市の取り組みにあらためて気づき関心しました。今は震災の傷跡もなく、きれいな町並みですが、これからも防災の意識を高め、理解を深めたいと思います。
320	女	30 歳代	若い人ほど考えがやわらかいので、もっと「まち」に対して関心が持てるような新聞・広告・ポスター・ニュース・イベントを行うと良いのかもしれない。それ以前に子どもの頃からそういうことに興味もてるよう、まず親から始めた方が良いのかも…。私はまだ独りですが、今回アンケートに答えさせて頂く機会をもらえて良かったです。まちづくり etc、真剣に考えなきゃと思いました。ありがとうございます。
323	女	50 歳代	高い税金を取っているのだから、見せかけだけの環境整備ではなくて、住民に(人)にお金を使ってほしい。
324	男	70 歳以	問 11-(4)の違法駐車について。 JR 芦屋駅北側、ラポルテ周辺について何か方策がないでしょうか。(ラポルテ地下三階及び、北館地下等は空車でガラガラにもかかわらず、駐車せず、道路一杯に停車・駐車で人の昇降も危険です。警察取り締まり以前の問題があると思います。)
325	女	50 歳代	町中、段差・階段が大変多いように感じられます。高齢者・弱者にやさしいまちづくりを考えていただきますよう、お願いいたします。
326	女	60 歳代	アンケートに答えても市の考え・思惑が優先され、市民の声は生かされていないと思います。何のためのアンケートなのか?といつも疑問に思っています。市民に思いやりのある市政をしていただきたいです。芦屋で生まれ一度も出たことがない私にとって、芦屋は住みにくい町になったと感じております。
327	男	60 歳代	震災前の落ち着いた芦屋の町が、砂ぼこり・掘り返し・工事用車の反乱で、足元が不安定で歩くことに、非常に努力を要する暮らしがいつになったら終わるのか。死を迎えるまでに間に合うのか、非常に痛い思いをしている。介護の充実とは言え、高齢者が本当に気持ちよく接することができるヘルパーさんのきわめて少ない現実、暗い気持ちを拭うことを否めない。介護・ボランティアの教育におおいに力を入れていただきたい。
330	女	60 歳代	車がないので、美術館・図書館・海浜プール・芦屋温泉に、また、その他の施設に行くバスがわからない。また、どこで降りてもいいかわからず、芦屋大丸でウロウロすることが多い。山手幹線沿いの親王塚に住んでいますが、画一的で巨大な電柱で部屋まで灯りが入り生活が苦しい。北・南の民家を考えて、信号・横断歩道を作してほしい。交互に外灯を作してほしい。

332	女	30 歳代	・赤ちゃん(おなかの中にいる時から)老人まで安心して住める町。・弱者にやさしい町。ハード面でもソフト面でもバリアフリーになってほしいです。
333	男	20 歳代	普段、職場が大阪なので「きれいな町」としてのイメージはとても強いが、大阪の職場の周辺と比べて人と人とのつながりや、町自体の人情の温かみには少し欠いているように思われる。地域の人々のつながりを増やすことができるイベント等を企画することが重要なのかも知れない。
335	女	50 歳代	これから芦屋市でもどんどん高齢化が進むと思います。高齢者が暮らしやすい町にしなければと思い、特に交通機関のバスが不便です。数の少ない時間帯に違う系統のバスが2・3分違いで3台くらいくる。何とかもう少し間隔をうまくあけてほしい。
336	女	70 歳以	歩くことが困難で、やっと自分の食べる物を作って食べている状態で、何もできませんので心苦しいです。85歳になり、足のくるぶしの骨変形で家の中でも杖に頼ることが多く、「介護」の認定を受けております。ただ、ぼけてないのが取り柄ですが、よたよた歩いているときに、狭い歩道で自転車にはねられそうになるのが怖いです。骨折したら寝たきりになりますので、歩道に自転車を走らせないようにしてほしいです。
346	女	50 歳代	1.芦屋市の財政は大変な赤字ですが、職員の給与は日本一高いと聞いています。人件費の抑制が必要だと思います。市役所に行きますと混んでいる時は別として、眠そうにしている人が多いように思います。職員数も見直す必要があると思います。その分を保育所の時間外サービスの人件費にあてたらいいと思います。2.市役所がお昼休みをとられると利用する側は不便です。半分ずつ休めば良いと思います。
351	男	60 歳代	街づくりイコール人づくりと考えています。幼・老を問わず、誰にも安全で暮らせる町を次世代に渡せるように、施策をお願いしたいと思います。どうぞ頑張ってください。
352	男	30 歳代	駅前にたむろしている若者をどうかしてほしい。
353	女	60 歳代	震災後、空地に新しい店が進出してくるのはともかく、周辺とは不似合いな目を剥くような看板が堂々と建てられ、近くに住む者は毎日それを目にしなければならぬ苦痛・建設許可を与えた市に対し、憤懣やるかたない思いでおります。また、住宅街の中に突き出るマンション、景観に配慮した街づくりとは程遠く思われます。
356	男	30 歳代	桜の咲く季節に花見をする観光客で芦屋川沿いはにぎわうが、集客・観光に力を入れるのはわかるが、立ち去った後のゴミの始末、及び深夜の騒音に対する対策についても真剣に考えてほしい。ゴミは持ち帰りましょうと個人のマナーに委ねているが、実際守られていないケースが多々見受けられる。バーベキューにしても然りである。
360	男	50 歳代	芦屋市に住んで一番うれしかったことです。近所の方々、公共の職に関わっていらっしゃるの方々、町ですれ違う方々まで皆さんとても親切です。他の県や市に比べられないくらい人々が親切です。きっと震災で大変な目に遭われたので、心の底から人を思いやる心が他府県の方々より深いのだと感心すると共に、見習わなければと思っています。この芦屋市民の方々の豊かな心が、大きく広がっていければと感謝と共に願っております。
361	女	70 歳以	80歳の主婦で芦屋の現在地に55年暮らしております。徐々に町は整備され、便利に美しくなってきました。「環境と治安」の良い美しい芦屋になりますように。
363	女	70 歳以	周りが荒地だった陽光町周辺が、最近次々と建物が建築されつつあり、毎日陽気が廻りつつあります。全国から移住する、アメリカのフロリダのような雰囲気の都市ができればいいなと期待いたしております。
371	女	50 歳代	県外から来たのですが、違法駐車以外今のところそんなに不便・不満なく暮らせていただいております。
374	女	40 歳代	図書館を充実してほしい(自習室の設置含む)。
375	女	40 歳代	破綻状態の芦屋市において、無駄なハード面(総合公園等)に予算が使われるのは納得いきません。また、民間企業が血のにじむようなリストラをしているのに、行政・役人を拝見するとまだまだ甘く、もっと厳しいリストラを望みます。我々の血税を湯水のごとく使わないでください。(主旨に反する事を申し上げているかも知れませんが一言言わずにはいられません。)

382	女	70歳以	高齢(83歳)のため、お役に立てずすみません。なお、芦屋に来て4年ですのでよくわかりません。お役に立てず申し訳ありません。
383	女	60歳代	本人が病弱であるため積極的になれない。一人暮らしのためいろいろな情報が遅いように思われる。
388	女	50歳代	近隣の戸建住宅が高齢化のために空き家になっていたり、一人暮らしの方が増えたように思います。なるべく長く自立した生活ができるように、ヘルパーの充実や楽しく老後を過ごせるような福祉のソフト面に力を入れていけば、若い世代の人々も安心して芦屋に住み続けるように思います。
390	男	50歳代	粗大ゴミの収集について、昼休み・4時以降も申し込みを受け付けるべきだ。夫婦とも仕事をしている場合、特に昼休みしか電話できない。インターネットによる受付も検討すべきではないか。
394	女	70歳以	いろいろと活動しているうちに高齢者となった。アンケートを通し、良い傾向と喜んでいる。地震にも遭い、一人暮らしなので不安があるが、昔の芦屋の良き時代の良いところだけ戻ってほしいと思います。益々のご発展を。
395	女	40歳代	・町中には、まだ空き地が目立っている。 ・道路が狭く、夜暗い所が多い。(一人歩きができない) ・道路等、買収等に時間がかかるのはよくわかるが、見切り発車のような道路工事が目立ち、道路がまっすぐでない。工事中のため優先道路の方向がわかりづらい。 ・ゴミ出しの日等、あまりこまかく分かれており、お年寄りにはわからないのでは？
396	男	30歳代	芦屋ブランドを確立してもらいたい。今まで自分がイメージしていた芦屋とは異なり、マナーの悪い行為・行動をよく見かける。日本語を理解しない外国人のマナーや生活習慣等のサポートをしてほしい。
399	男	70歳以	ともすると人口の移動等に伴って我が町の気風も壊れるかに思われたが、多くの方の協力により維持しており、更なる展開を望むものである。
402	男	60歳代	自分自身障害者になり残念です。(妻代筆)
404	女	60歳代	最近友人から聞いたこと。ある日高座の滝まで散歩したくなり、フラリと大阪から阪急芦屋川駅に降り、お弁当など買い物しようとしたが店舗も少なく、商店街(サンモール)も4・50年前の雰囲気だ驚いたとのこと。
405	女	30歳代	「震災という出来事があってから～」という質問が多いが、越してきて2・3年の者に10年前と比べるとというのは不可能。意図がわからない。震災前から住んでいる人にする質問である！最近公園が整備されてはいるが、遊具も日影もなく、誰も遊んでいない。花や芝生ばかり手入れしても意味がない。もっと使えるよう工夫してほしい。見た目の美しさばかり追求している！
409	女	50歳代	子どもを育てることにもっと真剣に取り組んでほしい。子どもは10年後20年後必ず社会の中心的存在になっている。子どもが自主性を発揮できるような自由な空間をもっと作ってほしい。学校教育を他任せにしないで芦屋の人を作る意欲を示してほしい。震災で生活は元に戻ったけれど心の中の何かは失われてしまった。芦屋の良さも消えてしまった。いつもいつも「予算がない」という一言で片づけられてしまう。
413	女	30歳代	これからの芦屋市を背負って立つ子ども達のことを、もっとしっかりと見直し、取り組み方を考えてほしいと思います。
414	男	60歳代	わが町クリーン作戦を一步進め、ボランティアの募集告知等の徹底により人数を増やし、回数も月1回程度、行政のバックアップにより行ってほしいと思います。
417	女	50歳代	無制限に近いほどマンションが次々に建設されていますが、受け皿のライフライン整備が追いついているのか疑問です。町が活性化するのは結構ですが、人口が増えすぎてゴミが目立つようでは、町に誇りを持ってません。
421	男	20歳代	このアンケートの目的がよくわからない。質問にはやや活動性が感じられる。
423	女	40歳代	なんでもボランティアにやらせれば良いという態度には反対。北庁舎の花壇などひどいものです。
425	女	60歳代	歩きタバコを禁止する条令を作してほしい。以前はルナホールなどで、音楽会や後援会など無料で参加する機会があり、芦屋に住む事の文化度の高さに満足だったが、現在全くなくなってつまらない。
428	女	70歳以	ドライバーのゴミのポイ捨てをなくす運動を行うようにしてほしい。(ドライバーのマナー向上運動)

429	女	70歳以	潮見町のサブセンター、ほとんど用を足せない。これからますます高齢化が進むと、買い物にも毎日の生活にも不安。西浜公園辺り、街灯が少なく、日が暮れると怖い。
430	女	50歳代	・自分の住んでいる地域の景観・美化・交通マナー等々に自己責任意識を持つことが必要。・両隣・ご近所の方々と親しい関係を持ち、それぞれの暮らし方の有様をよく理解し、緊急時には相互間で「声かけ」等を行い、安全に避難できるようにしておく。・地域の防災施設また、備品・用具等はいつでも利用できるよう知識・訓練等しておかなくては緊急時の役に立たない。
434	男	50歳代	被災のため震災後に購入したマンションのローンの負担が苦しく、固定資産税・住民税等の軽減措置を検討願いたい。当時は「住む」事を最優先し、購入金額については2番目の優先順位だったが、相場も大幅に下落し、販売も思うようにいかない状況に陥っている。
437	男	60歳代	赤字の市に期待はできない。どこかと合併したら。神戸か西宮か。
439	男	50歳代	町並みは戻ってきているが、マンションが多くなり以前の落ち着いた町の雰囲気失われて寂しい。規制ばかりでも仕方がないので緑を多くする。夜明るくする。草花を多く配置 etc で町を気持ちよく作り上げていきたい。市にもお願いします。
446	女	60歳代	以前の助役問題で関与した市議員らが今でも議員のままなのは市議員の体質か、また市長の指導力が乏しいのではないか。市民病院はぜひ残してほしい。
450	女	30歳代	クローズアップ現代の番組を拝見して、芦屋は今大変だと思っていましたがこんなに赤字とは。できる仕事は市民に任せる。市役所の仕事、ここ忙しいのかと思うくらい人は多い場所がある、そんな所考えてほしい。
451	女	50歳代	震災後、芦屋の町もだいぶ落ち着きを取り戻して、新しいマンションや住宅が増えました。それによって市外から転入してこられる方も多くなり、マンションの周り等に不法駐車が多く見られ、日常化しております。その対策も早期に住民を巻き込んだ具体策が必要だと思います。南芦屋浜に公園グラウンドができて、砂浜も広く住人にとっては素晴らしい息抜きの場所ができて喜ばしい事です。グラウンドに管理事務所も設けられていて、常駐でスタッフもいらっしゃいますが、管理がなされていないのではと思います。大きな道路から見えるところは草も刈られて一見きれいに見えますが、奥の方へ行けば草ぼうぼうで、せっかく植栽された植木にも水やり・管理が行き届いてなく、立ち枯れているものが目立ちます。スタッフの方が日常に園内を見回りされているのであれば、あのような状態・状況にはならないと思います。仕事がなされていないのでは？と疑問を持っています。行政の各現場の見直しが必要では？そのようなアンケートを取っていただきたいというのが意見です。
452	男	60歳代	震災後、公園が整備また造園され、大変結構なことと思いますが、高齢者が行ってもただ座っている方が多いように思われます。そこで思うのですが、高齢者が歩くことを楽しむために、リハビリを兼ねた設備があれば大変良いと思います。(名称リハビリ公園)芦屋市にはこんな公園が一つもありません。すぐ作ってほしいと思います。今ある公園の外側にコースがあればおもしろいと思います。
455	男	60歳代	中央地区にスーパーや日々の買い物をするお店がないのが不便(パントリー以外にほしい)。飲食店はたくさんできましたが…。阪神芦屋駅周辺に手頃な金額の商品を扱うスーパーがほしいと思っています。特に中央地区は昔は中心地だったと古くから住んでいる人に聞いていますので。
456	女	70歳以	介護保険を利用しなかった場合の払い戻し制度はできないのでしょうか？掛け金が高額な割に介護を受ける一部の人のためだけのように思えてやさしい気持ちになれません。県民共済等は毎年何事もなければ払い戻しがあり安堵感で気持ちが安らぎます。安心して暮らすことができるやさしいまちづくりをお願いします。
457	女	20歳代	私は、ほぼ毎日車を運転するのですが、芦屋は道が狭くボコボコしていて悪いので、道をもっときれいにし、本当に付けなければいけない所に信号を付けるべき。どうでもよい所に無駄な信号を付けるのをやめてほしい！ミラーなどももっと特に山の手は付けるべきだと思います。あと、子どもを持って思うようになったのですが、子どもと外出しても困らないよう、ベビーベッドを公共の場や、ショッピングセンターに取り付けるなどしてほしい！ベビーカーや車椅子にもやさしい、バリアフリー等を心がけてほしいです。

458	女	30 歳代	宮川の呉川に引っ越してきましたが、薬剤散布をしていないと聞いてびっくりしました。前の家では薬剤散布をしていたので、蚊やかなぶんもいなくてこっちに来てからかなぶんや蚊に悩まされています。
462	女	70 歳以	問 26 ですべて記載されておりますので省略しますが、特に 高齢者に対する待遇の向上。(例えば、バスの乗車カード(3300)は、他の市の人に笑われることが多いこと。)学校教育のレベル向上。JR(北・南共)駐車違反の対策。
463	女	20 歳代	(問 26-11 について。)特にこれ!! 保育所、待機児童多すぎます。働きたいお母さん達は、私を含め周りにもたくさんいらっしゃいます。もっと女性が働きやすい街づくりを芦屋市から作ってってください!!! こんな世の中では少子化になるのも仕方ないのでは?
466	女	60 歳代	町内会の各種行事も連絡が行き届くようになり、住民意識は高まりました。お年寄りや子ども・青少年・老老介護…等々、心のケアには声かけ、話しかけ、挨拶等の働きかけが必要です。
467	女	40 歳代	以前の美しい町芦屋に戻ってほしいのに、震災より住民のゴミの出し方や犬のフン等、きれいにしようという意識がかなり薄らいでいるように思う。また、近所の楠公園北側に朝は幼稚園の人達の車、昼は営業車が一杯停まっていて歩きづらいし、自転車でも車でも走りにくいし、危ない。また、防犯の面でも良くないと思う。もう少し皆の意識が高まるような芦屋になってほしい。
470	男	30 歳代	一方的に選ばれて回答するばかりで悲しい。粗品の一つでもほしいところです。
471	女	50 歳代	芦屋市で4月より実施されているゴミの分別はとても良いことだと思います。少し面倒なことでも慣れると何でもなくなります。この精神で住民みんなでよりよい生活を実行していくと良いと思います。助け合いも大切だと思います。
472	男	60 歳代	震災後、自営業ですが生活が非常に苦しい。
473	男	70 歳以	山麓部の防災対策が不十分と思っている。これでよく建設許可を受けているなど疑問を持っている。昭和13年の大災害が忘れられている。現在の自分の体力を考えて活動は控えめにしている。質問用紙に「協働」という字がありますが、協同か共同という字を使うべきで、馴染まないと思います。
475	女	70 歳以	家族でまとめた意見です(息子夫妻・孫達)。参考にしてください。①シーサイドタウンの公園の池、管理が悪い、悪臭有り、きれいにしてほしい。②芦屋川沿い歩道は、阪神から2号線国道まで土のまま、雨が降れば歩けない。舗装必要、車道を歩いている(水たまりある)。③松浜ロイヤルマンションの西側、南北の通り、夜暗いので女性が追いかけれられ不用心。街灯必要。④芦屋公園交番所、いつも巡査がいない。巡回もしていない。その辺り明るくしてほしい。⑤シーサイドの公園でゴルフ練習している、禁止徹底してほしい。⑥シーサイドの公園で犬を放して遊ばせている人が多い。禁止せよ。⑦夙川のように芦屋川の土手、芝生をきれいにしてベンチをおいたり、花をおいてほしい。⑧松浜公園にゴミ箱がない。ベンチに灰皿(空き缶)取り付けてほしい。タバコ吸い殻汚い。⑨市役所・水道局事務所、夜遅くまで人もいないのに電気があかあかとしている。無駄なこと。⑩震災後、JR芦屋駅周辺は復興して賑やかだが、阪神辺りは寂れている。⑪芦屋川河口、朝ボランティアで掃除してくださっているが流木が山積みされたまま。捨ててほしい。⑫芦屋市の高齢者の保養所。山か海に泊まれる所がほしい。⑬集会所がある町内と、ない町内があるが不公平。松浜町にはないので不便をしている。竹園集会所も潮見集会所も遠いので不便です。⑭老人の国際交流アジアのどこか姉妹都市として集団旅行がしたい。市が主催で、神戸市の如く。⑮43号線を渡り、南から北に自転車で歩道を通るのに通路が狭い。東側(水道局、精道小学校の前)⑯芦屋市は自転車の人が多い。車道か歩道か自転車はどちらを通るのが正しいのでしょうか。
478	男	30 歳代	・財政難であるなら山手幹線の工事はやめるべきである。・駅前(特にJR)の路上駐車対策が必要。・幼稚園の削減はすべきでない。保育料の値上げも納得できない。
487	男	30 歳代	“まち”は“人”です。人無しには語れないということ。それぞれの“人々”が支え合って“まち”になることを忘れず。自分も、市政も、果てはこの国も“人”に対する気持ちをもっともっと大事にした方が良いと思いますね。せっかく生き残ったし。

488	女	40歳代	震災時、関東地方に住んでいたため、震災以前の芦屋市を全く知りません。現在は暮らしやすいと考えてはおりますが、学校数が少々不足(特に中学校)しているように思われます。
489	男	60歳代	海の近くに住んでいるので高潮・津波の対策はできているのか心配です。
491	男	70歳以	市の財政改善し、福祉活動に支援重点してください。
492	女	60歳代	65歳母、40歳長男どちらも病院がよい。長男は働いておりますが、精神と身体に障害有り。アンケートにお答えする余裕すらありませんが、一応輸血でのC型肝炎に苦しんでいる人のなんと多いこと。そういうことを何とかしてほしいというのが切なる願いです。C型肝炎に苦しんでいる者より。
493	男	70歳以	近所で盗難がありました。私宅も盗難にあいました。窓ガラスを割っての侵入です。治安の良い町であってほしいです。盗難については触れられていませんが「まち・人・くらし」の活性化に治安の事についてアンケートされていませんね!
501	男	30歳代	担当者任せにすることなく上級管理者(市長であれば尚良いですが)現地を視察しに来てください。芦屋川・芦屋浜ゴミ多く汚い。夙川・香栞園と比べ格差がありすぎます。行政当局の環境美化に対する意識が低いのではないかと文化都市・高級住宅地として名高い芦屋市、他府県の人々が見て驚くこと、あまりにもほったらかしすぎとの酷評有り。芦屋市民行政当局者の恥と思う。シルバーセンターに任せきりのようだが、もっと頻繁に清掃作業をしないといけないのでは?ぜひ改善してほしい。住吉川他各河川敷をよく見て参考にしてほしい。きれいですよ。市役所にご意見投書箱を用意すべきだと思います。上記の件、市当局に改善方お願いに伺った事がありますが軽くあしらわれました。立腹。
502	男	30歳代	私は今30代であり、高齢者が市に対しどのような気持ちを持っているかわからないが、私はこの芦屋市が好きで、高齢になってもこの町で住んでいると思う。芦屋市は坂や細い道が多く、交通量も多い。だから高齢者が安心して歩けるようにしていただきたい。防犯面でも市が取り組んだセキュリティーシステム等があればより一層安心感が高くなる。でも自分自身も市に頼ってばかりではなくできることは自分で行き、市と住民が協力し合っこそ本当の市の活性化だと思う。いつまでも素晴らしい市であり続けてほしいです。最後に、震災の影響により市内の道路の舗装状態が悪く思います。改善していただきたいです。
503	女	60歳代	一人住まいのほとんどの方に接していると、みんなが日々大変な心細さの中で生活しておられることに驚かされます。死んでいるか生きているかを確かめるというやり方には意味はなく、高齢者が安心して日々幸せを感じて生きていくにはどうしたらよいのか、もっと深く考えるべきだと思っています。お金のある老人だけが、高い費用の施設で暮らしている姿は安心して満ち幸せを享受しているように、仮設住宅が一番幸せだったということの意味はとて大きいと思います。
505	男	60歳代	もっと緑を豊かにしてください。
506	男	30歳代	保育所・育児に関するサービスなど、働く母親への支援をもっともっと相当充実させてほしい。喫煙マナーの徹底的な改善。駅プラットホーム等でのマナー違反はかなり多い。人通りの多い駅周辺や商店街での歩きタバコも小さい子どもにとって大変危険。東京の一部地域のように禁止するべき。
508	男	70歳以	災害は震災だけとは限らない。新潟・福井の水害が報道されている最中、災害に備えての災害対策は敏速にとられるよう常にその備えが必要である。避難に関する報道・対策においては市民に一人残らず行き届くように徹底してできるよう。避難勧告など敏速に。最近町に、交番所に、警察官が不在。見あたらない。もっと市民を見守るように対処してください。
510	女	70歳以	芦屋市は財政破綻寸前なのですが。市はまず、公共的な財政負担のかかるところを早急に整理すべきです。文化芦屋の見栄など捨てなければ、再建はできません。暮らしに関することは老人の負担がだんだん増えてくるのが不満です。国の施策もあるでしょうが、芦屋市としても高齢者の援助施策は足りません。
511	女	30歳代	車の運転マナーがなっていない。違法駐車が多すぎる。(しかも信号付近や、対向車が通れないような止め方をしている。)
513	女	70歳以	住む人も町も素晴らしい環境だと言われている芦屋市を、もっともっと美しく住み心地の良い町にしていきたいと思います。

515	男	30 歳代	小植幼稚園が廃園になりそうです。小さな子どもが歩いていくには1時間くらいかかりそうな、岩園幼稚園に通うこととなります。とても無理です。財政難はわかりますが、子どものことも考えて廃園校を決めてほしいものです。よろしくお願いします。
517	男	60 歳代	問 25 に書かれている設備が各地域に設置されているのですが、設置されているなら周知を計ってほしいと思います。②③の回答が多いようなら緊急時に活用できない。よろしくお願いします。
518	女	60 歳代	東芦屋町 18-37 番地、坂の急な曲がり角の所タクシー・車が多数降りてきます。道路がアイスバーンようになっていて、その上に白いラインが引いてあり、歩くのに滑って大変危険ですのでよろしくお願いいたします。
524	男	40 歳代	安心して暮らせるように警察官を増やしていただきたいです。奥地は芦屋の中でももっとも美しく、やり方次第でリゾートホテルなどを市で経営し、莫大な収入を得ることができるのではないのでしょうか。
529	男	50 歳代	①阪神打出駅周辺の活性化。 ② J R 楠町、阪神打出の踏切の立体化。(大至急) ③ R 43 号線、大東町、打出町の整備。
532	女	60 歳代	景観を壊さないよう街づくりをお願いいたします。
533	女	60 歳代	芦屋といえば、高層住宅(マンション)林立とにならないよう。現在そうなりつつあるように思います。人口ばかり増加するのはどうかと思います。環境を損なわないような静かな都市、芦屋を望みます。
537	男	60 歳代	町・地域に対して公平な行政を行ってほしい。景観に配慮しない、家・田畑が散見される。何とかならないものか行政で考えてほしい。
540	男	50 歳代	町の美しさをデリケートに確保してほしい。看板(店舗や広告等、香港ではないのだから)、電柱、奇をてらった建造物、道路標示、道路にも文字を書きすぎるなどなど。だからといって、規制強化しか手段がなければ(例えば色を全て統一したようなヨーロッパの町などあるが)それも無理な話だろう。ただ芦屋市は産業誘致など不可能だろうから、住みやすい町のイメージは大事(というか収入源だろう)だろうから、将来に向けてジワリとした規制も必要と思う。
541	男	60 歳代	キャナルパークの水路で、手漕ぎのカヌー練習とモーター水上スクーター、ボートが行き交っていて大変危険を感じています。また、騒音もひどい。キャナルパーク内はエンジンで動く水上スクーター、モーターボートの通行を禁止してほしい。最近、精神的な障害(病気を含む)を持った人が増えているが野放しの状態であり、いつ何時事故が発生するか気がかりである。
542	女	70 歳以	山間部なので、雨期・冬季には、道路(芦有)の通行に気を使います。雨期には山崩れ、石ころの落下、また冬季には、凍結、積雪に非常に注意を要します。この心配を少しでも解決できたらと考えます。道路の舗装には凍結防止を計るため、危険が予測される所は全区間舗装工事をお願いしたいと痛切に感じています。2つの町の人口密度は低いかも知れませんが、救急車・消防車の出動に対しても同じ事が考えられます。ぜひよろしくお願いいたします。また、震災後、山の斜面に積まれた古タイヤはこの暑さにも発火せず大丈夫でしょうか。新しい街づくりのマスタープランがありますが、あくまでも住居地域なので水を守るためにも、また、夜間安眠できるように、芦有が要所に土地を所有していても、住民の生きる生活空間を汚す事は考えるべきではないと思います。市の財政が悪いと叫ばれていますが、山手幹線の中止等、芦有(株)に、合乗り利用される事なく解決されるべきだと思ふ。オートキャンプ場などとんでもない話です。
548	女	50 歳代	道路にプランターを置くなど花と緑の街づくりを進めておられますが、道路にはみ出した垣根や通行の邪魔になるような置き方など、障害者や車椅子・乳母車などへの配慮ができていないと思います。見せかけだけ美しくではなくやさしい町、美しい(清潔さ)町をお願いします。
552	男	20 歳代	芦屋にマンションが多すぎる。住民の意見を大切にしてほしい。海をきれいに。区画整理も話し合い無しに決めてしまうのは家を失って「何とかしていかないと」という、希望までなくなってしまう。育ってきた土地から離れたくなかったが、家を建てられなく、何か補ってくれるでもなく、ただ建てられないと言うのは今後考えていただきたい。

553	男	50 歳代	市・地区でのコミュニティ活動の活性化と参加者呼びかけ。 イベント・美化・歴史探訪・民話・伝承・他。 できるだけお金をかけない芦屋のステイタスと新しい文化づくり。
555	男	60 歳代	市内で自動車による駐停車の多さに閉口している。取り締まりを厳しくする必要はある。
558	男	50 歳代	市の財政が大変であることは十分に理解するが、あまりにも未納税務者に多いように思われる。特殊チームを作り、税確保に努めていただきたい。できないと自分の首を絞めることになると思います。
560	女	40 歳代	震災後、公園が隣にでき、地域の方とのコミュニケーションや子ども達の情操教育にはよいが、日々の生活で、早朝・深夜の話し声や子どもの泣き声には閉口する。特に地域にある公共施設では近隣の協力があってこそのもので、利用する方もマナーや思いやりをもっていただきたいと強く感じている。
561	女	50 歳代	市財政赤字ではあるが、芦屋市が今後も良質な住宅地として存続していけるよう願っています。間違ってもパチンコ店や風俗店等の侵入を許さないよう！日本、いや世界に誇れるような市であってほしいと思います。街路には常緑樹の大木が夏の暑さよけとして植えられる事を望みます。グリーン・シティーの名に恥じないように…。
562	女	60 歳代	マンション住民も地域に暮らしている以上、自治会に加入して、地域活動に参加して、地域に対する愛着を持つべきだと思いますが。
565	女	70 歳以	3階に入居しているのですが、エレベーターがないので付けてもらいたいです。
566	男	70 歳以	震災とは関係なく、この町は活気に乏しく、元気がない。世に評価されるように、閑静・上品な町だけではいけない。邸宅やマンションの多い寝床の町の感あり。商業地がなく(特に阪神地区)、日常の生活に不便(生鮮食品の入手に事欠く事が多い)。商業地の育成を欠いているので、人が寄らない、活気がない。市営のマーケットでも考えては？このままでは町の発展は望むべくもない。
567	女	50 歳代	芦屋で育ちましたのでもう一度と思って戻ってきましたが、“芦屋のあの良さ”はなくなり、がっかりです。町の景観…どうしてこんな商業施設が…震災復興のどさくさに…目先のことで…と悲しい気がします。もう少し規制があってもいいのではないのでしょうか？
571	女	40 歳代	芦屋は老人にばかり目が向いていて、子どもを育てにくい町だと思う。少子の問題は他県・他市がやればよいのだという感じがする。(芦屋市は…)全て子どもの医療費等、せめて就学するまでは無料にしてほしいと思いながら子どもを育てた。1人しか育てていけないと不安だった。結局1人しか生めなかった。
572	女	60 歳代	震災復興事業の一部で区割整理がありましたが、隣と隣の境に金網で囲った場所がそこかしこ目に付きます。両側の家々に分担するかして、早急になくしてほしいと思います。目障りと、土地の活用が死んでいきますから！
573	女	40 歳代	市外から訪れる友人の多くが、緑の多さと自然と調和した環境の素晴らしさ、文化施設の充実度などに感嘆し、住んでみたいと話します。長年住んでいても芦屋は物質・精神共に豊かな場所であり、それが大きな魅力の一つである気がします。財政的な困難も上手に運営され、今以上に豊かな自然との調和、文化施設の有効利用、文化面での充実を望みます。また国際交流事業などに魅力を感じていますので、今後さらに発展すれば良いなと思っています。女性センターの活動もユニークと感じます。頑張ってください。
575	女	30 歳代	両親は健康ですが60代後半です。今後の生活を考えると自分たちのペースを守りながら、安全で安心な(贅沢は望んでいません)生活(自宅で)が送ればよいのですが、万一のことを考えると非常に不安です。高齢者はわがままですが、そのわがままが一つでも聞いてもらえるような生活面でのサポート(なるべく画一的でなく)を望みます。
576	男	60 歳代	芦屋としての風格ある街づくりが望まれる。また、自然を大切にしたい心の安らぎ、我が故郷というものを外国に行っても常に思い出させる懐かしい町にしてほしい。
583	女	50 歳代	J R芦屋駅周辺の自転車及びバイクの不法駐輪が目立ちます。駐輪場の使用を義務づける方策を考えてください。

584	女	60 歳代	大都市(神戸・大阪)に対して、高齢者の優遇施策が大変悪い。(交通・文化面・その他)せめて兵庫県下の(施設面・交通面)での適用が検討できないか。文化面でも映画館・音楽・オペラなどの劇場を建ててほしい。
585	女	70 歳以	防犯灯について。新しい家が建てられて車の出し入れが難しいからと近所の住民の説明・了解もなく勝手に移動されて暗くなります。防犯灯設置係の許可は不要なのですか。仕方なく東灘土木事務所へお願いをして早速立派な電灯をつけていただきました。造成地故、私が自治会の当番の折、お願いをして防犯灯を各所に付けていただいたのですが。主人がこのたび身障者になり、いろいろと福祉を利用させていただけるようになりありがたく感じております。
586	男	40 歳代	活性化を考えるなら、住民に対しての知らせをしていかなければ何もならない！！無理なことだとは思っているので、アンケートが必要なのかと思います。
587	男	20 歳代	粗大ゴミを出しやすいようにしてほしい。チケット購入が面倒である。小さいスペースでも良いのでバスケットゴールやサッカーゴール、テニス用の壁など市民が自由にスポーツができる環境を作してほしい。*子どもだけしか球技ができないような場所はほらない。
589	男	60 歳代	役所の職員の数を大幅に減らすべきである(市会議員も含む)。芦屋市は現在苦しい財政状況にあると聞いています。聖域のない節約が肝要。人件費の節約が最大の財政改革である。(民間では当然の事である)
593	女	70 歳以	美術館の存続・充実を願っています。神戸市芦屋区になるのは如何？バスの運行を見直して、最大でも30分に1本は運行してほしい。JR芦屋駅南口のバス停のベンチ、日陰に動かさないよう手すりに縛り付けてあります。暑い最中に座ることもできません。阪急バスに指導してください。高齢者に住み良い町にしてください。みなで美しい町にしましょう。
594	女	30 歳代	他の市から移ってきて特に感じるのが、芦屋市らしい街づくりをしてほしいということ。せっかくの「芦屋」なので防災も振興も芦屋らしく…。
595	女	40 歳代	子どもの施設が南側(JRより南)にあるので、JRより北側にも作ってほしい。
596	女	30 歳代	児童館等、子どもが安全に遊ぶ施設を作してほしい。
598	女	60 歳代	1.芦屋市は税収入が厳しいと聞いていますが何か新しい発想で税収入を増やす方法を考えては…。 2.うめたて地に公園ができていますが、設備面での活性化が望まれます。 3.高齢者の福祉の一層の充実を期待しています。
606	女	50 歳代	・新しいマンションがどんどんできて、町並みはきれいになっても、生活ルールを守れない人間が増えたようです。 ・広報は新聞のチラシと一緒に入っては見ないで捨ててしまいます。冊子にして一軒ずつ配布するくらいでないと。そういう予算はぜひ絞り出すべきではありませんか。
607	女	20 歳代	乳幼児を持つ人のためのサービスを充実させてほしいです。
608	女	40 歳代	アンケートに答えることで、地域のために何かしたいと思っはいるが、していない現状に気づきました。私のような行動力のない市民のために「あなたはこんな風に地域の方々と協力できる」という具体例を示してほしい。ありがとうございました。
609	女	50 歳代	夜になると道が暗いので、もっと街灯の数を増やしてほしい。交差点などでミラーの数を増やしてほしい。精道中学校の横の緑道がいつも薄暗くて怖い。早く木を切って明るくしてほしい。昼間も気持ち悪くて歩けない。
610	女	30 歳代	市役所市民課での窓口業務に関して…。土曜・日曜・祝日の窓口業務をしてほしい。特に住民票・所得証明 etc、が一般の方が休日に取りれるように配慮してください。せめて午前中だけでもいいかと思ひます。一般の方が仕事を休んでまで証明書を取りに行くのは非常に大変です。このような対策をとっていただきたいと思ひます。
612	男	60 歳代	芦屋市は文化都市といわれていますが、震災後は特にゴミの不法投棄、交通ルールの無視が目立ち、平成18年の国体に訪れられる人に恥ずかしい感じがします。ルールを守る運動を行政・ボランティアとともに推進したいものです。協力は惜しみません。まずは信号の順守から。

613	男	50 歳代	老人のためにエレベーターを設置、5階以下でも。芦屋で生まれ、芦屋で育ち、芦屋で働き、芦屋で人生の最終章を、悔いることのないよう努力し、芦屋市民の皆様と共に良い市であるように祈っています。市民憲章の中に記されている町がありますが、芦屋市全町の事を含めて記してほしい。特定してもいいですが残される町のことも考えてください。芦屋市万歳！！
616	男	30 歳代	芦屋のような小さな市では、税金収入を増やすことは難しく、地域住民のための行政を行うべきで身の丈を知ることが不可欠。子どもや高齢者が住みやすい治安が、まだ周辺地域に比べると維持できている。より安心して住める環境づくりに徹していく事が自然と芦屋に住みたいという力につながっていくと思います。大きな事を考えるのではなく、行政サービスを充実させて行くことを望みます。
617	女	40 歳代	マンションの乱立、住宅地域に建ててはいけなものの規制、法的に強制的に(バラックなど)撤退させてほしい。
618	女	30 歳代	山手幹線は、早期完成を望みます。長期工事で毎日困っています。JRより北で、自転車道の整備または、散歩道の整備を行ってほしい。「ノーマイカーデー」を設け、環境配慮を求めているが、それに代わる手段が充実していない。震災で無事であったのだが、「自助」を求める国の施策に失望を感じ、一生懸命、堅実に生きようとは思わなくなった。
619	男	30 歳代	○治安悪化への対応を考えてほしい。・犯罪の多発に警察が対応できなくなる(空き巣・車ドロ等)家を空けると、いつも不安に思う。市でできることがあるのではないか。・外国人への警戒。(地域ぐるみで行う必要がある)地域の安全が第一であり、排斥運動と思われても断固排除すべきである。…前住所では、バブル期に労働力確保のため日系ブラジル人を大量に受け入れたが、その後野放し状態となり、各市営団地は彼らの無法地帯となってしまった。
625	女	50 歳代	・昔ながらの重厚な芦屋の景観がなくなり、マンションやプレハブ住宅が多くなった。・夜、街灯が少なく、暗い道があるのでもっと増やしてほしい。・最近、芦屋でも強盗など凶悪犯罪が増えているのでパトロールをもっと強化してほしい。・図書館が遠いので、駅前に大きな図書館があれば便利です。
626	男	30 歳代	・人と車とが共存できる交通体系づくり。・車締め出しではなく、利用しやすい街づくり。・山手幹線のような人の営みを無視して地域分断するものはいらない。環境整備・町の活性化の意味をはき違えた行政には賛成できない。・芦屋の景観を無視した大型マンションにはもっと行政から規制をかけよ。(民間・自治体任せは放任すぎる！)
633	男	70 歳以	よい街だと思います。道に犬のフンがよくあります。これらは徹底的に改良してほしいと思います。
638	女	50 歳代	芦屋はスーパーや商店が少なく、自分の物や子どもの物が思うようになく、どうしても西宮や尼崎へ買い物に出してしまいます。特に私は車の運転ができないので、主人に連れていってもらうのですが、歩いていけるような所にコーナンや大手スーパーや、回転すしなどがあるといいです。(何年か前に大原町にサーバー(薬局)ができたときはうれしかったですね)
642	女	20 歳代	最近、夜歩いていると町並みが暗く感じ、不安です。道路はなるべく明るくしてほしい。南芦屋浜に新しく公園ができたのを人づてに知って行きました。とてもおもしろい遊具があり、画期的だと思います。まだ知らない人も多いと思うので、たくさんみんなで利用できたらいいと思う。交通の便、バスが芦屋はとても不便なのでその点を合理的にしてもらえると人々の流れも活気的になると思う。何かと車がない人には動きにくい。
643	女	40 歳代	浜風小学校のトイレが昔の小学校のトイレのように汚いです。新しい池なども作られましたが、池に大金を使うより、トイレなど日々の学校生活に直接関係するところに費用をかけてほしいと思います。トイレを我慢する子どもも多いようです。
646	女	60 歳代	阪神淡路大震災と思わぬ災害に出会い、大変な思いをされている方も私の身近におられます。また芦屋市が財政が大変と聞いておりますし、最近はやっているスパ温泉のような施設ができて遠くからでも多くの人がこられて芦屋の素晴らしさを知ってもらったらいいなと思います。

647	女	60 歳代	南芦屋浜の公園をよく犬を連れて散歩しますが、いろいろな犬が来て散歩を楽しんでいる様子は、大方の飼い主はマナーも犬の躰も良くできていて、子どもとも仲良くできる犬が多く、フランスやイギリスの公園とよく似ており、さすが芦屋市でこれも文化度が高いからだと思います。たまに犬が大嫌いな人が文句を言われると全面的にたとえ1：50でもその人サイドになるように思われますが、せっかくの芦屋の文化なので少しは目を向けてほしいと思います。犬との散歩は初老の人間にとり、健康面・精神面とても良く、人とのコミュニケーションには最高だと思います。
649	男	60 歳代	生ゴミ収集が(月)(木)の週2回となり、以前よりサービス低下した。特に夏場は長い間置くと異臭の発生もあり、少なくとも生ゴミは週3回収集に来ていただきたい。(経費の問題等より、種々の合理化が不可避のことは理解しており、他のゴミ収集方法は良いと思うが)
651	男	60 歳代	大規模災害の時は当然地域全体での助け合い、行政の応援が期待できる。しかし、平素の暮らしが安全であるよう、防犯対策に特に行政が積極的に対応してほしい。
654	女	70 歳以	地震の後、“給水車が〇〇へ来てますよ”“学校で〇〇(食べ物など)がもらえますよ”等々の声が聞こえましたが、高齢の私、身障の娘はもらいに行けたことはありません。また、電動車椅子の娘に充電する電源がありません。ペットボトルで水をいただいた時、“身障はよろしいね、動かなくてもよくて”…と。忘れることができません。高齢・身障を助けてください！！
655	男	60 歳代	アンケート集計結果を活用してください。
656	男	20 歳代	とりあえず公務員は嫌いや。そういう人間が多いと思うので、それを改めればええんちゃうの？
661	女	50 歳代	以前に比べ、マンションに何度も空き巣が入ったり、安全面は格段に悪くなっています。(芦屋在住トータル25年以上です)もっとパトロール等の強化をお願いします。スピード違反の取り締まりなどより、市民の安全を第一に、安心して住める芦屋市になりますように。よろしく頼みます。
662	男	30 歳代	私が考える芦屋市の特色は、海・山・川に恵まれた自然環境と、大阪・神戸への交通アクセスの良さが融合して、住宅地としての環境が非常に良い点です。高級住宅地としてのブランドを有している点もあります。せっかくの恵まれた環境を生かして住環境を最優先してほしいです。近頃、ゴミの収集に関して不便を感じています。また、世帯あたりの住居区画が、以前より狭くなっている印象を受けます。財政収入に関しては、芦屋市独自の懲罰的な罰金・税金を新たに設置してもかまわないと考えます。
663	男	70 歳以	芦屋市へ引っ越しをしてから、まだ十分わかっておりませんが、図書館が遠いので利用ができません。分室のようなものがあればと思っています。
665	女	70 歳以	狭い整地一杯、隣近所の迷惑も考えずマンションを建てられ困っている。芦屋らしい景観が失われている。
669	男	60 歳代	①意見でなく質問です。 芦屋市の財政危機について。芦屋市が破産すればどうなるか。国の法律がどうなっているのか知りません。 ②禁煙推進活動について。市役所その他の市内公的設備内での規制はどうなっているか。禁止されていないのであれば即刻するべき→保健費の節約。(模範を示すべき) ③街のクリーン作戦にみんなが本気で取り組むような行動に、市長以下が本腰を入れること→クリーン費の節約。財政危機なのに、市民がのんびりしている気がする。
670	女	70 歳以	翠ヶ丘町までのバスを通してほしい。今まで今でも親王塚までなので頼みます。
671	女	70 歳以	現在、82歳の夫婦2人ですので、行事やボランティアに参加しても邪魔になるだけとあえて遠慮しています。震災の時には、受験を控えた高校生に英語の添削をするボランティアを自宅でしました。ハートフル公社の会員になっていますが、今のところお世話になることもなく健康です。先日チラシに載っていたケアコミュニケーションズにTe1して庭の草取りを頼みました。介護保険に相当しない自立の高齢者にとってありがたいことでした。
675	男	50 歳代	芦屋の町の景観をいつまでも美しい町として、建物・住宅の規制を厳しくしてほしい。

677	男	70歳以	精道村時代の芦屋で生まれ、精道小学校、山手小学校の6年間を通じ、多くの同窓生（S.12年卒）が毎年芦屋に集い、同窓会を開催しております（北海道から九州まで、一昨年はアメリカからも）。平和で良き田園都市芦屋が懐かしく集まってくるのです。（精道村時代人種）都市開発・市街地整備も必要ですが、緑豊かで平和な芦屋の町の面影を残してほしいと願うものです。小生が2期生として卒業した山手小学校は、立派に再建していただきましたが、精道小学校の建て替えは市財政面で困難と聞いておりますが、いっそのこと、100年の歴史を持つ重要部を市の重要文化遺跡として保存することを検討されたら如何かと思えます。
678	女	70歳以	年を重ねるたびに交通の不便を感じます。バスの巡回のような、お考えはございませんか。坂道の歩行は足に負担がかかりすぎます。運転のできないものはタクシー代も大変です。
679	男	40歳代	小規模で既存住宅でも良いので、身近にコミュニティーセンターがあれば良いと思います。これから先、インターネットを利用できる者とできない者とで情報格差が広がるので市報以外にチラシやポスターなどを見たり、情報のあるスポットがあればよいかと考えるからです。
680	女	70歳以	①駅周辺の活性化を望んでおります。特に“芦屋川”を早くお願いしたいですね。②美術博物館を存続、内容を一考願います。
683	女	70歳以	震災前は密集住宅地でしたが、震災後の区画整理で美しい町に変わったことを感謝しております。また、公営住宅を建てていただき安心して住めるようになりましたが、高齢者で一人住まい（私も含めて）の多い若宮町ですので、お互いの助け合いと共に専門の方の援助が必要になると思います。対策を頼みます。
684	男	60歳代	行政各機関の活動方針を定期的に重点事項だけでも公開説明会を開いて、市民への理解と協力を育てる街づくりを。今回のアンケート実施は市民の声を集めていく第一歩と思えます。この大英断に敬意を表します。
686	女	50歳代	阪神大震災から10年たつのに、こんなに早くいろいろの復旧ができ、関係者の方々の努力だと思い、感謝しております。
687	男	70歳以	①当方は家族2人高齢であり（88歳、81歳）、就中、妻は3年前より病氣療養中の身として、アンケート内容は不十分の点多くご期待に添い得ない事と思えます。何卒悪しからず御諒承ください。②最近特に老人・婦人に対し、ひたたくりや空き巣ねらい、交通事故等が発しているよう思われ、この点格別のご配慮を切にお願い申し上げます。
689	男	70歳以	財政的にも役所・議員の数を考えるべきではないでしょうか。
690	男	70歳以	16.7.16NHKテレビ関西クローズアップ「住民生活にメス、芦屋市行革」を見、財政状態は大変な危機であると思えますが、各企業も不良債権リストラ等大変な努力をしています。市も不良資産リストラ等検討願ひ、芦屋市に相応しい財政支出をお願いしたいと思います。
695	女	30歳代	新浜町付近は緑も多く環境は良いのですが、少し街灯も少なく暗いので、もう少し明るくしてもらい、女性の人でも安心して歩けるようにしていただきたいです。お願いします。
696	女	50歳代	市民との協働を訴える前に、市として何ができるのか何をすべきか、もっと真剣に汗を流してください。「現場」を見ていますか？ご存じですか？
699	女	50歳代	家の近くにスーパーをもっと出してほしい。ダイエーのみなので…グルメとか…無理でしょうか？
700	女	30歳代	子どもが小さいので雨の日でも遊べる屋内の施設等できればうれしいです。また、学校も気になります。他府県より約5年前に芦屋へ来ましたので、震災には直接あっておらず、客観的な意見しか答えられずすみません。とても子どもにとって環境の良い町だと思いますので、より一層安心して穏やかに暮らせるまちになるよう、期待しています。
709	女	40歳代	街灯が少なく夜の道路が暗く、物騒な場所が多いです。日中でも襲われる世の中になってしまいましたので、夜は特別危険だと思います。街灯の設置場所の見直しと、暗いところには新たに設置していただきたいと要望します。

711	女	60歳代	自治体は住民を守るということを芦屋市は忘却しているのでは？震災後、県に名を借りての公共事業の肥大化で財政悪化を招き結果として住民にしわ寄せしている。自治の原点をもう一度考え直してもらいたいと切に思う。特に山手幹線と総合公園ほど愚かな公共事業はないでしょう。山幹など芦屋の若年かな住環境破壊の最たるものだ。
715	女	70歳以	阪急芦屋川駅周辺にスーパー等ができ、活性化すること。
717	女	70歳以	芦屋は便利(交通・買い物)で住みやすい町だと思っておりますが、老齢になりましたので急病等の時どうすればいいかなど、時々考えます。指示をいただければありがたいと思います。一人暮らし、老女。
718	女	60歳代	財政問題が重くのしかかってきている中で、明るい見通しはないように思えます。今考えられることの一つに市議員の数がとても多いように思いますから、もっと少なくともやっつけていけると思っています。他市との比較等せず思い切って少なくとも良いでしょう。ゴミ問題については4・5・6と3ヶ月経験してみてもっと出し方が理解できました。ただ通りがかりにポイ捨てされる方が多く困るときもあります。私どもも高齢になってきて医療問題が切実になりましたが、芦屋市単独とは言わず、近辺に十分満足できる病院、設備の整った医院などほしいと思います。今は今ひとつ中途半端な状態だと思います。今まで住んでみて大きな満足はありませんでしたが、そこそこ良い状態の時があったと思います。
719	女	60歳代	3年前の付属池田小学校事件や今年の長崎佐世保市の事件等を考えますと、青少年のための教育は大切だと思います。また、高齢化が進んでいきますが、皆が皆、痴呆になったり介護が必要であることはなく、元気な老人もいるはずなので、この元気な老人達にほんの少しのボランティア精神を持っていただき、社会参加をしてもらえればと思います。
720	女	70歳以	30余年前、主人の仕事の関係で横浜より当地に参りまして、聞きしに勝る良い住宅地で現在に至っています。駅前が開発でセンスのいいお行儀の良い店員さんの店がたくさんでき、暮らしよく満足しております。関東の鎌倉とよく比較されますが、こちらは古くからの観光地で賑やかすぎ。どうぞいつまでも品位のあるこの町でいてください。イベント等あまり俗化しませんように。病院等も充実し、老人にとってはありがたいこととございます。
721	男	70歳以	震災後、市の財政も困難と思うが、よく検討して有意義な使い方をしていただきたい。例えば、子ども達が安全に遊べる場所を提供するなど子どもの教育に力を入れてほしい。
723	女	60歳代	車の通行標識が安直に過ぎる。・一方通行とか通り抜け不可の枝道に左右反対視覚の奥まったところに標識があり、迷走車が度々入る。電柱に当たって危険である。・歩道が狭いのは古くからの町ほど多い。にもかかわらず1人しか歩けない狭い歩道に電柱がある。また、商店の前のはみ出しをどうかと思う。足元も危ないし傘もさせない。管轄云々と聞かすが、そんな時代ではないと思う。
724	男	60歳代	芦屋市に住んで3年になります。市外からきた者が「芦屋市」に対する期待度はやはり文化レベルの高い住みやすい町です。これから高齢化社会に移行していきますが、どうか図書館(本館及び分室)は充実して、もっと多くの人達が使えるようにお願いしたいと思っております。街灯も増やしてほしいです。財政状態が厳しいと聞いておりますが、市職員数も思い切って減らし、事務効率を上げていただければ幸いです。
726	女	40歳代	現在住居が臨港線沿いにありますが、早朝より昼間・深夜まで大型車の交通量震動が激しいように思います。また、違法駐車やゴミのポイ捨てがとても気になる。
727	女	60歳代	芦屋市には介護施設・特別養老施設など少なく、また入るのに500~600人待ちと聞き、一生かかっても入れないとよく耳にします。委託でもいいので何とか早急に考えてほしい。私の家庭でも困っています。
730	男	50歳代	財政難だからといって、美術館を民間委託、または休館するという考えに反対である。今回のように文化的なものからまず切り捨てていくような考えでは必ずよい町はできない。文化を大切にしない町づくりから、芦屋市が殺伐とした町になるのではないかと危機感を感じている。
731	男	70歳以	特色を出すよう、時間をかけて検討すること。芦屋憲章の持ち物を。よその真似は絶対やらないこと。総花的にならないこと。

735	女	70歳以	高齢者ですから間には不向きな点があり、もし中年くらいだったらと思い返しました。(ますます増える一人暮らしの不安のために)一人暮らし、高齢がずいぶん多く、もしもの時に連絡できる方法とか。せめて1週間に1度くらいは安否を確かめる何かの方法を作ってもらえたら安心して暮らせると思います。これは86歳の実感でずいぶん多くの人が男女に関わらず抱いていることです。つまり集合とか気軽に出かけられる場所。
742	女	70歳以	問21は「4」と書きましたが、自分の体が参加できる状況ではないということです。舗装されていない道路は、三菱銀行から尼信金庫近くまでの道で歩いていても年寄りにはつまづきやすいので、早く直していただきたいと願っております。10年近いわけですが、どうして舗装にならないのでしょうか？お願いいたします。
751	男	70歳以	消火栓のマンホール上に駐車している工事関係車両が多く、見つけ次第注意しているが、道路課・警察等でパトロールを強化して注意してほしい。
753	女	40歳代	芦屋市に対してはとりあえず財政を建て直すことに重きを置いてほしいと思います。問26にあげられた施策の中には市に求めるのではなく地域全体が中心となつてすべき(できる)内容もたくさんあるような気がします。
756	女	60歳代	○南芦屋浜湾岸線測道、潮風大橋測道開通してほしい。(できているのに閉まっている) ○湾岸線高架下測道に多量のゴミを放棄されている。 ○あゆみ橋の歩道をバイクが多く走っている。
758	女	60歳代	(町を美しく)犬のフンの持ち帰りを厳しく。タバコのポイ捨て多く見られる。
774	女	30歳代	昼間の飲酒運転規制(検問)を厳しくした方がよい。ランチの時に飲酒するママが多いので驚きます。芦屋は多い、とのこと…。夏休み明け、怖いのでお願いします。
777	女	40歳代	震災時に千葉県在住。親族も大阪。前・後という基準はわかるが、どれにも回答できない質問があった。市立高校の閉校決定、市立幼稚園の閉園(減少)問題等、もっと子ども達の事を考えていただきたい。公園・設備の充実も必要かも知れないが、教育があつてその上での事だと思う。
778	男	50歳代	1. 今回のアンケート等で前向きに市の活動を行っておられる姿が目につかび、ぜひ頑張ってくださいですし、また、参加もしていきたい。 2. 芦屋市の中で行っていることの現状認識ができていない自分に今回気づき、またデータ類が少ないとも思いました。公報ももっとわかりやすく、すぐ役立つものになってほしいです。 3. 市民参加型で行政を推進していく方向性はよいと思います。後は仕掛けの問題です。(早く！実行！優先順位を決めて下さい) 4. 住みやすい素晴らしい町と一緒にしていきましょう。
780	女	40歳代	・芦屋病院は市の病院でありながら診療科目が少なく、特に成人病に対する検査も受けられない。(カテーテル検査、透析など)芦屋という地名でありながら、病院の設備が整っていないと大阪の知人に笑われました。 ・市民の健康のために力を入れてください。
782	女	70歳以	アンケート一生懸命読み、回答しましたつもりですが、問23・24に関しましては私自身高齢で病弱なもので率先して活動できないもので、当てはまらなく書き込めませんでした。マンション住まいですが、周りの方々の親切に感謝しつつ住み良い環境をありがたく生活しております。
790	女	30歳代	阪神芦屋駅周辺の歩道の確保をお願いしたい。児童館のような施設を作してほしい。
791	女	20歳代	・市役所の昼休みにも交代にでも業務を行ってほしい。昼休みにしか行けない人もいるのだし。 ・赤字財政なのに市役所の職員が多いし、勤務時間中なのにコーヒーカップを持ってウロウロしているのは感じ悪いし、たくさん待っているのに早く対処してほしい。特に年金関係、高齢・福祉関係。時間中にお菓子等机で食べるべきではない。口をもぐもぐ動かして仕事をすべきではない。
792	女	40歳代	マンション・店の乱立を規制する。これらによる電波障害や電柱への線等の引き込みの対策。何の工事かも知らず、むやみに電柱への線等の引き込みをやたらとしているので大変迷惑である。道路の整備も片寄らずにしてほしい。何のためにパトロールカーを走らせているのか疑問！役立っていないと思う。

793	女	60 歳代	川西の体育館へ行けるバスがないので作ってほしいです。体育館に行ってみたくけれど自転車だとしんどいのでバスで行けるようになれば運動したいと思っています。今は芦屋浜プールに行っています。楽しいです。水の中で体を動かすことが健康につながっていると思っています。年を重ねても自分のことは自分でできるよう日頃から体を動かすよう気を付けています。
794	女	70 歳以	私達の町は安定した暮らしをしている方々が多く、ともすれば利己的な人々も多い地域だと思いますが、震災の後、ご近所の会話も多くなりました。住民の高齢化も進んでいますので災害が起こった場合を思う折、責任を感じますがその折はまあ、ともかく精一杯頑張るしかないでしょう。
796	女	20 歳代	明るく安全な街になってほしい。街灯をたくさん付けて夜を明るく照らしてほしい。道路に花を植えて美しい町にしてほしい。
801	男	40 歳代	・ゴミ収集が2回/週になり、並みの市になって残念である。・パーキングメーターをもっと増やして路上駐車から集金できるようにすべきではないか。・市立芦屋高校を私学に売って大学、進学率の高い高校に変身させればよいのでは。・幼稚園の3年保育を他市のように芦屋市でも行ってほしい。・公園にトイレをもっと増やしてほしい。
802	女	60 歳代	安全で安心できる町づくり。特に防犯面で不安。
806	男	50 歳代	芦屋市は海の事山の事がすぐにわかる小さな“大都市”である個性ある市であります。各々の自治会で実施される行事でも市長は顔を出し、市民とのつながりを重視しておられ、これは他市では考えられない“素晴らしいコミュニケーション”と思っています。この実績の継続と阪神大震災の教訓を生かしてまとまりのある芦屋市を目指して微力ながら協力していきたいと考えます。
807	女	30 歳代	①JR駅前や広い道路には路上駐車が多すぎます。大変危険。②浜の図書館は設備が悪すぎます！特に2Fの勉強室は狭くて環境が全く整っていない。私は芦屋住民でありながら毎週電車に乗って西宮中央図書館(阪神香柙園)まで通っている。ここは広く美しく最高の環境で勉強ができる。ガードマンも常に配慮してくれるので安心できる。なぜ芦屋の図書館は市民をこころよく勉強させる環境を作らないのか！無駄な道路工事をやめて一日も早く設備を改善してくれる事を心から望んでいる。
808	男	30 歳代	区画整理で本当に減歩はすべて支払われているのか知りたい。不公平感を持ちつづけている。減歩がすべて支払われているのか確認する方法はありませんか。公平な街作りだったと証明されるものが何もないではないか。
813	女	30 歳代	来春、小学生・幼稚園になる2人の子がおり、現在も妊娠中です。一番気になるのは子どもを取り巻く環境が特に悪化している事です。我が家は朝小学校区ですが朝小まで狭い路地を通り30分、岩小まで安全な道で5分。本当に教育委員会は子どもの安全について考えているのか疑問です。こんな小さな事でも行政の怠慢が見えます。この先もっと市民の安全についてしっかり考えていただきたい。これについては市としての意見をぜひ聞かせてください。
815	女	60 歳代	昔のように火葬場がほしいですね。(確か三条の山にありましたね)今でもある?! ない?!
816	女	70 歳以	人の足手まといにならないように過ごしたいと心がけています。今困っている事、飼い犬・猫(多分野良)の糞害。伊勢町下水の悪臭。市役所が植えた木の後始末(掃除)、家の塀の際に5色南天。目の前に南京ハゼと下植えのさつき。掃除に体力を使いフラフラです。芦屋市はお金がないという事なので安物の木を植えるのでしょうか。南京ハゼは緑色の花粉・花房・実を落とす。(殻と種を別々に)葉を落とす枯れ小枝は年がら年中、落し物が凄いです。お金のない市がなぜ、花火やお祭り騒ぎをするのですか? 子どもの手づくりお神輿担ぎは賛成です。市議員選挙の半年くらい前に木の落し物で困っていると言いました。「何か困っていることはありませんか?」と言う電話がかかってきたのです。国道43号線から図書館までの並木の葉が落ちる前に枝をすっかり切ってくれました。その年だけ本当に助かりました。命が1年分延びました。固定資産税ばかりたくさん取られています。アンケートを取ってくださっただけでもありがたく存じます。

824	女	20歳代	・震災後、町もきれいになり、私も含め震災後のことが少しずつ風化されている気がします。芦屋市として1月17日を市民全員で何かもっと特別な日である事を確認していきたい。・震災の復興に関して被災者の数が多いからかも知れないが、行政の助けがあまりなく、備えがある人達だけが自力で復興したとイメージが強い。
825	男	50歳代	市役所等、行政部門の経費削減。
826	女	50歳代	市民の生活意識に敏感に対応できる行政。芦屋という街の良さを大切にしてほしい。環境・公害問題は常に念頭に人命尊重の何事への対応。
828	女	70歳以	先日のNHKの“クローズアップ”の放送は、芦屋市民はどのようにお感じでしょうか。ますます不安になりそうです。
829	女	40歳代	芦屋市はとにかく物価が他に比べて高い。地域の復興や暮らしの活性化を思うのであれば、外側ばかりではなく、まず、市民の住みやすい物価から始めてほしい。土地開発等にお金を使うやり方にはすごく疑問を感じる。根本を見直してもらえれば、若い世代が集まりそれが街の活性化につながるのではないのでしょうか？
836	女	60歳代	このようなアンケートを2年～3年に一度程度行っていただきたい。固定資産税、都市計画税の減額措置の延期をぜひお願いしたい。(震災時の全壊・半壊者の再建時)当方に関しましては平成11年にやっと再建することができ、解体の補助全て該当せず、援助は受けられませんでした。
838	女	40歳代	普通の人が暮らしやすくなるように中身の充実を！税金の無駄遣い(市職員・議員多すぎ。無駄な設備の作りすぎ etc)はやめてください。バス便の改善。福祉関係、教育環境の整備など、実際関わっている人々の意見を重視してください。
839	男	50歳代	・清潔で美しい町並み、道路沿いの桜並木など高級感あふれるイメージを残していきたい。・一方で、商業地区は活性化が必要。・幹線道路は大きく幅をとる(早く完成させる。山手幹線など。)・踏切の整備。・町単位の祭りの活性化。・金配りのような福祉はいらぬ。まとめて公共に使うべし。
844	男	60歳代	問10～⑦あるスーパーでの事で、震災前にはもっと買い物客も多く、賑やかだったが現在は人通りもなく寂しいですね。原因の一つとしてスーパーの周りに出店でも出そうものならスーパー側が違法といったら警察に通報しては出店などを寄せ付けないなど。ますます寂れるでしょう。
847	女	70歳以	阪急から上の山芦屋・三条の人達はバスがないので老人にはきついです。1時間に2本でもよいので小型バスでも運行してほしいです。
848	女	50歳代	芦屋川でのバーベキューのゴミが多くて困っております。皆さんが川でバーベキューをなさるのは、とても楽しそうで良いことだとは思いますが、ゴミの問題と駐車場の問題を行政の方で考えてあげてはいかがでしょうか？失礼いたしました。
849	女	40歳代	ゴミの出し方が変わり、時間帯の遅い所では地域の方がカラスの番をしている姿が見られる。嬉しいがそこまでボランティアを老人にさせて良いものか？自主性に市は甘えすぎているのではないのでしょうか？…財がなくて大変なのはみんな同じだと思います。老人・子ども(学校)にしわ寄せが点々と見られますが…。みんな小さな事を忘れていないのでしょうか？グラウンドも必要ですが、視点の見方を考えてほしいです。グラウンドをどのように生かすか！の方が大切なのではないのでしょうか？芦屋は自分がしっかりしていなくては住めない土地だと再認識しましたね。
853	女	60歳代	コンビニエンスストアなど、24時間営業のところもあるようですが、今の世の中に無駄なような気がします。夜はできるだけ休養をとって心身共に健やかに暮らしたいものです。(せめて午前0時から5時頃までは休んでほしい。)また、省エネの問題など、これらの課題がたくさんあると思います。
857	男	70歳以	財政の再建。風格のある文化都市の充実。
858	男	70歳以	芦屋市で働いている方(市の職員の方)など芦屋市に住んでもらいたいです。芦屋市職員が芦屋市に住みたくなるような町を目指して仕事をしてください。

859	男	20 歳代	・空き巣被害や不審者が多い。パトロールを強化してほしい。・街灯の位置が高く、街路樹に邪魔されて、何の役にも立っていない。もっと低い位置に付けるべき。・違法駐車が多すぎる。駐車スペースのない店舗の出店を控えたり、規制してほしい。・ルナホールや打出教育センターなど、高齢者にはエレベーターがなく、とても不便であり危険。高齢者・障害者対策が非常に遅れている。
860	女	50 歳代	震災後、私達の道路や家の前など、市役所に電話などした人は、道路をデコボコを直したりしてもらっていますが、電話などしない人の家は未だにデコボコの歩道です。行政が見回って街灯(道路)の壊れている所、道路のやり直しきっちりチェックしてください。同じ所ばかり直さないで…。
863	女	40 歳代	竹園町に住んでいますが、この近くでも路上駐車が多く、危険な事を感じることが多いのです。芦屋の住民様ではないように感じますが、何とかならないものかといつも思っています。・43号線南1つ目の道、芦屋公園の間(春、芦屋川でお花見をなさったりバーベキューなさったり、また何かイベントが芦屋公園であります。車一台通るのがやっとなり、本当に危険です。道路は車量も多いのですが、小さな道ですので停める方が多いようです。)・茶屋町バス通り(桜の木のある道です。東側にカフェができてから駐車が多くなりました。)・呉川町芦屋高校東側から3号線を渡り南下するバス通り(コンビニがあるせいだと思います)。
868	男	50 歳代	小さな顔の見える町だと思います。生活をしていて楽しいと思える環境や文化、福祉施策を充実させてください。子ども・生徒の教育も重要です。芦屋廃校は全市民的論議がもっと必要ではなかったか。
870	男	70 歳以	いわゆる箱物とか施設を作る場合、施設の維持管理費くらいは入場料・使用料で十分賄えるものにしてほしい。集会所などの使用料全額免除は如何かと思う。自分等が使う電気・水道・クーラー代は使用者が負担するという気概もほしいと思う。こういった制度は早晩立ち行かなくなるだろう。
872	女	60 歳代	芦屋の街は町という感じがして、とても美しい道路整備がしてあって大好きです。ゴミが落ちていないし、パチンコ屋等ないのがいい。しかし、黒いゴミ袋等いまだ使われているのは地球環境に対し芦屋市が関心が薄いと感じる。他の市町村でも早くから取り組んでいるのに…。陽光町を作られたのに、とても交通の便が悪い。1日も早くバスをもっと運行するように働きかけてください。街の活性化につながると思います。買い物もとても不便。早く便利にしてください。
873	女	40 歳代	芦屋市に住んで4年ですが、公園などの県の事業は見えていますが、市の事業が全くわからない状態です。税金が足りないとのこと聞いたのですが、何に使われているのかもよくわからないですね…！
878	女	20 歳代	少子化に伴い各年齢層のつながりがなくなってきたように思う。いろいろな年齢層の人が出入り、交流できる施設がほしい。
879	女	70 歳以	主人が脳梗塞で身体障害者で寝たきりで、自由にできないのでずっと看病している。どうしても外出の時はヘルパーさんに頼んでいます。
888	女	60 歳代	①国際交流会のあり方について予算が少なくなったようで、今までと違うやり方がいいですね。②大原町に引っ越してきました。バス停に行くには少し時間がかかるので、タクシーと思いましたが走っていないので、駅から10分くらいの所はとても不便です。
890	女	20 歳代	タダで置ける自転車置き場がほしい(駅前など)。
892	男	30 歳代	JR芦屋駅の北側T字路の信号2ヶ所を「ただちに」付けてください。そのうち必ず事故が起きます。
893	女	40 歳代	ゴミの収集が週3回から2回に減ったことが大変迷惑。「まち・人・くらし活性化アンケート」などを取っておきながら市民の暮らしを不便にしている。まずは市役所自らの働きを活性化なり見直してほしい。
894	男	70 歳以	防犯・防災上、夜間点灯の励行は必要なるも、門灯の不点灯の家が多く、特に西山幼稚園(市立)は以前より電灯不設置で通行不安なので早急の設置を要請します。当家は車輛通行可の坂道に面しているので、震災復興時より現在まで貨物車はもちろんのこと、重機積載車・ミキサー車等も朝6時前より夕方まで通行、その間アイドリングを含めた騒音に悩まされている。工事関係者の通行頻度等の規制は変えられないか、ご検討をこう。

895	女	60 歳代	東灘区から芦屋に転居して(マンション)19年になりますが、12年間は働いていて自分達の生活で一生懸命でした。それから3年あまり、実母を自宅で介護して看取り、今子ども2人も独立して夫婦2人静かに暮らしていますが、これから町内会の人々とも少しずつ仲間に入れてもらってこれからの10年・20年を楽しく暮らせるように努めたいと思っています。また、芦屋市の財政が大変なこともよくわかりますが、無駄なことを中止していろいろ努力して明るい芦屋市民の生活を築いてください。
896	女	70 歳以	昔は隣組があり、自治会がそれに代わり、回覧板が町内を巡り、渡すとき近所同士の挨拶、顔を合わせられた。現在、山の手には家は建て連なっても、年1回の害虫駆除薬の申し込みの回覧板と自治会費集めのみ。近所の集まる機会を作らぬ限り、同じ時刻に門からでることではない。甲南高生・市芦高生が道路側溝に空き缶を投げ、タバコを捨てる。ゴミ箱を市製の同型で危険物が入れないのを望む。
899	男	40 歳代	芦屋市は踏切が多いので渋滞が凄いので高架にしてほしい。
900	男	70 歳以	治安の良くなることを切にお願いします。
902	女	60 歳代	私にはよくわかりませんが、震災後の復帰はたいへんだっただろうと思いました。これからもがんばってください。お願いします。
906	男	30 歳代	震災後に芦屋住民となったため、以前との変化はわかりませんが、震災を感じる場所もなく、市政に関わる方々の努力と推進力に驚いています。貴重な経験を他都道府県に広めていただきたいと思います。加えて、市民としては避難所等で何が可能なのか(あるもの、ないもの)が分っていません。地区別の危機管理資料(しおり)等、作成、配布いただければと思います。※災害発時の通信手段についても取り組みいただければ、安心感は高まると思います。
909	女	30 歳代	他の市から芦屋に移り住み、早7年が過ぎました。この街に暮らして感じる事は、芦屋の強みはなんといってもその景観の美しさだと思っています。アメリカのニューヨークでも景観を整えたことによって犯罪率が低下し、非常に住みやすくなったというデータがありますが、環境が人を育てていくのだと思います。移り住んで実感していることに、住んでいる方がとても心豊かである気がいたします。バス停でお互いに譲り合う姿をよく見かけますが、街や景観の美しさがそこで暮らす人々の心に密接にかかわっているなあと考えさせられます。まちの美化を整える事が豊かさにつながる何よりの近道ではないかと日々思っております。
910	男	50 歳代	ラーメン屋の駐車違反が多すぎる。ラーメン屋等の建築許可を出す時は駐車場についても条件を出すべき。
911	女	70 歳以	1.物価について…高価なのがよいとする「芦屋族」の考え方に業者が迎合しているのではないかと。2.バス停の椅子の増設について…JR駅前の北側の阪急バス停の椅子が2つしかなく、老人は立って荷物を持っているのが辛い。(しゃがみたい時もある)阪急バスに交渉してほしい。3.道路の美化について…ゴミ出しの日には集積所まで道具を持参して、ゴミを自分の袋に入れているが、煙草の吸い殻、紙くずは一向に減らない。(10年以上続けている)犬の糞は最近なくなった。飼い主のマナーがよくなったのか。4.古い話になるが、震災時の半壊、一部損壊の判定が不公平だった。また、西宮市、神戸市などとは随分差があった。
917	男	50 歳代	駅、バス停等の近辺のゴミ、吸い殻が見苦しいと感じる。ボランティアではなく有償で清掃を委託してもいいのではないかと。安くてもやってもらえる人はいると思う。ボランティア=タダ(無償)という発想を捨てることも。
919	女	60 歳代	補助金などを減らしても良いから集会所の管理人は置いてほしい。アルバイトでも可。
920	女	20 歳代	未だ引っ越してきて1週間程度なのであまり有効な回答になっていないかもしれないのが申し訳ないです。現在の芦屋市の印象は地域ぐるみの運動が盛んそうだということと、市民の皆さんの街でのマナーがよいということです。街角のポスターや掲示板でちらほら地域のイベント情報をお見かけするので、これからどんどん参加できればと思います。ご苦労さまです。
922	女	70 歳以	私は昭和のはじめから芦屋に住んでいまして、阪神風水害(13年8月)や戦災(20年8月)にもあい全焼しましたが、マンションのおかげでこのたびの震災には大きな危険もなく、とても助かりました。マンションは人のつながりもあり、何かと心強い思いです。一人暮らしなので助かっております。

925	男	70歳以	稲荷山線の駐車違反を取り締まってほしい。
929	女	60歳代	道路も広くなり街並みもきれいになりましたが、同じような家ばかりで特徴がありません。以前は目印になる家がありました。でも結構落ち着いて生活しております。
932	女	30歳代	市立芦屋高校がなくなり教育に不安。塾の先生は芦屋に住んでいるのは進学の上でデメリットとの発言。「教育」にもっと関心を。
935	女	50歳代	芦屋も財政難で大変だと思いますが、山中市長の公約「花と緑」の都市に向けてがんばっていただきたいと思います。
936	女	60歳代	少子化により「子供会」の活動が、芦屋市は特に弱いように思います。「子供は国の宝物です」是非とも「生めよふやせよ」とは言いませんが、少子化対策の積極的なプランニング、実行してください。明るい芦屋の街づくりのために、もっともって年間を通して「子供、青少年」と大人(老人会もまじえて)の「和・輪」づくりが必要と思います。
937	女	20歳代	私は学校で介護の勉強をしているのでどうしても高齢者の方関係の意見に偏ってしまうのですが、最近増えてきている高齢者施設と一般の方の交流の場を設け、高齢化社会について考える場や、高齢者住宅やひとり暮らしの高齢者の方への対応、近くの住民の理解、協力を得るために何かできないかと思っています。
939	女	40歳代	外から来た人が、芦屋は感じのいいまちだ、と言えるように、ハード・ソフト面の充実、および住民間の交流がませばよいと思う。ひとことかけたり、にっこりしたりする人が多いまちにしたい。
941	男	20歳代	最近、家の前の道路には迷惑駐車(いつも同じ車)があり、大変迷惑している。車での通行も不便だし、歩行でもすこしこわい感じがする。
942	女	60歳代	○地域集会所…係りの人をなくすとの事ですが、会場の使用する時、必ずいてほしい。なくさないで！ ○公園について ①子供のボール遊び可、不可 ②犬の糞の持ち帰り ③ゴミの持ち帰り 看板があればいいと思う。砂をなげて遊ぶ子供がいる。 ④整備…水やり、草とり、ゴミ 地域の人に頼りすぎないで。
943	女	50歳代	①シーサイドのプールに健康器具を設置してほしい。プールが嫌な人のために2Fに十分スペースあります。青少年センターは遠いので。 ②足尾ローンテニスクラブは市の土地だと思うので、芦屋市民を優先的に入会させてほしい。テニス愛好家は無条件で！審査、紹介を優先している今のシステムはおかしい。 ③43号線の下の道路、自転車や人は横の川の上を通るようにできないのでしょうか。とても危険です。 ④芦屋はとてもきれいな市だと思います。益々、皆が平穩に暮らせるよう努力してください。
944	女	60歳代	20年前、この地に移り住んだ時は、自治会、婦人会、子供会いずれも活発に動いておりましたが、徐々に活動が薄れてきています。いずれも「長」になれる人の負担が大きいからでしょう。地域でよりよい関係を続けていく名案はないものかと思いますが…。
946	男	20歳代	J R芦屋駅付近はデパート等あり、活気があるのに、市の中心である阪神芦屋駅付近は商業施設が少ないので、増やすように働きかけてほしいです。
947	男	70歳以	景観に関して、数年前から芦屋川の河川敷の改修？工事が、阪急芦屋川下から大正橋にかけて行われたが、中途半端で放置されている。芝生は定着せず、コンクリートを破壊して埋めた土砂が流れ放題で、何を考えて無駄な出費をしたのかと思う。工事車輛が平気で桜の枝をなぎ倒していた光景が臉に新しい。
948	女	60歳代	①山手幹線の安全横断のため陸橋を改修してエレベータをつける。 ②住宅街の側溝にふたをして歩行者、車椅子の安全を図る。 ③J R芦屋駅北側バス停付近の違法駐車を一扫する。 ④③の実現のため地下駐車場の料金体系を100円単位にする。 ⑤住民が気軽に駐輪できるよう、便利な駐輪場を整備する。 ⑥住基台帳の活用により行政の効率化を図る。 ⑦電線、電話線の地下埋設の促進。
953	男	50歳代	ゴミ回収において、カラス等によるチラカン、まちがって出された後の処理(放置)等が街の雰囲気悪くします。ヨーロッパ(ドイツ)等で実施しているゴミ回収方法の採用等、もっと検討できるのでは？単に細かく分別して、出す日を変えても混乱がふえるだけみたいです。
954	女	40歳代	このような社会状態の中、みんな知恵を出してがんばっています。市役所の大きな赤字も真剣に考え、市民の将来のために改革・改造、自分達の足元から変えていくものではないでしょうか！！

957	女	50 歳代	お店は船戸町にありますが、路上駐車が多い事、歩く人も危ないので何とかしてほしいと思います。たえず、お巡りさんがいれば別ですが、いなくなると元に戻り、車のオンパレード、お巡りさんが駅の周りを回ってもらうとひったくりや強盗も少なくなるのでは。うちの店もドロボーが入り3件やられました。芦屋も安全ではなくなってきたので銀行から出てくる時は少しこわいように思います。それから高齢者の施設が少ない事です。芦屋は老人が多い町でみなさん困っています。もっとたくさん出来たら働く人と両方が助かるのでは。私達ももうすぐお世話になるかも知れませんので。
958	女	70 歳以	災害の被害のきつかった芦屋川西側地区の復興後の市街は素晴らしい景観を呈し、災害前東側地区より随分見劣りがしたが、今は市民随一である。広い道路、公園等少々復興に費用がかかりすぎるくらいがあります。芦屋川を挟んで東と西の交通網等格段の差あり、羨ましい限りである。苦あれば楽あり、しかし今後再びこのような震災の起こらぬよう、心より祈るばかりです。
961	女	60 歳代	○山手幹線の新しい舗装道路はあまり立派すぎ、財政難の折から、あれほどお金をかけなくてもという意見を良く耳にします。○JR、新快速が止まる様になったのは本当にありがたいことです。
963	男	30 歳代	子供を育てる家庭に配慮した施策、まちづくりをしてほしい。
968	男	60 歳代	問 26 で、最も肝心の「財政再建」をなぜ書かない？アンケート作成者にこの意識がないのではないか。
970	男	20 歳代	阪神芦屋駅(周辺も)のバリアフリー化をしてほしいです。平田北町(43号沿い)の公園に遊具を入れてください！！子どもと楽しみにしていたのに！（すべり台や鉄棒など）
974	男	40 歳代	個人個人の意識レベルが上がれば何も言う事なし。それは、行政でできるものではなく、一人一人が今を感じて自発的に行う。だから何も言う事はない。だけど、今の世の中、心配だらけだねえ。がんばりましょう。
977	女	30 歳代	駅前ビルに図書館を作ってほしい。今回の様に住民に意見を聞いてまちづくりに役立ててください。
978	女	40 歳代	芦屋浜に有料の駐車場がないので、皆困っている。タイムスなど早急に作ってほしい。歩道などに植え込みが多過ぎ、見通しが悪く自転車の出会い頭事故につながる。
982	男	40 歳代	芦屋の町には大変松の木が多いですが、松の木は花粉や枯葉等、大変不衛生な町並の様子に思います。緑の重要性は理解しておりますが、もう少し手入れの仕方を考えなければいけないのではないのでしょうか？松の木の周りは一年中不潔です。
988	女	60 歳代	これから市が発展するためには若い人たちが魅力を感じるまちづくりが必要と思います。住みたくなる町、また観光に値する町(京都の様な、お店あり、町並みあり、自然あり)教育問題の心配のない学校作り、文化芸術等に力を注いでくださって、若い人達がここに住みたいと思える町になってほしいと、若い人たちに接しておりますと切に思います。どうか頑張ってください。そしてもっと住民に提案してほしいと思います。
993	男	50 歳代	芦屋駅には緑が少なく、コンクリートばかりで暑くて、芦屋駅前を離れると涼しくてほっとする。少しでも緑や花を駅前周辺に設置してほしい。
996	女	30 歳代	道路の区画整理や避難場所としても活用する小さな公園？みたいな所が増えていますが、どこも同じ作りで殺風景というかあたたかみを感じられなく、区別もつきにくい。震災後、建て替えてぬくもりを感じられない新築の家並が多いので、道路や公園など通り一遍の作り方でなく考えていただきたい。
997	女	20 歳代	文化都市にふさわしい芦屋を守っていくためには防災・環境問題、身近な問題なども市民番組、ケーブルTVや広報版でも今まで通り知らせていく。楽しい祭りやイベントなどで呼びかける。はではでしい看板やピンクチラシを規制し取り締まる。文化豊かな町として公的施設、プールや美術館、記念館などのフリーパス券などを作ってもらいたい。年間会費を支払って、何回でも利用できる市民のコミュニケーション、町の活性化につながる。

998	女	30 歳代	私の家の前の道路は車がよく通るわりに歩道が狭くて、子どもが通るには危ないように思います。(山幹が開通すれば通行量も減るでしょうが)全体的に歩道を増やしてほしいです。
999	女	60 歳代	年金で暮らしているため税金を安くしてほしい。芦屋は税金がとても高い。福祉に力をいれてほしい。
1004	女	20 歳代	4月に越して来ました。以前住んでいた所は若いファミリー層が多く、駅やデパートのエレベーターはベビーカー優先でした。芦屋はお年寄りが多いので、ベビーカーでもエレベーターに乗れないことが多いです。赤ちゃんから高齢者まで、みんなが住みやすい街にしてほしいと思います。子どものための施設が南側に集中しているので、なかなか行きづらく、使用したくてもできないでいます…。
1006	男	40 歳代	いい意味でいう“芦屋イメージ”を大切に、プライドを持った行政をお願いします。
1009	男	70 歳以	7月16日(金)NHKの19時30分からの芦屋市に対する放送は市民の1人として誠に感慨深いものでした。戦争は人間が人間を殺し又建物を破壊する愚かなことですが、それ以上に天災の地震はまったく相手が地球であり何ともできない事柄です。しかしながら都市計画は戦後戦災の後始末として住宅と空き地がありましたので、当時は大変な食料難で薩摩芋等を栽培していました。赤字の市当局は建造物がないので私の所から西北に新道路を設置されまして、畑の横を横断する田舎計画(今日田畑の横でも舗装した見事な道路がついている所が多い)でした。地震後また都市計画の区画整理です。それも芦屋川から東の茶屋之町のバス道までです。その際、今後お宅の土地は将来にいじる事はありません、ご協力ありがとうございました、でありました。その後地震でまた都市計画の区画整理でお金の負担はありませんから協力してくださいであり、前者も後者も口先ですので書面を貰っていません。それでテープレコーダーを使用しようとしたら止められた。この頃は日常電気製品で生活するのは当然です。発言した、しないの問題はここから生まれるのです。精算金は発生しませんとの公団の言を信用して押印した私が馬鹿を見たのです。不当な形状にされて尚240万円を支払えというのです。抗議を申し込みにいったら転勤しておりません。今でも釈然としていません。まあ区画整理とは御しやすい相手を騙す、言いくるめる手法だと分った時は後の祭りです。こんなものだとあきらめています。今後ともよろしくをお願いします。(住所氏名記載あり)
1010	女	30 歳代	3月に引っ越してきたばかりですし、震災前の芦屋についても何も知りませんのでわからないという回答ばかりになりました。でも以前住んでいた尼崎市よりは住環境は大変よく、芦屋に来て本当によかったと感じております。今後は地域の防災倉庫や貯水槽などの設置場所なども調べて、いざという時に備えたいと考えております。
1012	男	60 歳代	あれだけ大きな災害の時は何を言っても駄目。それぞれが必死で他人を気遣う余裕もないし、また自分を守るのが精一杯。まず行政がしっかり動いてくれる事が肝心。私共は親子2人、誰からも声をかけられたこともなく、冷たい視線を向けられた事しか覚えていない。当然、着のみ着のまま、頭から毛布をひっかぶっていた故かもしれない。直後の事だが寝入りバナの事なので仕方がない。薄情、それだけだ。
1014	男	50 歳代	震災とは関係がありませんが、バブル時に構築した箱物の処理を考える必要があるのではないか？あの頃はすべて経済が右上がりバラ色の将来を皆が夢を見ていたが、現実はこの不況、結局は行政指導で再開発したすべてが失敗したという現実をしっかりと見据えて、今後の対策を立ててほしい。

1020	女	50 歳代	芦屋市県住にお世話になり、45 日目に夫が倒れ寝たきりの生活になりました。しかし県住に生活を始め、皆様とのコミュニケーションも出来、環境問題、清掃等積極的に出ています。神戸での持家マンション時はこの様な事はありませんでした。本当に芦屋市の住民である事が幸せでございます。今後も寝たきりの老人の手がかからない時間は積極的に若葉町の皆様とのコミュニケーションを計りたいと思います。※主人が倒れててんでこまいの H12 年 2 月、芦屋市役所の各係様に心温かい接客に本当に感謝申し上げます。今は市役所へ出向いたらストレス解消になります。ありがとうございました。 追伸：市役所の皆様に本当にお世話になりました。在宅介護は奥様 1 人で大丈夫ですか…涙ボロボロ。“頑固な夫は施設では嫌がられると思います” その時私は 1 人で頑張ってみます。現在 4 年目になりますがどうか頑張っております。本当に福祉の支援を頂きながらありがたく思っています。今後ともどうぞよろしくお願ひ申しあげます。
1021	男	50 歳代	老人ホームが少ない。病院が少ない。公園が少なくなっていて子どもの遊ぶところがない。
1022	男	70 歳以	芦屋市は、まち・人・くらしを活性化し、より良く発展し、私達が住んでいる芦屋市は平和で青少年の活気があふれる町。他の市よりも誇りを持って住む町でいてほしい。
1023	男	70 歳以	1. 大型スーパーマーケットを駅付近に誘致し、現在ある業者と競合させ活性化を図ることが市、市民を始め、業者等の繁栄に寄与すると考える。集客化。 2. 大阪市、神戸市等と比較し、物価が高いと思うので、芦屋という名前だけでなく人が集まる地域とすべきである。百貨店の誘致等。 3. 芦屋市内の交通はバスしかないので、高齢者にもっと配慮し、購買力を増加させるため優遇すべきである。現状は市財政により後退している。大阪市をよく参考にしてほしい是非以前以上に戻すべきである。
1024	男	60 歳代	岩園橋交差点の西側道路は常に駐車中の車が多く、非常に危険である。
1025	女	40 歳代	低所得者にもっと手を差し伸べてほしい。芦屋はお金持ちが多いので福祉面がどんどん市の財政状況がわるいと切り捨てられているような気がする。
1026	女	70 歳以	昭和 13 年の大水害。太平洋戦争。このたびの地震。芦屋の 3 回の災害を見て参りました。その度に見事に立ち直りました。私も 75 年の芦屋生活、それまでは四国・宇和島におりました。芦屋浜の海水浴、宮川のホタル狩、山から小川に流れる清らかな水、笹舟を流して走りました。なつかしい芦屋です。年末には 79 歳になります。来年の桜が見えるかなと思ひながら生きています。
1027	男	70 歳以	他の地域や都市の人が芦屋を訪れたとき、芦屋のここが素晴らしく、真似たい。羨ましい。感心したと直感されるような、芦屋にのみ行われているもの、設計されているもの、素晴らしいと感じさせられるものを実施、実現しておきたいものです。
1029	女	30 歳代	ひったくりが多いので夜は門灯をつけるなど、やれる事はやって、少しでも犯罪をふせいで安心なまちにしたい。
1031	男	70 歳以	平田町・松浜町・伊勢町の海岸から大阪湾の遥か向こうに生駒、葛城、金剛の山を望み、背に六甲の山並みを仰ぐ閑静な街として位置づけられてきた芦屋市です。今は発展という事業で環境の破壊が続いている。
1032	男	50 歳代	アンケートの回答の選択項目がやや不適切であると感じました。
1033	女	60 歳代	保健所のそばを通ると新しくなったなあーと感慨深いものがあります。
1035	女	70 歳以	1. 高齢化が進み、足腰が弱っているのに、バスの半額助成がなくなった事は、老人は外出を控えるようになった。 2. それと、阪急電車以北は坂道が多く、特に芦屋川以西ではバスもなく、大変だと思う。道路幅に合わせて小型バスなど巡回させてはいかがでしょうか。 3. 趣味の集まりでかたまり、地域の結びつきが薄い。隣の人が亡くなっても知らなかったと。
1036	女	50 歳代	山手幹線道路が整備されて喜んでおります。しかし親王塚町で居座っている家(個人名あり)があります。強制的に立ち退かす事は出来ないのですか？それによって税金のむだ使いしてませんか？通るたびに「早くドケ!!」とか「死ぬ!!」とか呪いながら…はいやですネ。一日も早くどかしてください。
1040	女	30 歳代	打出駅にエレベーターを設置してほしいと思います。お年寄りが多いので。今後結婚して多分他市に住む事になると思ひます。地域の事に無関心ですみませんが、芦屋は大好きです。

1041	男	40 歳代	学校教育で道徳という時間を設け、人に対する痛み、苦しみ、悲しみ等がわかる思いやりの心を育ててほしい。
1042	女	20 歳代	震災を経験していないので(違う土地にいたから)「震災前と比べて…」という質問には全く答えられませんでした。仕事柄福祉のことが気になります。福祉の施策は高齢者、障害者にやさしいと同時に、住んでる人全員にやさしいものだと思うので、ますます進めてほしいです。
1044	女	40 歳代	震災から 10 年が来ますが、その時の気持ちとかをもう忘れている場合があります。あの時の近所の方とのコミュニケーションは今、全然なくなってきました。みなさんの心に余裕がないというのが実情であると思います。地域活動とかをアンケートで取っても、現実はなかなか参加しようとは思いません。一部の方の活動ばかり注目をもってきても私にはわかりません。4 年程、他市に行っていたのでよけいそんな感じがあります。どんどん年をとって行くので、便利さとか安全とかには感心はありますが。
1059	女	30 歳代	小学校の教育がいろんな面で中途半端だと感じています。こんなに中学受験が盛んな地域にはめずらしい位だし、受験しなくても塾に通う子がほとんどです。学校教育だけではダメだと皆感じています。勉強をつめこむ事ばかりがいいとは思いませんが、クラブ活動も補習授業もなく、異学年交流も中途半端、何を目標しているのかももっとはっきりさせてほしいです。
1060	女	30 歳代	もっと地域の人とコミュニケーションを持ち、地域活動したい。
1062	女	30 歳代	まちの緑化や公園整備、景観に配慮したまちづくりをしてほしい。芦屋らしい芦屋にしてほしい。
1063	女	30 歳代	ゴミ収集にきびしくないのに、なんでも粗大ゴミに料金をつけ収集するのは、港の方など放置ゴミがでてくるのでは、手間がかかりすぎる。リサイクルできそうなものは民間の業者が月 1 回、指定場所にとりにくるというようにしては。たとえば家具、自転車、新しいもののみ。
1068	男	40 歳代	交通行政に対して。○ほとんど交通量のない交差点まで信号機をつけるのはやめていただきたいと思います。設置する前に住民の意見を聞くのが筋でないでしょうか。渋滞の原因になるばかりか、相当のコストがかかっていると思います。それと国道の交差点に多いのですが、主信号の下に前進・左・右の矢印がある信号機、はっきりいって見づらいです。複雑で高コストの信号機をもっともらしい理由をつけて取り替えるのも止めてください。○J R 芦屋駅周辺に路上パーキングが以前に比べて減少しました。わざと取り締まって反則金稼ぎをしているとしか思えません。地下駐車場は高くかつ不便です。私自身、駅周辺にほとんど買い物に行く事がなくなりました。そうやって民間の(商店など)復興を行政がじゃましている事をもっと認識してほしいです。
1070	男	60 歳代	行政と警察の連携強化。特に予防対策。年金問題等昔のように社会保険事務所と市役所と一緒にすること。社会保険事務所の無駄遣いは目にあまる。同様に市の経費も重点主義とし、予算を余らせるくらいできないか。努力するやり方、組換えを考えてほしい。
1075	女	30 歳代	直接問題用紙に書くようなアンケートにしてください。とても面倒でした。次回は協力しません。
1078	男	40 歳代	芦屋市らしい特色のある施策を長期ビジョンに立って取り組んでほしい。特に美しい町並みや教育、防犯等は大事だと思う。
1079	男	30 歳代	税金に見合った支出。市議会議員のより一層の人員減。(芦屋市の面積から言えば 15 名程度で十分)
1080	男	20 歳代	本人是一位留学生、对芦屋市不是很了解、請多々原諒。本人以為芦屋市在环境等方面很不错、但是物价偏高对于我們这些留学生消费太高。本人見意是否对留学生。就学生有种种补偿意识。謝々

市民アンケート

発行日 平成16年9月

発行 芦屋市総務部企画課

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号

TEL(0797)38-2009 FAX(0797)31-4841